



神奈川県企業庁
水道部経営課

令和4年度
神奈川県営水道についての
お客さま意識調査報告書

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査実施の目的.....	3
2 調査の概要.....	3
3 調査結果を見る上での注意事項.....	3
4 標本誤差.....	4
5 結果概要.....	5
(1) 水道事業の現状について.....	5
(2) 今後の水道事業の進め方について.....	5
(3) 属性別の主な分析結果.....	5
6 回答者の基本属性.....	6
(1) 回答者年齢.....	6
(2) 回答者居住地.....	6
(3) 同居人有無.....	7
(4) 家族人数（単身の場合は1人）.....	7
(5) 住居形態.....	8
第2章 集計結果.....	9
1 県営水道について.....	11
(1) 県営水道のイメージ.....	11
2 水道水について.....	18
(1) 水道水への満足度.....	18
(2) 水道水について大切なこと.....	25
3 水道水の使用について.....	27
(1) 使用水量.....	27
(2) 家庭で使用する水の種別.....	30
(3) 入浴の頻度.....	36
(4) 入浴方法.....	39
(5) 浴槽の湯を入れ替える頻度.....	43
(6) 調理の頻度.....	46
(7) 洗濯の頻度.....	51
4 節水について.....	54
(1) 節水のための行動.....	54
(2) 節水型機器の使用状況.....	57
5 県営水道の事業について.....	67
(1) 災害対策の進め方について.....	67
(2) 災害に備えた飲料水の備蓄.....	73
(3) 飲料水を備蓄しない理由.....	77
(4) 水道管の更新の取組について.....	81

(5) 今後の水道施設の更新及び維持管理について	84
6 県営水道の上水道料金について	86
(1) 上水道料金について	86
(2) 上水道料金についての知識	89
(3) 基本料金についての意識	93
(4) 基本水量についての意識	97
(5) 従量料金についての意識	101
(6) 料金体系のあり方	105
7 県営水道の広報活動等について	108
(1) 県営水道について知りたい情報	108
(2) 県営水道に関する情報を知る手段	112
(3) 県営水道の事業について	116
8 自由意見	120
第3章 設問間分析	123
1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて	125
(1) 水道水への満足度（問2）と家庭で使用する水の種別（問5）の関係	125
(2) 上水道料金について（問15）と家庭で使用する水の種別（問5）の関係	129
2 水の使用実態ごとの上水道料金についての意識の差について	131
(1) 上水道料金について（問15）と入浴の頻度（問6）の関係	131
(2) 上水道料金（問15）と入浴方法（問6-1）の関係	131
(3) 上水道料金について（問15）と浴槽の湯を入れ替える頻度（問6-2）の関係	132
(4) 上水道料金について（問15）と調理の頻度（平日）（問7）の関係	132
(5) 上水道料金について（問15）と調理の頻度（休日）（問7）の関係	133
(6) 上水道料金について（問15）と洗濯の頻度（問8）の関係	133
3 使用水量ごとの節水行動の傾向について	134
(1) 使用水量（問4）と節水のための行動（問9）の関係	134
4 水道施設の整備について	135
(1) 災害に備えた飲料水の確保（問12）と災害対策の進め方について（問11）との関係	135
(2) 上水道料金について（問15）と災害対策の進め方についての意識（問11）の関係	136
(3) 県営水道についてのイメージ（問1）と災害対策の進め方についての意識（問11）の関係	136
(4) 災害に備えた飲料水の確保（問12）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問14）の関係	137
(5) 上水道料金について（問15）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問14）の関係	137
(6) 県営水道についてのイメージ（問1）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問14）の関係	138
5 上水道料金等について	139
(1) 上水道料金について	139

(2) 基本水量について	143
(3) 料金体系のあり方について.....	146
6 県営水道に肯定的なイメージを持つ回答者の分析について	147
(1) 広報に関する質問の分析	147
(2) 事業の重要度との関係.....	152
第4章 調査票	155
参考資料	173
参考資料 お客さま意識調査と事業所調査の比較	175

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査実施の目的

県営水道では、お客さまの水使用の動向や意識、ご意見やご要望を把握して、今後の事業運営の基礎資料として活用するために、個人と事業所等のお客さまを対象に標記調査を実施した。

2 調査の概要

項目	お客さま意識調査
調査対象	県営水道給水区域内在住 満 20 歳以上の 5,000 人（住民基本台帳からの層化無作為抽出）
調査方法	調査票を郵送で配布、 インターネット又は郵送で回答
調査期間 (調査期間延長後)	令和4年7月1日～7月15日 (令和4年7月1日～7月29日)
回収結果	有効回収数 2,294 件（有効回収率 45.9%）
調査内容	水道水等の使用状況、節水状況、県営水道が取り組むべき事業、水道料金の支払方法や仕組みへの意見、水道事業に関する知りたい情報等
質問数	31 問（枝問3問、フェイス項目5問含む）

3 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・クロス集計の項目に無回答がある場合、これを表示していない。よって全体の数値と各項目の和が一致しない場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・経年比較においては、過去調査とは使用した調査票の設問および選択肢が異なる場合があるため、参考程度とする必要がある。

4 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数 (20歳以上人口)
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 p = 回答の比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率 (p) \ n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
2500	±1.70%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.83%
2294	±1.77%	±2.36%	±2.71%	±2.89%	±2.95%
2000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1500	±2.19%	±2.92%	±3.35%	±3.58%	±3.65%
1000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注/この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が2,500人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも「±2.77%以内 (57.23~62.77%)」である」とみることができる。

5 結果概要

(1) 水道事業の現状について

- ・約7割が「安全・安心な水を届けている」と回答し、「県営水道を身近に感じる」「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」についても肯定的な回答が多い。
- ・約5割が現在の料金について適正と回答。

(2) 今後の水道事業の進め方について

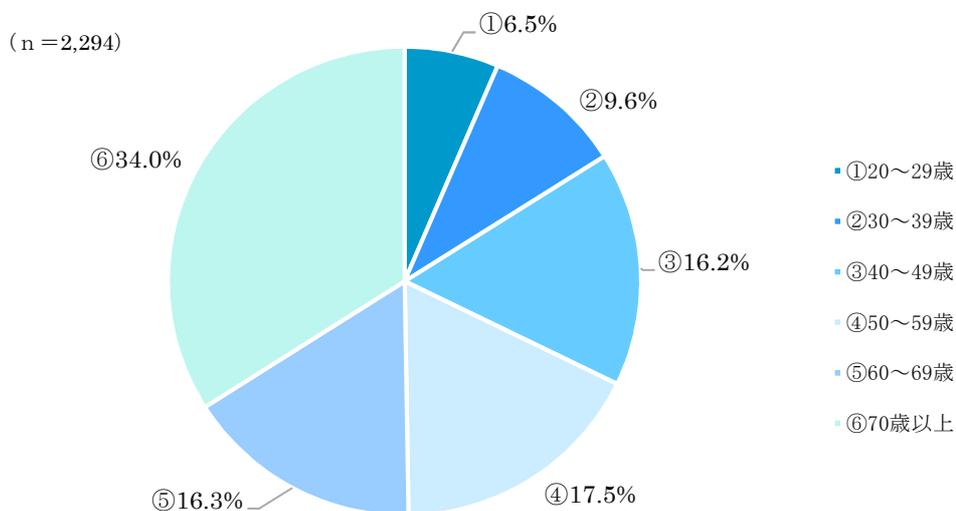
- ・「今よりも災害対策を強化して取組を進める」と回答した割合が約5割と最も高い。
- ・「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から更新する」との回答が5割以上と最も高く、次に「重要施設への給水を優先して更新する」との回答が約3割と高い。
- ・「今の水道料金の範囲での更新・維持管理を行う」との回答が約5割と最も高く、次いで、3割以上が、「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」と回答。

(3) 属性別の主な分析結果

- ・水道水の安全性について、「満足している」と「どちらかというと満足している」の合計が全体では9割となっている中で、30代が他の年代と比べてやや低い結果となっている。
- ・さらに、「満足している」と「どちらかというと満足している」の合計は9割となっており、地域による差はみられない。
- ・災害対策について、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」は、いずれの年代においても4割以上と全体的に高くなっている中で、60代が約5割と最も高い結果となっている。
- ・また、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」は、横須賀三浦地域、湘南地域で高い結果となり、相模原地域、県央地域との間で意識の差がみられる。

6 回答者の基本属性

(1) 回答者年齢



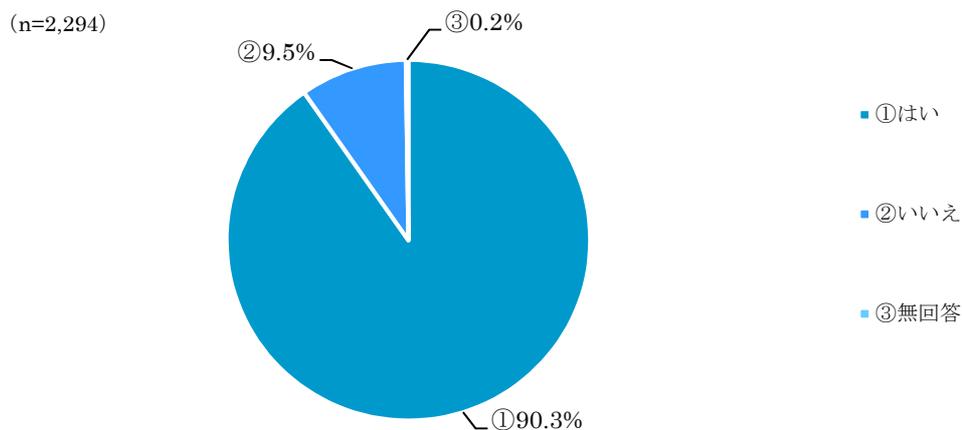
図表1 回答者年齢【単数回答】

(2) 回答者居住地

居住地	回答数	構成比
1 愛川町	10	0.4%
2 厚木市	175	7.6%
3 綾瀬市	70	3.1%
4 伊勢原市	82	3.6%
5 海老名市	130	5.7%
6 大磯町	26	1.1%
7 小田原市	9	0.4%
8 鎌倉市	151	6.6%
9 相模原市中央区	210	9.2%
10 相模原市南区	226	9.9%
11 相模原市緑区	145	6.3%
12 寒川町	43	1.9%
13 逗子市	51	2.2%
14 茅ヶ崎市	184	8.0%
15 二宮町	22	1.0%
16 箱根町	6	0.3%
17 葉山町	23	1.0%
18 平塚市	214	9.3%
19 藤沢市	335	14.6%
20 大和市	182	7.9%
合計	2294	100.0%

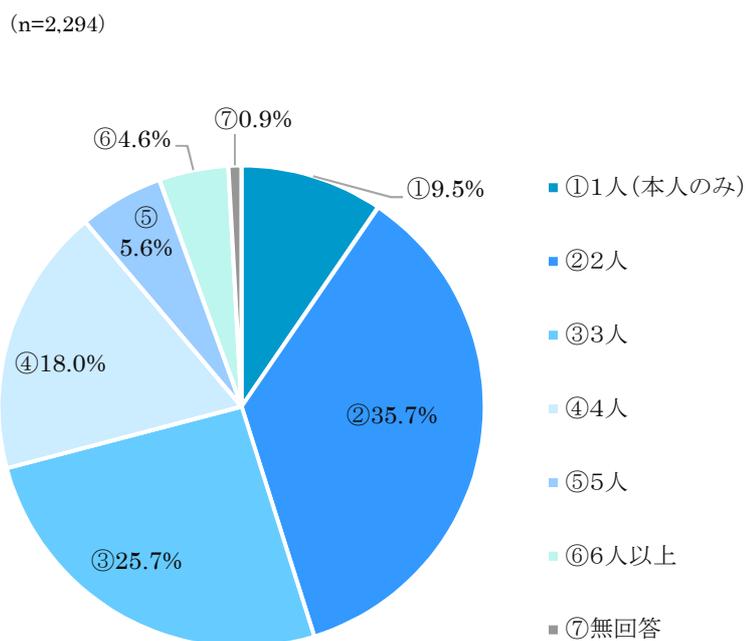
図表2 回答者居住地【単数回答】

(3) 同居人有無



図表3 同居人有無【単数回答】

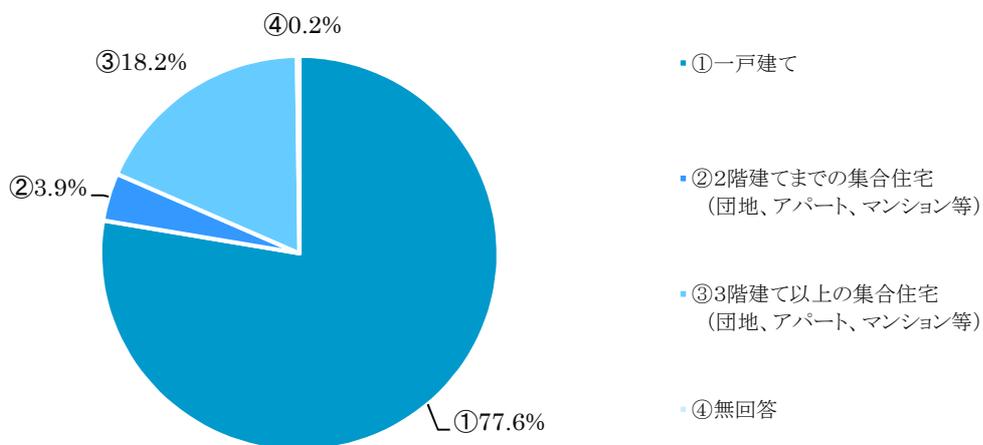
(4) 家族人数（単身の場合は1人）



図表4 家族人数（単身の場合は1人）【単数回答】

(5) 住居形態

(n=2,294)



図表5 住居形態【単数回答】

第2章 集計結果

第2章 集計結果

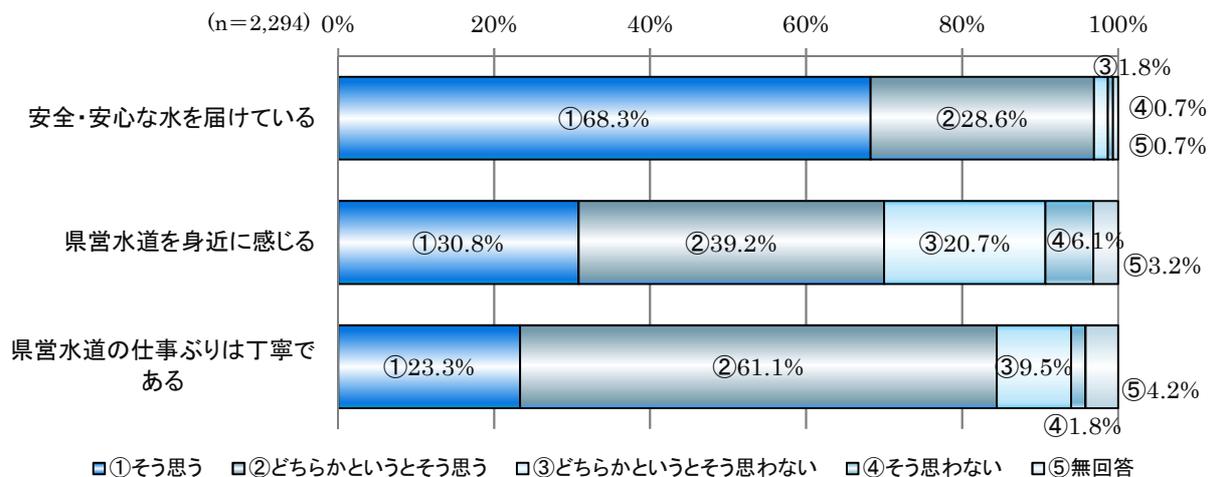
1 県営水道について

(1) 県営水道のイメージ

【問1】 あなたのご家庭に水道水をお届けしている県営水道についてどんなイメージをお持ちですか。(あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 安全・安心な水をお届けしている
2. 県営水道を身近に感じる
3. 県営水道の仕事ぶりは丁寧である
 - ・ そう思う
 - ・ どちらかというと思う
 - ・ どちらかというと思わない
 - ・ そう思わない

① 単純集計・属性別集計

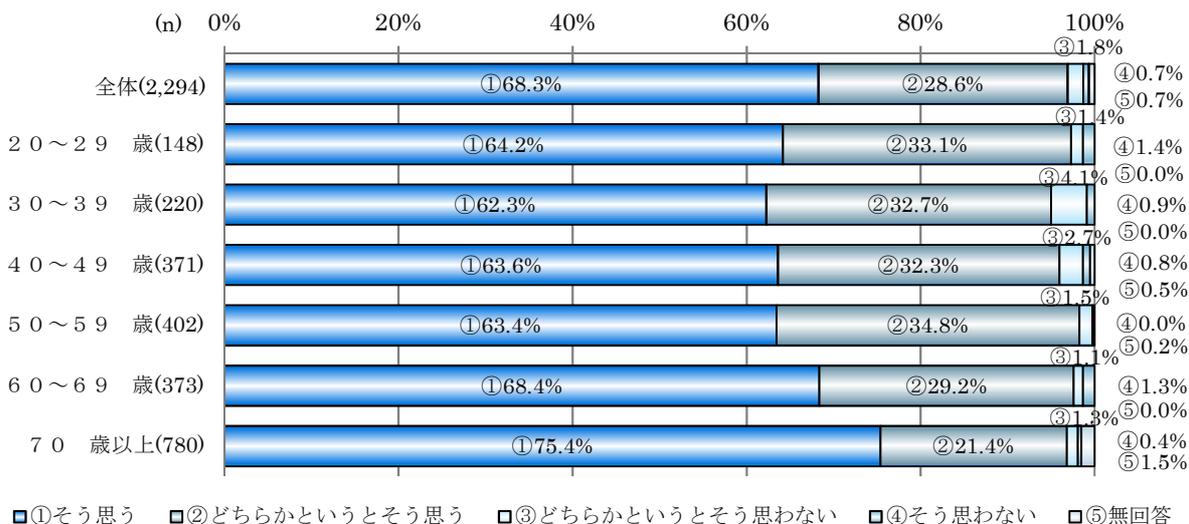


図表6 県営水道のイメージ【単数回答】

「安全・安心な水をお届けしている」では、「そう思う」(68.3%)と「どちらかというと思う」(28.6%)との合計は96.9%となっている。

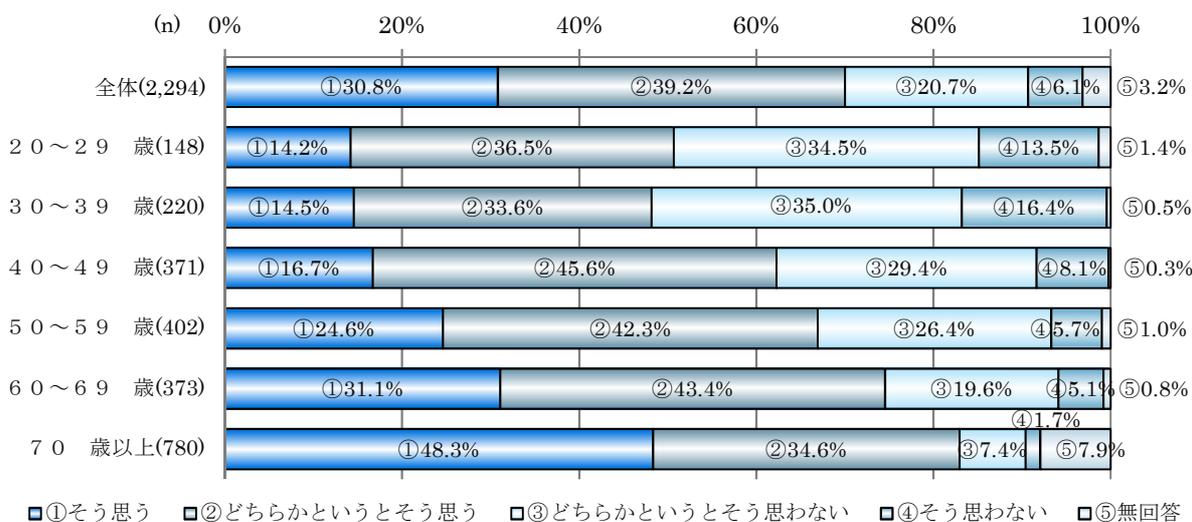
また「県営水道を身近に感じる」については、「そう思う」(30.8%)と「どちらかというと思う」(39.2%)の合計は70.0%、「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」については、「そう思う」(23.3%)と「どちらかというと思う」(61.1%)の合計は、84.4%となった。

図表7 県営水道のイメージ【安全・安心な水を届けている 年代別】



図表7 県営水道のイメージ【安全・安心な水を届けている 年代別】

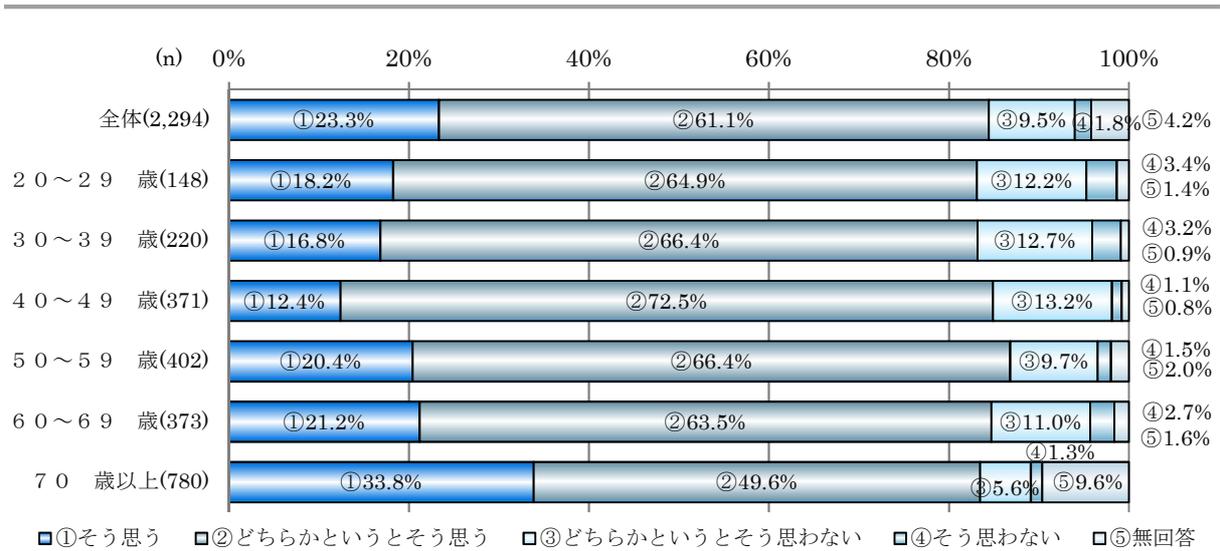
「安全・安心な水を届けている」を年代別にみると、60代以上では、他の年代と比べ「そう思う」の割合が高い。



図表8 県営水道のイメージ【県営水道を身近に感じる 年代別】

「県営水道を身近に感じる」を年代別にみると、年齢が高くなるにつれて「そう思う」の割合が高くなっている。

図表9 県営水道のイメージ【県営水道の仕事ぶりは丁寧である 年代別】



図表9 県営水道のイメージ【県営水道の仕事ぶりは丁寧である 年代別】

「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」を年代別にみると、「そう思う」の割合は70歳以上が33.8%と最も高く、40代が12.4%と最も低い。

図表 10 県営水道のイメージ【安全・安心な水を届けている 居住市区町別】

		全体	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
全体		2294 100.0%	1566 68.3%	657 28.6%	41 1.8%	15 0.7%	15 0.7%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	144 68.6%	58 27.6%	6 2.9%	1 0.5%	1 0.5%
	相模原市南区	226 100.0%	157 69.5%	63 27.9%	2 0.9%	3 1.3%	1 0.4%
	相模原市緑区	145 100.0%	88 60.7%	54 37.2%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%
三浦 横 須 賀 地 域	鎌倉市	151 100.0%	102 67.5%	45 29.8%	2 1.3%	1 0.7%	1 0.7%
	逗子市	51 100.0%	37 72.5%	13 25.5%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
	葉山町	23 100.0%	14 60.9%	9 39.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	115 65.7%	53 30.3%	4 2.3%	1 0.6%	2 1.1%
	大和市	182 100.0%	123 67.6%	56 30.8%	3 1.6%	0 0.0%	0 0.0%
	海老名市	130 100.0%	98 75.4%	29 22.3%	1 0.8%	2 1.5%	0 0.0%
	綾瀬市	70 100.0%	42 60.0%	22 31.4%	2 2.9%	3 4.3%	1 1.4%
	愛川町	10 100.0%	9 90.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	151 70.6%	56 26.2%	3 1.4%	1 0.5%	3 1.4%
	藤沢市	335 100.0%	225 67.2%	97 29.0%	7 2.1%	1 0.3%	5 1.5%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	132 71.7%	47 25.5%	5 2.7%	0 0.0%	0 0.0%
	伊勢原市	82 100.0%	55 67.1%	26 31.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%
	寒川町	43 100.0%	33 76.7%	10 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	19 73.1%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	14 63.6%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%

図表10 県営水道のイメージ【安全・安心な水を届けている 居住市区町別】

居住市区町別にみると、「そう思う」が高いのは「寒川町」（76.7%）「海老名市」（75.4%）「逗子市」（72.5%）などである。

図表 11 県営水道のイメージ【県営水道を身近に感じる 居住市区町別】

		全体	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
全体		2294 100.0%	707 30.8%	899 39.2%	474 20.7%	141 6.1%	73 3.2%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	57 27.1%	78 37.1%	58 27.6%	9 4.3%	8 3.8%
	相模原市南区	226 100.0%	70 31.0%	95 42.0%	40 17.7%	14 6.2%	7 3.1%
	相模原市緑区	145 100.0%	48 33.1%	55 37.9%	29 20.0%	9 6.2%	4 2.8%
三浦 横 須 賀 地 域	鎌倉市	151 100.0%	48 31.8%	53 35.1%	35 23.2%	11 7.3%	4 2.6%
	逗子市	51 100.0%	19 37.3%	19 37.3%	7 13.7%	4 7.8%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	7 30.4%	9 39.1%	3 13.0%	1 4.3%	3 13.0%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	55 31.4%	78 44.6%	33 18.9%	6 3.4%	3 1.7%
	大和市	182 100.0%	53 29.1%	70 38.5%	41 22.5%	10 5.5%	8 4.4%
	海老名市	130 100.0%	45 34.6%	50 38.5%	26 20.0%	7 5.4%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	23 32.9%	28 40.0%	10 14.3%	6 8.6%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	4 40.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	66 30.8%	82 38.3%	47 22.0%	10 4.7%	9 4.2%
	藤沢市	335 100.0%	83 24.8%	137 40.9%	70 20.9%	32 9.6%	13 3.9%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	57 31.0%	68 37.0%	38 20.7%	17 9.2%	4 2.2%
	伊勢原市	82 100.0%	23 28.0%	38 46.3%	19 23.2%	1 1.2%	1 1.2%
	寒川町	43 100.0%	22 51.2%	13 30.2%	6 14.0%	1 2.3%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	12 46.2%	11 42.3%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	8 36.4%	4 18.2%	8 36.4%	2 9.1%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

図表11 県営水道のイメージ【県営水道を身近に感じる 居住市区町別】

居住市区町別にみると、「そう思う」の割合が高いのは、「寒川町」(51.2%)「逗子市」(37.3%)「海老名市」(34.6%) などである。

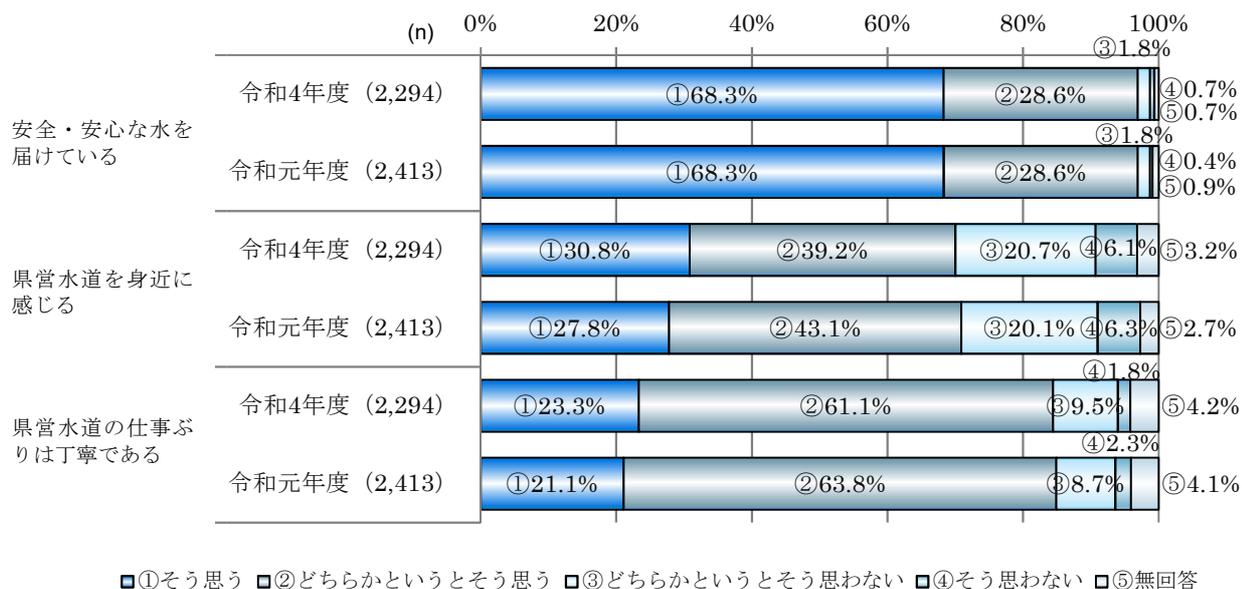
図表 12 県営水道のイメージ【県営水道の仕事ぶりは丁寧である 居住市区町別】

		全体	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答
全体		2294 100.0%	535 23.3%	1402 61.1%	219 9.5%	42 1.8%	96 4.2%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	42 20.0%	129 61.4%	26 12.4%	3 1.4%	10 4.8%
	相模原市南区	226 100.0%	55 24.3%	137 60.6%	22 9.7%	5 2.2%	7 3.1%
	相模原市緑区	145 100.0%	37 25.5%	86 59.3%	18 12.4%	0 0.0%	4 2.8%
三浦 横 須 賀 地 域	鎌倉市	151 100.0%	36 23.8%	95 62.9%	13 8.6%	3 2.0%	4 2.6%
	逗子市	51 100.0%	16 31.4%	29 56.9%	2 3.9%	1 2.0%	3 5.9%
	葉山町	23 100.0%	4 17.4%	12 52.2%	4 17.4%	0 0.0%	3 13.0%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	39 22.3%	111 63.4%	19 10.9%	0 0.0%	6 3.4%
	大和市	182 100.0%	41 22.5%	108 59.3%	20 11.0%	3 1.6%	10 5.5%
	海老名市	130 100.0%	31 23.8%	84 64.6%	6 4.6%	3 2.3%	6 4.6%
	綾瀬市	70 100.0%	16 22.9%	39 55.7%	9 12.9%	3 4.3%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	3 30.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	47 22.0%	131 61.2%	18 8.4%	4 1.9%	14 6.5%
	藤沢市	335 100.0%	76 22.7%	202 60.3%	30 9.0%	11 3.3%	16 4.8%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	44 23.9%	114 62.0%	17 9.2%	4 2.2%	5 2.7%
	伊勢原市	82 100.0%	18 22.0%	55 67.1%	6 7.3%	1 1.2%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	14 32.6%	25 58.1%	2 4.7%	0 0.0%	2 4.7%
	大磯町	26 100.0%	8 30.8%	17 65.4%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	5 22.7%	14 63.6%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

図表12 県営水道のイメージ【県営水道の仕事ぶりは丁寧である 居住市区町別】

居住市区町別にみると、「そう思う」の割合が高いのは、「寒川町」(32.6%)「逗子市」(31.4%)「相模原市緑区」(25.5%) などである。

② 経年比較



図表13 県営水道のイメージ【経年比較】

「県営水道を身近に感じる」では、「そう思う」の割合が令和元年度から令和4年度で、3.0ポイント増加した。

2 水道水について

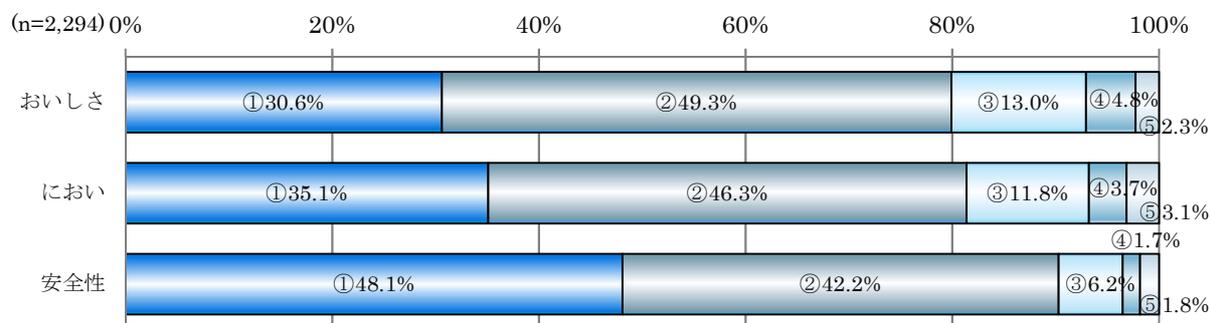
(1) 水道水への満足度

【問2】 あなたはご家庭の水道水について満足していますか。(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。)

1. おいしさ、2. におい、3. 安全性

- ・満足している
- ・どちらかという満足している
- ・どちらかという満足していない
- ・満足していない

① 単純集計・属性別集計

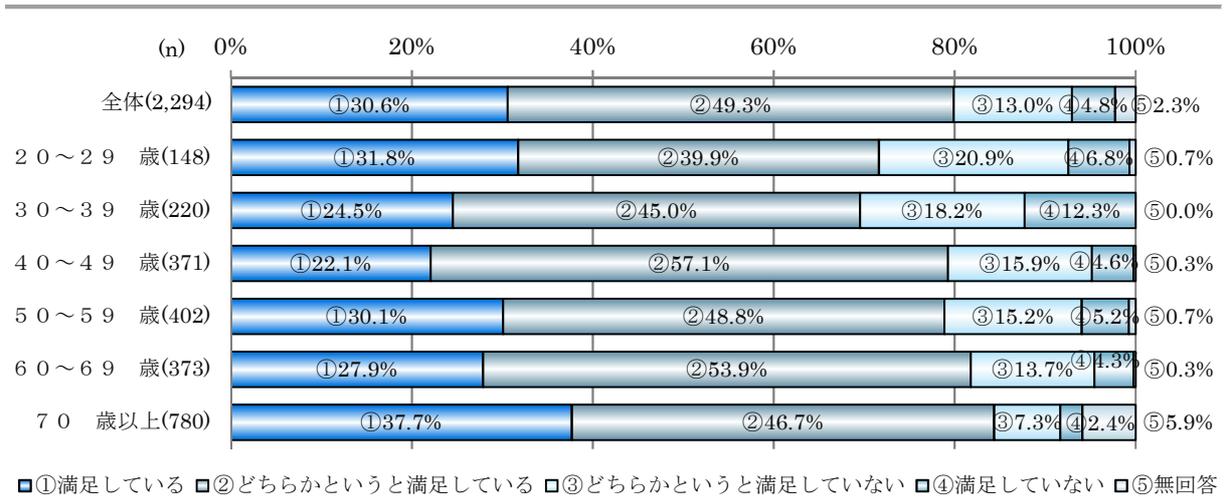


■①満足している ■②どちらかという満足している ■③どちらかという満足していない ■④満足していない ■⑤無回答

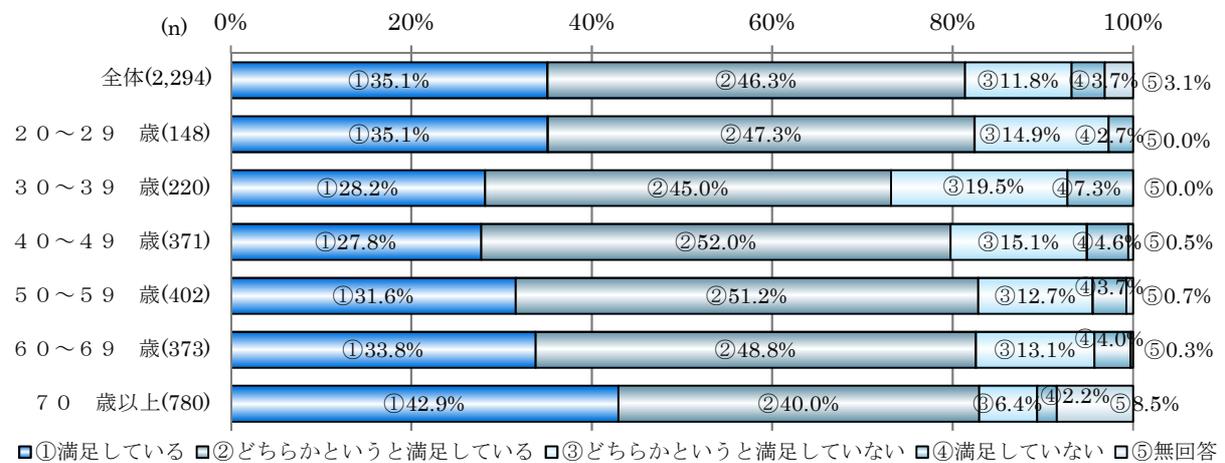
図表14 水道水への満足度【単数回答】

「安全性」について、「満足している」(48.1%)と「どちらかという満足している」(42.2%)の合計は90.3%で、3要素の中で最も満足度が高くなった。次いで、「におい」の81.4%、「おいしさ」の79.9%の順となった。

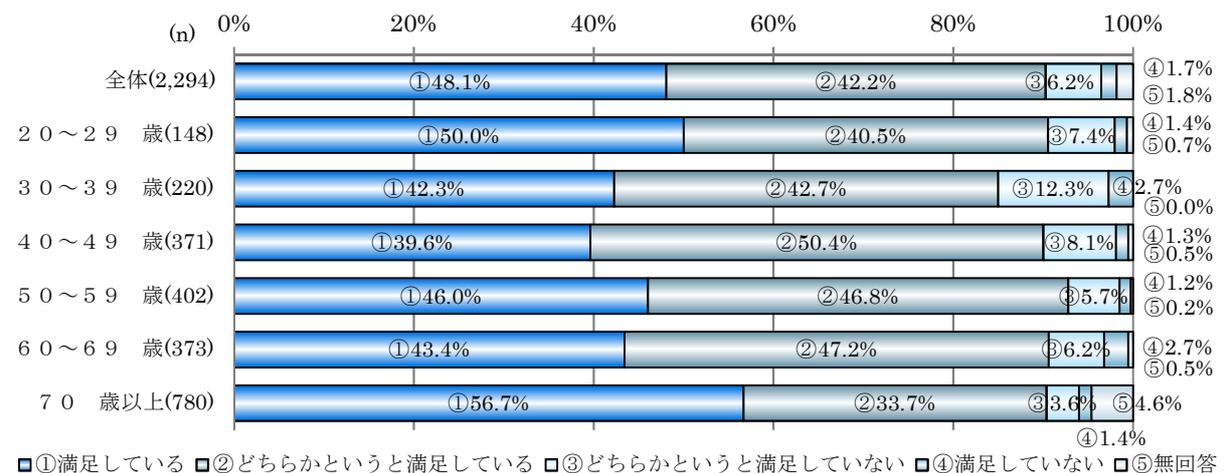
図表15 水道水への満足度【おいしさ 年代別】



図表15 水道水への満足度【おいしさ 年代別】



図表16 水道水への満足度【におい 年代別】



図表17 水道水への満足度【安全性 年代別】

「おいしさ」「におい」「安全性」に共通する傾向として、「満足している」と「どちらかという満足している」の割合は30代が他の年代と比べてやや低くなっている。

第2章 2 水道水について

図表 18 水道水への満足度【おいしさ 居住市区町別】

		全体	満足している	どちらかという と満足している	どちらかという と満足していない	満足していない	無回答
全体		2294 100.0%	702 30.6%	1131 49.3%	299 13.0%	110 4.8%	52 2.3%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	76 36.2%	93 44.3%	33 15.7%	3 1.4%	5 2.4%
	相模原市南区	226 100.0%	70 31.0%	112 49.6%	28 12.4%	9 4.0%	7 3.1%
	相模原市緑区	145 100.0%	46 31.7%	71 49.0%	18 12.4%	10 6.9%	0 0.0%
三浦 横 須 賀 地 域	鎌倉市	151 100.0%	53 35.1%	73 48.3%	12 7.9%	9 6.0%	4 2.6%
	逗子市	51 100.0%	23 45.1%	18 35.3%	6 11.8%	2 3.9%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	7 30.4%	13 56.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	46 26.3%	86 49.1%	28 16.0%	11 6.3%	4 2.3%
	大和市	182 100.0%	46 25.3%	89 48.9%	29 15.9%	12 6.6%	6 3.3%
	海老名市	130 100.0%	41 31.5%	64 49.2%	19 14.6%	4 3.1%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	21 30.0%	34 48.6%	6 8.6%	7 10.0%	2 2.9%
	愛川町	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	67 31.3%	108 50.5%	24 11.2%	10 4.7%	5 2.3%
	藤沢市	335 100.0%	86 25.7%	174 51.9%	51 15.2%	18 5.4%	6 1.8%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	58 31.5%	91 49.5%	25 13.6%	9 4.9%	1 0.5%
	伊勢原市	82 100.0%	19 23.2%	53 64.6%	7 8.5%	1 1.2%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	15 34.9%	22 51.2%	3 7.0%	2 4.7%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	9 34.6%	11 42.3%	4 15.4%	0 0.0%	2 7.7%
	二宮町	22 100.0%	7 31.8%	10 45.5%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%

図表18 水道水への満足度【おいしさ 居住市区町別】

「おいしさ」を居住市区町別にみると、「満足している」の割合が高いのは、「逗子市」(45.1%)「相模原市中央区」(36.2%)「鎌倉市」(35.1%) などである。

図表 19 水道水への満足度【「におい」 居住市区町別】

		全体	満足している	どちらかという と満足している	どちらかという と満足していない	満足していない	無回答
全体		2294 100.0%	805 35.1%	1062 46.3%	271 11.8%	84 3.7%	72 3.1%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	76 36.2%	97 46.2%	28 13.3%	2 1.0%	7 3.3%
	相模原市南区	226 100.0%	75 33.2%	111 49.1%	23 10.2%	8 3.5%	9 4.0%
	相模原市緑区	145 100.0%	49 33.8%	71 49.0%	15 10.3%	7 4.8%	3 2.1%
三浦 地域	鎌倉市	151 100.0%	59 39.1%	64 42.4%	17 11.3%	5 3.3%	6 4.0%
	逗子市	51 100.0%	23 45.1%	20 39.2%	4 7.8%	2 3.9%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	5 21.7%	13 56.5%	1 4.3%	0 0.0%	4 17.4%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	59 33.7%	78 44.6%	25 14.3%	9 5.1%	4 2.3%
	大和市	182 100.0%	56 30.8%	81 44.5%	25 13.7%	12 6.6%	8 4.4%
	海老名市	130 100.0%	47 36.2%	64 49.2%	15 11.5%	2 1.5%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	23 32.9%	32 45.7%	5 7.1%	6 8.6%	4 5.7%
	愛川町	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	78 36.4%	94 43.9%	27 12.6%	8 3.7%	7 3.3%
	藤沢市	335 100.0%	113 33.7%	160 47.8%	41 12.2%	14 4.2%	7 2.1%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	69 37.5%	84 45.7%	24 13.0%	4 2.2%	3 1.6%
	伊勢原市	82 100.0%	28 34.1%	44 53.7%	7 8.5%	0 0.0%	3 3.7%
	寒川町	43 100.0%	16 37.2%	18 41.9%	4 9.3%	4 9.3%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	10 38.5%	10 38.5%	4 15.4%	0 0.0%	2 7.7%
	二宮町	22 100.0%	8 36.4%	11 50.0%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%

図表19 水道水への満足度【「におい」 居住市区町別】

「におい」を居住市区町別にみると、「満足している」の割合が高いのは、「逗子市」（45.1%）「鎌倉市」（39.1%）「茅ヶ崎市」（37.5%）などである。

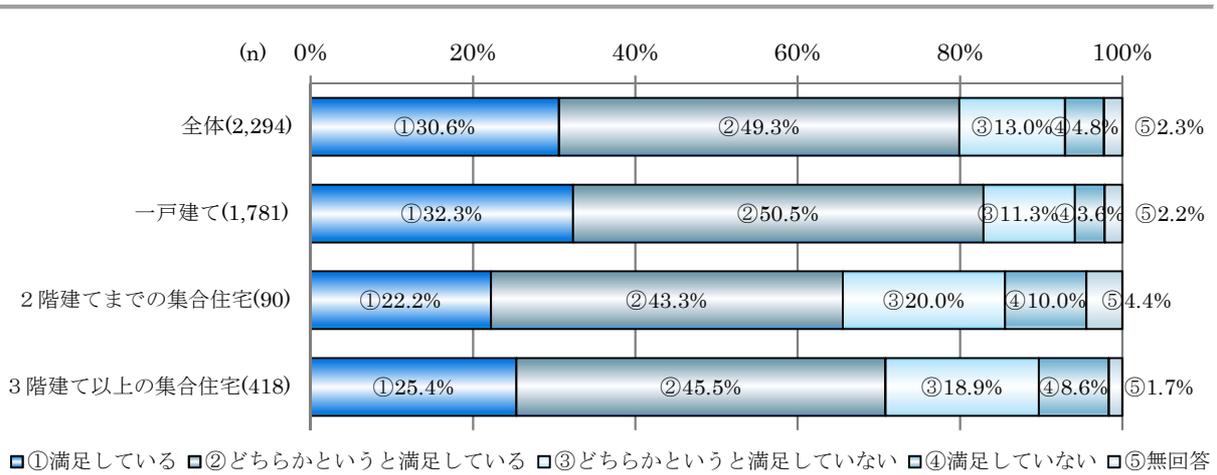
図表 20 水道水への満足度【安全性 居住市区町別】

		全体	満足している	どちらかという と満足している	どちらかという と満足していな い	満足していない	無回答
全体		2294 100.0%	1103 48.1%	968 42.2%	142 6.2%	39 1.7%	42 1.8%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	103 49.0%	84 40.0%	15 7.1%	1 0.5%	7 3.3%
	相模原市南区	226 100.0%	112 49.6%	95 42.0%	11 4.9%	4 1.8%	4 1.8%
	相模原市緑区	145 100.0%	61 42.1%	63 43.4%	16 11.0%	2 1.4%	3 2.1%
三浦 横須 賀地 域	鎌倉市	151 100.0%	75 49.7%	60 39.7%	9 6.0%	3 2.0%	4 2.6%
	逗子市	51 100.0%	29 56.9%	16 31.4%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	9 39.1%	12 52.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	80 45.7%	75 42.9%	11 6.3%	4 2.3%	5 2.9%
	大和市	182 100.0%	80 44.0%	84 46.2%	13 7.1%	4 2.2%	1 0.5%
	海老名市	130 100.0%	67 51.5%	53 40.8%	5 3.8%	4 3.1%	1 0.8%
	綾瀬市	70 100.0%	36 51.4%	25 35.7%	3 4.3%	4 5.7%	2 2.9%
	愛川町	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	108 50.5%	90 42.1%	9 4.2%	3 1.4%	4 1.9%
	藤沢市	335 100.0%	145 43.3%	158 47.2%	26 7.8%	3 0.9%	3 0.9%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	100 54.3%	69 37.5%	9 4.9%	3 1.6%	3 1.6%
	伊勢原市	82 100.0%	39 47.6%	39 47.6%	3 3.7%	0 0.0%	1 1.2%
	寒川町	43 100.0%	21 48.8%	18 41.9%	3 7.0%	1 2.3%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	15 57.7%	8 30.8%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	11 50.0%	9 40.9%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%

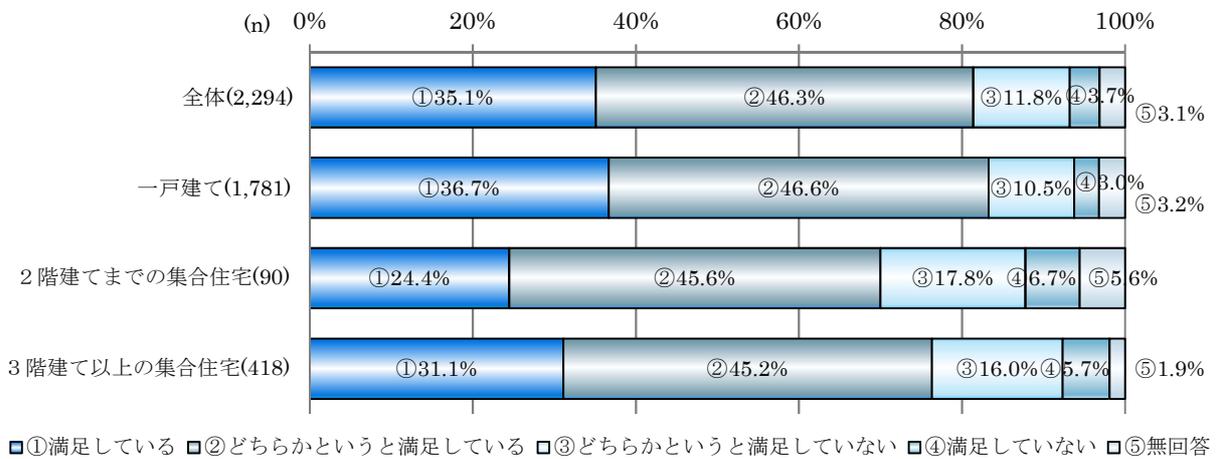
図表20 水道水への満足度【安全性 居住市区町別】

「安全性」を居住市区町別にみると、「満足している」の割合が高いのは、「逗子市」(56.9%)「茅ヶ崎市」(54.3%)「海老名市」(51.5%) などである。

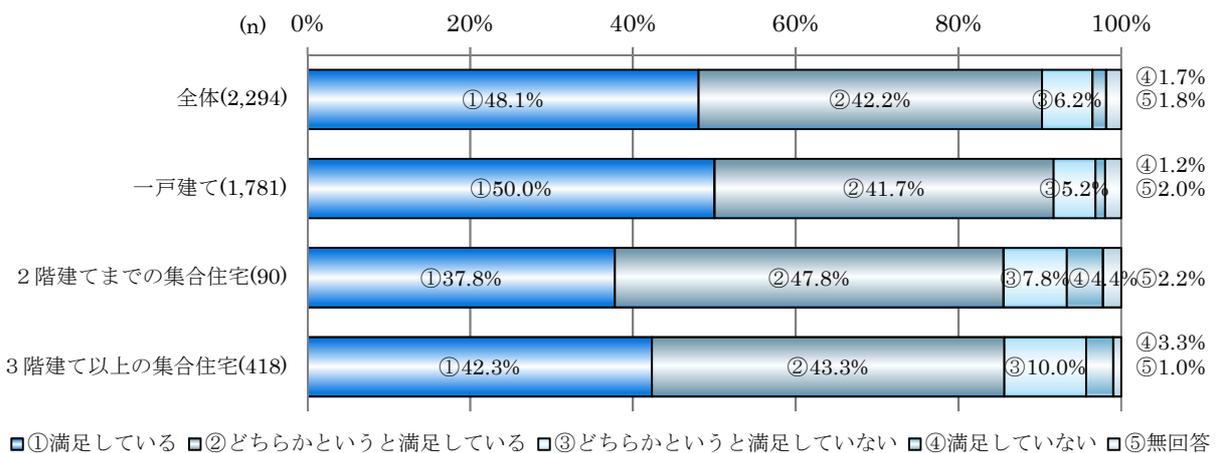
図表 21 水道水への満足度【おいしさ 住居形態別】



図表21 水道水への満足度【おいしさ 住居形態別】



図表22 水道水への満足度【におい 住居形態別】

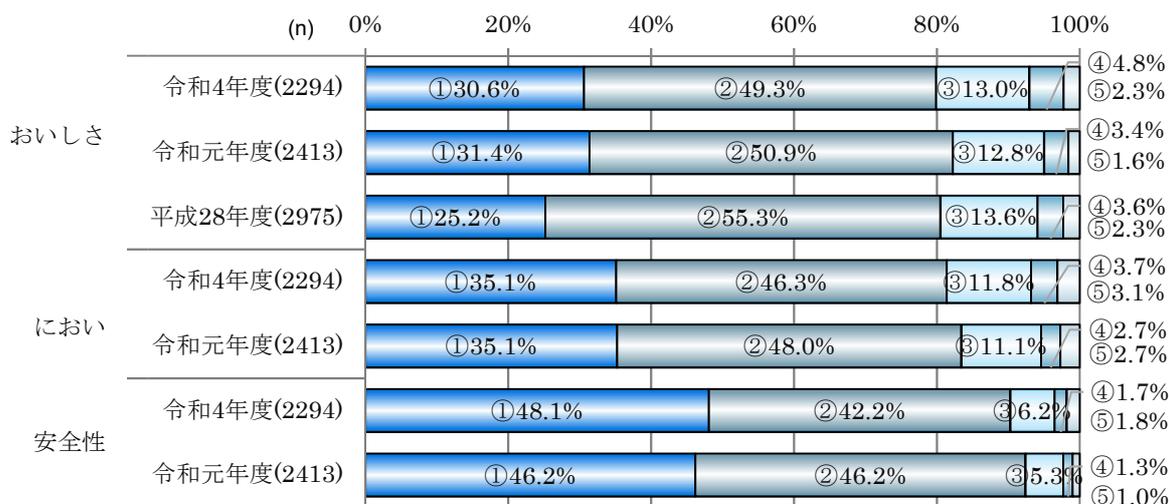


図表23 水道水への満足度【安全性 住居形態別】

住居形態別にみると、「おいしさ」「におい」「安全性」のいずれも一戸建ての満足度が高い傾向がみられた。

図表 24 水道水への満足度【項目別経年比較】

② 経年比較



□①満足している □②どちらかという満足している □③どちらかという満足していない □④満足していない □⑤無回答

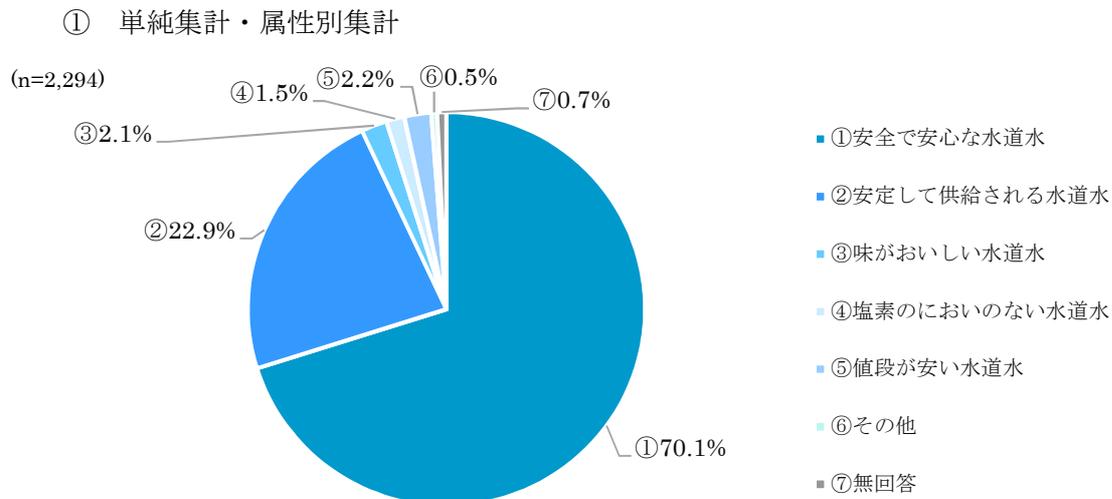
図表24 水道水への満足度【項目別経年比較】

「満足している」「どちらかという満足している」の割合の合計は、「おいしさ」「におい」「安全性」のいずれも前回調査（令和元年度）をやや下回った。

(2) 水道水について大切なこと

【問3】 あなたは、水道水について何が一番大切だと考えますか。(1つだけ選び、○をつけてください。)

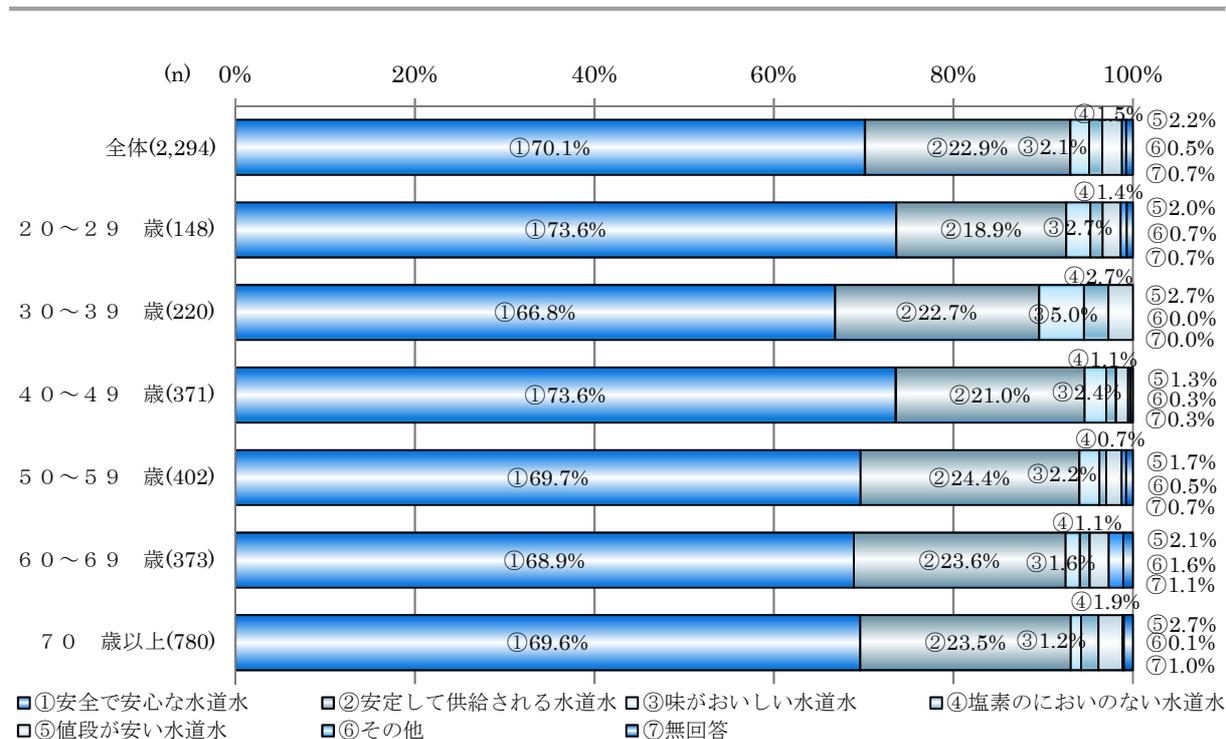
1. 安全で安心な水道水
2. 安定して供給される水道水
3. 味がおいしい水道水
4. 塩素のにおいのない水道水
5. 値段が安い水道水
6. その他



図表25 水道水について大切なこと【単数回答】

「安全で安心な水道水」が 70.1%と最も重視されていた。次いで「安定して供給される水道水」が 22.9%で、この2つで 93.0%を占める。「安全で安心な水道水」と「安定的な供給」が重視されていると考えられます。

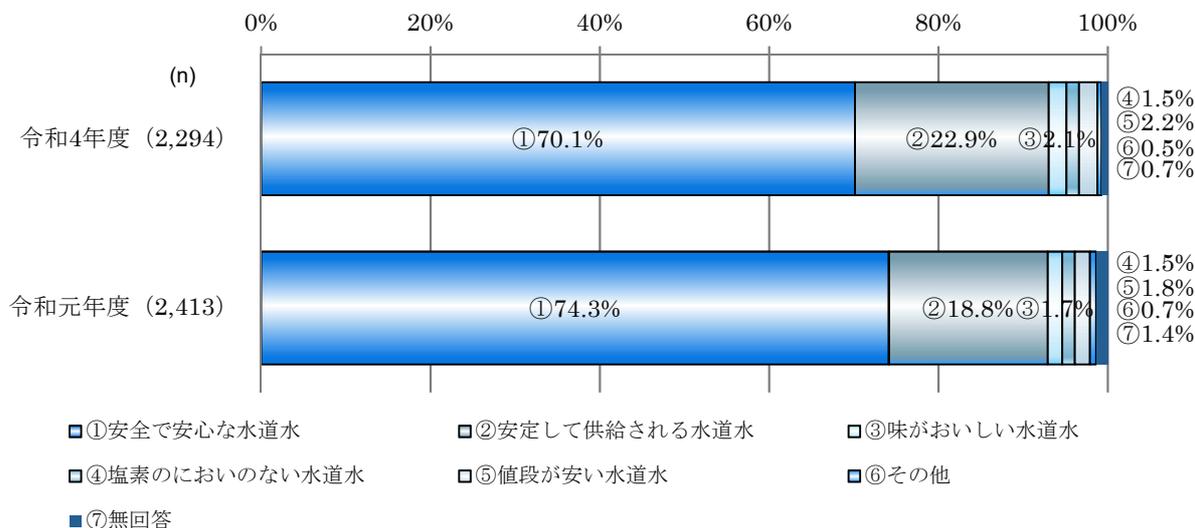
図表 26 水道水について大切なこと【年代別】



図表26 水道水について大切なこと【年代別】

「安全で安心な水道水」「安定して供給される水道水」が年代に関わらず重視されていることがわかるが、「味がおいしい水道水」を選んだ割合は30代が他の年代と比べて大きくなっている。

② 経年比較



図表27 水道水について大切なこと【経年比較】

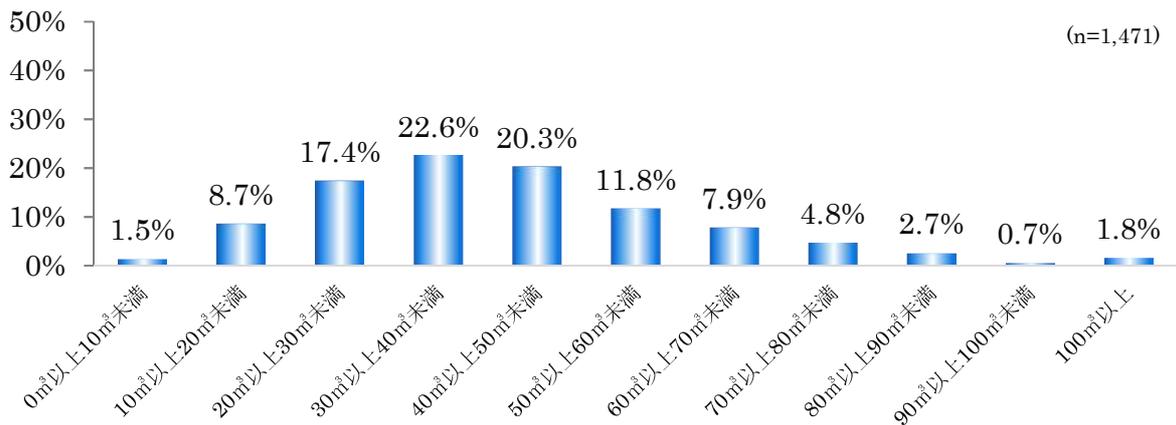
「安全で安心な水道水」は、令和元年度から令和4年度で、4.2ポイント減少した。一方、「安定して供給される水道水」は4.1ポイント増加した。

3 水道水の使用について

(1) 使用水量

【問4】あなたのご家庭の水道使用水量はどれくらいですか。(直近の水道メーター検針の際にお渡しした「上下水道使用量のお知らせ」に記載されている「使用水量」を記入してください。)

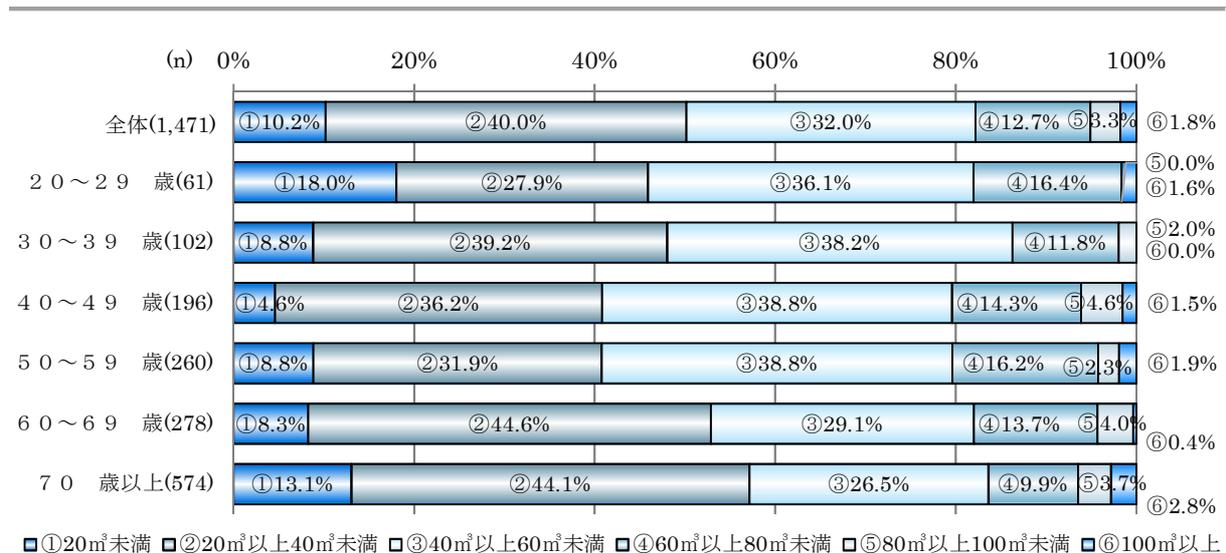
① 単純集計・属性別集計



図表28 使用水量【数値回答をカテゴリ化】

使用水量は、「30 m³以上 40 m³未満」が最も多く 22.6%で、次いで「40 m³以上 50 m³未満」が 20.3%であった。全体の平均は 42.0 m³となった。

第2章 3 水道水の使用について
 図表 29 使用水量【年代別】



図表29 使用水量【年代別】

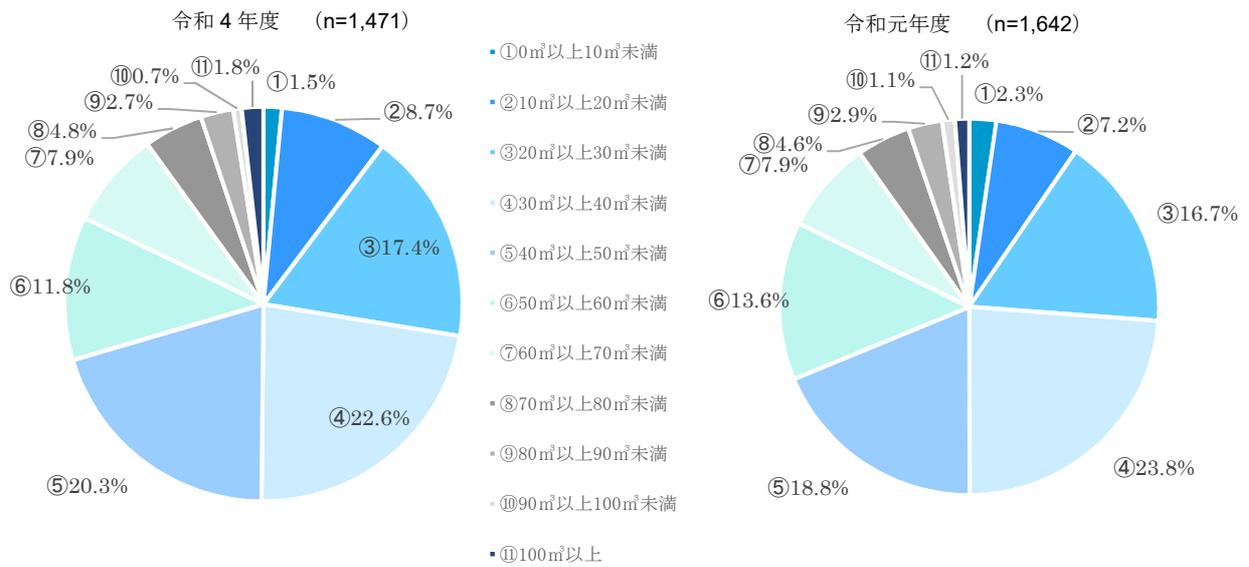
年代別では、いずれの年代も概ね 20 m³以上から 60 m³未満が多い。「20 m³未満」の割合は 20 代が 18.0%と最も高く、次いで 70 歳以上が 13.1%となっているが、40 代では、4.6%と低い。

		全体	0m³以上 10m³未満	10m³以上 20m³未満	20m³以上 30m³未満	30m³以上 40m³未満	40m³以上 50m³未満	50m³以上 60m³未満	60m³以上 70m³未満	70m³以上 80m³未満	80m³以上 90m³未満	90m³以上 100m³未満	100m³以上	平均
相模原地域	全体	1471	22	128	256	332	298	173	116	71	39	10	26	42.0
	相模原市中央区	139	3	11	25	26	37	16	10	8	1	1	1	41.1
	相模原市南区	145	2	14	31	36	29	11	4	11	4	2	1	39.6
	相模原市緑区	90	1	8	12	14	22	10	13	7	1	0	2	44.9
三浦地域	鎌倉市	83	0	8	19	17	17	8	7	4	3	0	0	40.4
	逗子市	31	0	0	7	8	5	5	2	3	1	0	0	44.5
	葉山町	18	0	2	3	2	5	2	0	3	1	0	0	46.2
県央地域	厚木市	108	1	9	23	29	20	12	5	4	2	0	3	40.3
	大和市	111	1	17	21	23	18	14	8	4	2	1	2	39.3
	海老名市	85	2	6	18	14	16	10	10	3	3	1	2	44.0
	綾瀬市	48	1	2	8	17	5	5	5	2	0	1	2	43.1
	愛川町	8	0	0	3	2	1	2	0	0	0	0	0	35.0
	湘南地域	平塚市	138	5	10	24	27	26	19	11	3	6	2	5
藤沢市	226	1	25	30	53	46	32	22	7	5	2	3	42.1	
茅ヶ崎市	126	3	10	19	29	27	16	8	6	5	0	3	42.5	
伊勢原市	49	0	2	3	19	10	7	5	2	1	0	0	42.7	
寒川町	27	1	0	6	5	7	2	3	1	2	0	0	43.1	
大磯町	16	0	2	2	4	3	2	1	1	0	0	1	43.6	
二宮町	14	0	1	0	5	3	0	1	1	2	0	1	55.4	
県西地域	小田原市	5	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	39.6
	箱根町	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	30.8

図表30 使用水量【居住市区町別】

居住市区町別にみると、平均では概ね 40 m³前後であり、大きな傾向はみられない。

② 経年比較



図表31 使用水量【経年比較】

「30 m³以上 40 m³未満」では、令和元年度から令和4年度で、1.2ポイント減少した。
 一方、「20 m³以上 30 m³未満」では、令和元年度から令和4年度で、0.7ポイント増加した。

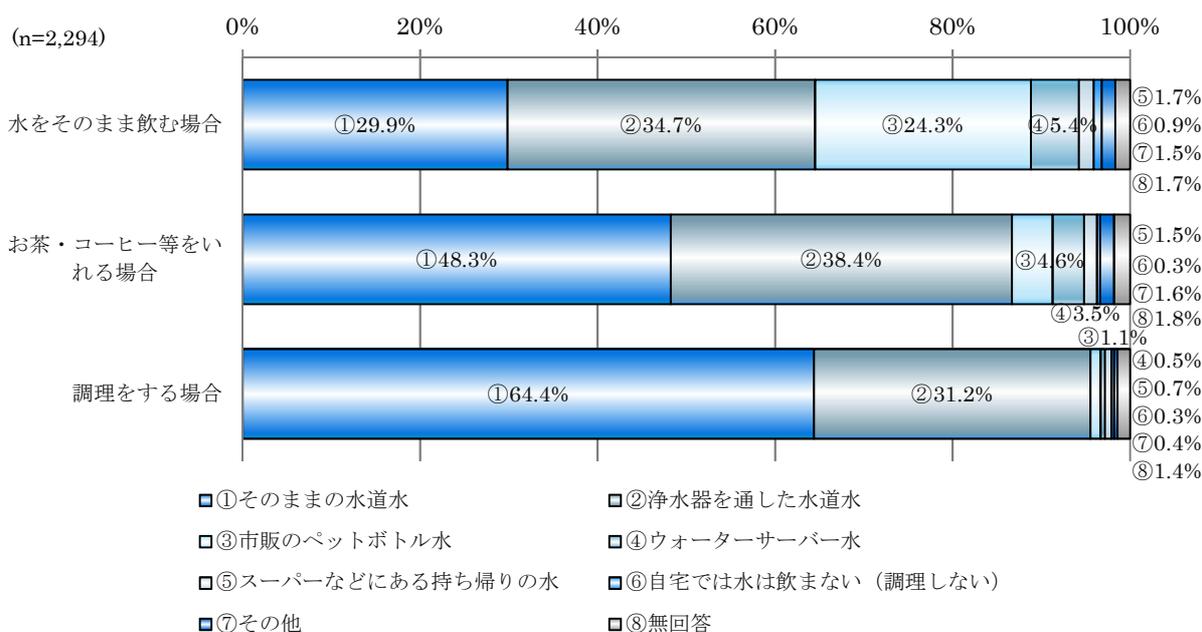
(2) 家庭で使用する水の種別

【問5】 あなたはご家庭で、次のような場合、主にどのような水を使っていますか。
 (1. ～3. について主に使っている水をそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 水をそのまま飲む場合
 2. お茶・コーヒー等をいれる場合
 3. 調理をする場合

- ・そのままの水道水
- ・浄水器を通した水道水
- ・市販のペットボトル水
- ・ウォーターサーバー水
- ・スーパーなどにある持ち帰りの水
- ・自宅では水は飲まない（調理しない）
- ・その他

① 単純集計・属性別集計



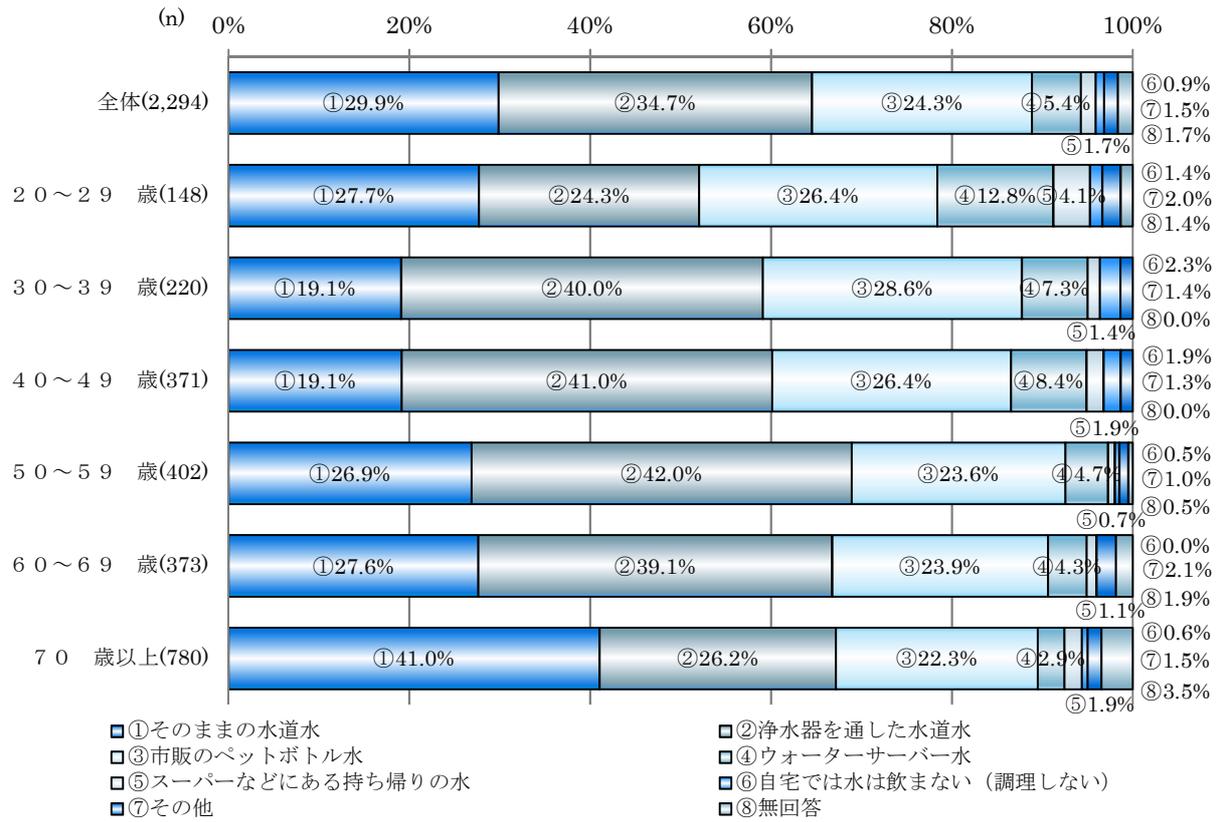
図表32 飲料・調理用の水の種別【単数回答】

「水をそのまま飲む場合」では、「浄水器を通した水道水」が 34.7%と最も高く、次いで「そのままの水道水」、「市販のペットボトル水」と続く。

また、「お茶・コーヒー等をいれる場合」では、「そのままの水道水」が 48.3%と最も高く、次いで「浄水器を通した水道水」が続く。

「調理をする場合」では「そのままの水道水」が 64.4%と最も高い。

図表 33 飲料・調理用の水の種別【水をそのまま飲む場合 年代別】

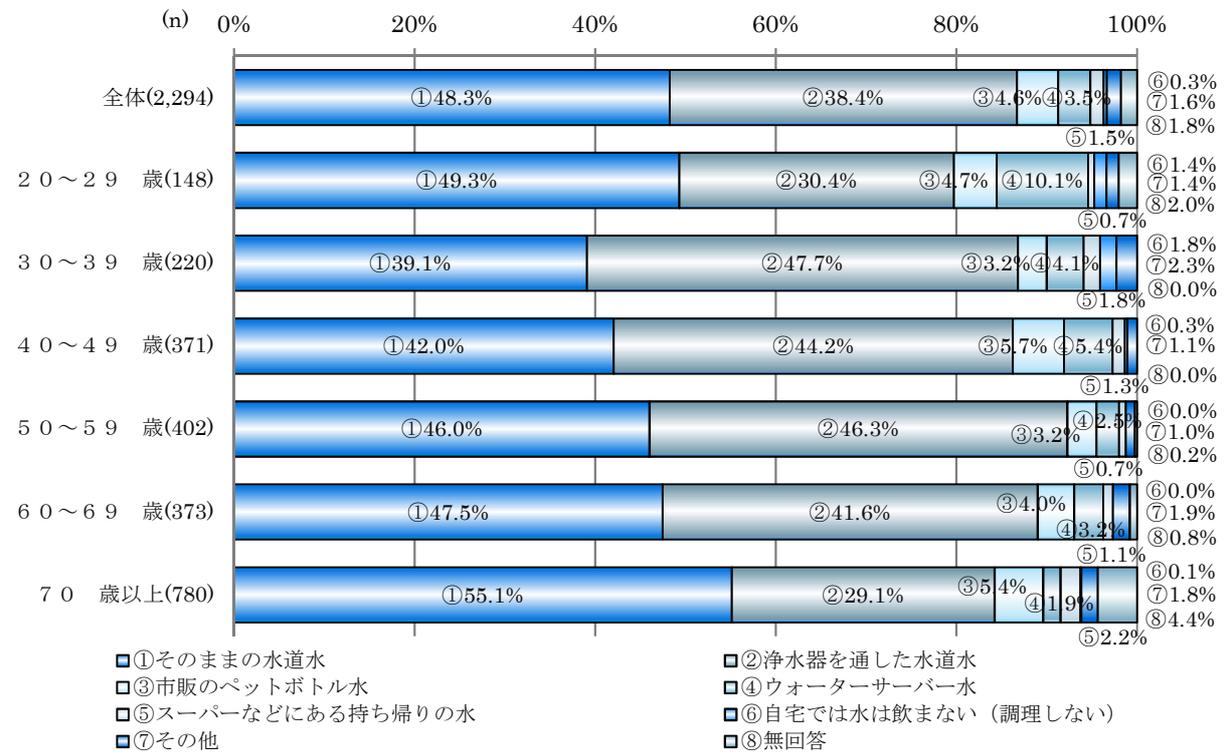


図表33 飲料・調理用の水の種別【水をそのまま飲む場合 年代別】

「水をそのまま飲む場合」を年代別にみると、「そのままの水道水」を飲む割合が70歳以上で最も高いが、30～60代では「浄水器を通した水道水」の割合の方が高い。

また、「ウォーターサーバー水」の割合が20代で12.8%と高くなっている。

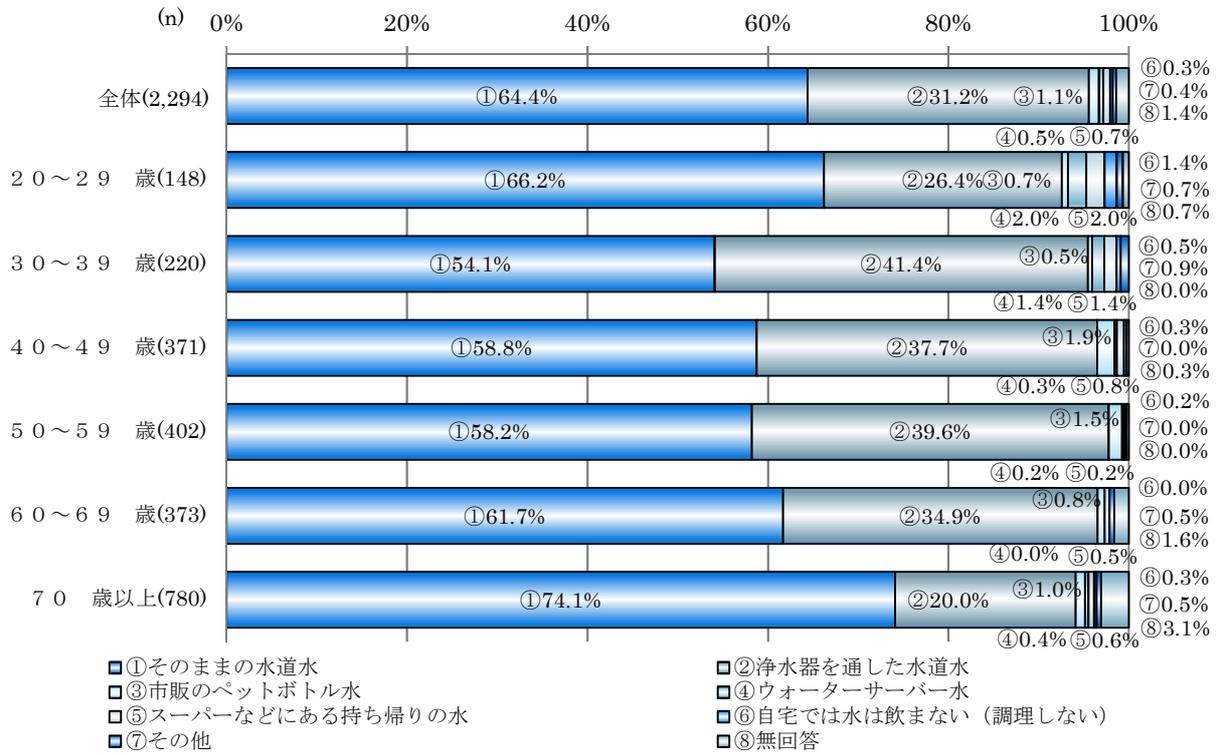
図表 34 飲料・調理用の水の種別【お茶・コーヒー等をいれる場合 年代別】



図表34 飲料・調理用の水の種別【お茶・コーヒー等をいれる場合 年代別】

「お茶・コーヒー等をいれる場合」を年代別にみると、30代以上では、年代が高くなるにつれて「そのままの水道水」を使う割合が高い。

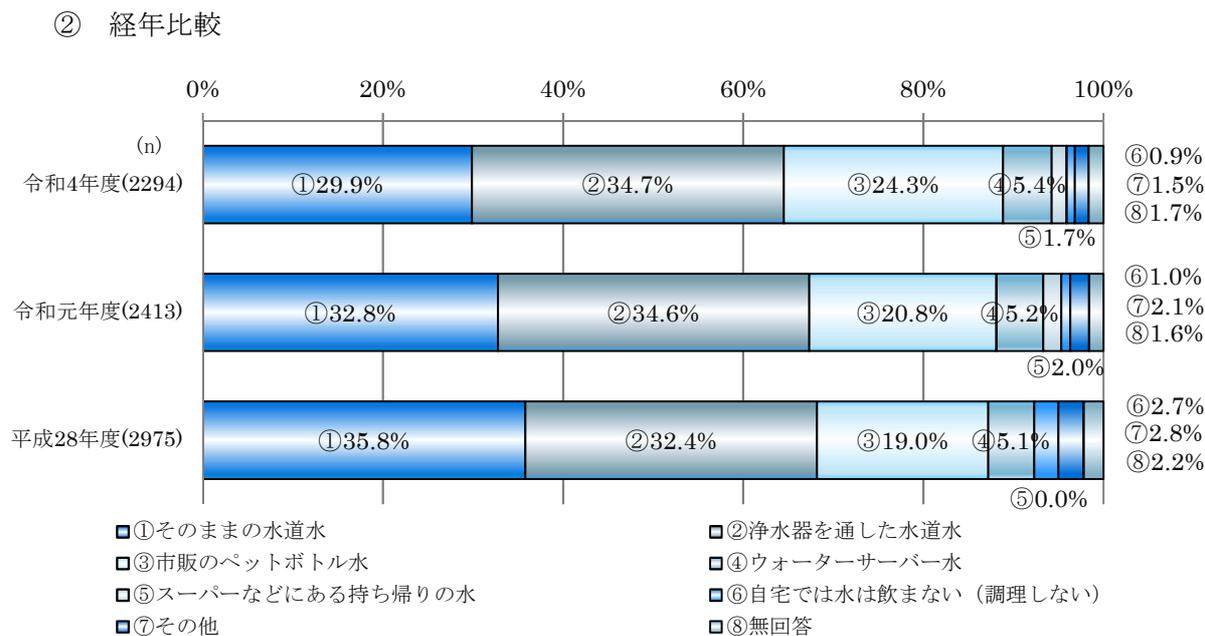
図表 35 飲料・調理用の水の種別【調理をする場合 年代別】



図表35 飲料・調理用の水の種別【調理をする場合 年代別】

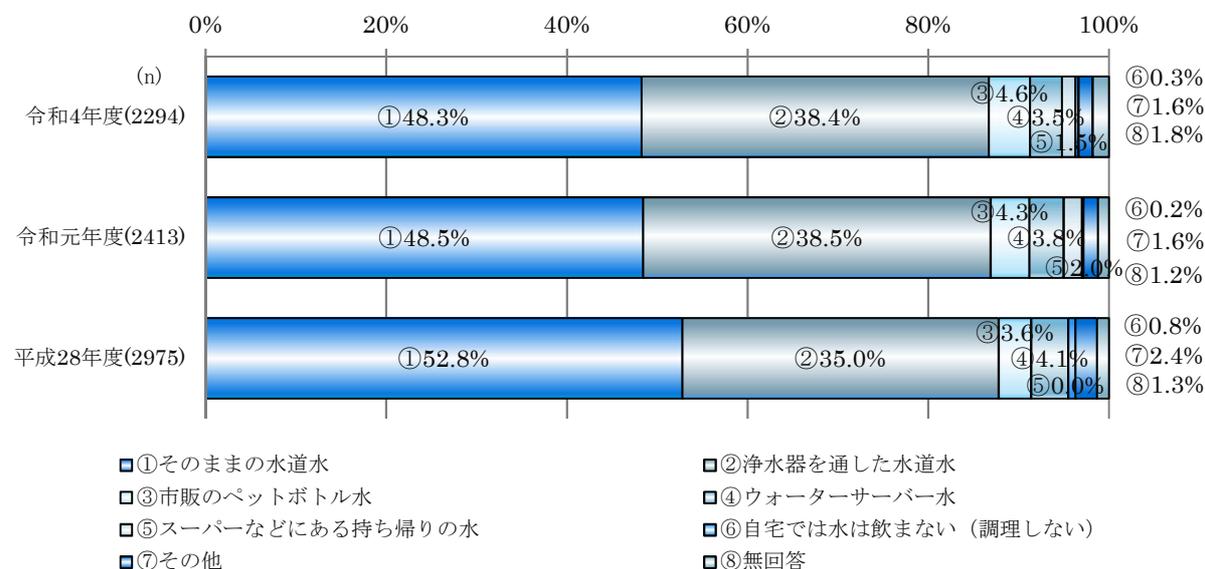
「調理をする場合」を年代別にみると、いずれの年代も「そのままの水道水」を使う割合が高く、特に70歳以上では74.1%と最も高い。次いで20代が66.2%となっている。

図表 36 飲料・調理用の水の種別【水をそのまま飲む場合 経年比較】



図表36 飲料・調理用の水の種別【水をそのまま飲む場合 経年比較】

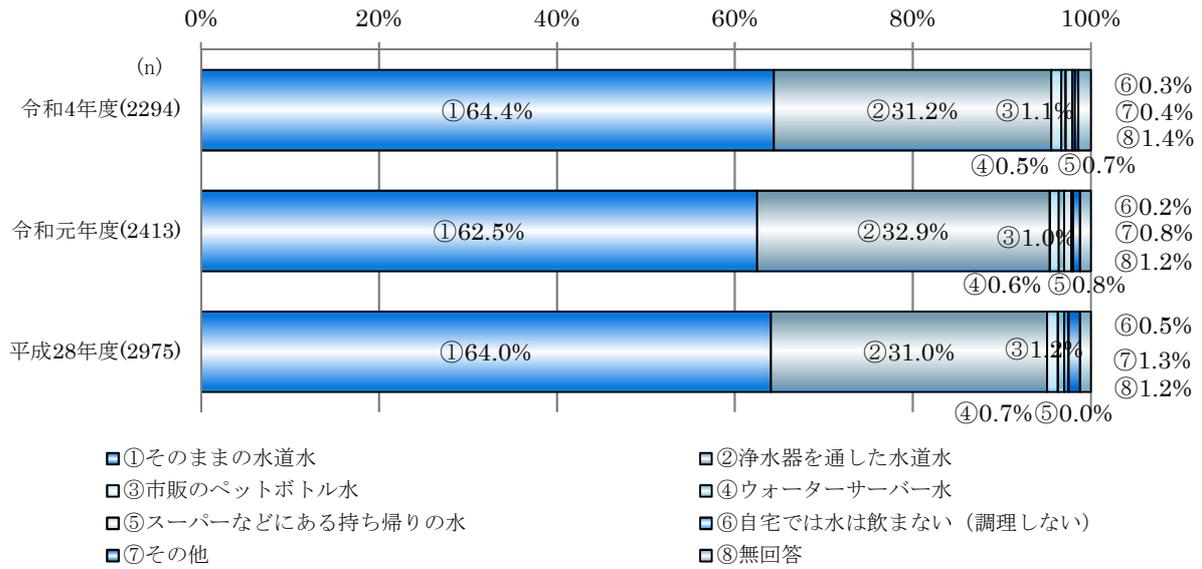
水をそのまま飲む場合では、平成28年度から令和4年度にかけて「市販のペットボトル水」（平成28年度19.0%→令和元年度20.8%→令和4年度24.3%）の割合が5.3ポイント高くなっている。



図表37 飲料・調理用の水の種別【お茶・コーヒー等をいれる場合 経年比較】

お茶・コーヒー等をいれる場合では、「そのままの水道水」を使用する割合が平成28年度から令和元年度で4.3ポイント、令和元年度から令和4年度で0.2ポイント減少した。

図表 38 飲料・調理用の水の種別 【調理をする場合 経年比較】



図表38 飲料・調理用の水の種別 【調理をする場合 経年比較】

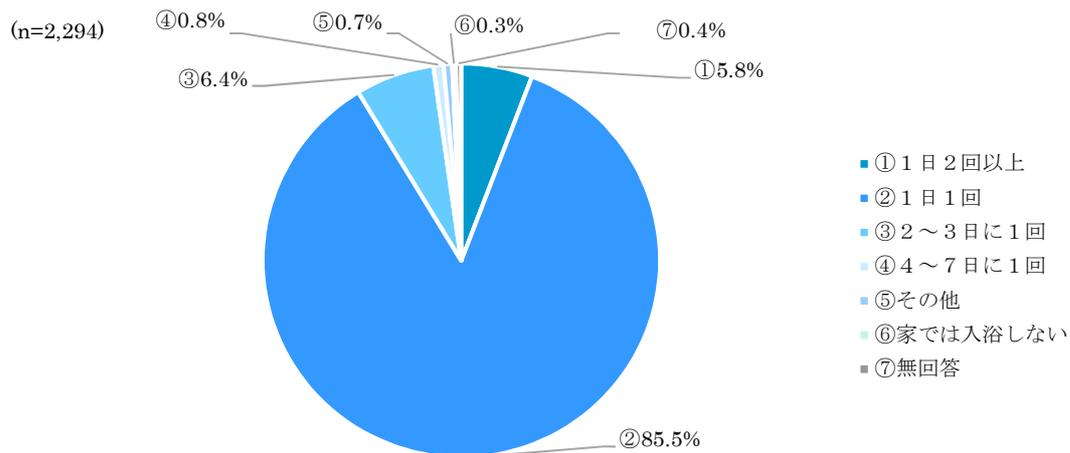
調理をする場合では、平成 28 年度から令和 4 年度で「そのままの水道水」（平成 28 年度 64.0% →令和元年度 62.5%→令和 4 年度 64.4%）を使用する割合はいずれも約 6 割と高く、大きな変動はみられない。

(3) 入浴の頻度

【問6】あなたは、1日あたり何回くらい自宅で入浴（シャワーのみを含む）しますか。（夏と冬で回数異なる方は、年間の平均回数でお答えください。）（1つだけ選び、○をつけてください。）

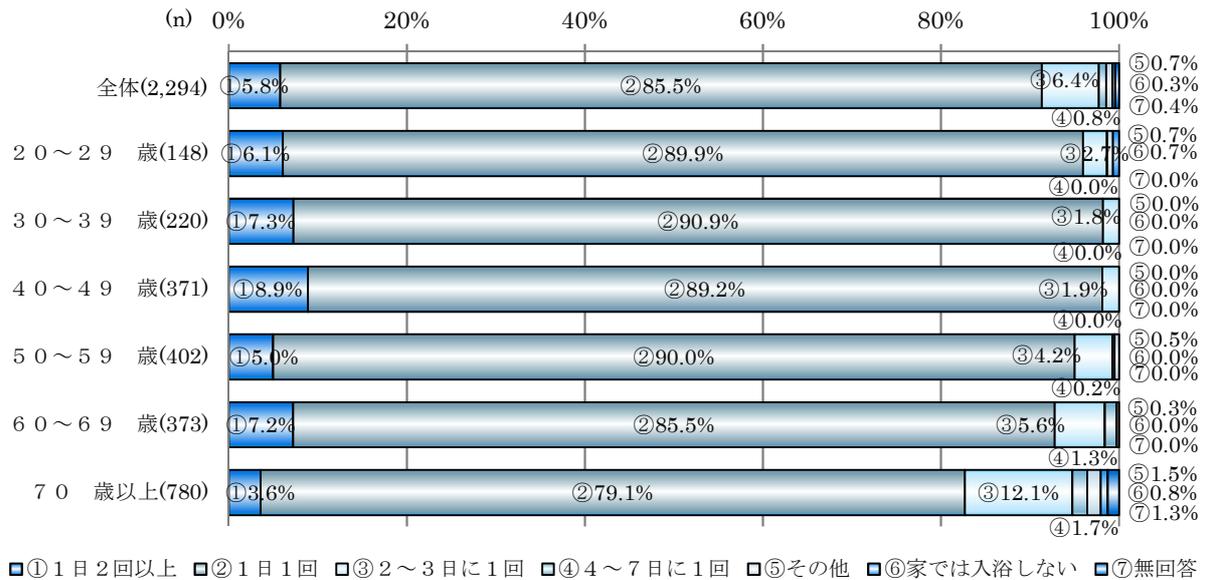
- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1日2回以上 | 2. 1日1回 |
| 3. 2～3日に1回 | 4. 4～7日に1回 |
| 5. その他 | 6. 家では入浴しない |

① 単純集計・属性別集計



図表39 入浴頻度【単数回答】

入浴頻度は、「1日1回」が85.5%と最も高い。



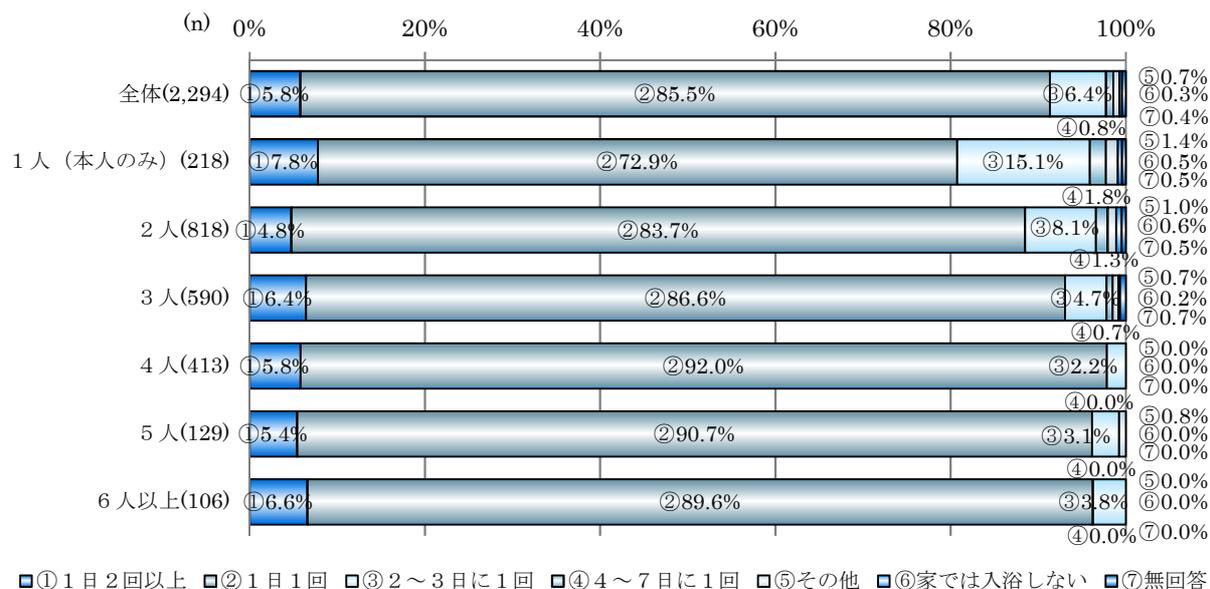
図表40 入浴頻度【年代別】

年代別にみると、「1日1回」は20代~50代で約9割となったが、60代では85.5%、70歳以上では79.1%となり、年代があがるにつれて入浴頻度が概ね低下する傾向がみられる。



図表41 入浴頻度【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】

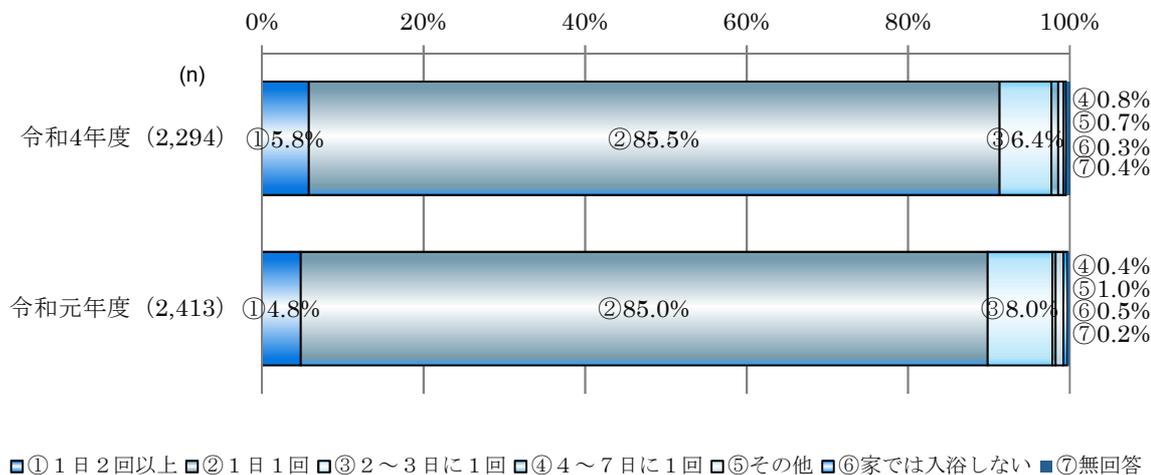
年代別(60歳以上・未満)及び同居者有無別にみると、「1日1回」入浴する割合は、60歳以上、60歳未満ともに、同居者ありの方が割合は高い。



図表42 入浴頻度【家族人数別】

家族人数別にみると、単身世帯、2人世帯では他の世帯と比べ「2～3日に1回」の割合が高く、3人以上の世帯では「1日1回」が約9割と高い。

② 経年比較



図表43 入浴頻度【経年比較】

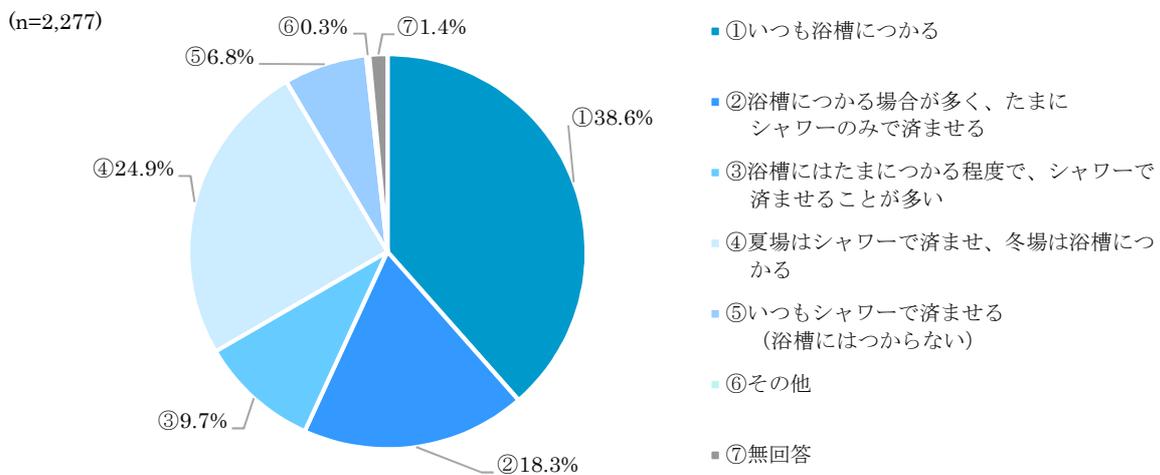
「1日1回」の割合は、令和元年度から令和4年度で、0.5ポイント増加した。

(4) 入浴方法

【問6-1】あなたは、どのように入浴していますか。(1つだけ選び、○をつけてください。)

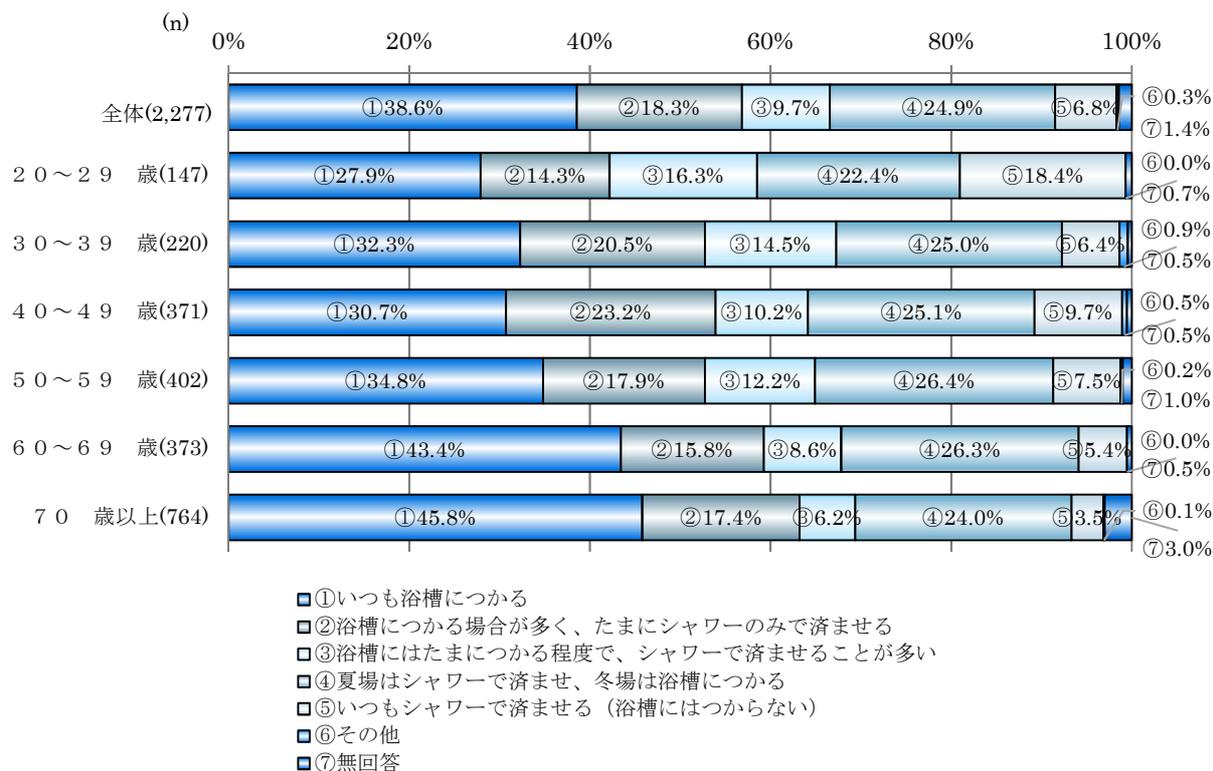
1. いつも浴槽につかる
2. 浴槽につかる場合が多く、たまにシャワーのみで済ませる
3. 浴槽にはたまにつかる程度で、シャワーで済ませることが多い
4. 夏場はシャワーで済ませ、冬場は浴槽につかる
5. いつもシャワーで済ませる(浴槽にはつからない)
6. その他

① 単純集計・属性別集計



図表44 入浴方法【単数回答】

「いつも浴槽につかる」が 38.6%と最も高い。次いで「夏場はシャワーで済ませ、冬場は浴槽につかる」が 24.9%、「浴槽につかる場合が多く、たまにシャワーのみで済ませる」が 18.3%となっている。

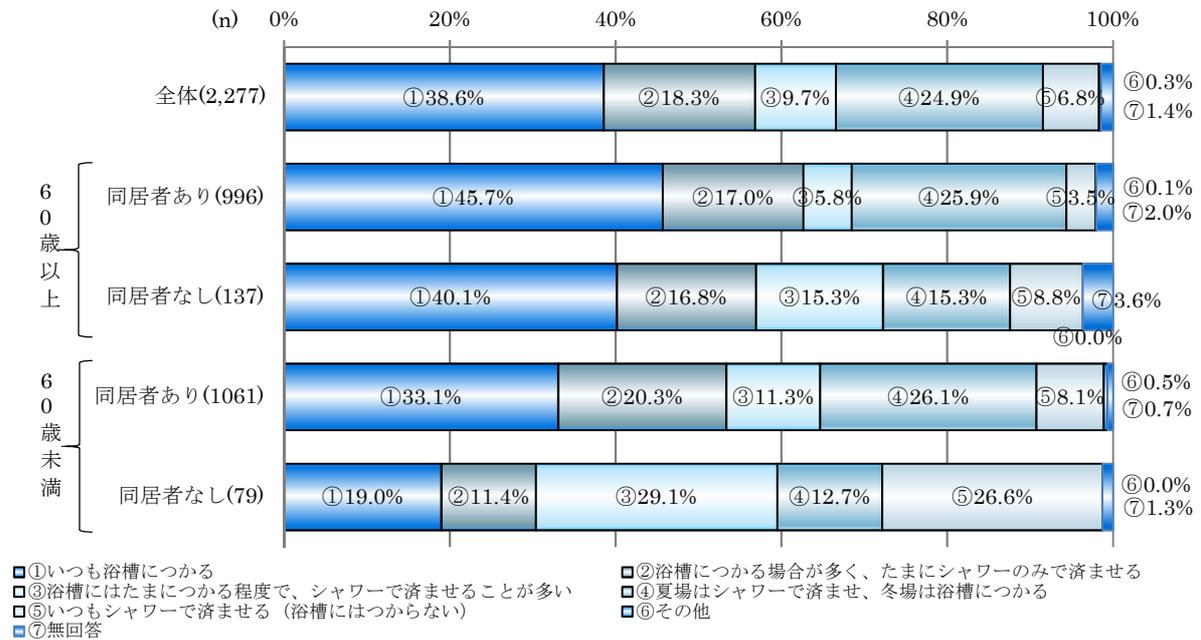


図表45 入浴方法【年代別】

年代別にみると、40代以上は、年代が高くなるにつれて「いつも浴槽につかる」が高くなる傾向がみられる。

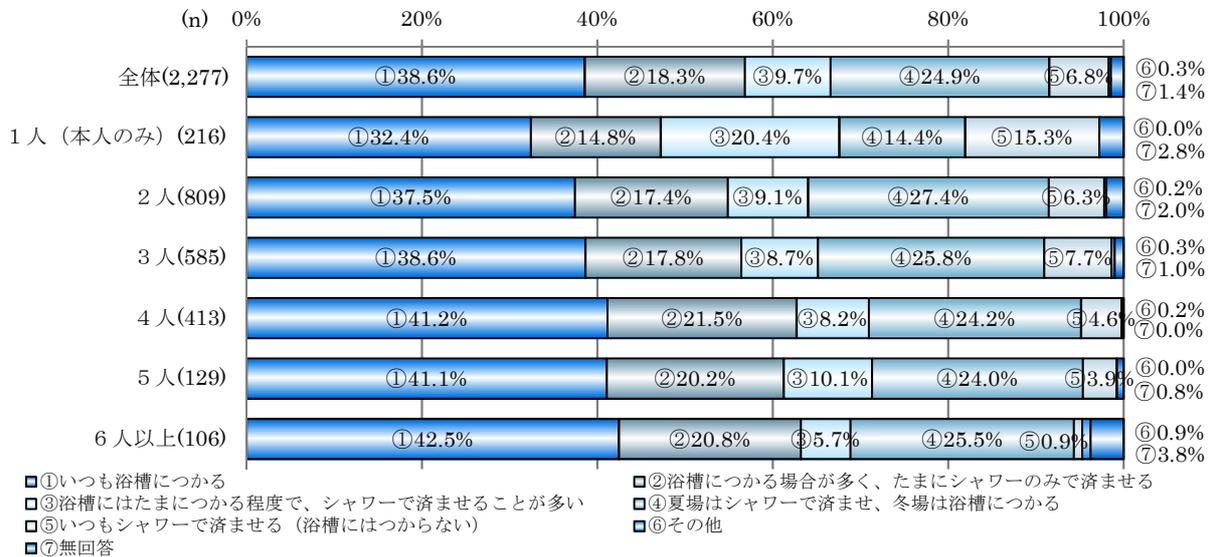
一方、「浴槽にはたまにつかる程度で、シャワーで済ませることが多い」は20代で16.3%と他の年代と比べて高い。

図表 46 入浴方法【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】



図表46 入浴方法【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】

年代別(60歳以上・未満)及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに、同居者ありの方が「いつも浴槽につかる」割合が高い。

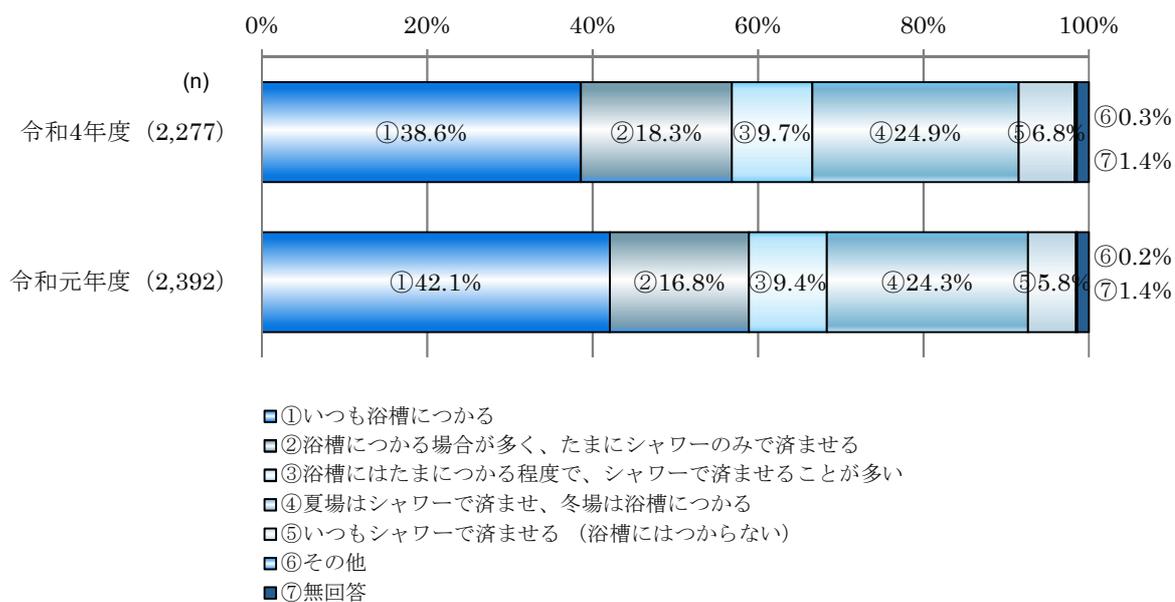


図表47 入浴方法【家族人数別】

家族人数別にみると、「いつも浴槽につかる」は、家族人数が多くなるほど高くなる傾向がみられる。

また、単身世帯では「浴槽にはたまにつかる程度で、シャワーで済ませることが多い」が20.4%と他の世帯よりも高い。

② 経年比較



図表48 入浴方法【経年比較】

「いつも浴槽につかる」の割合が令和元年度から令和4年度で、3.5ポイント減少した。

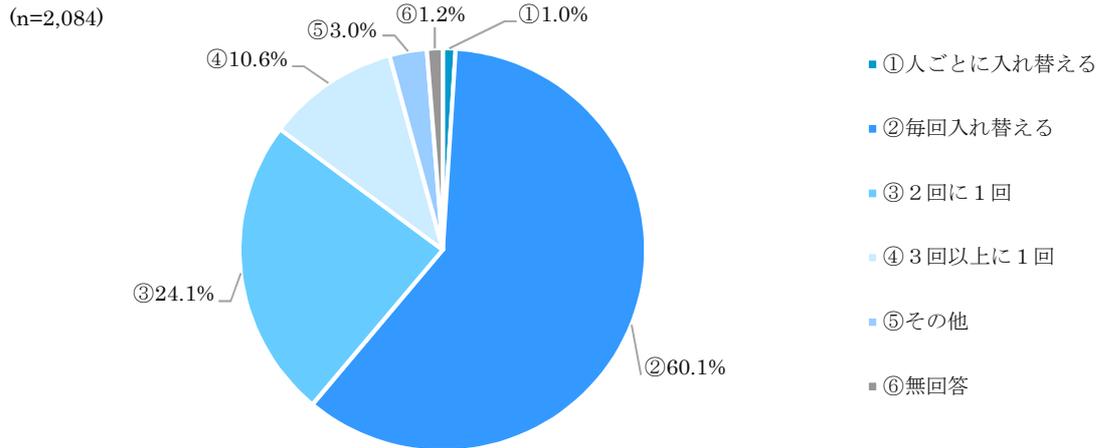
(5) 浴槽の湯を入れ替える頻度

【問 6-2】 あなたのご家庭では、どれくらいの頻度で浴槽のお湯を入れ替えますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

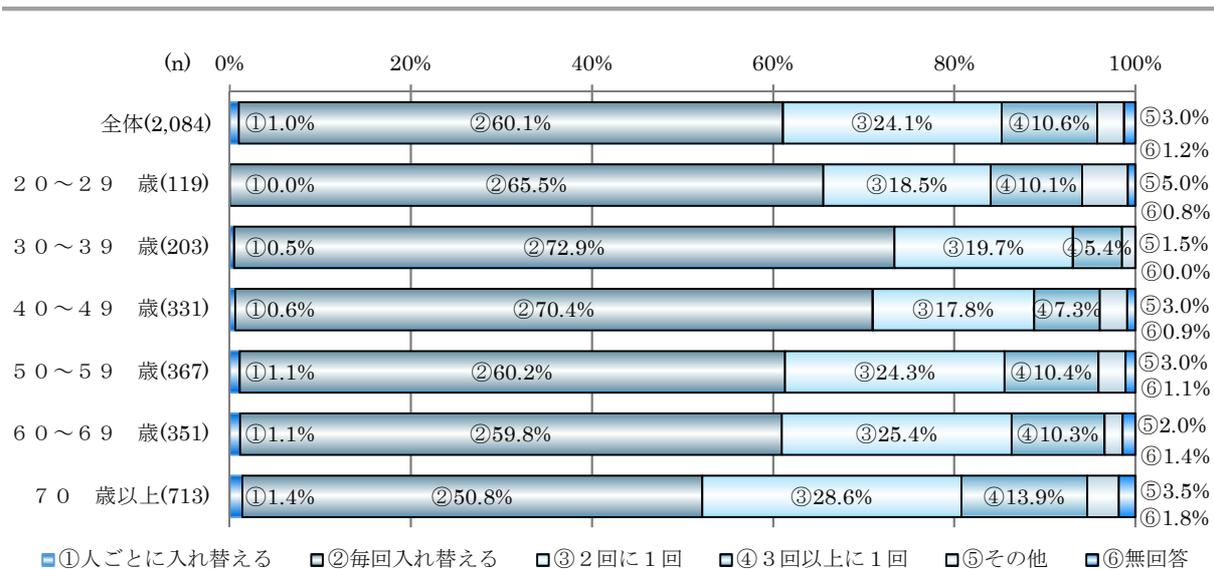
- | | |
|--------------|------------|
| 1. 人ごとに入れ替える | 2. 毎回入れ替える |
| 3. 2回に1回 | 4. 3回以上に1回 |
| 5. その他 | |

① 単純集計・属性別集計



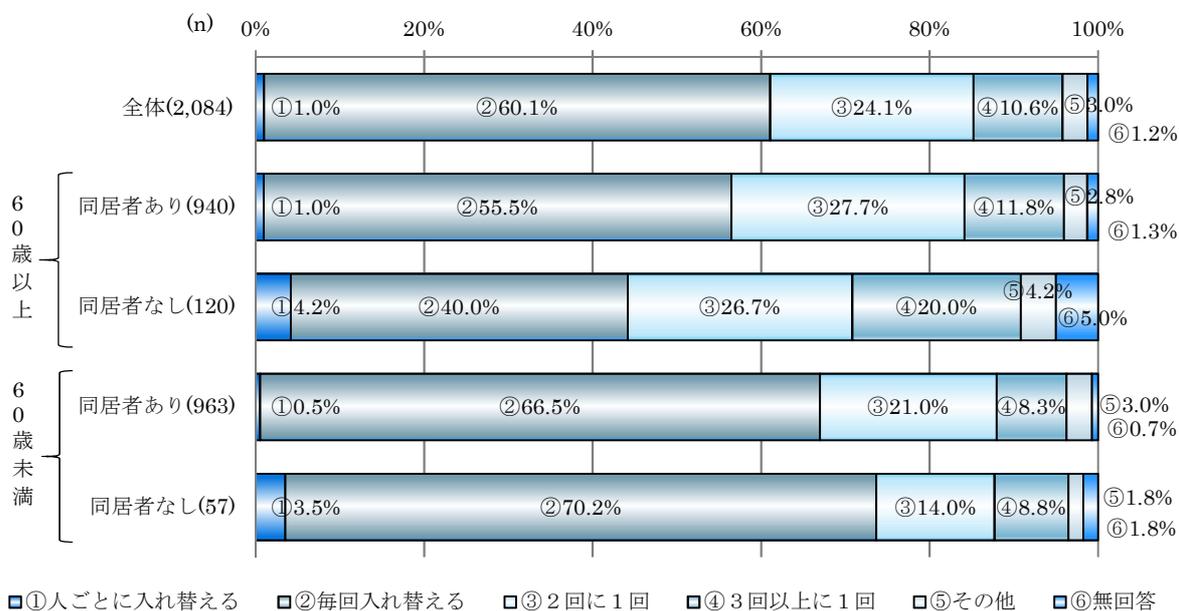
図表49 浴槽の湯の入れ替え頻度【単数回答】

「毎回入れ替える」が60.1%と最も高い。次いで「2回に1回」が24.1%、「3回以上に1回」が10.6%となっている。



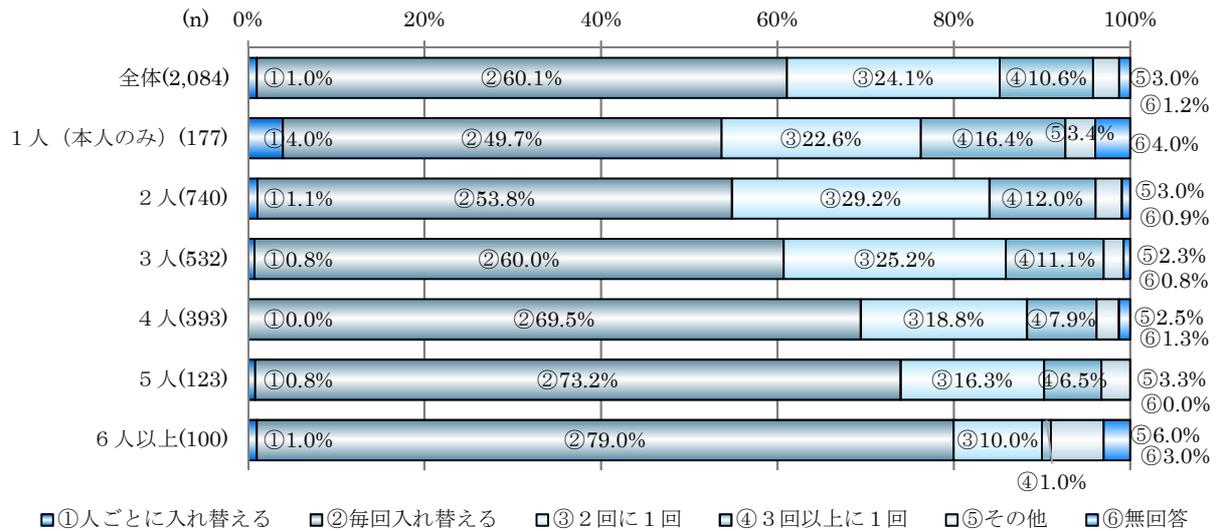
図表50 浴槽の湯の入れ替え頻度【年代別】

年代別にみると、30代以上は、年代が高くなるにつれて「毎回入れ替える」の割合が低くなる。一方で、「2回に1回」の割合が高くなる傾向がみられる。



図表51 浴槽の湯の入れ替え頻度【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

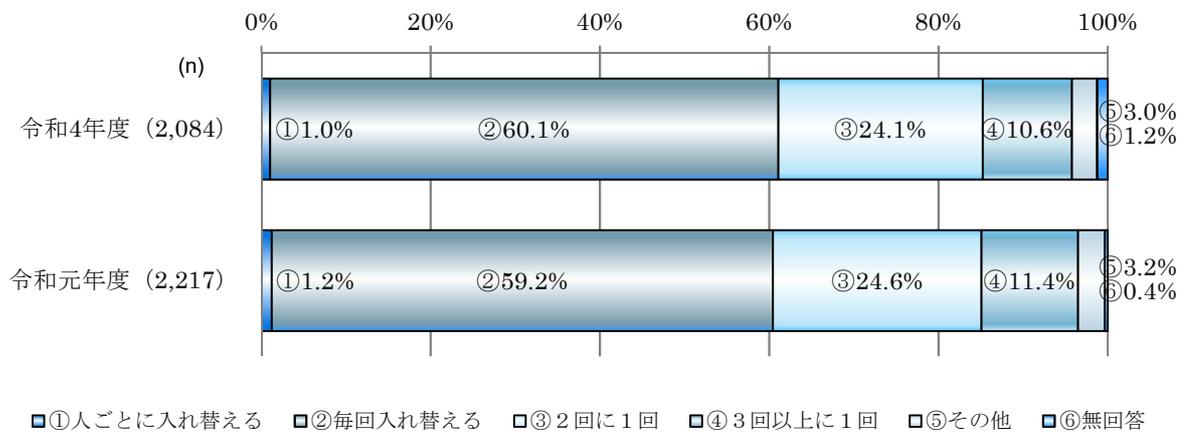
年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上では、同居者ありの方が「毎回入れ替える」の割合が高いが、60歳未満では、同居者なしの方が高い。



図表52 浴槽の湯の入れ替え頻度【家族人数別】

家族人数別にみると、家族人数が多くなるにつれて「毎回入れ替える」の割合が高くなり、「2回に1回」や「3回以上に1回」の割合が低くなる傾向がみられる。

② 経年比較



図表53 浴槽の湯の入れ替え頻度【経年比較】

「毎回入れ替える」の割合が令和元年度から令和4年度で、0.9ポイント増加したが、全体として大きな変化はみられない。

(6) 調理の頻度

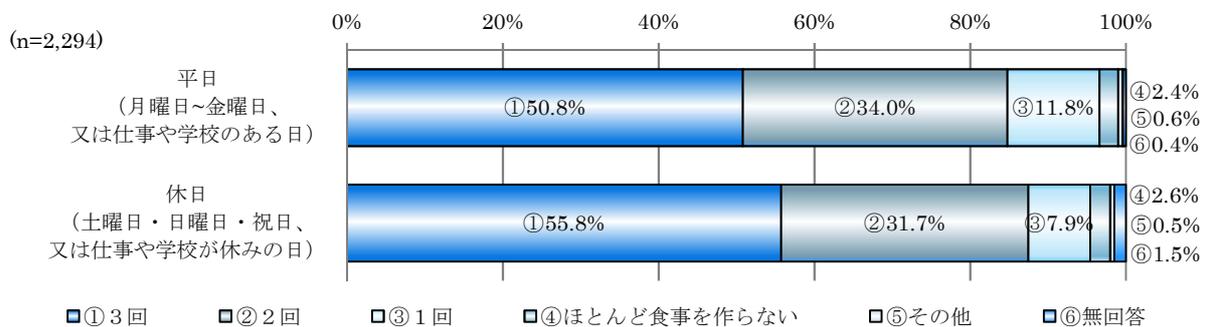
【問7】 各家庭における1日の調理回数についてお伺いします。あなたのご家庭では、1日あたり何回食事を作りますか。(あなた以外と一緒に暮らしている方が作る場合も含む) (A、Bについてそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

A：平日 (月曜日～金曜日、又は仕事や学校のある日)

B：休日 (土曜日・日曜日・祝日、又は仕事や学校が休みの日)

- 1. 3回
- 2. 2回
- 3. 1回
- 4. ほとんど食事を作らない
- 5. その他

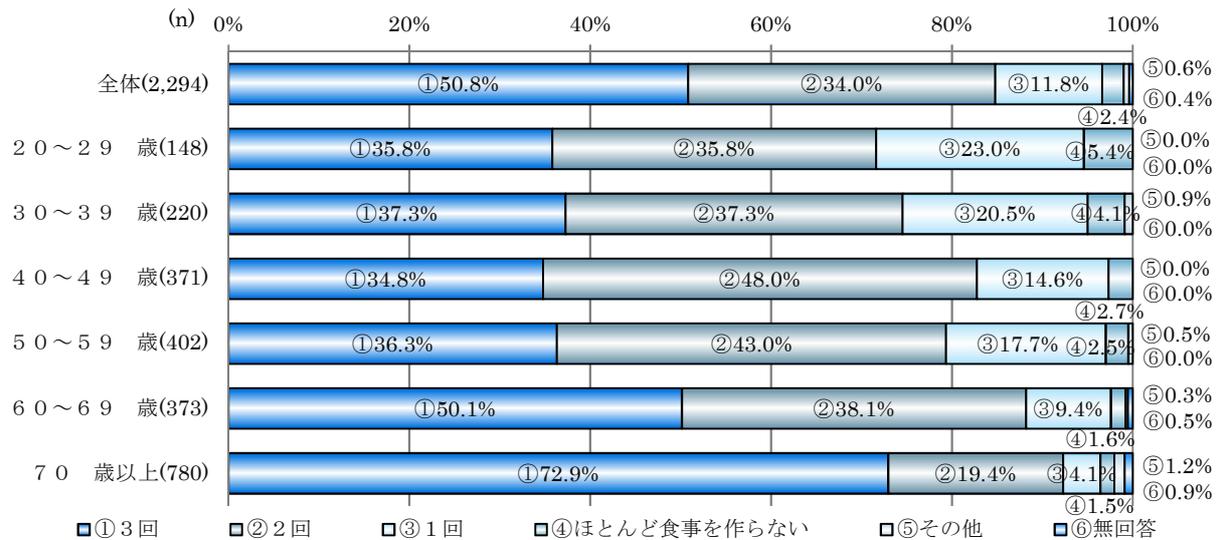
① 単純集計・属性別集計



図表54 調理頻度【平日：休日 単数回答】

平日の調理頻度は、「3回」が50.8%と最も高い。次いで「2回」が34.0%、「1回」が11.8%となっている。

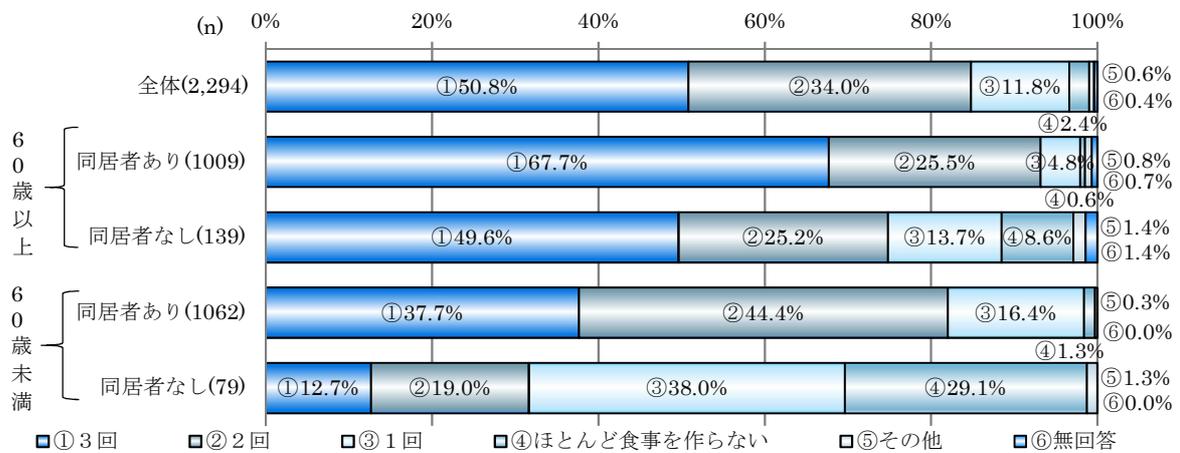
休日の調理頻度は、「3回」が55.8%と最も高く平日よりも高い。次いで「2回」が31.7%、「1回」が7.9%となっている。



図表55 調理頻度【A 平日：年代別】

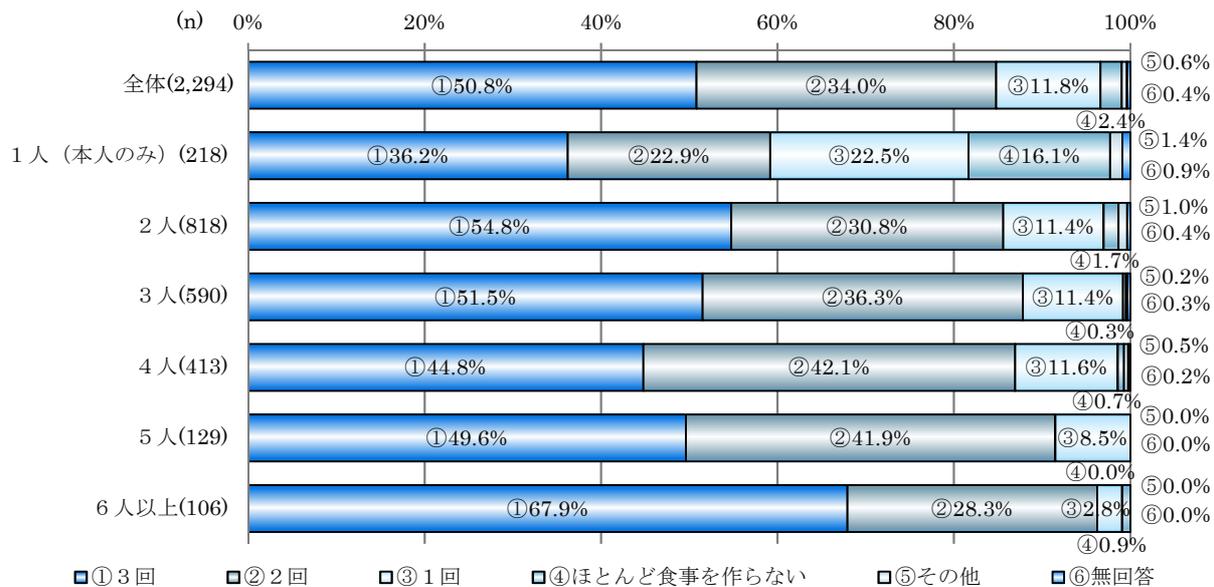
平日の調理頻度を年代別にみると、「3回」の割合が20代～50代では35%前後となるが、60代では50.1%、70歳以上では72.9%と高い傾向がみられる。

また、20代～30代では「1回」の割合が約2割と他の年代と比べて高い。



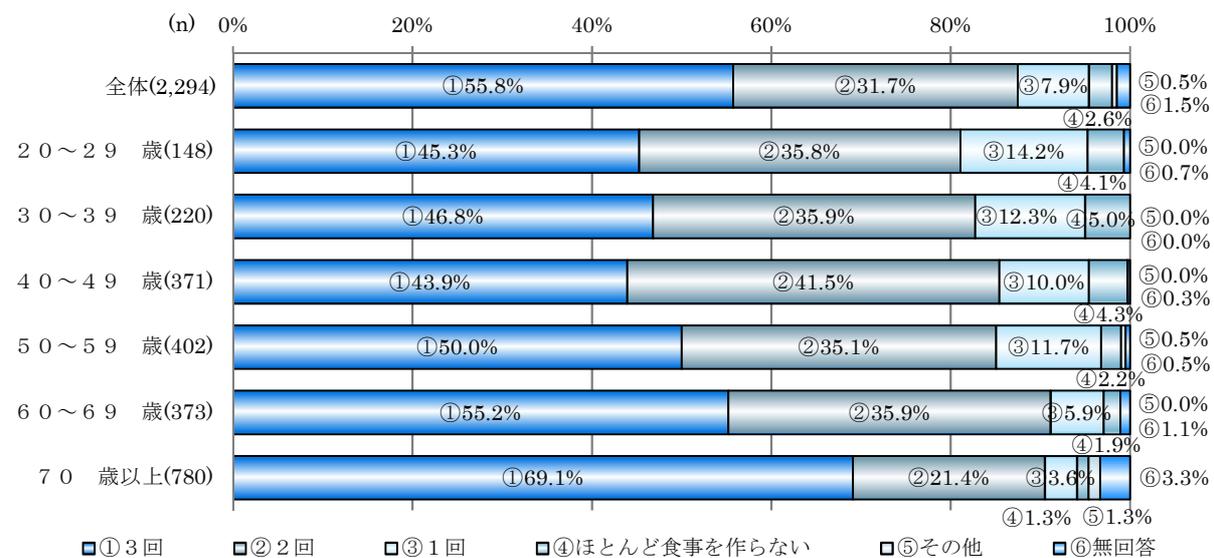
図表56 調理頻度【A 平日：年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

平日の調理頻度を年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに、同居者ありの方が調理頻度は高い傾向がみられる。



図表57 調理頻度【A 平日：家族人数別】

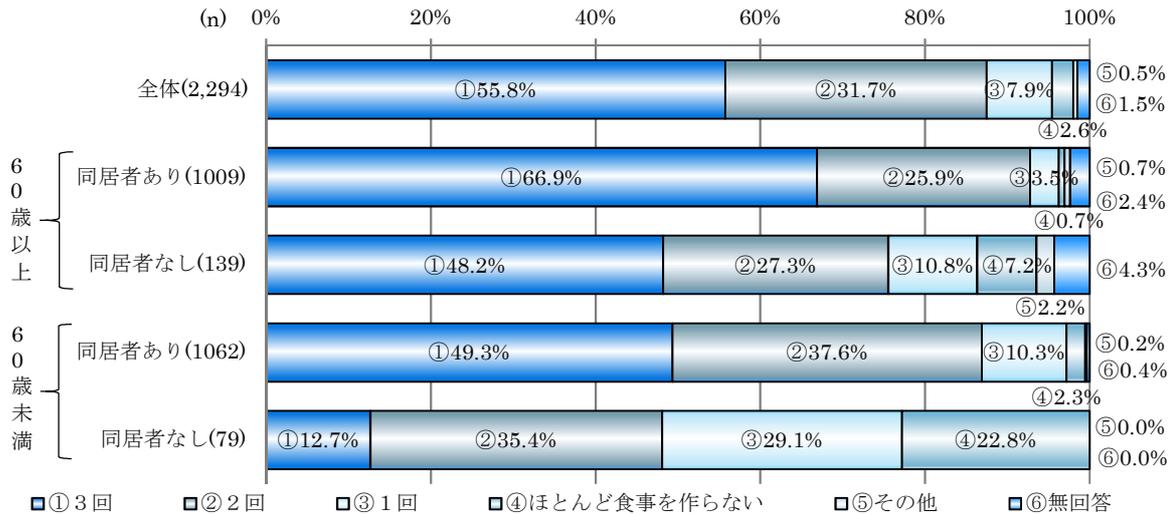
平日の調理頻度を家族人数別にみると、「3回」の割合は6人以上世帯で67.9%と最も高い。次いで2人世帯(54.8%)となる。単身世帯では36.2%と最も低い。



図表58 調理頻度【B 休日：年代別】

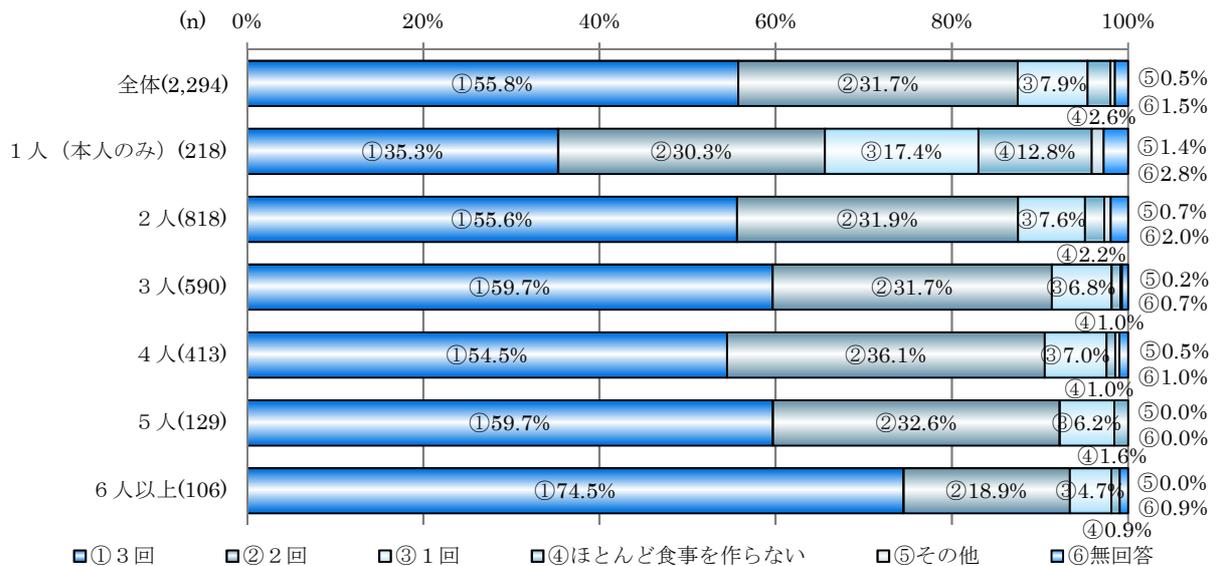
休日の調理頻度を年代別にみると、年代が高くなるにつれて「3回」の割合が概ね高くなる傾向がみられる。

図表 59 調理頻度【B 休日：年代別（60 歳以上・未満）×同居者有無別】



図表59 調理頻度【B 休日：年代別（60 歳以上・未満）×同居者有無別】

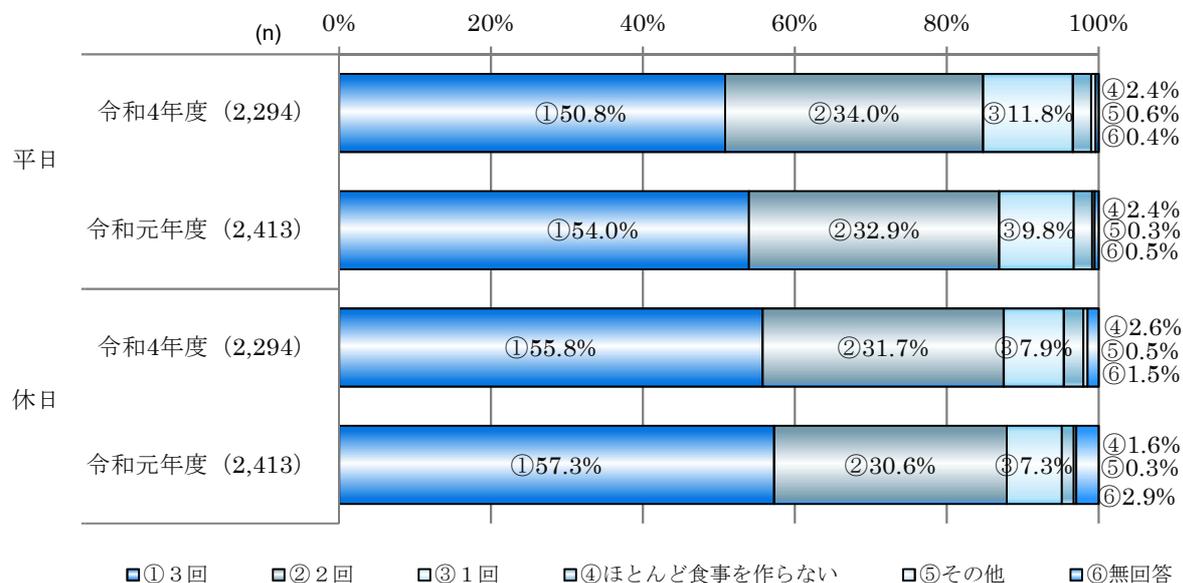
休日の調理頻度を年代別（60 歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60 歳以上、60 歳未満ともに、同居者ありの方が調理頻度は高い傾向がみられる。



図表60 調理頻度【B 休日：家族人数別】

平日の調理頻度を家族人数別にみると、「3回」の割合が最も高いのは6人以上世帯で74.5%であり、単身世帯では35.3%と最も低い。

② 経年比較



図表61 調理頻度【平日：休日 経年比較】

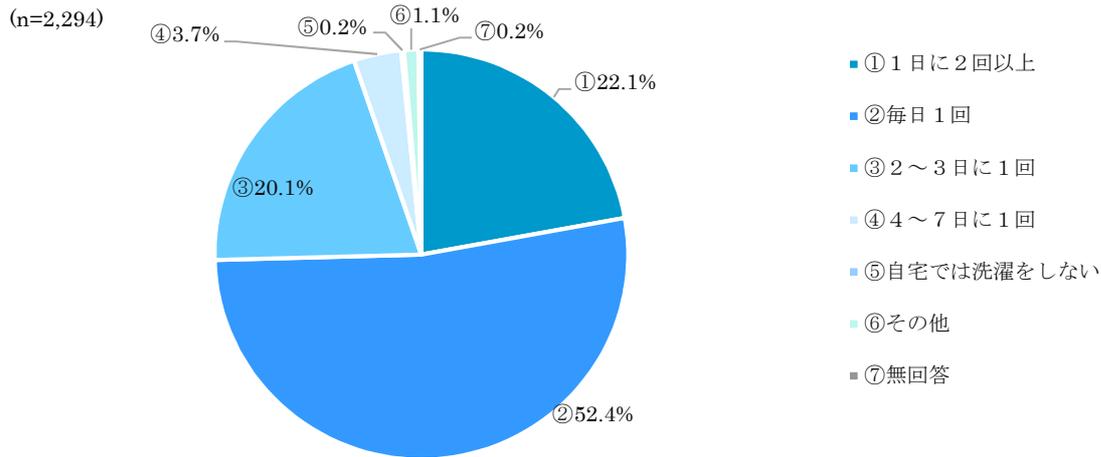
「3回」の割合は、令和元年度から令和4年度で、平日は3.2ポイント、休日は1.5ポイント減少した。

(7) 洗濯の頻度

【問 8】 あなたのご家庭では、どれくらいの頻度で洗濯をしますか。(あなた以外の一緒に暮らしている方が洗濯をする場合も含む) (1つだけ選び、○をつけてください。)

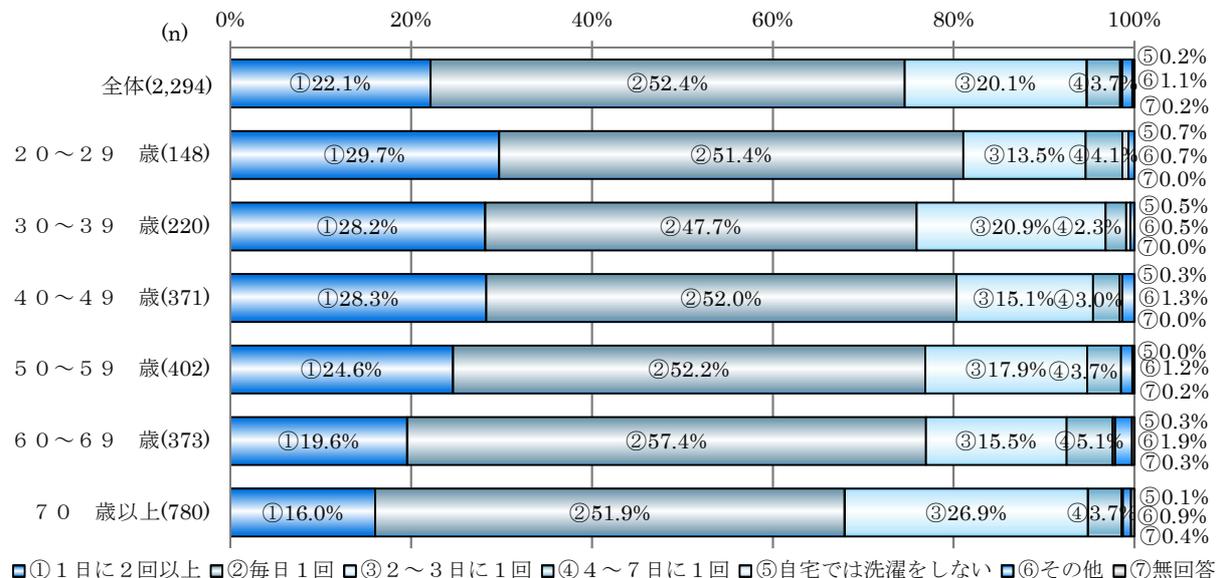
- | | |
|---------------|------------|
| 1. 1日に2回以上 | 2. 毎日1回 |
| 3. 2～3日に1回 | 4. 4～7日に1回 |
| 5. 自宅では洗濯をしない | 6. その他 |

① 単純集計・属性別集計



図表62 洗濯頻度【単数回答】

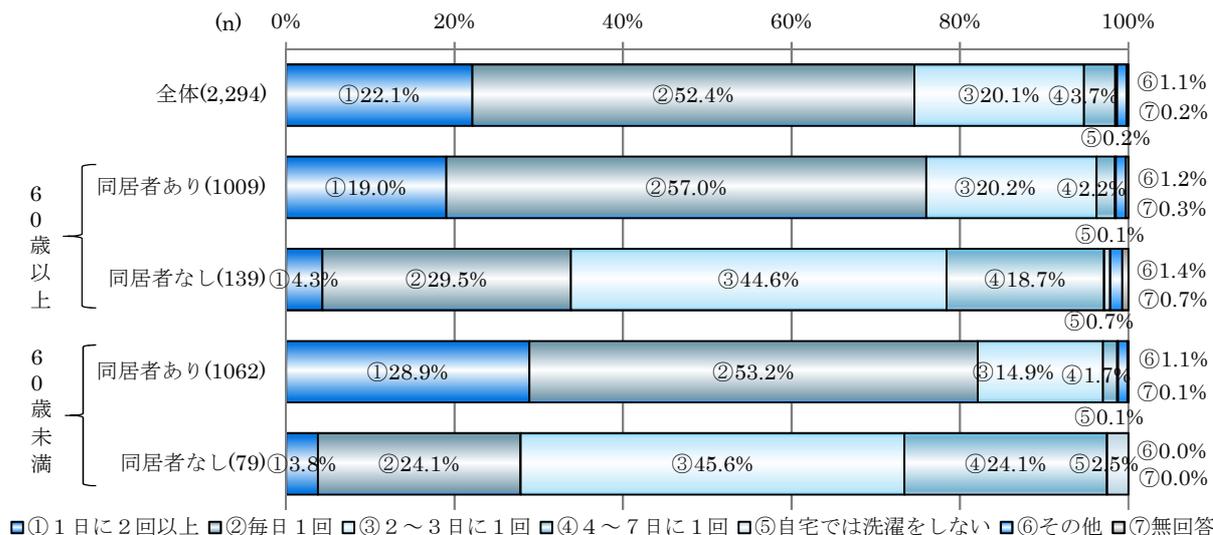
「毎日1回」が52.4%と最も高い。次いで「1日に2回以上」が22.1%、「2～3日に1回」が20.1%となっている。



図表63 洗濯頻度【年代別】

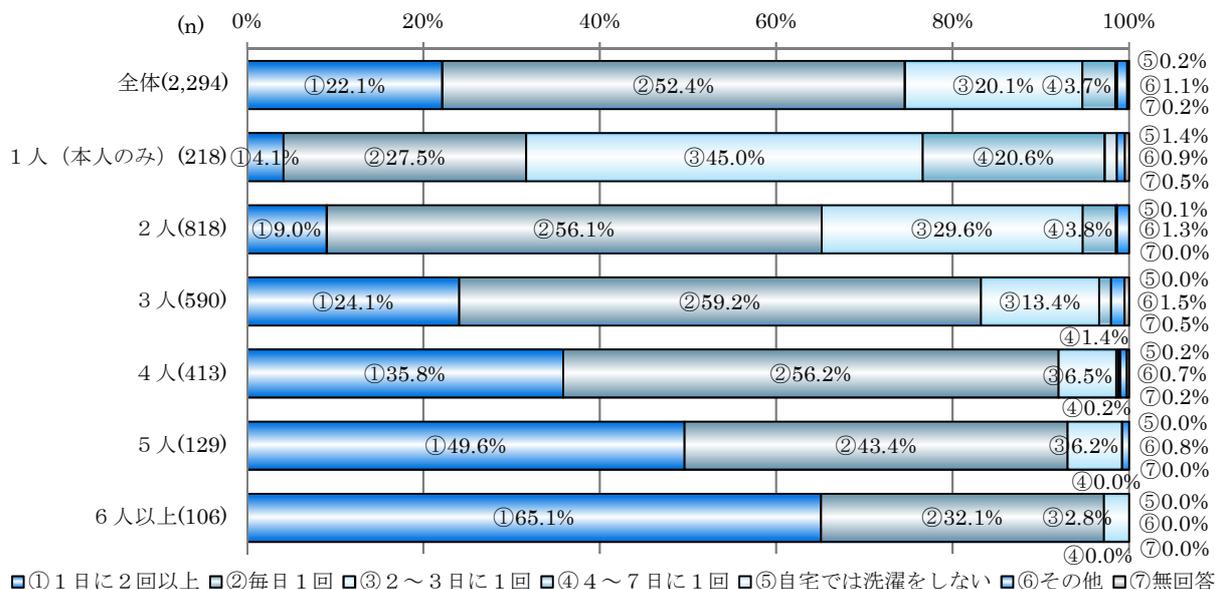
年代別にみると、「毎日1回」はいずれの年代でも5割前後で大きな差はみられないが、若年層ほど「1日に2回以上」が高くなる傾向がみられる。

図表 64 洗濯頻度【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】



図表64 洗濯頻度【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】

年代別(60歳以上・未満)及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに、同居者ありでは「毎日1回」の割合が半数を超えている。

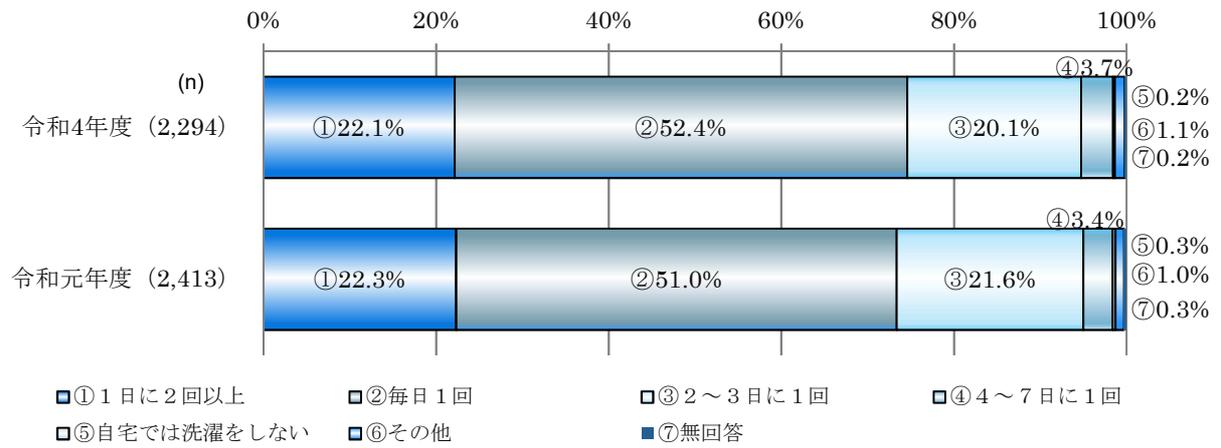


図表65 洗濯頻度【家族人数別】

家族人数別にみると、家族人数が多い世帯ほど「1日に2回以上」の割合が高くなる傾向があり、6人以上の世帯では65.1%と最も高い。

一方、単身世帯では「2～3日に1回」の割合が45.0%と高い。

② 経年比較



図表66 洗濯頻度【経年比較】

「毎日1回」の割合は、令和元年度から令和4年度で、1.4ポイント増加した。

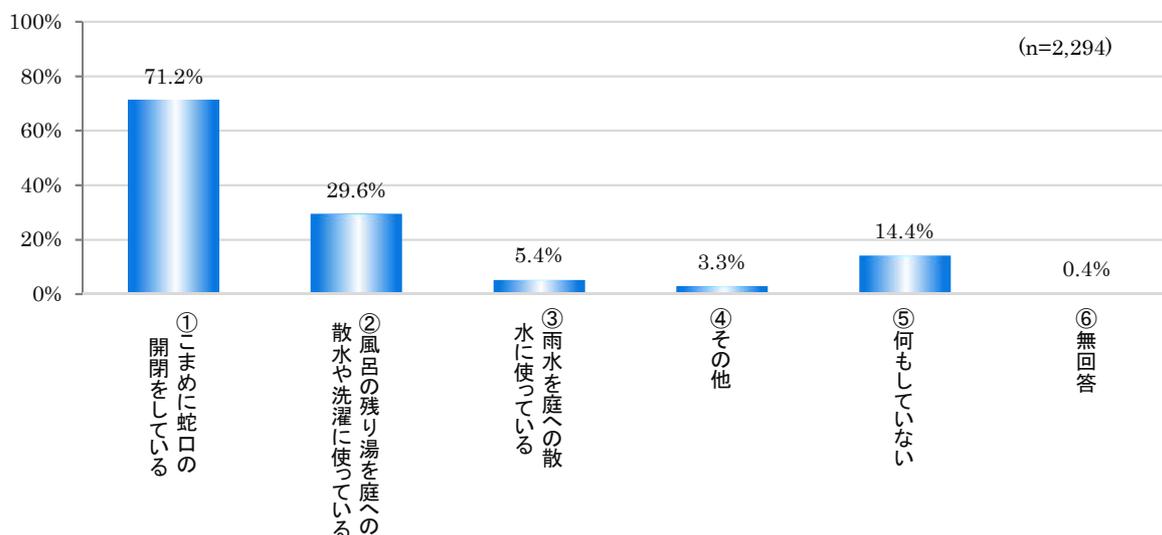
4 節水について

(1) 節水のための行動

【問9】 あなたが行っている節水のための行動とはどれですか。(節水型機器の使用以外の行動についてお答えください) (いくつでも選び、○をつけてください。)

1. こまめに蛇口の開閉をしている
2. 風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている
3. 雨水を庭への散水に使っている
4. その他
5. 何もしていない

① 単純集計・属性別集計



図表67 節水行動【複数回答】

「こまめに蛇口の開閉をしている」が71.2%と最も高い。次いで「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」が29.6%、「雨水を庭への散水に使っている」が5.4%となっている。「何もしていない」も14.4%みられる。

	全体	こまめに蛇口の開閉をしている	風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている	雨水を庭への散水に使っている	その他	何もしていない	無回答
全体	2294 100.0%	1633 71.2%	678 29.6%	125 5.4%	75 3.3%	330 14.4%	10 0.4%
20～29 歳	148 100.0%	104 70.3%	38 25.7%	1 0.7%	3 2.0%	31 20.9%	0 0.0%
30～39 歳	220 100.0%	150 68.2%	51 23.2%	6 2.7%	7 3.2%	42 19.1%	0 0.0%
40～49 歳	371 100.0%	248 66.8%	105 28.3%	13 3.5%	7 1.9%	61 16.4%	1 0.3%
50～59 歳	402 100.0%	276 68.7%	118 29.4%	18 4.5%	10 2.5%	65 16.2%	2 0.5%
60～69 歳	373 100.0%	273 73.2%	119 31.9%	28 7.5%	15 4.0%	42 11.3%	2 0.5%
70 歳以上	780 100.0%	582 74.6%	247 31.7%	59 7.6%	33 4.2%	89 11.4%	5 0.6%

図表68 節水行動【年代別】

年代別にみると、いずれの年代も「こまめに蛇口の開閉をしている」の割合が7割前後となる。また、「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」「雨水を庭への散水に使っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、「何もしていない」は若年層ほど高い。

	全体	こまめに蛇口の開閉をしている	風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている	雨水を庭への散水に使っている	その他	何もしていない	無回答	
全体	2294 100.0%	1633 71.2%	678 29.6%	125 5.4%	75 3.3%	330 14.4%	10 0.4%	
60歳以上	同居者あり	1009 100.0%	749 74.2%	341 33.8%	77 7.6%	42 4.2%	103 10.2%	6 0.6%
	同居者なし	139 100.0%	102 73.4%	22 15.8%	10 7.2%	5 3.6%	28 20.1%	1 0.7%
60歳未満	同居者あり	1062 100.0%	730 68.7%	303 28.5%	38 3.6%	26 2.4%	175 16.5%	3 0.3%
	同居者なし	79 100.0%	48 60.8%	9 11.4%	0 0.0%	1 1.3%	24 30.4%	0 0.0%

図表69 節水行動【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

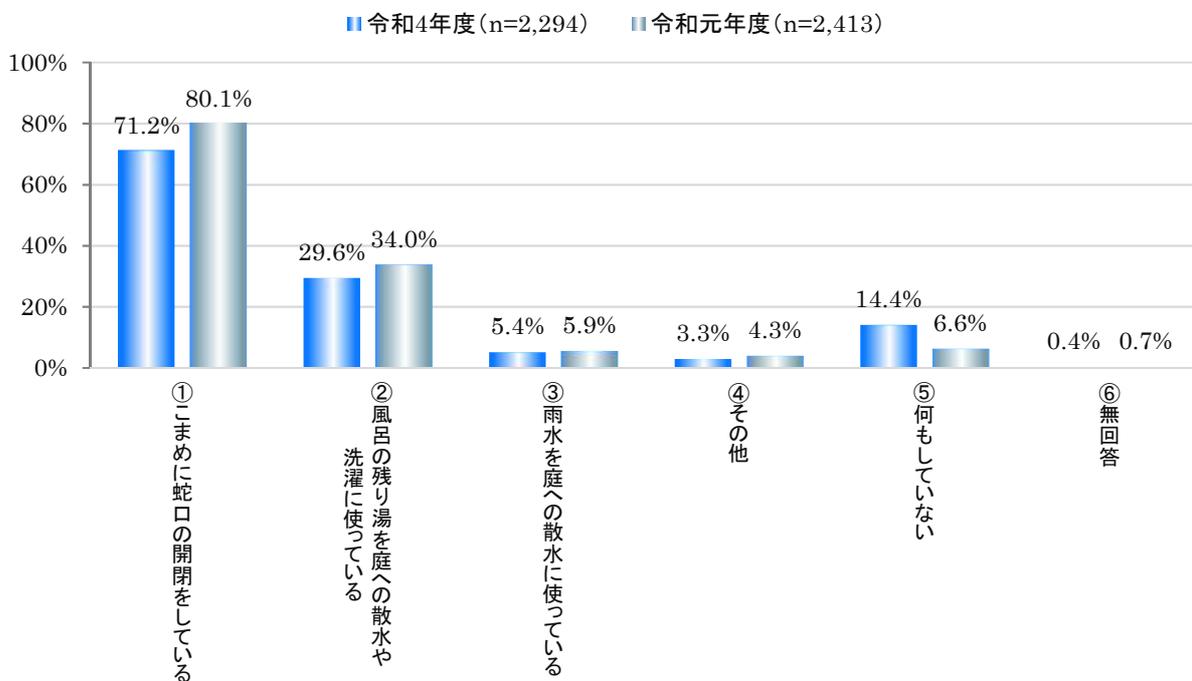
年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上では同居者あり、なしともに「こまめに蛇口の開閉をしている」の割合が約7割とほぼ同率（0.8ポイント差）であるが、60歳未満では、同居者ありの方が7.9ポイント高い。

	全体	こまめに蛇口の開閉をしている	風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている	雨水を庭への散水に使っている	その他	何もしていない	無回答
全体	2294 100.0%	1633 71.2%	678 29.6%	125 5.4%	75 3.3%	330 14.4%	10 0.4%
1人(本人のみ)	218 100.0%	150 68.8%	31 14.2%	10 4.6%	6 2.8%	52 23.9%	1 0.5%
2人	818 100.0%	611 74.7%	237 29.0%	50 6.1%	37 4.5%	102 12.5%	1 0.1%
3人	590 100.0%	418 70.8%	201 34.1%	30 5.1%	16 2.7%	79 13.4%	3 0.5%
4人	413 100.0%	276 66.8%	122 29.5%	22 5.3%	8 1.9%	66 16.0%	2 0.5%
5人	129 100.0%	87 67.4%	41 31.8%	11 8.5%	1 0.8%	22 17.1%	1 0.8%
6人以上	106 100.0%	75 70.8%	41 38.7%	1 0.9%	6 5.7%	8 7.5%	0 0.0%

図表70 節水行動【家族人数別】

家族人数別にみると、家族人数に関わらず「こまめに蛇口の開閉をしている」の割合が7割前後みられる。また、「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」の割合は6人以上世帯で38.7%と最も高い。「何もしていない」は単身世帯が23.9%と最も高い。

② 経年比較



図表71 節水行動【経年比較】

「こまめに蛇口の開閉をしている」の割合は、令和元年度から令和4年度で、8.9ポイント減少した。また、「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」の割合は、4.4ポイント減少した。

(2) 節水型機器の使用状況

【問10】 あなたのご家庭では、食器洗い機、節水型シャワー※1、節水型トイレ※2、ドラム式洗濯機などの節水型機器を使用していますか。(それぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

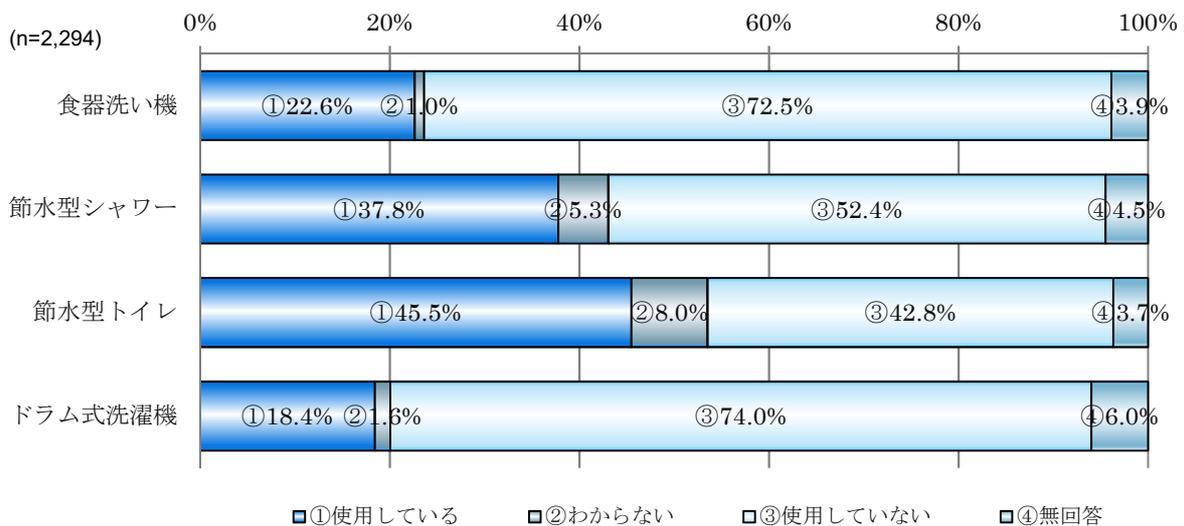
※1 節水型シャワー：手元に止水スイッチがあったり、水が出る穴が小さくなっているものです。

※2 節水型トイレ：2007年度以降に発売された型式は概ね節水型です。

1. 食器洗い機 2. 節水型シャワー 3. 節水型トイレ
 4. ドラム式洗濯機 5. その他

- ・使用している
- ・わからない
- ・使用していない

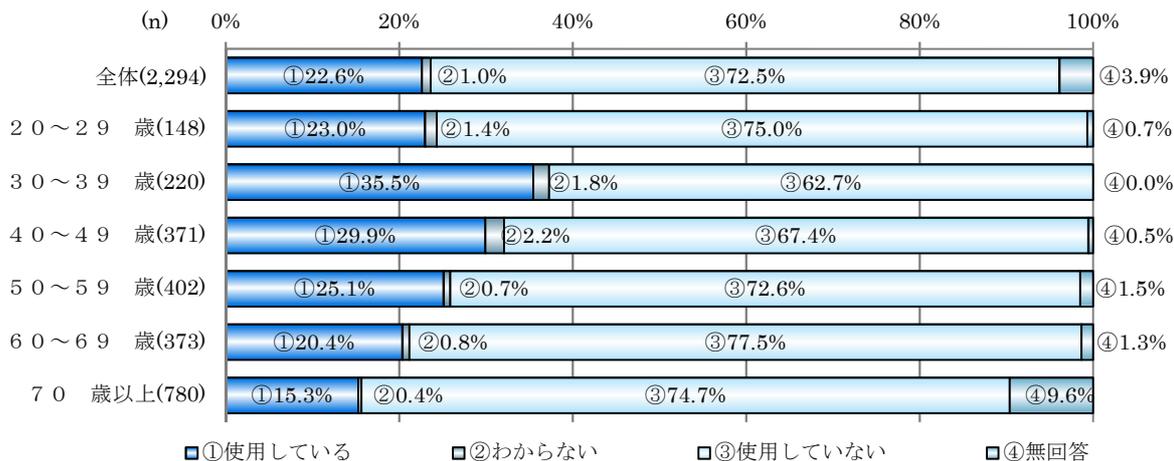
① 単純集計・属性別集計



図表72 節水型機器の使用状況【単数回答】

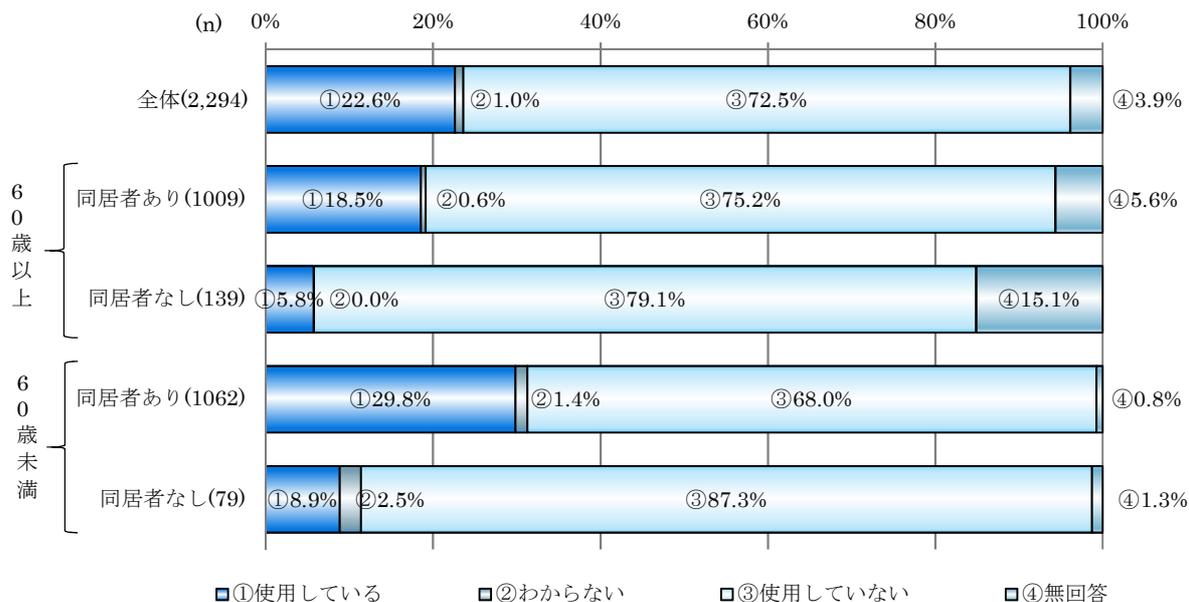
「使用している」と回答した割合が最も高いのは「節水型トイレ」で45.5%となった。次いで「節水型シャワー」の37.8%、「食器洗い機」の22.6%、「ドラム式洗濯機」の18.4%と続く。その他の節水型機器については、「縦型洗濯機」などがあつた。

図表 73 食器洗い機の使用状況【年代別】



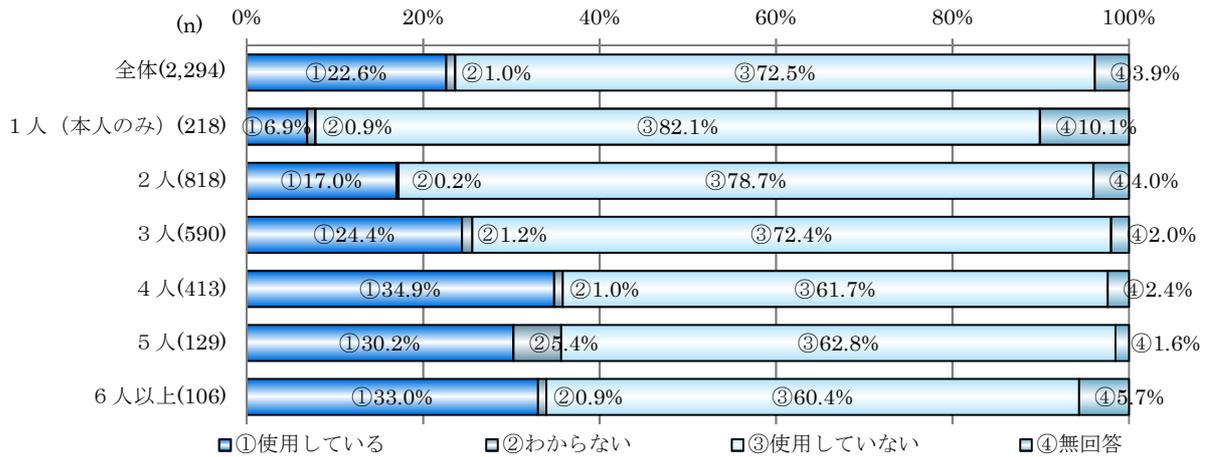
図表73 食器洗い機の使用状況【年代別】

食器洗い機の使用状況を年代別にみると、30代の使用率が35.5%と最も高く、30代以上は、年代が高くなるにつれて使用率は低下する傾向がみられる。



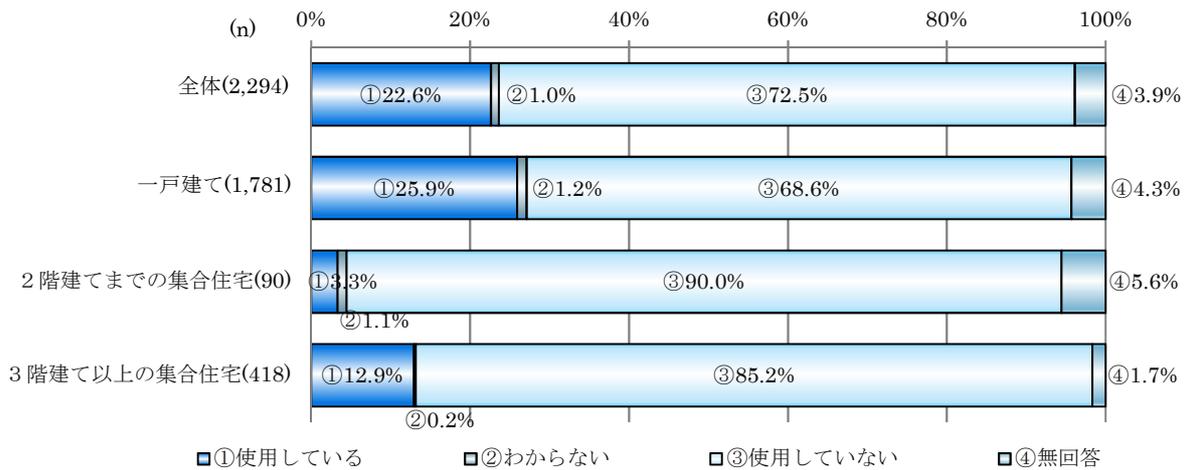
図表74 食器洗い機の使用状況【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】

食器洗い機の使用状況を年代別(60歳以上・未満)及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに、「使用していない」割合は同居者なしの方が高い。



図表75 食器洗い機の使用状況【家族人数別】

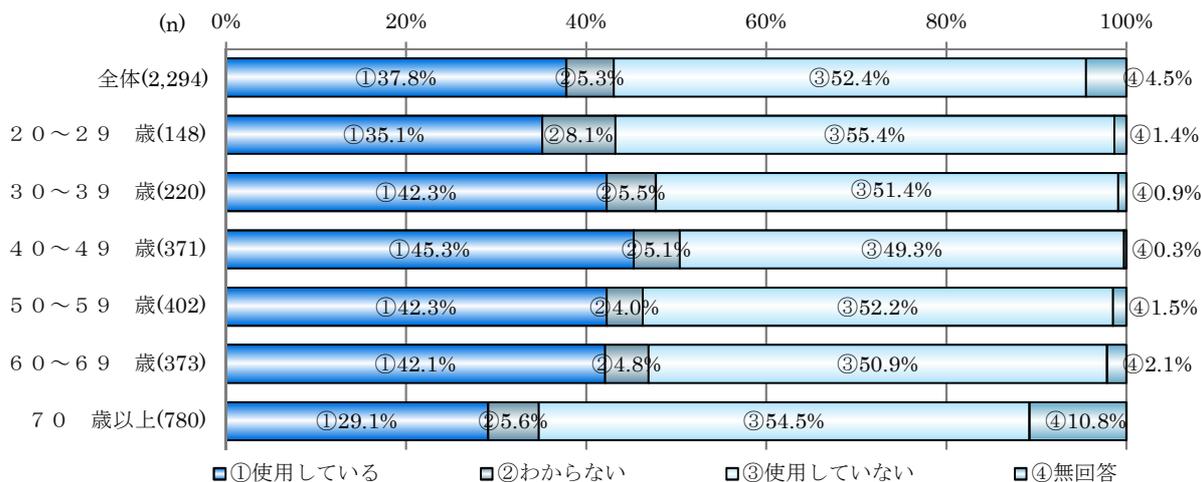
食器洗い機の使用状況を家族人数別にみると、家族人数が4人以上では、食器洗い機の使用率が3割以上と高い。



図表76 食器洗い機の使用状況【住居形態別】

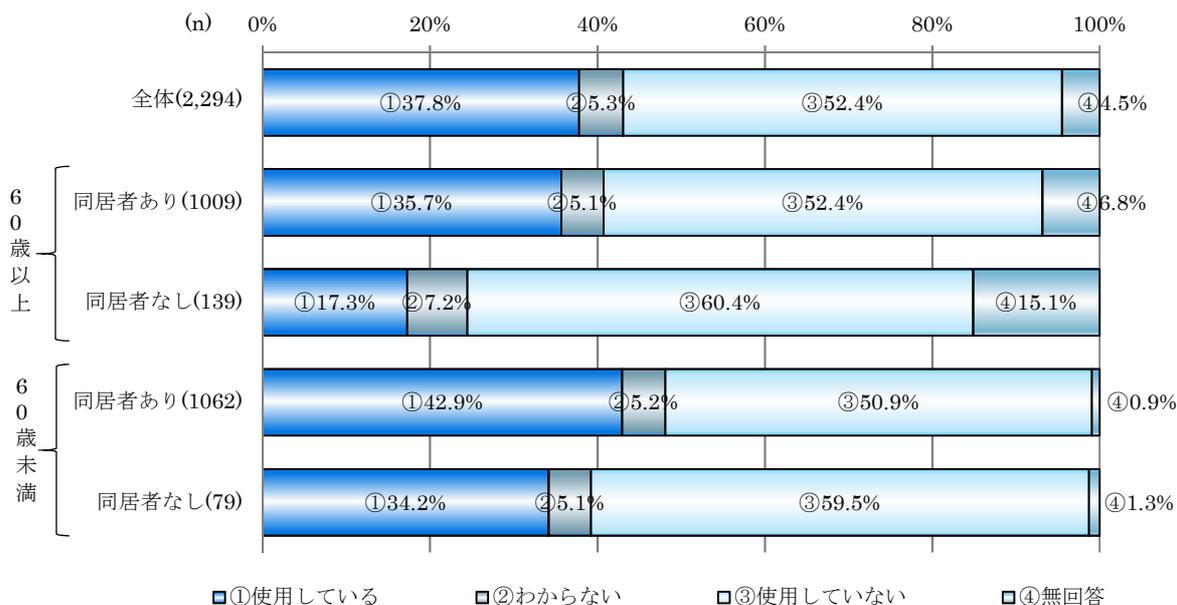
食器洗い機の使用状況を住居形態別にみると、一戸建て世帯では25.9%と集合住宅に比べて使用率が高い。

図表 77 節水型シャワーの使用状況【年代別】



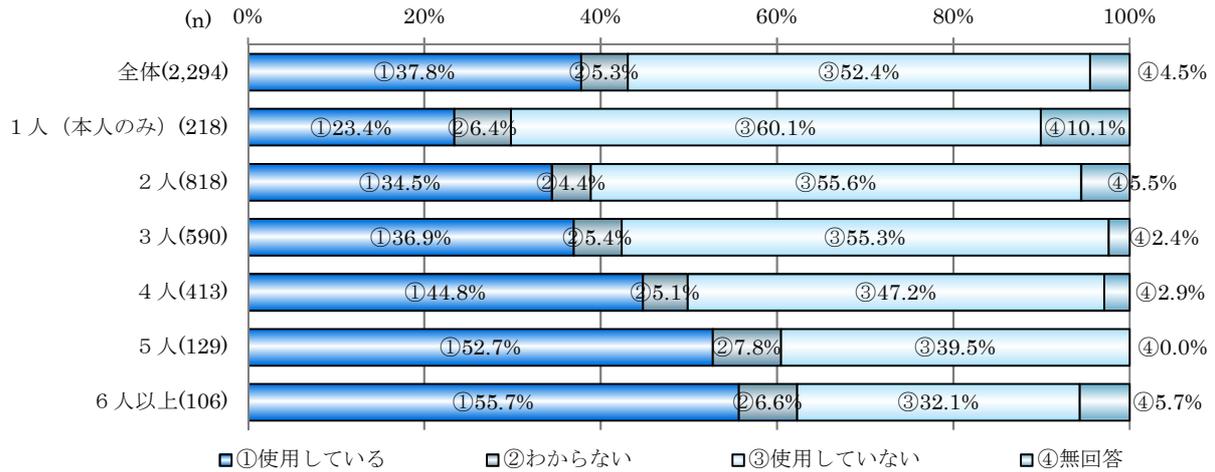
図表77 節水型シャワーの使用状況【年代別】

節水型シャワーの使用状況を年代別にみると、30代～60代の使用率が4割以上と高く、70歳以上では29.1%と使用率は低い。



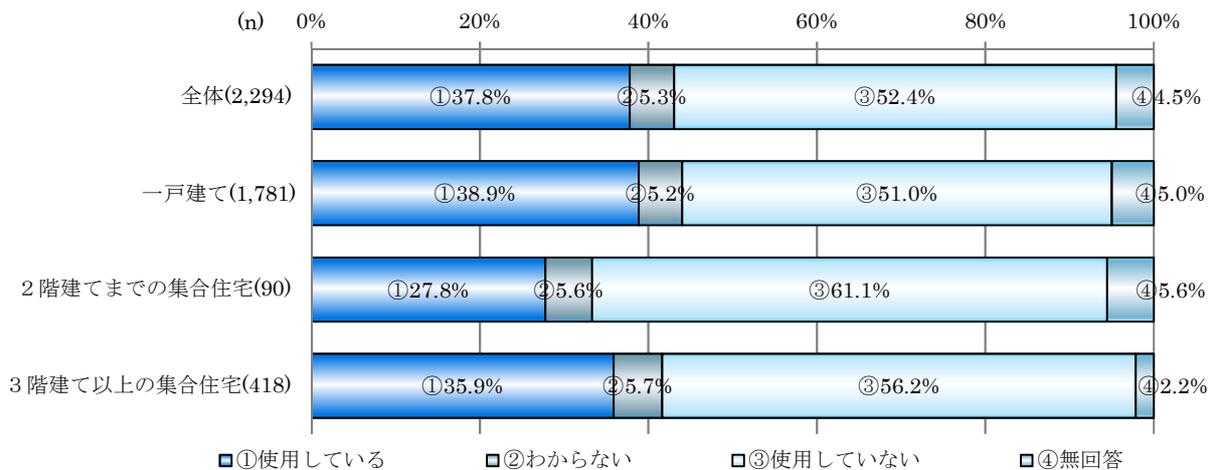
図表78 節水型シャワーの使用状況【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

節水型シャワーの使用状況を年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、同居者あり、なしともに、60歳未満の方が使用率は高い。



図表79 節水型シャワーの使用状況【家族人数別】

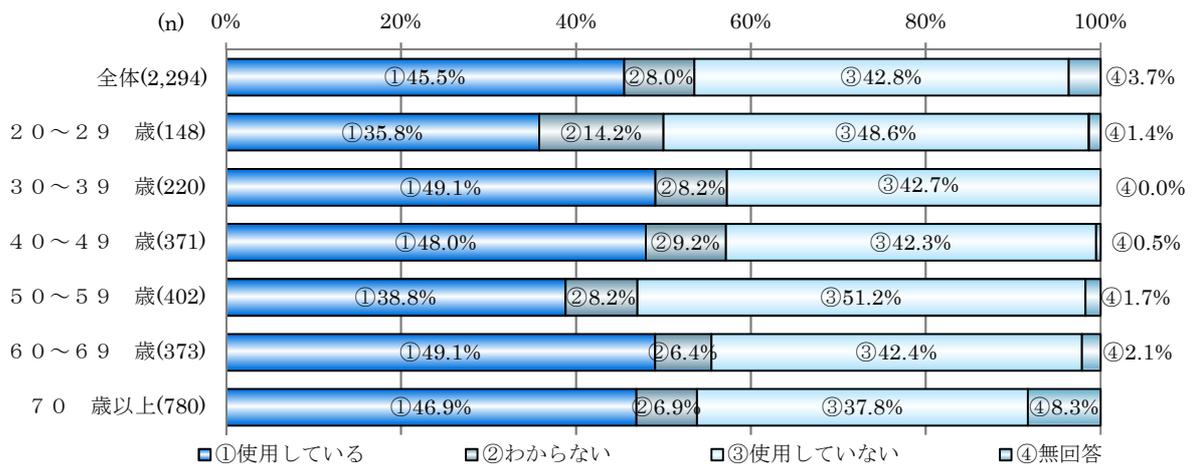
節水型シャワーの使用状況を家族人数別にみると、家族人数が多くなるほど使用率が高くなる傾向がみられる。



図表80 節水型シャワーの使用状況【住居形態別】

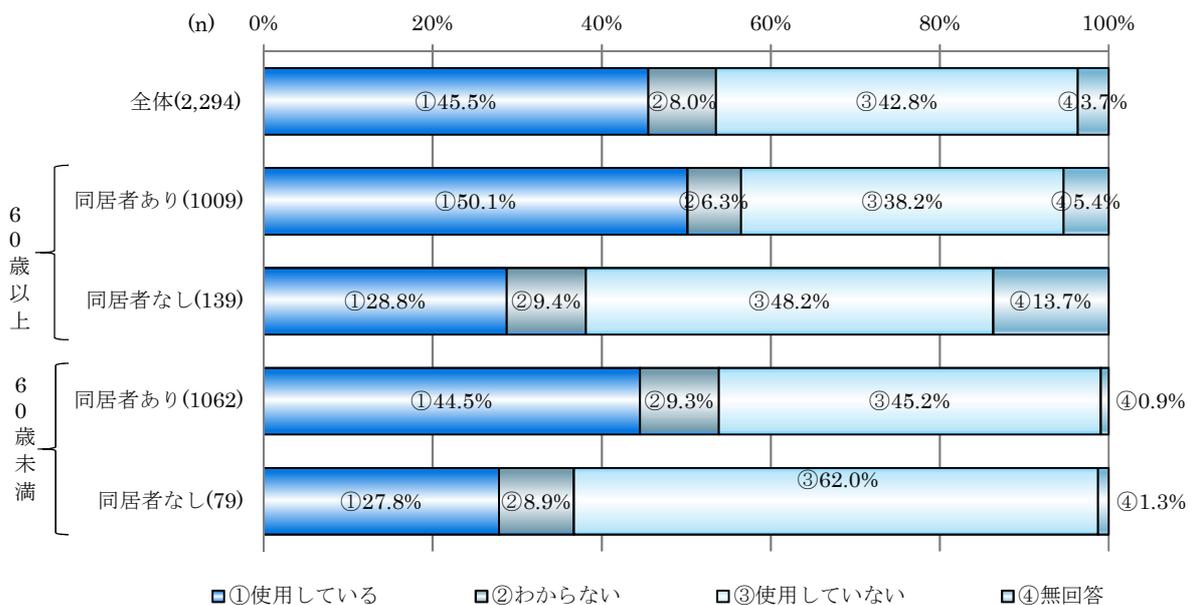
節水型シャワーの使用状況を住居形態別にみると、一戸建て世帯で使用率が38.9%と最も高い。

図表 81 節水型トイレの使用状況【年代別】



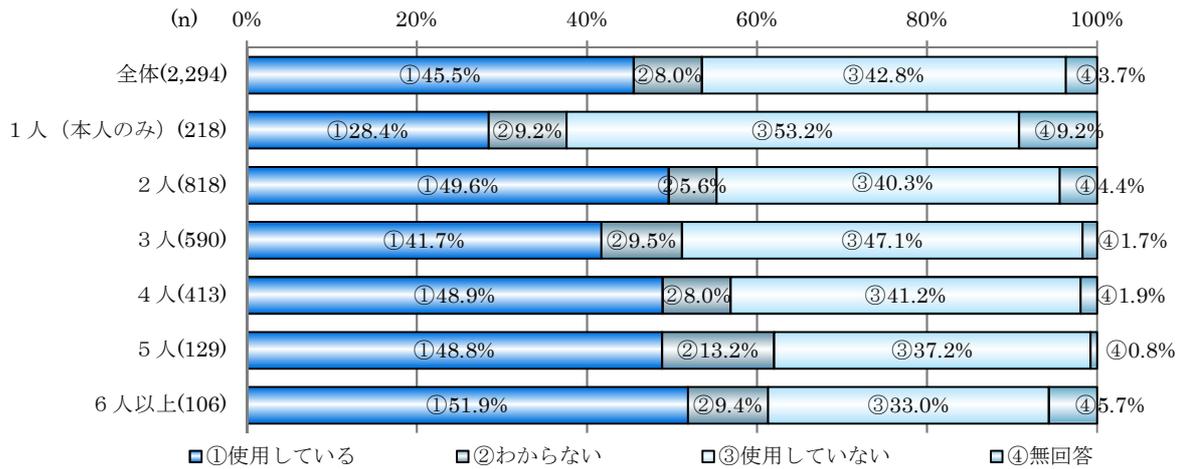
図表81 節水型トイレの使用状況【年代別】

節水型トイレの使用状況を年代別にみると、30代～40代、60代以上では使用率が4割以上と比較的高い。



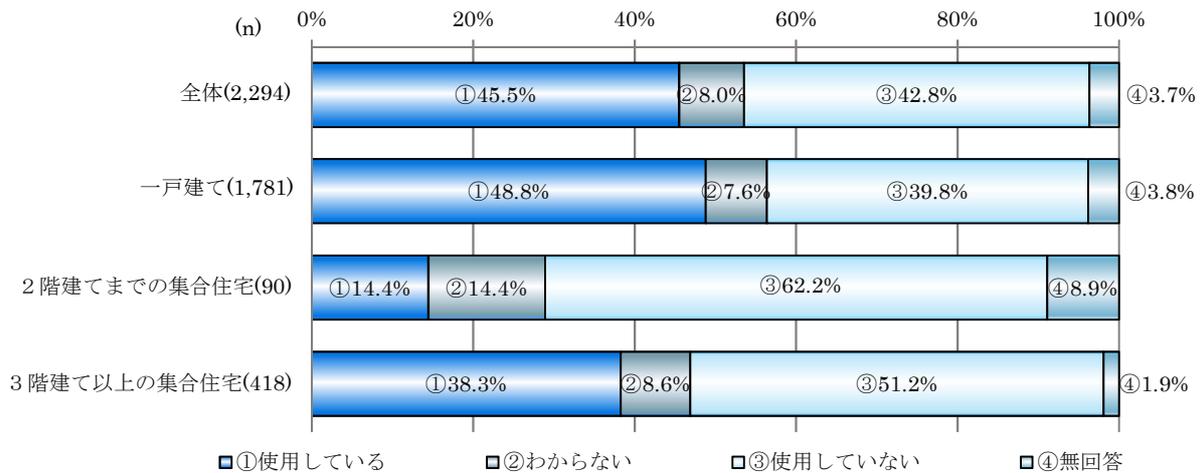
図表82 節水型トイレの使用状況【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

節水型トイレの使用状況を年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに同居者ありの方が使用率は高い。



図表83 節水型トイレの使用状況【家族人数別】

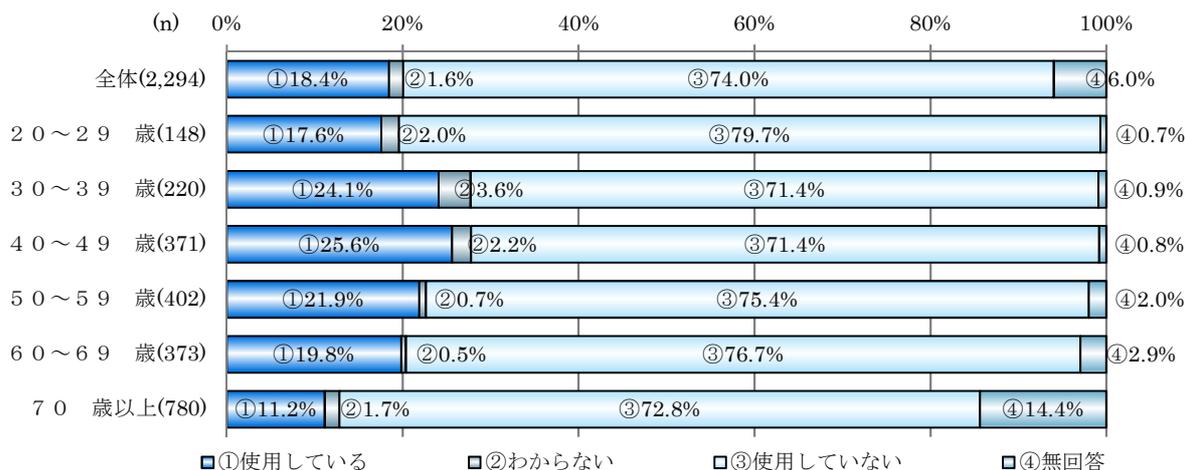
節水型トイレの使用状況を家族人数別にみると、使用率が6人以上の世帯で51.9%と最も高く、次いで2人世帯(49.6%)となっている。また、単身世帯では28.4%と最も低い。



図表84 節水型トイレの使用状況【住居形態別】

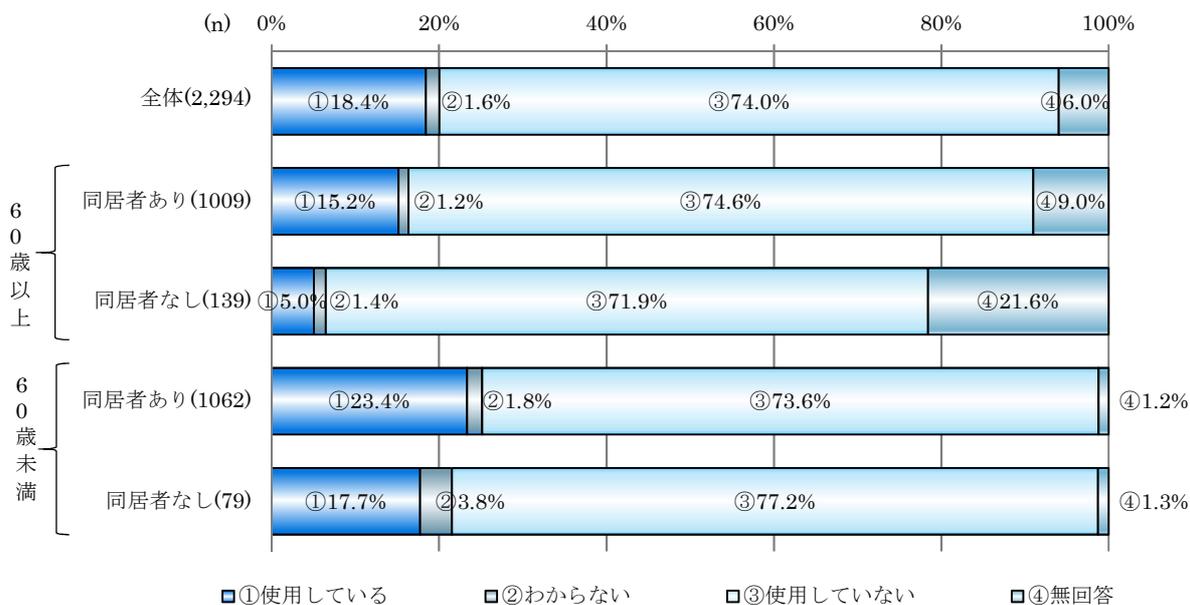
節水型トイレの使用状況を住居形態別にみると、一戸建て世帯は使用率が高い。

図表 85 ドラム式洗濯機の使用状況【年代別】



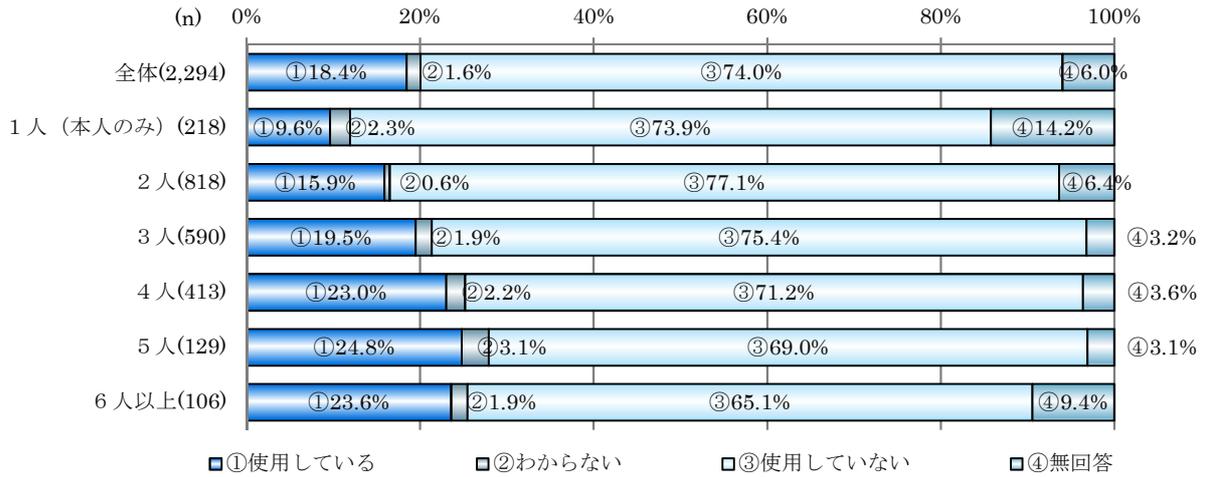
図表85 ドラム式洗濯機の使用状況【年代別】

ドラム式洗濯機の使用状況を年代別にみると、使用率は40代が25.6%と最も高く、次いで30代が24.1%となった。



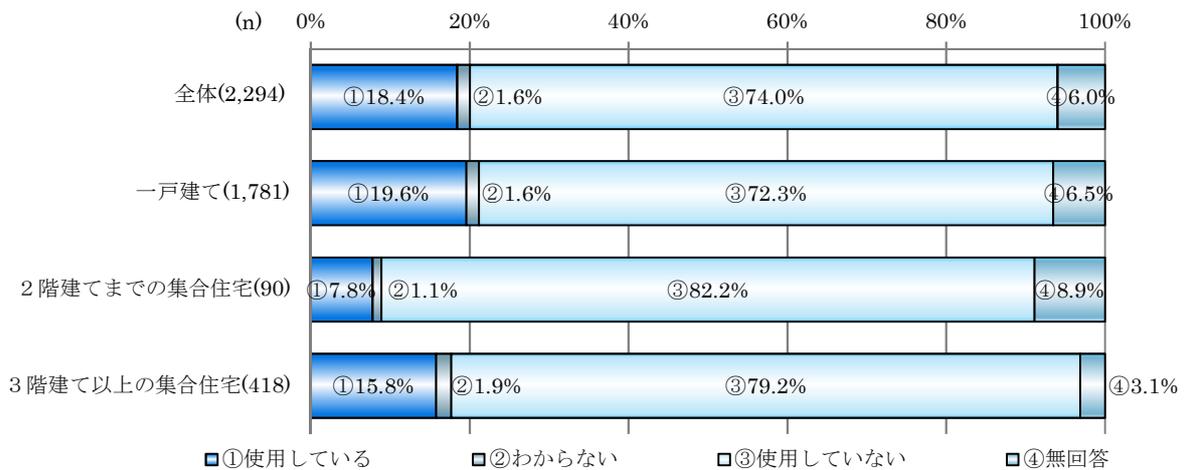
図表86 ドラム式洗濯機の使用状況【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

ドラム式洗濯機の使用状況を年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上では、同居者あり、なし間の使用率が10ポイント近く開いているが、60歳未満では同居者あり、なし間の差は相対的に小さい。



図表87 ドラム式洗濯機の使用状況【家族人数別】

ドラム式洗濯機の使用状況を家族人数別にみると、概ね4人以上の世帯では使用率が2割以上となっている。

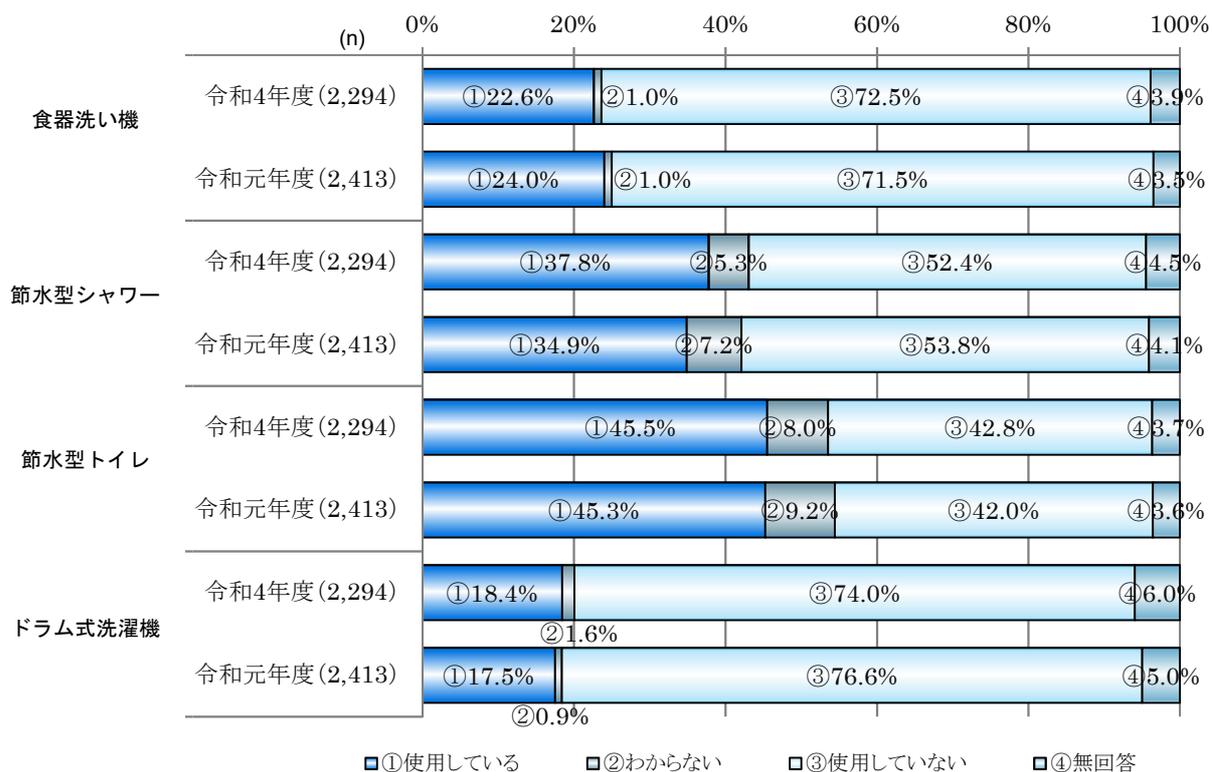


図表88 ドラム式洗濯機の使用状況【住居形態別】

ドラム式洗濯機の使用状況を住居形態別にみると、一戸建て世帯で使用率が19.6%と集合住宅より高い。

図表 89 節水型機器の使用状況【経年比較】

② 経年比較



図表89 節水型機器の使用状況【経年比較】

「節水型シャワー」の割合は、令和元年度から令和4年度で、2.9ポイント増加した。

5 県営水道の事業について

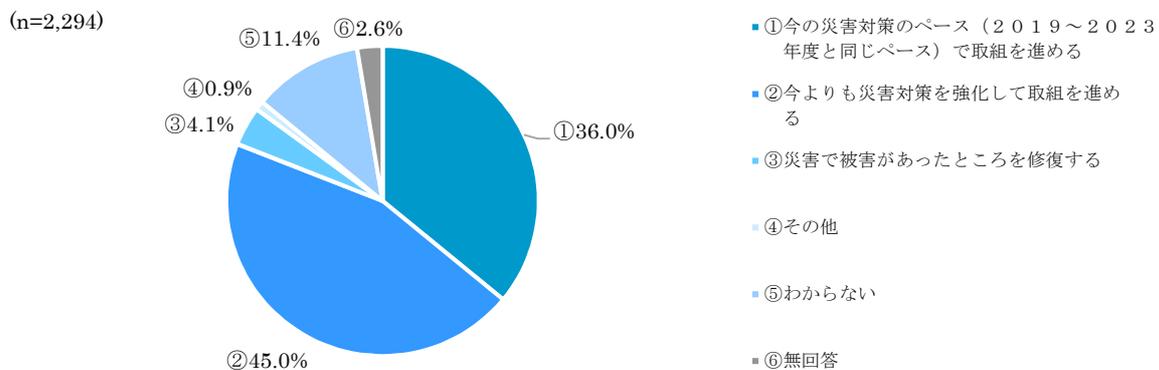
(1) 災害対策の進め方について

【問 1 1】災害対策についてお聞きします。あなたは今後の災害対策の進め方についてどのように進めたらよいと思いますか。

(あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める
2. 今よりも災害対策を強化して取組を進める
3. 災害で被害があったところを修復する
4. その他
5. わからない

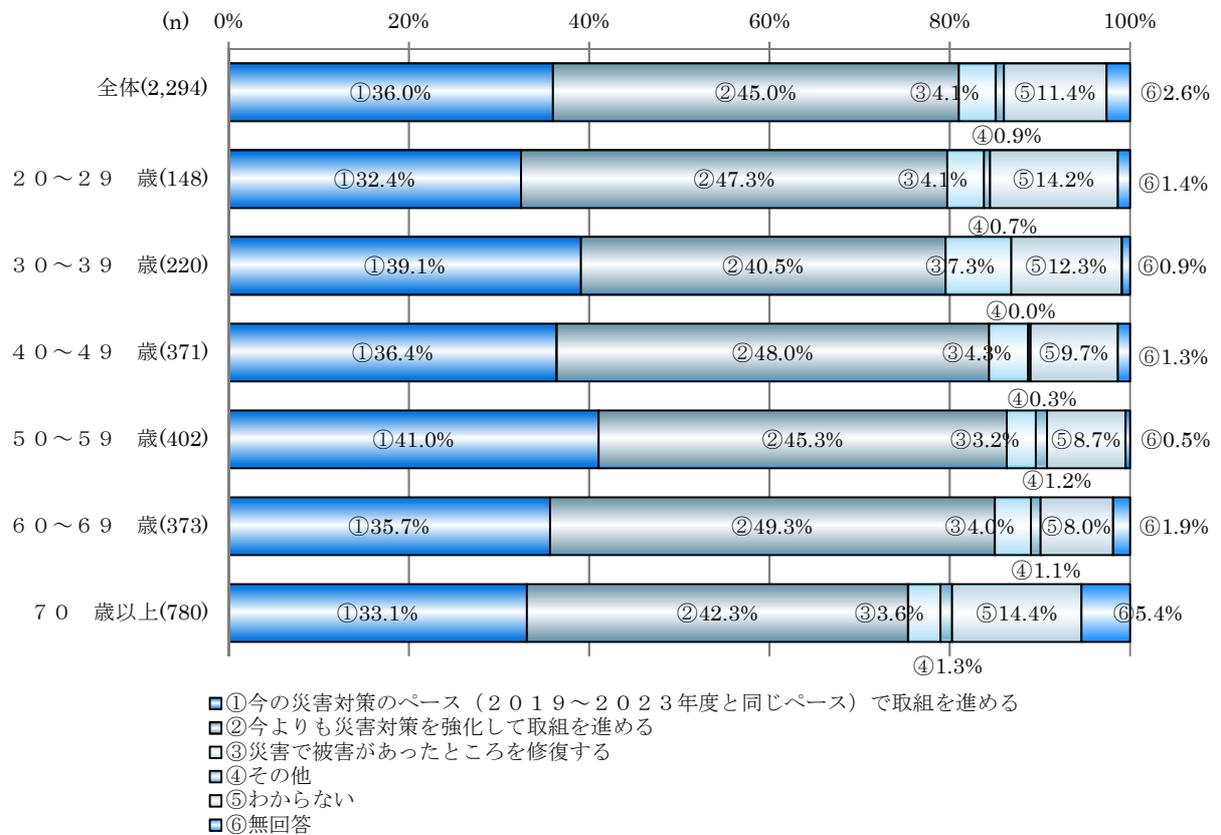
① 単純集計・属性別集計



図表90 災害対策の進め方についての意識【単数回答】

最も割合が高いのは、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」で45.0%。次いで「今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める」が36.0%と続く。

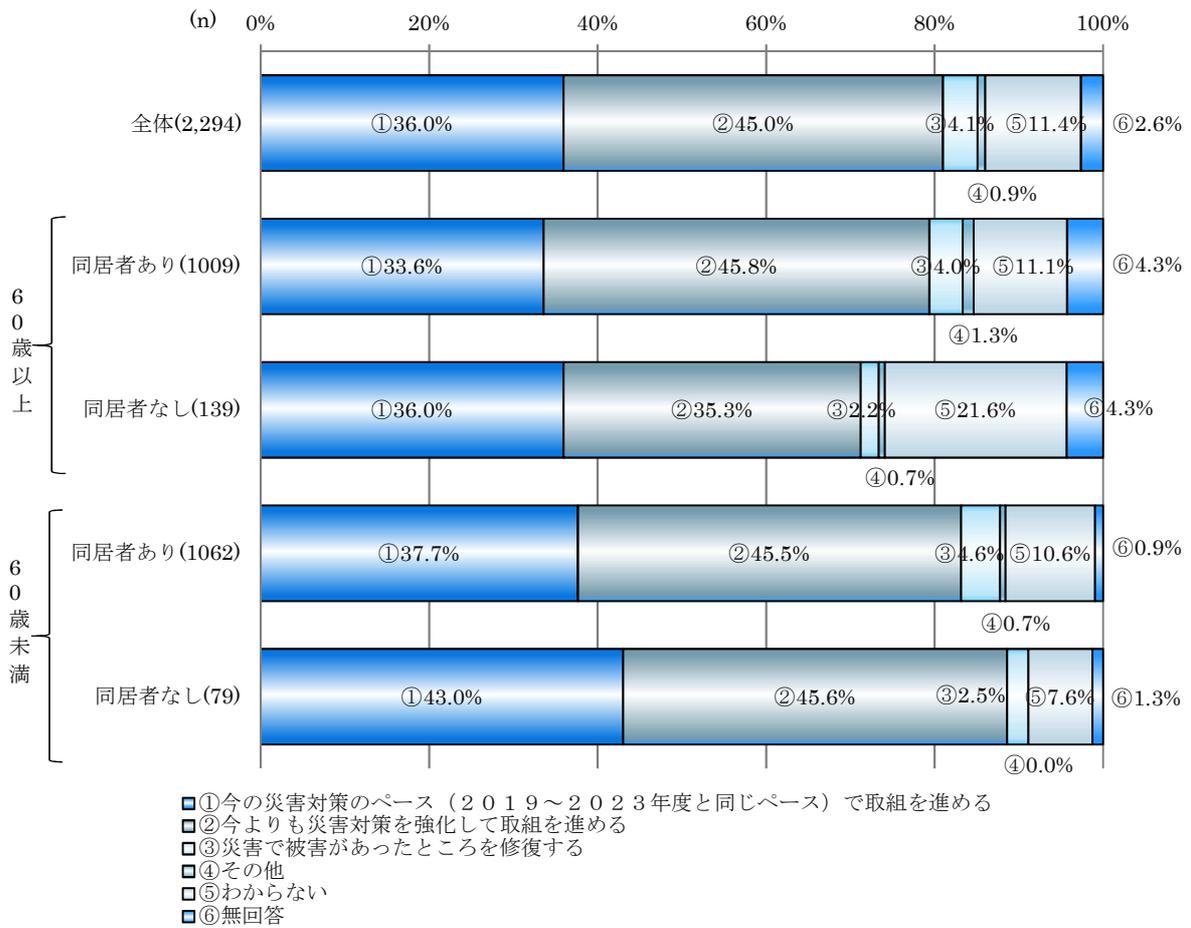
図表 91 災害対策の進め方についての意識【年代別】



図表91 災害対策の進め方についての意識【年代別】

年代別にみると、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」は 60 代が 49.3%と最も高く、いずれの年代においても 4 割以上と全体的に高くなっている。

図表 92 災害対策の進め方についての意識【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】



図表92 災害対策の進め方についての意識【年代別(60歳以上・未満)×同居者有無別】

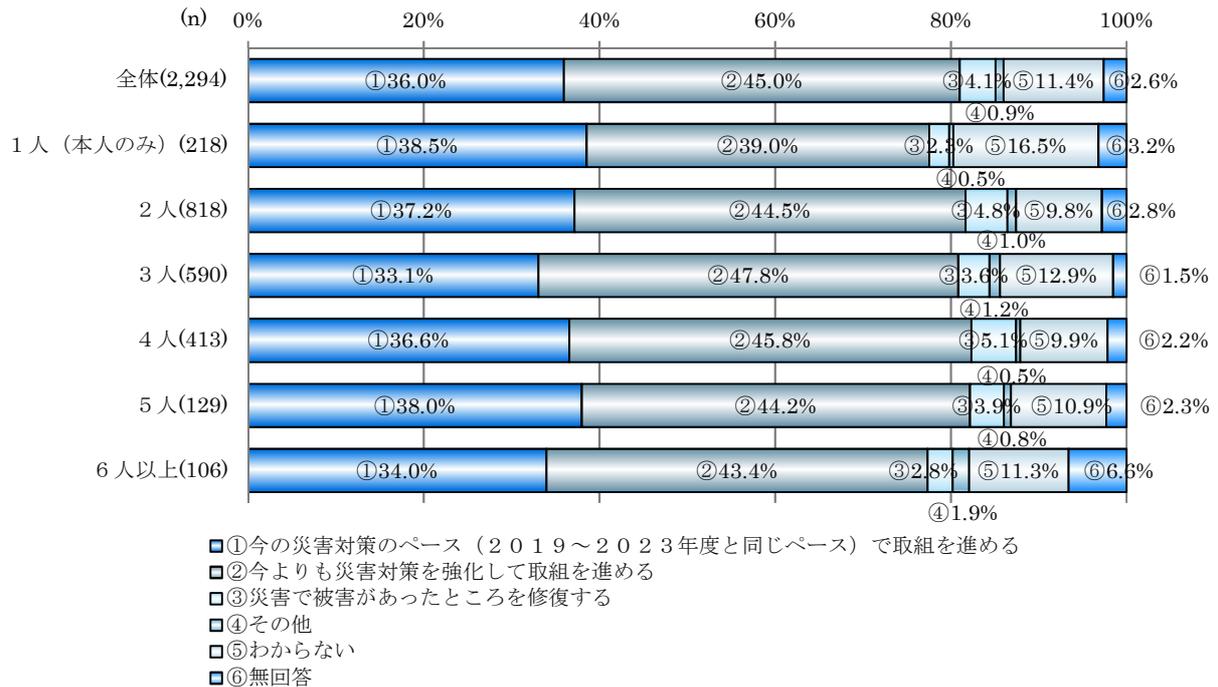
年代別(60歳以上・未満)及び同居者有無別にみると、60歳以上では同居者ありの方が「今よりも災害対策を強化して取組を進める」の割合が10.5ポイント高いが、60歳未満では同居者あり、なし間の差はわずか0.1ポイントである。

図表 93 災害対策の進め方についての意識【居住市区町別】

		全体	今の災害対策のペース(2019~2023年度と同じペース)で取組を進める	今よりも災害対策を強化して取組を進める	災害で被害があったところを修復する	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	825 36.0%	1033 45.0%	94 4.1%	21 0.9%	261 11.4%	60 2.6%
相模原地域	相模原市中央区	210 100.0%	82 39.0%	87 41.4%	10 4.8%	1 0.5%	27 12.9%	3 1.4%
	相模原市南区	226 100.0%	93 41.2%	85 37.6%	13 5.8%	2 0.9%	30 13.3%	3 1.3%
	相模原市緑区	145 100.0%	43 29.7%	69 47.6%	6 4.1%	1 0.7%	19 13.1%	7 4.8%
三浦地域	鎌倉市	151 100.0%	56 37.1%	77 51.0%	2 1.3%	2 1.3%	12 7.9%	2 1.3%
	逗子市	51 100.0%	15 29.4%	28 54.9%	3 5.9%	1 2.0%	4 7.8%	0 0.0%
	葉山町	23 100.0%	8 34.8%	8 34.8%	0 0.0%	0 0.0%	7 30.4%	0 0.0%
県央地域	厚木市	175 100.0%	66 37.7%	78 44.6%	8 4.6%	2 1.1%	18 10.3%	3 1.7%
	大和市	182 100.0%	72 39.6%	77 42.3%	5 2.7%	1 0.5%	22 12.1%	5 2.7%
	海老名市	130 100.0%	57 43.8%	49 37.7%	4 3.1%	2 1.5%	15 11.5%	3 2.3%
	綾瀬市	70 100.0%	24 34.3%	28 40.0%	4 5.7%	0 0.0%	9 12.9%	5 7.1%
	愛川町	10 100.0%	3 30.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%
湘南地域	平塚市	214 100.0%	69 32.2%	103 48.1%	6 2.8%	3 1.4%	24 11.2%	9 4.2%
	藤沢市	335 100.0%	117 34.9%	151 45.1%	17 5.1%	3 0.9%	37 11.0%	10 3.0%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	57 31.0%	99 53.8%	7 3.8%	1 0.5%	15 8.2%	5 2.7%
	伊勢原市	82 100.0%	30 36.6%	36 43.9%	1 1.2%	1 1.2%	11 13.4%	3 3.7%
	寒川町	43 100.0%	12 27.9%	23 53.5%	2 4.7%	1 2.3%	4 9.3%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	9 34.6%	11 42.3%	3 11.5%	0 0.0%	3 11.5%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	8 36.4%	12 54.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%
県西地域	小田原市	9 100.0%	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%

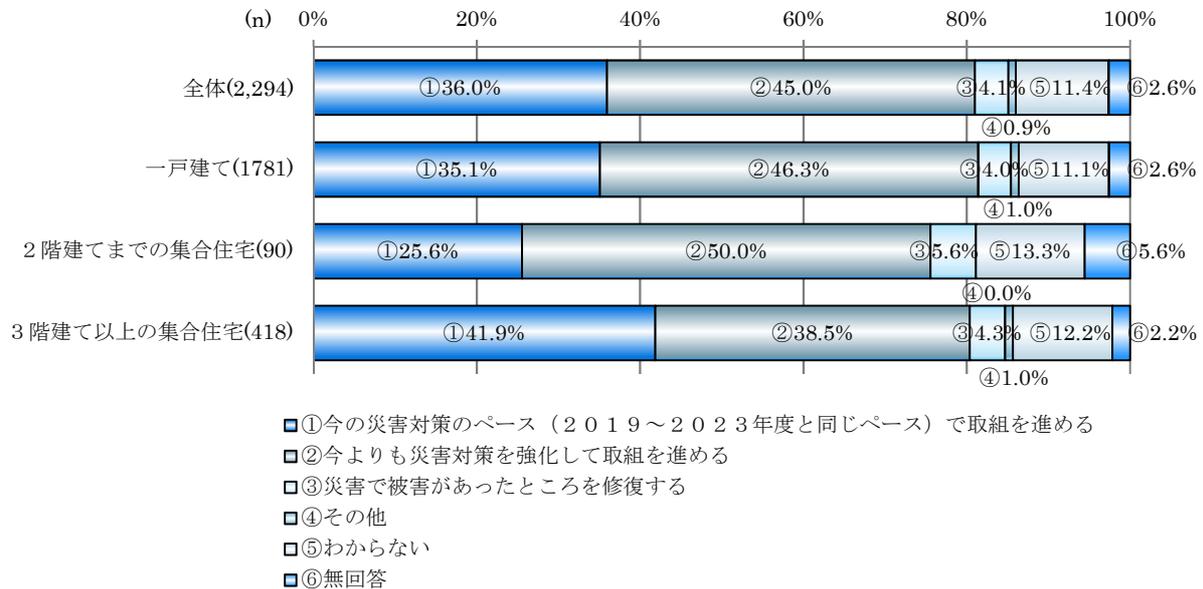
図表93 災害対策の進め方についての意識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」は逗子市（54.9%）、茅ヶ崎市（53.8%）、寒川町（53.5%）などで高い。「今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める」は海老名市（43.8%）、相模原市南区（41.2%）、大和市（39.6%）などで高い。



図表94 災害対策の進め方についての意識【家族人数別】

家族人数別にみると、層別に大きな差はみられなかった。

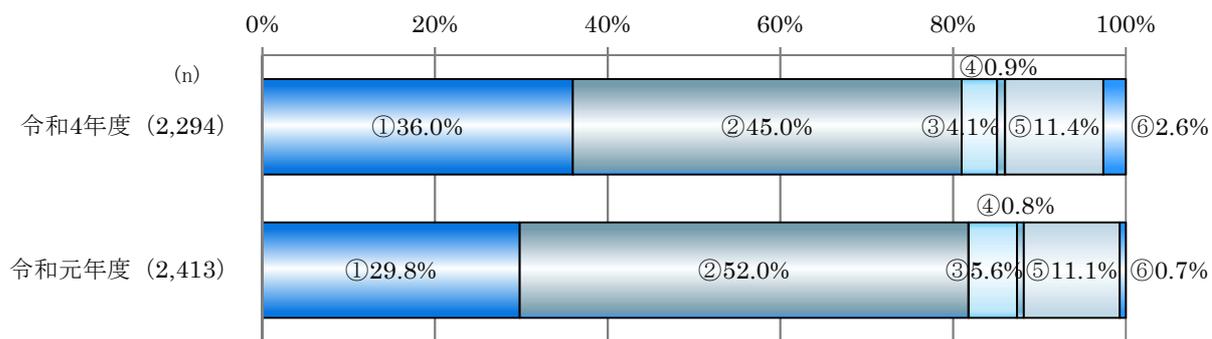


図表95 災害対策の進め方についての意識【住居形態別】

住居形態別にみると、一戸建て及び2階建てまでの集合住宅では「今よりも災害対策を強化して取組を進める」と回答した割合が高い（順に46.3%、50.0%）。

一方、3階建て以上の集合住宅では、「今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める」と回答した割合は41.9%と高い。

② 経年比較



- ①今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める
- ②今よりも災害対策を強化して取組を進める
- ③災害で被害があったところを修復する
- ④その他
- ⑤わからない
- ⑥無回答

図表96 災害対策の進め方についての意識【経年比較】

「今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める」の割合は、令和元年度から令和4年度で、6.2ポイント増加した。

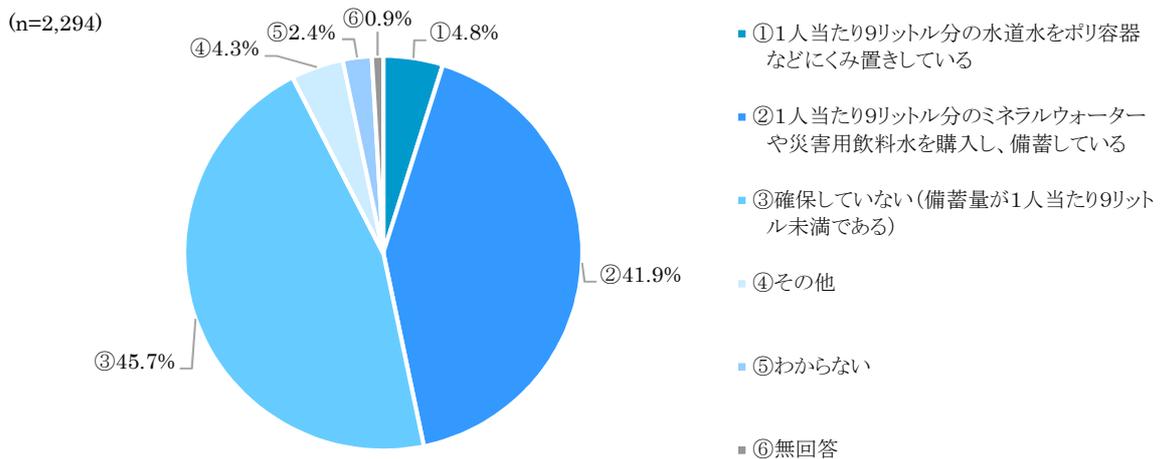
（※令和元年度と令和4年度では、選択肢の表現が異なります。）

(2) 災害に備えた飲料水の備蓄

【問 1 2】 災害に備えるには、1人あたり1日3リットル、3日分（ $3 \times 3 = 9$ リットル）以上の水の確保を推奨しています。あなたのご家庭では、日頃から地震災害等に備えて「飲料水」をどのような方法で確保していますか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

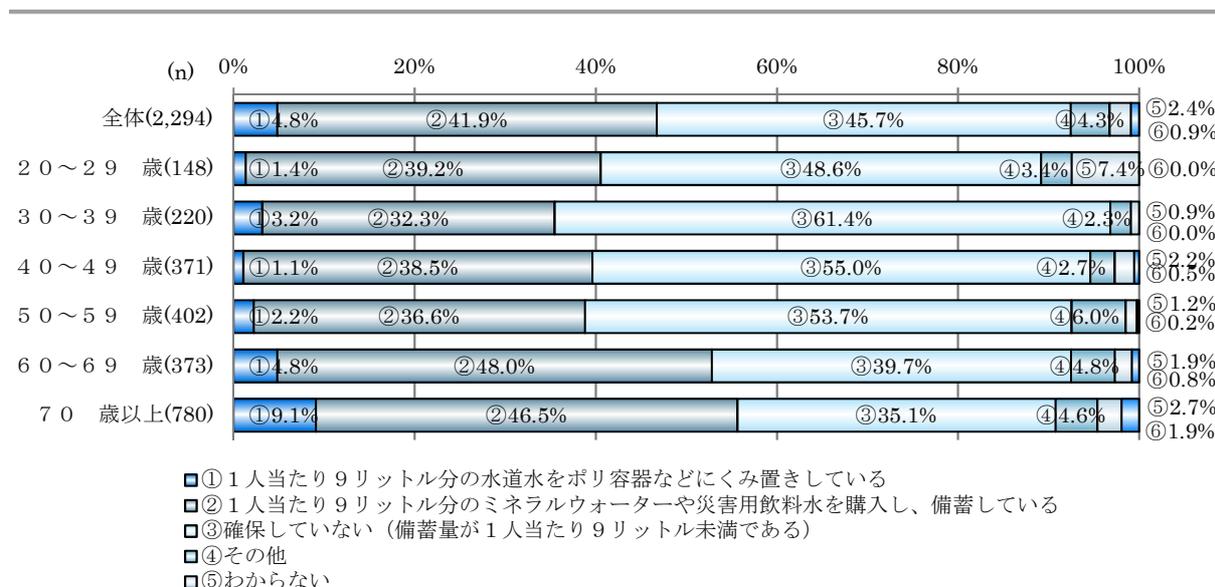
1. 1人あたり9リットル分の水道水をポリ容器などにくみ置きしている
2. 1人あたり9リットル分のミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している
3. 確保していない（備蓄量が1人あたり9リットル未満である）
4. その他
5. わからない

① 単純集計・属性別集計



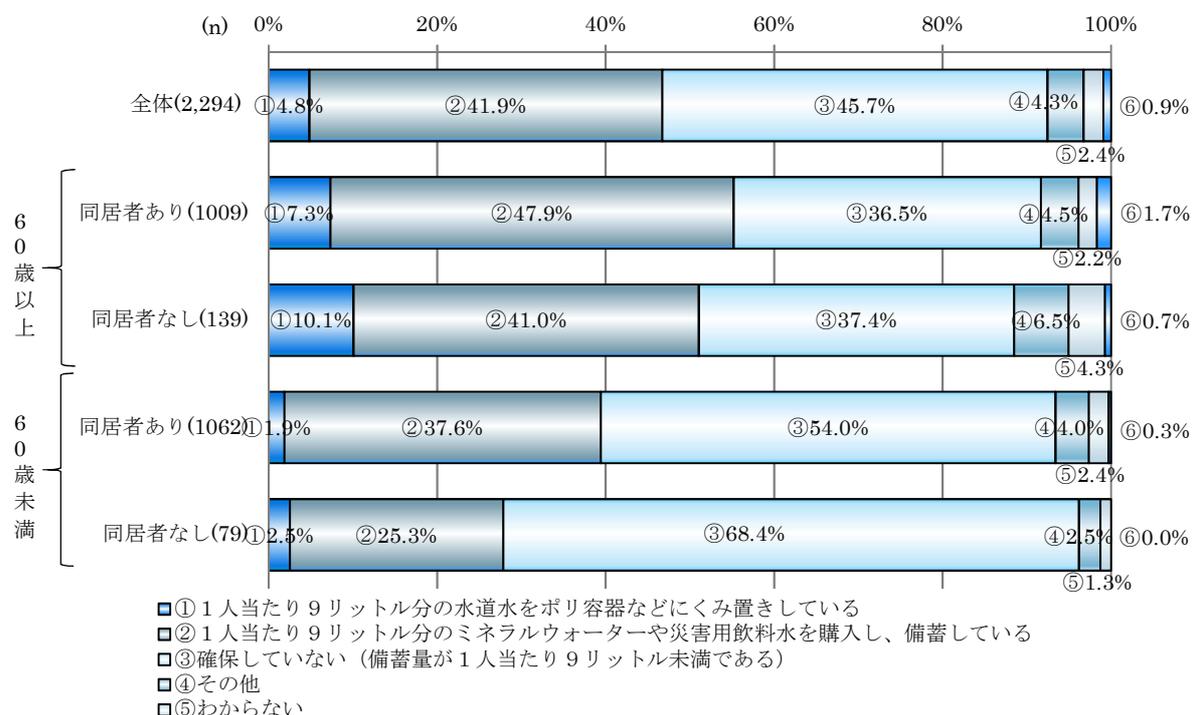
図表97 飲料水の備蓄【単数回答】

「確保していない（備蓄量が1人あたり9リットル未満である）」が45.7%と最も高い。次いで「1人あたり9リットル分のミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」が41.9%と続く。「1人あたり9リットル分の水道水をポリ容器などにくみ置きしている」は4.8%にとどまった。



図表98 飲料水の備蓄【年代別】

年代別にみると、「1人当たり9リットルのミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」の割合は、60代で48.0%と最も高い。また、「確保していない（備蓄量が1人当たり9リットル未満である）」割合は30代で61.4%と最も高い。



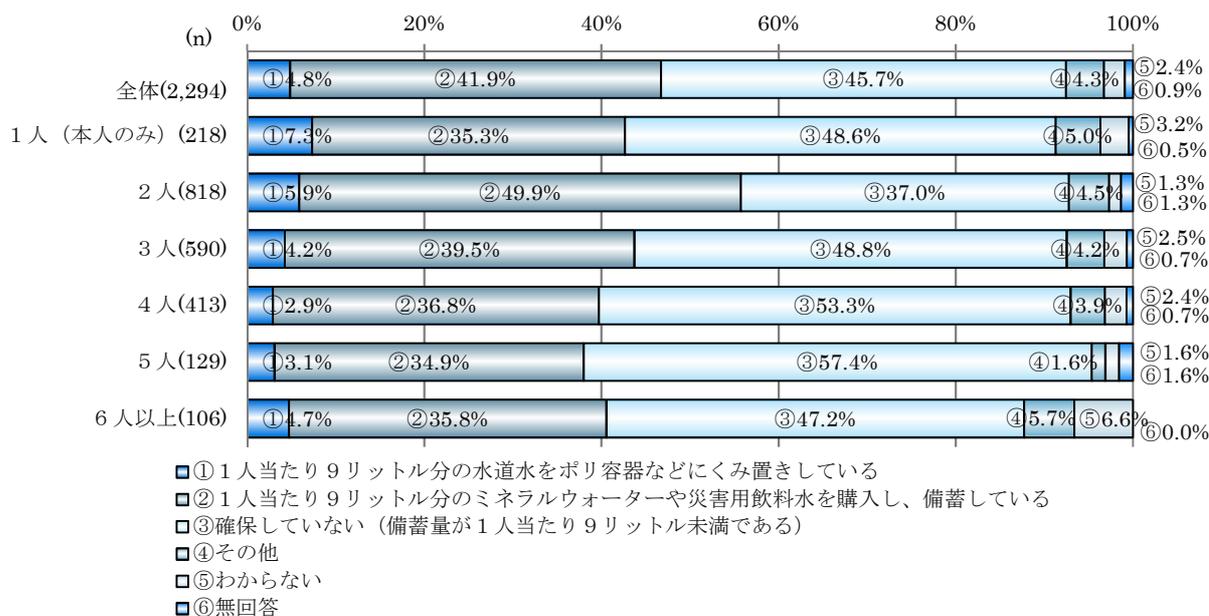
図表99 飲料水の備蓄【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上では、同居者ありの方が「1人当たり9リットルのミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」の割合が47.9%と高くなっている。60歳未満では、同居者なしの方が「確保していない（備蓄量が1人当たり9リットル未満である）」の割合が68.4%と高い。

		全体	1人当たり 9リットル分 の水道水を ポリ容器な どにくみ置 きしている	1人当たり 9リットル分 のミネラル ウォーター や災害用 飲料水を購 入し、備蓄 している	確保してい ない(備蓄 量が1人当 たり9リッ トル未満で ある)	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	111 4.8%	961 41.9%	1049 45.7%	98 4.3%	54 2.4%	21 0.9%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	6 2.9%	81 38.6%	104 49.5%	10 4.8%	8 3.8%	1 0.5%
	相模原市南区	226 100.0%	12 5.3%	94 41.6%	104 46.0%	9 4.0%	4 1.8%	3 1.3%
	相模原市緑区	145 100.0%	11 7.6%	54 37.2%	63 43.4%	8 5.5%	8 5.5%	1 0.7%
	鎌倉市	151 100.0%	6 4.0%	71 47.0%	62 41.1%	9 6.0%	1 0.7%	2 1.3%
三浦 横須 賀地 域	逗子市	51 100.0%	3 5.9%	26 51.0%	19 37.3%	2 3.9%	1 2.0%	0 0.0%
	葉山町	23 100.0%	2 8.7%	12 52.2%	4 17.4%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%
	厚木市	175 100.0%	9 5.1%	70 40.0%	85 48.6%	6 3.4%	4 2.3%	1 0.6%
県央 地域	大和市	182 100.0%	5 2.7%	66 36.3%	100 54.9%	6 3.3%	3 1.6%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	7 5.4%	56 43.1%	58 44.6%	6 4.6%	2 1.5%	1 0.8%
	綾瀬市	70 100.0%	3 4.3%	29 41.4%	31 44.3%	3 4.3%	3 4.3%	1 1.4%
	愛川町	10 100.0%	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%
	平塚市	214 100.0%	11 5.1%	81 37.9%	103 48.1%	9 4.2%	8 3.7%	2 0.9%
湘南 地域	藤沢市	335 100.0%	12 3.6%	163 48.7%	139 41.5%	15 4.5%	2 0.6%	4 1.2%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	9 4.9%	78 42.4%	89 48.4%	6 3.3%	1 0.5%	1 0.5%
	伊勢原市	82 100.0%	5 6.1%	32 39.0%	39 47.6%	2 2.4%	3 3.7%	1 1.2%
	寒川町	43 100.0%	2 4.7%	18 41.9%	20 46.5%	1 2.3%	2 4.7%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	3 11.5%	11 42.3%	10 38.5%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%
	二宮町	22 100.0%	2 9.1%	6 27.3%	13 59.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%
	小田原市	9 100.0%	2 22.2%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
県西 地域	箱根町	6 100.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

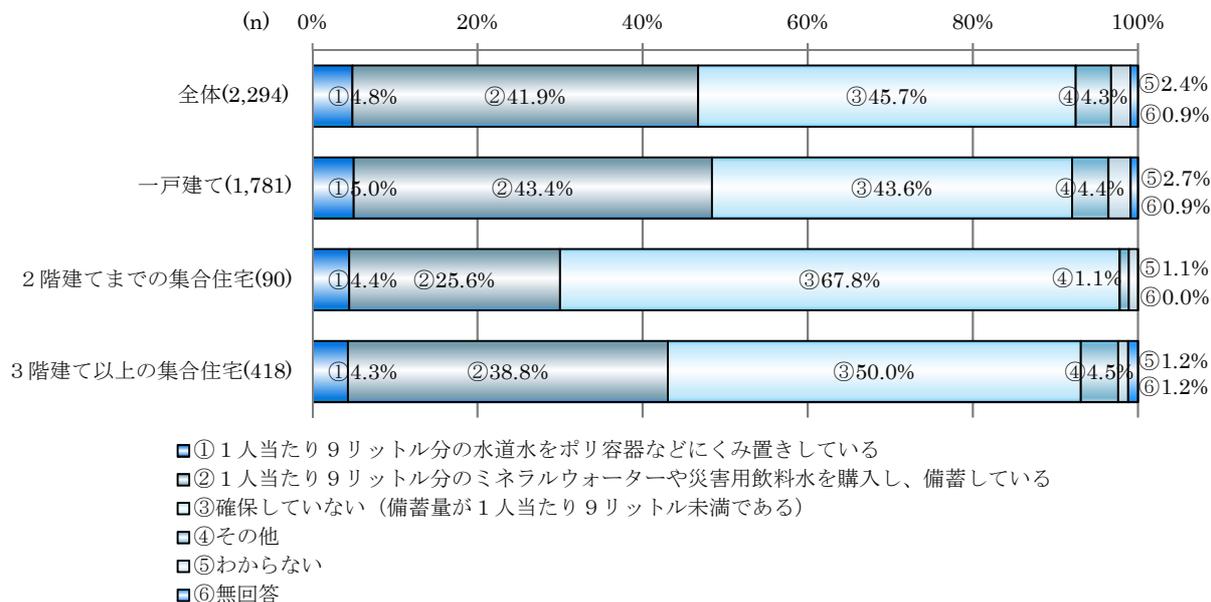
図表100 飲料水の備蓄【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「1人当たり9リットル分のミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」は逗子市（51.0%）、藤沢市（48.7%）、鎌倉市（47.0%）などで高い。また、「確保していない（備蓄量が1人当たり9リットル未満である）」は大和市（54.9%）、相模原市中央区（49.5%）、厚木市（48.6%）などで高い。



図表101 飲料水の備蓄【家族人数別】

家族人数別にみると、「1人当たり9リットルのミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」は2人世帯で49.9%と高い。



図表102 飲料水の備蓄【住居形態別】

住居形態別にみると、いずれも「確保していない(備蓄量が1人当たり9リットル未満である)」が高く、2階建てまでの集合住宅が67.8%と最も高い。

また、「1人当たり9リットルのミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」の割合は一戸建て世帯が43.4%と最も高い。

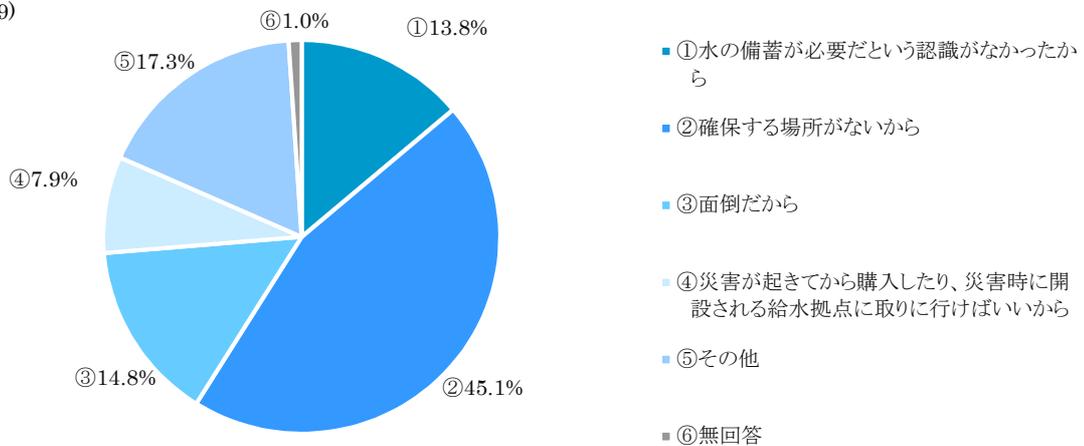
(3) 飲料水を備蓄しない理由

【問 1 2-1】「3. 確保していない」に○をつけた場合、その理由についてあてはまるものはどれですか。(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 水の備蓄が必要だという認識がなかったから
2. 確保する場所がないから
3. 面倒だから
4. 災害が起きてから購入したり、災害時に開設される給水拠点に取りに行けばいいから
5. その他

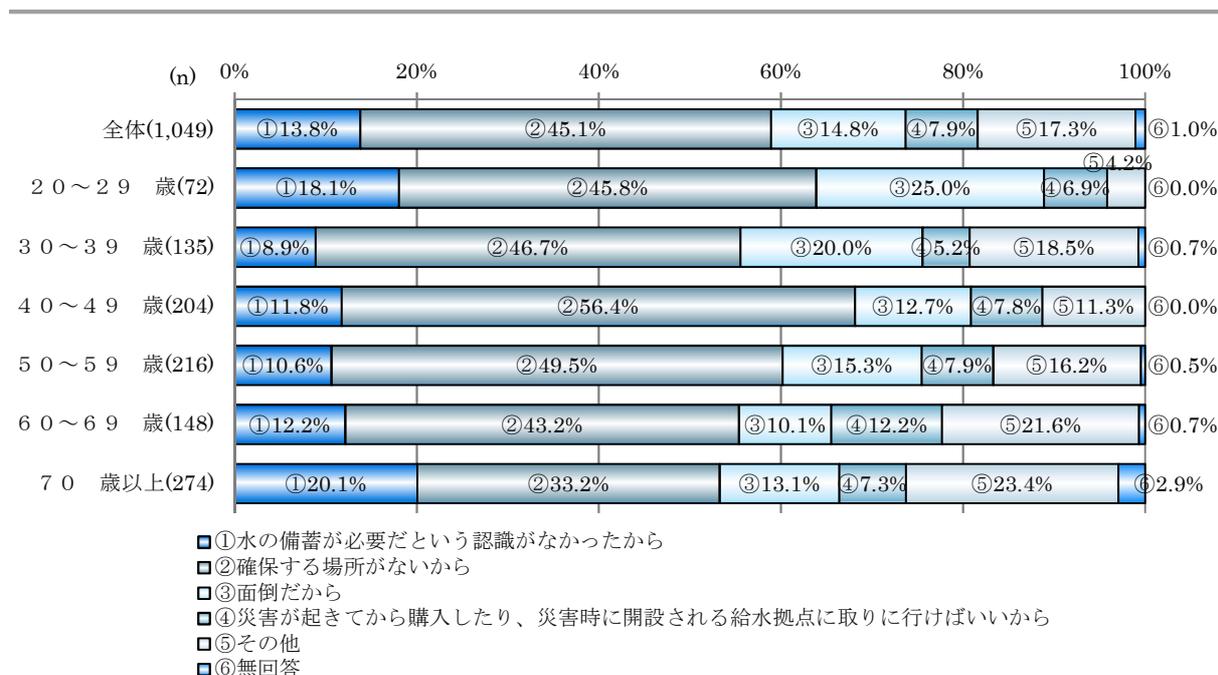
① 単純集計・属性別集計

(n=1,049)



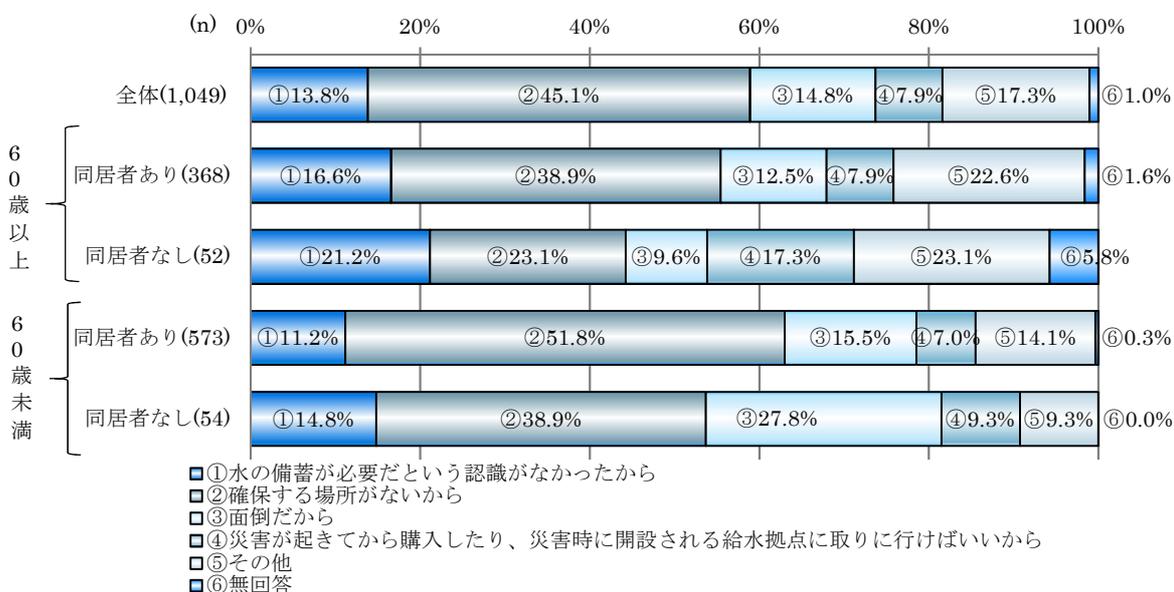
図表103 飲料水を備蓄しない理由【単数回答】

最も高いのは、「確保する場所がないから」で45.1%。次いで「面倒だから」が14.8%、「水の備蓄が必要だという認識がなかったから」が13.8%と続く。



図表104 飲料水を備蓄しない理由【年代別】

年代別にみると、40代では「確保する場所がないから」の割合が56.4%と最も高い。「面倒だから」の割合は、20代で25.0%と高い。「水の備蓄が必要だという認識がなかったから」は20代及び70歳以上で比較的高い。



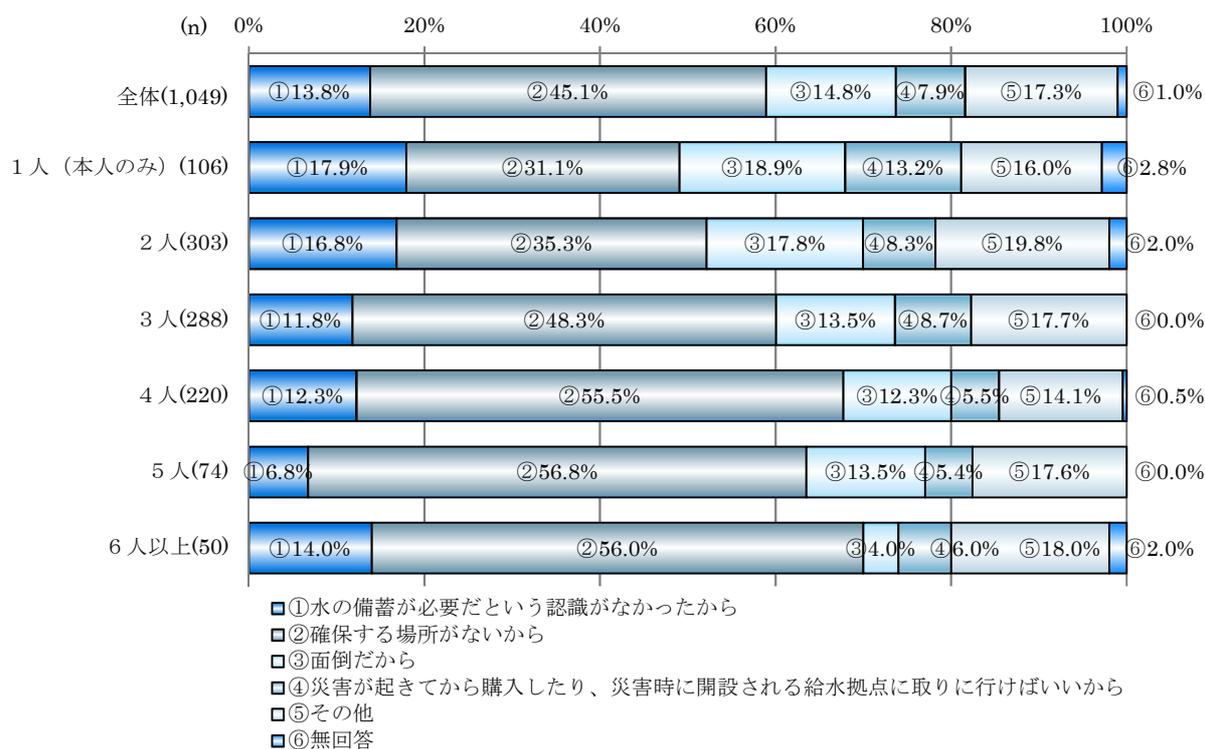
図表105 飲料水を備蓄しない理由【年代別（60歳以上・未満）×同居者有無別】

年代別（60歳以上・未満）及び同居者有無別にみると、60歳以上、60歳未満ともに、同居者ありの方が「確保する場所がないから」と回答した割合が高い。

		全体	水の備蓄 が必要だとい う認識がな かったから	確保する場 所がない から	面倒だから	災害が起 きてから購 入したり、 災害時に 開設される 給水拠点 に取りに行 けばいいか ら	その他	無回答
	全体	1049 100.0%	145 13.8%	473 45.1%	155 14.8%	83 7.9%	182 17.3%	11 1.0%
相模 原地 域	相模原市中央区	104 100.0%	15 14.4%	43 41.3%	13 12.5%	10 9.6%	21 20.2%	2 1.9%
	相模原市南区	104 100.0%	16 15.4%	52 50.0%	18 17.3%	6 5.8%	11 10.6%	1 1.0%
	相模原市緑区	63 100.0%	6 9.5%	31 49.2%	8 12.7%	8 12.7%	9 14.3%	1 1.6%
三浦 横須 賀地 域	鎌倉市	62 100.0%	9 14.5%	19 30.6%	11 17.7%	7 11.3%	15 24.2%	1 1.6%
	逗子市	19 100.0%	1 5.3%	7 36.8%	5 26.3%	1 5.3%	5 26.3%	0 0.0%
	葉山町	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
県央 地域	厚木市	85 100.0%	9 10.6%	39 45.9%	14 16.5%	10 11.8%	12 14.1%	1 1.2%
	大和市	100 100.0%	12 12.0%	53 53.0%	12 12.0%	7 7.0%	16 16.0%	0 0.0%
	海老名市	58 100.0%	10 17.2%	28 48.3%	8 13.8%	1 1.7%	11 19.0%	0 0.0%
	綾瀬市	31 100.0%	4 12.9%	13 41.9%	6 19.4%	1 3.2%	6 19.4%	1 3.2%
	愛川町	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
湘南 地域	平塚市	103 100.0%	9 8.7%	48 46.6%	17 16.5%	8 7.8%	20 19.4%	1 1.0%
	藤沢市	139 100.0%	19 13.7%	72 51.8%	19 13.7%	11 7.9%	15 10.8%	3 2.2%
	茅ヶ崎市	89 100.0%	17 19.1%	33 37.1%	14 15.7%	5 5.6%	20 22.5%	0 0.0%
	伊勢原市	39 100.0%	5 12.8%	16 41.0%	6 15.4%	5 12.8%	7 17.9%	0 0.0%
	寒川町	20 100.0%	9 45.0%	8 40.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%
	大磯町	10 100.0%	3 30.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
	二宮町	13 100.0%	0 0.0%	2 15.4%	3 23.1%	2 15.4%	6 46.2%	0 0.0%
県西 地域	小田原市	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	箱根町	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

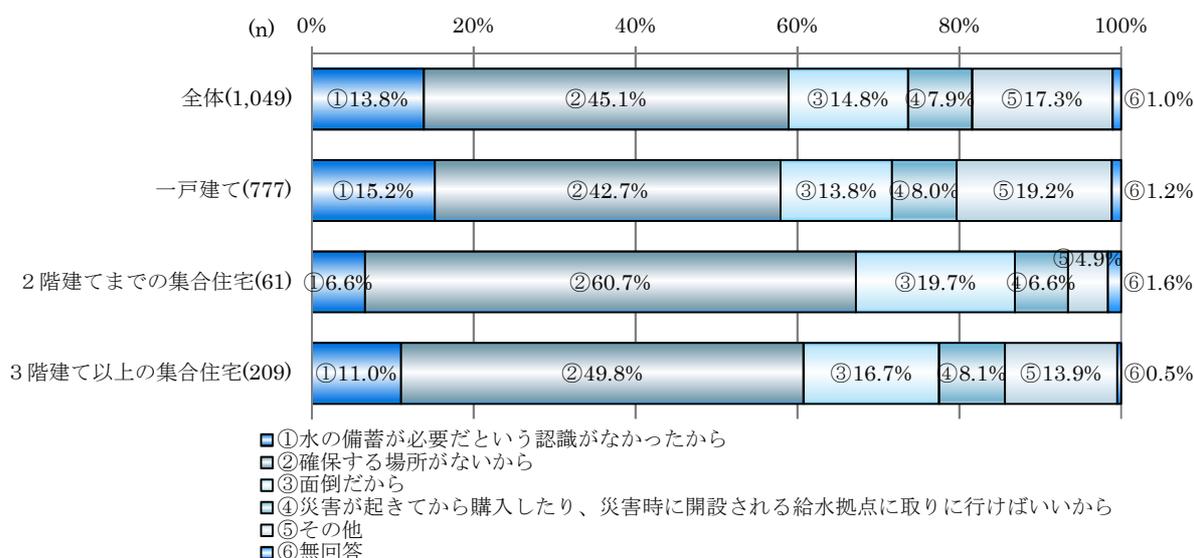
図表106 飲料水を備蓄しない理由【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「確保する場所がないから」は大和市（53.0%）、藤沢市（51.8%）、相模原市南区（50.0%）で高い。「水の備蓄が必要だという認識がなかったから」は茅ヶ崎市（19.1%）、海老名市（17.2%）などで高い。



図表107 飲料水を備蓄しない理由【家族人数別】

家族人数別にみると、家族人数が多くなるほど「確保する場所がないから」が高くなる傾向がみられる。また、「面倒だから」「災害が起きてから購入したり、災害時に開設される給水拠点に取りに行けばいいから」は、20代で割合が高い。



図表108 飲料水を備蓄しない理由【住居形態別】

住居形態別にみると、2階建てまでの集合住宅では「確保する場所がないから」が60.7%と高い。

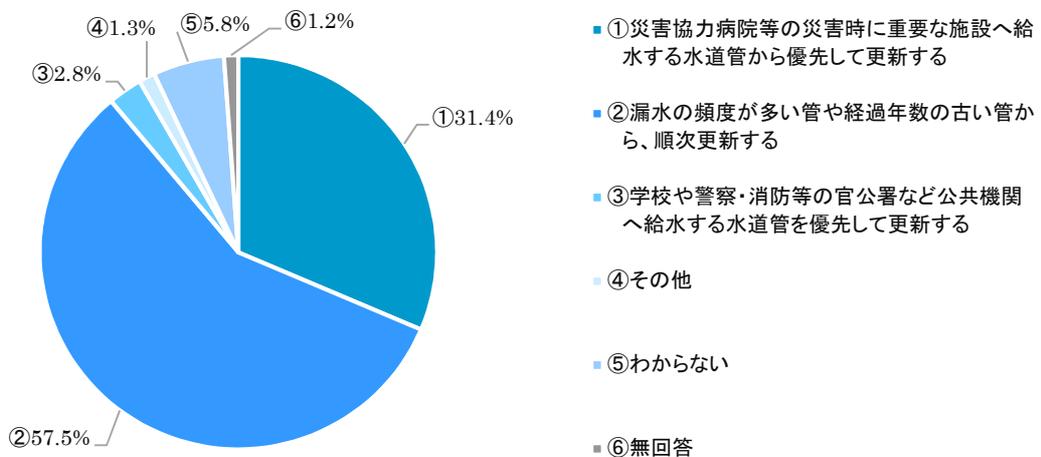
(4) 水道管の更新の取組について

【問 1 3】 水道管の更新についてお聞きします。管路更新の優先順位についてどう思いますか。(あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する
2. 漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する
3. 学校や警察・消防等の官公署など公共機関へ給水する水道管を優先して更新する
4. その他
5. わからない

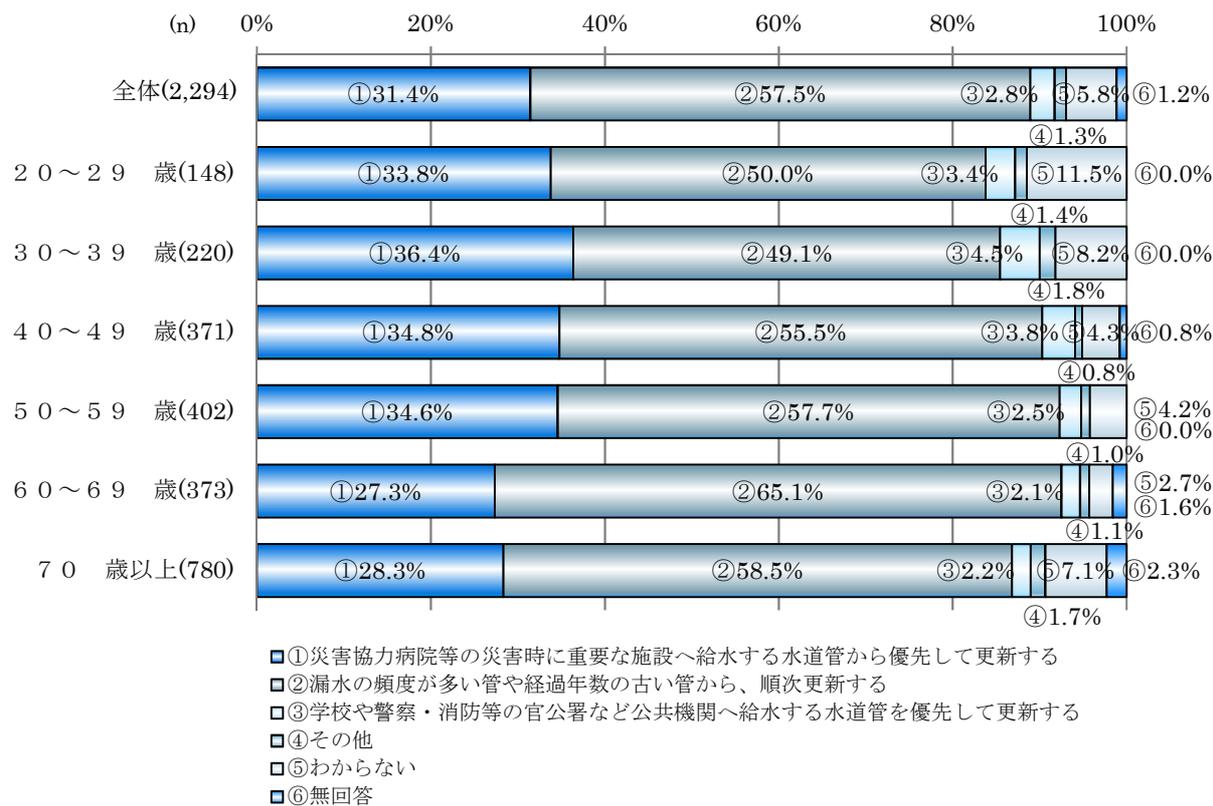
① 単純集計・属性別集計

(n=2,294)



図表109 管路更新の優先順位【単数回答】

「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する」が 57.5%と最も高い。次いで「災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する」が 31.4%と続く。



図表110 管路更新の優先順位【年代別】

年代別にみると、「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する」の割合が60代で65.1%と最も高く、「災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する」の割合は30代で36.4%と最も高い。

図表 111 管路更新の優先順位【居住市区町別】

	全体	災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する	漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する	学校や警察・消防等の官公署など公共機関へ給水する水道管を優先して更新する	その他	わからない	無回答	
全体	2294 100.0%	721 31.4%	1319 57.5%	64 2.8%	30 1.3%	133 5.8%	27 1.2%	
相模原地域	相模原市中央区	210 100.0%	65 31.0%	125 59.5%	7 3.3%	2 1.0%	10 4.8%	1 0.5%
	相模原市南区	226 100.0%	70 31.0%	128 56.6%	9 4.0%	3 1.3%	11 4.9%	5 2.2%
	相模原市緑区	145 100.0%	39 26.9%	86 59.3%	2 1.4%	1 0.7%	13 9.0%	4 2.8%
三浦横須賀地域	鎌倉市	151 100.0%	47 31.1%	91 60.3%	4 2.6%	2 1.3%	3 2.0%	4 2.6%
	逗子市	51 100.0%	20 39.2%	24 47.1%	2 3.9%	2 3.9%	2 3.9%	1 2.0%
	葉山町	23 100.0%	5 21.7%	14 60.9%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%
県央地域	厚木市	175 100.0%	60 34.3%	97 55.4%	9 5.1%	0 0.0%	8 4.6%	1 0.6%
	大和市	182 100.0%	57 31.3%	106 58.2%	3 1.6%	3 1.6%	11 6.0%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	37 28.5%	85 65.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 6.2%	0 0.0%
	綾瀬市	70 100.0%	21 30.0%	38 54.3%	1 1.4%	1 1.4%	7 10.0%	2 2.9%
	愛川町	10 100.0%	1 10.0%	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%
湘南地域	平塚市	214 100.0%	68 31.8%	122 57.0%	4 1.9%	3 1.4%	17 7.9%	0 0.0%
	藤沢市	335 100.0%	113 33.7%	185 55.2%	12 3.6%	7 2.1%	14 4.2%	4 1.2%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	57 31.0%	106 57.6%	3 1.6%	3 1.6%	13 7.1%	2 1.1%
	伊勢原市	82 100.0%	31 37.8%	42 51.2%	2 2.4%	1 1.2%	6 7.3%	0 0.0%
	寒川町	43 100.0%	13 30.2%	25 58.1%	2 4.7%	0 0.0%	3 7.0%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	6 23.1%	15 57.7%	1 3.8%	0 0.0%	3 11.5%	1 3.8%
	二宮町	22 100.0%	8 36.4%	12 54.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県西地域	小田原市	9 100.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表111 管路更新の優先順位【居住市区町別】

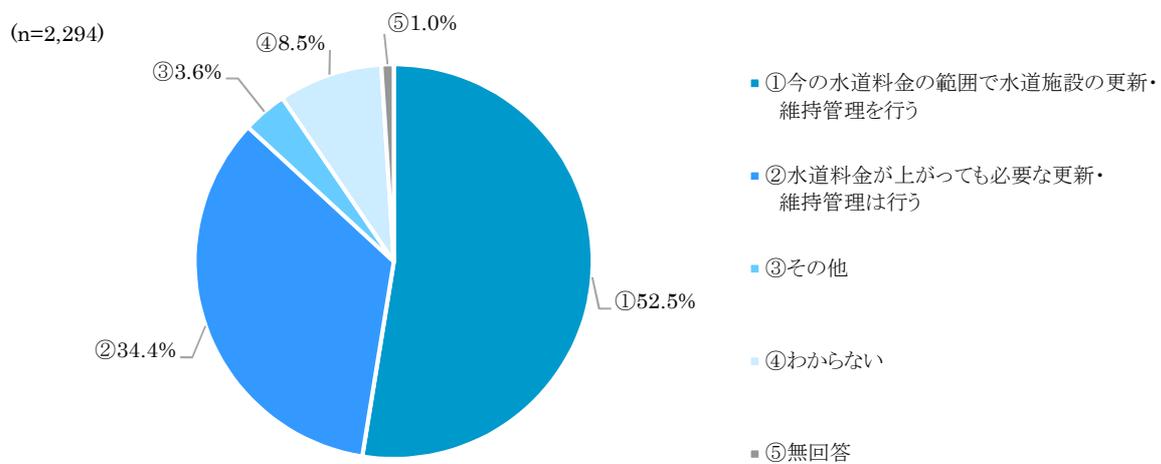
居住市区町別にみると、「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する」は海老名市（65.4%）、鎌倉市（60.3%）、相模原市中央区（59.5%）で高い。また、「災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する」は逗子市（39.2%）、伊勢原市（37.8%）、厚木市（34.3%）などで高い。

(5) 今後の水道施設の更新及び維持管理について

【問 1 4】 これからの水道施設の更新及び維持管理に必要な水道料金についてお聞きします。今後の県営水道の水道施設の更新及び維持管理についてどう思いますか。(1つだけ選び、○をつけてください。)

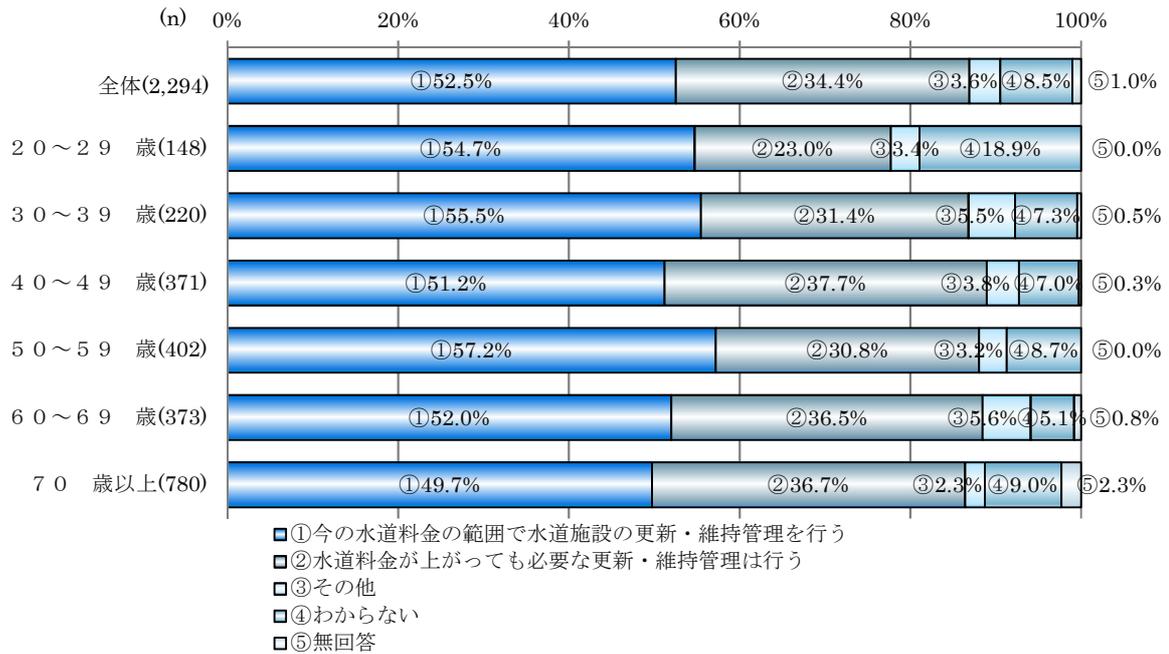
1. 今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う
2. 水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う
3. その他
4. わからない

① 単純集計・属性別集計



図表112 更新・維持管理についての意識【単数回答】

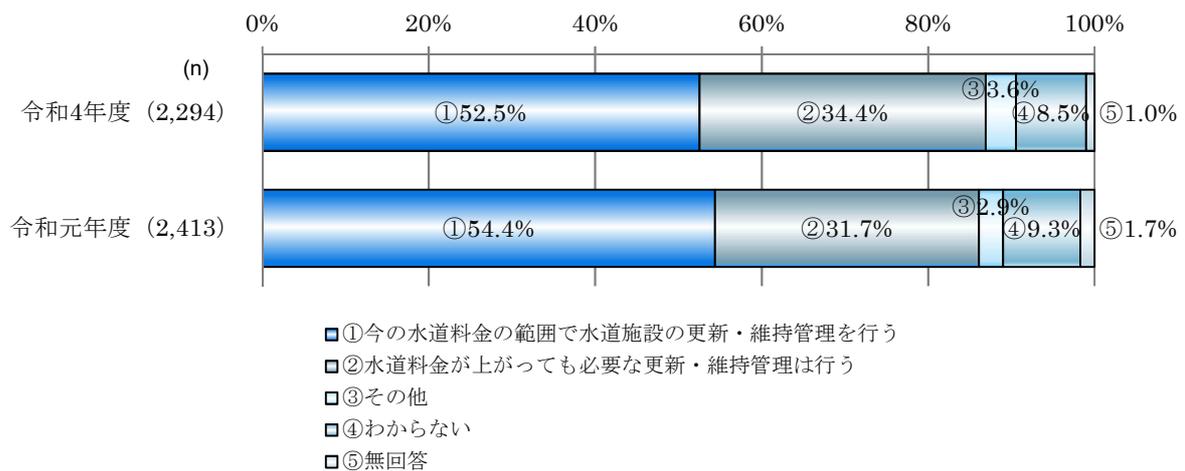
「今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う」が 52.5%と最も高い。次いで「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」が 34.4%と続く。



図表113 更新・維持管理についての意識【年代別】

年代別にみると、「今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う」と回答した割合は50代で57.2%と最も高い。また、「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」は60代、70歳以上などの高齢層で高い傾向がみられる。

② 経年比較



図表114 更新・維持管理についての意識【経年比較】

「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」は、令和元年度から令和4年度で、2.7ポイント増加した。

6 県営水道の上水道料金について

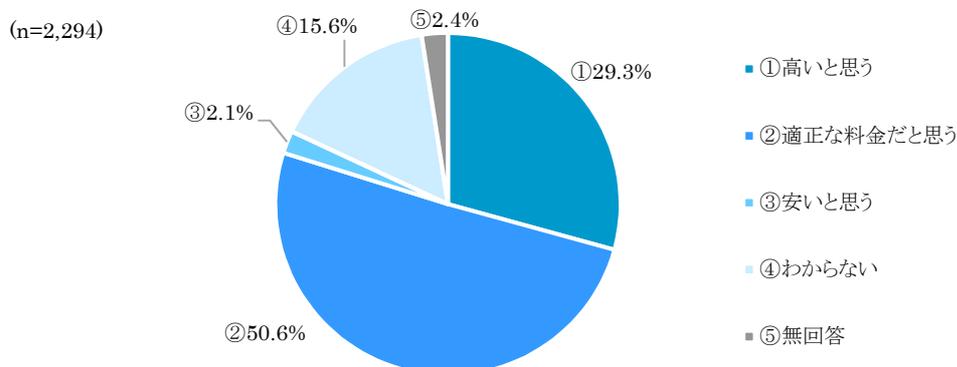
(1) 上水道料金について

【問 1 5】 現在お支払いいただいている上水道料金について、どう思いますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

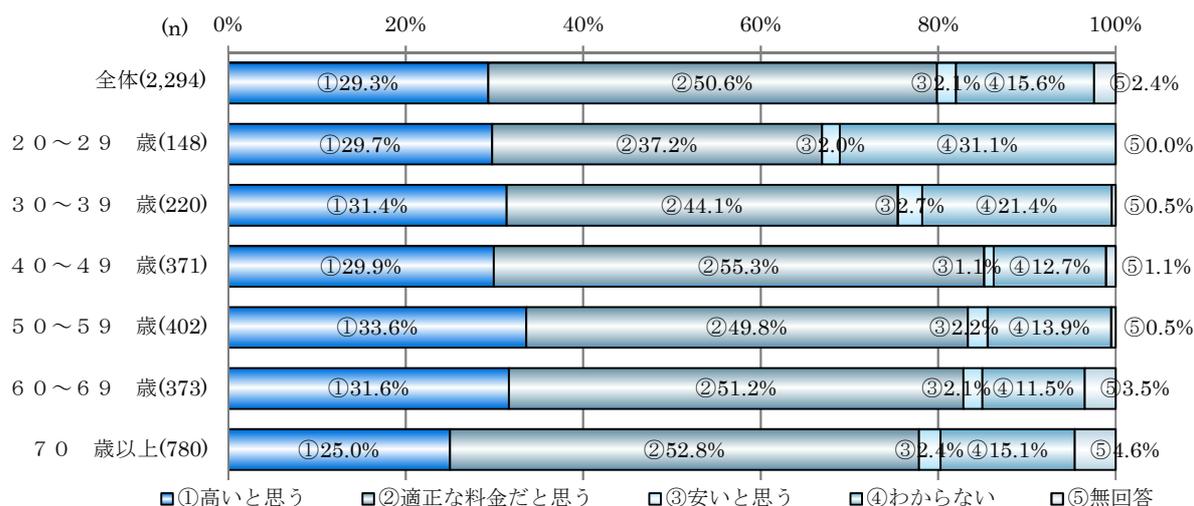
1. 高いと思う
2. 適正な料金だと思う
3. 安いと思う
4. わからない
5. わからない

① 単純集計・属性別集計



図表115 上水道料金について【単数回答】

「適正な料金だと思う」は 50.6%、「高いと思う」は 29.3%、「安いと思う」は 2.1%となった。適正な料金だという意見が半数となった。



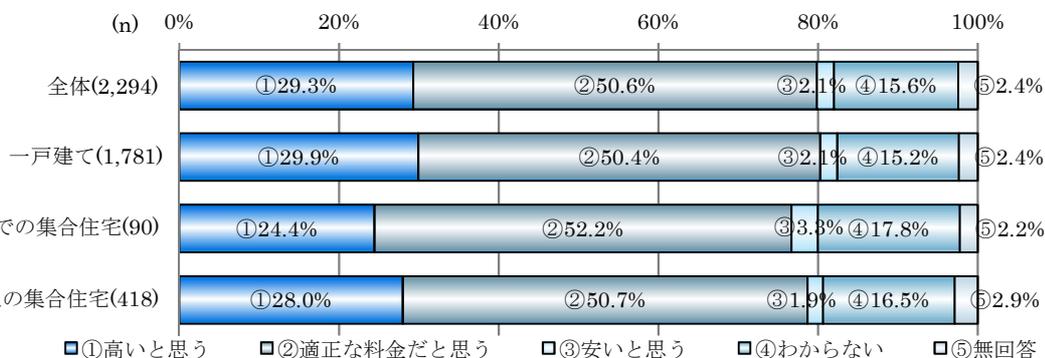
図表116 上水道料金について【年代別】

年代別にみると、「適正な料金だと思う」は 40 代で 55.3%と最も高く、次いで 70 歳以上で 52.8%と高い。

		全体	高いと思う	適正な料金 だと思う	安いと思う	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	672 29.3%	1160 50.6%	49 2.1%	357 15.6%	56 2.4%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	65 31.0%	109 51.9%	2 1.0%	30 14.3%	4 1.9%
	相模原市南区	226 100.0%	62 27.4%	112 49.6%	8 3.5%	36 15.9%	8 3.5%
	相模原市緑区	145 100.0%	48 33.1%	67 46.2%	5 3.4%	22 15.2%	3 2.1%
	鎌倉市	151 100.0%	39 25.8%	82 54.3%	3 2.0%	24 15.9%	3 2.0%
三浦 横須 賀地 域	逗子市	51 100.0%	10 19.6%	26 51.0%	1 2.0%	12 23.5%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	2 8.7%	15 65.2%	0 0.0%	4 17.4%	2 8.7%
	厚木市	175 100.0%	52 29.7%	90 51.4%	1 0.6%	30 17.1%	2 1.1%
県央 地域	大和市	182 100.0%	41 22.5%	96 52.7%	7 3.8%	33 18.1%	5 2.7%
	海老名市	130 100.0%	39 30.0%	67 51.5%	3 2.3%	19 14.6%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	26 37.1%	33 47.1%	0 0.0%	8 11.4%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	2 20.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	平塚市	214 100.0%	64 29.9%	104 48.6%	4 1.9%	35 16.4%	7 3.3%
湘南 地域	藤沢市	335 100.0%	112 33.4%	167 49.9%	8 2.4%	43 12.8%	5 1.5%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	55 29.9%	90 48.9%	3 1.6%	29 15.8%	7 3.8%
	伊勢原市	82 100.0%	22 26.8%	39 47.6%	1 1.2%	18 22.0%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	12 27.9%	24 55.8%	1 2.3%	5 11.6%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	6 23.1%	13 50.0%	2 7.7%	5 19.2%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	11 50.0%	10 45.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%
	小田原市	9 100.0%	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
県西 地域	箱根町	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%

図表117 上水道料金について【居住市区町別】

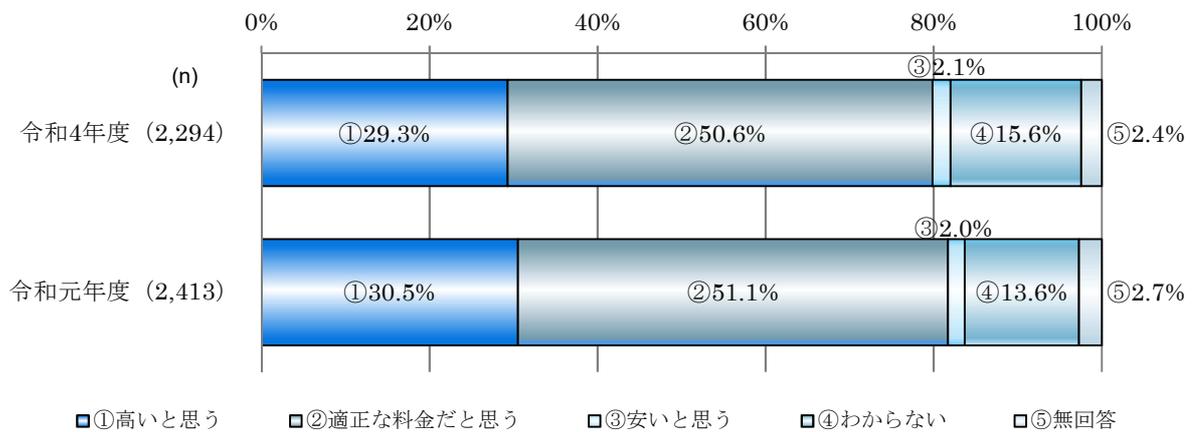
居住市区町別にみると、「高いと思う」は綾瀬市(37.1%)、藤沢市(33.4%)、相模原市緑区(33.1%)で高い。「適正な料金だと思う」は寒川町(55.8%)、鎌倉市(54.3%)、大和市(52.7%)などで高い。



図表118 上水道料金について【住居形態別】

住居形態別にみると、「高いと思う」は一戸建てで29.9%と他と比べて高い。また、「適正な料金だと思う」は2階建てまでの集合住宅で52.2%と最も高い。

② 経年比較



図表119 上水道料金について【経年比較】

「高いと思う」の割合は、令和元年度から令和4年度で、1.2ポイント減少した。

(2) 上水道料金についての知識

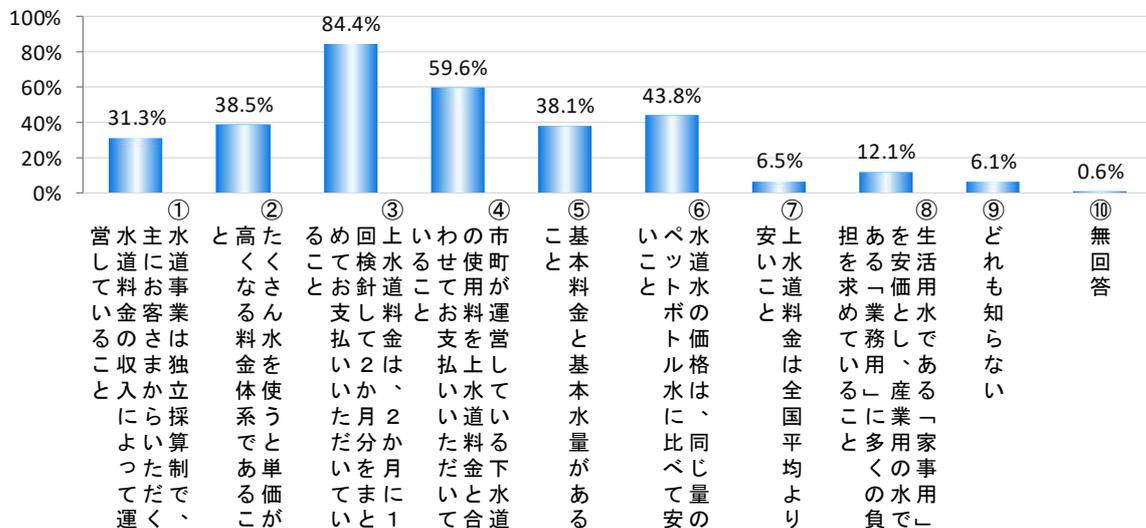
【問 16】 上水道料金について、あなたが知っていることはどれですか。

(いくつでも選び、○をつけてください。)

1. 水道事業は独立採算制で、主にお客さまからいただく水道料金の収入によって運営していること
2. たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること
3. 上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること
4. 市町が運営している下水道の使用料を上水道料金と合わせてお支払いいただいていること
5. 基本料金と基本水量があること
6. 水道水の価格は、同じ量のペットボトル水に比べて安いこと
7. 上水道料金は全国平均より安いこと
8. 生活用水である「家事用」を安価とし、産業用の水である「業務用」に多くの負担を求めていること
9. どれも知らない

(n=2,294)

① 単純集計・属性別集計



図表120 上水道料金についての知識【複数回答】

最も割合が高いのは「上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること」で84.4%。次いで「市町が運営している下水道の使用料を上水道料金と合わせてお支払いいただいていること」で59.6%、「水道水の価格は、同じ量のペットボトル水に比べて安いこと」で43.8%、「たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること」で38.5%、「基本料金と基本水量があること」で38.1%の順となる。

第2章 6 県営水道の上水道料金について
 図表 121 上水道料金についての知識【年代別】

	全体	水道事業は独立採算制で、主にお客さまからいただく水道料金の収入によって運営していること	たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること	上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること	市町が運営している下水道の使用料を上水道料金と合わせてお支払いいただいていること	基本料金と基本水量があること	水道水の価格は、同じ量のペットボトル水に比べて安いこと	上水道料金は全国平均より安いこと	生活用水である「家事用」を安価とし、産業用の水である「業務用」に多くの負担を求めていること	どれも知らない	無回答
全体	2294 100.0%	717 31.3%	883 38.5%	1936 84.4%	1368 59.6%	875 38.1%	1005 43.8%	150 6.5%	277 12.1%	140 6.1%	13 0.6%
20～29 歳	148 100.0%	20 13.5%	54 36.5%	76 51.4%	38 25.7%	40 27.0%	54 36.5%	4 2.7%	9 6.1%	31 20.9%	0 0.0%
30～39 歳	220 100.0%	64 29.1%	80 36.4%	174 79.1%	103 46.8%	65 29.5%	90 40.9%	9 4.1%	19 8.6%	26 11.8%	0 0.0%
40～49 歳	371 100.0%	97 26.1%	132 35.6%	319 86.0%	220 59.3%	125 33.7%	162 43.7%	21 5.7%	28 7.5%	19 5.1%	1 0.3%
50～59 歳	402 100.0%	126 31.3%	153 38.1%	348 86.6%	245 60.9%	157 39.1%	185 46.0%	26 6.5%	44 10.9%	21 5.2%	1 0.2%
60～69 歳	373 100.0%	128 34.3%	154 41.3%	339 90.9%	260 69.7%	177 47.5%	158 42.4%	27 7.2%	50 13.4%	10 2.7%	3 0.8%
70 歳以上	780 100.0%	282 36.2%	310 39.7%	680 87.2%	502 64.4%	311 39.9%	356 45.6%	63 8.1%	127 16.3%	33 4.2%	8 1.0%

図表121 上水道料金についての知識【年代別】

年代別にみると、「たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること」や「上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること」などで、60代の割合が最も高い。

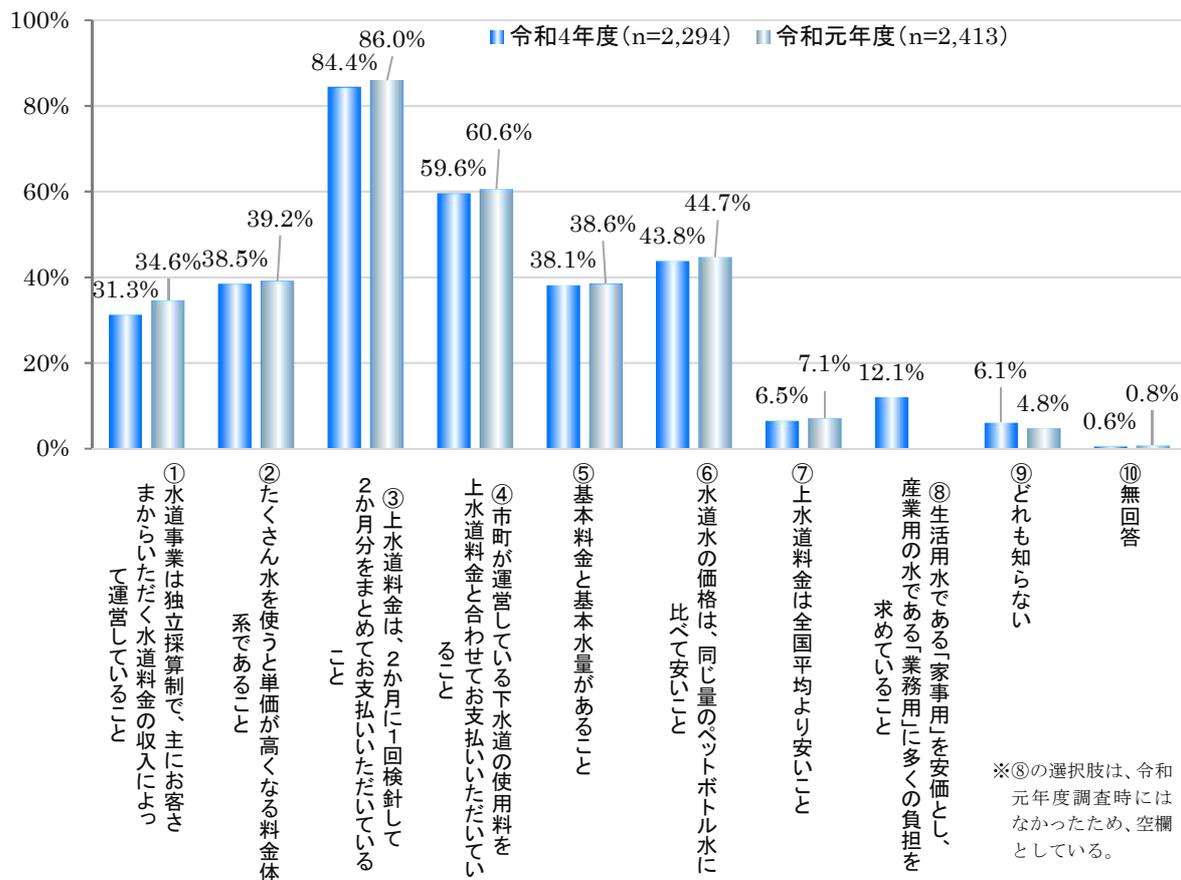
図表 122 上水道料金についての知識【居住市区町別】

		水道事業は独立採算制で、主にお客さまからいただく水道料金の収入によって運営していること	たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること	上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること	市町が運営している下水道の使用料を上水道料金と合わせてお支払いいただいていること	基本料金と基本水量があること	水道水の価格は、同じ量のペットボトル水に比べて安いこと	上水道料金は全国平均より安いこと	生活用水である「家事用」を安価とし、産業用の水である「業務用」に多くの負担を求めていること	どれも知らない	無回答	
	全体	2294 100.0%	717 31.3%	883 38.5%	1936 84.4%	1368 59.6%	875 38.1%	1005 43.8%	150 6.5%	277 12.1%	140 6.1%	13 0.6%
相模原地域	相模原市中央区	210 100.0%	70 33.3%	81 38.6%	171 81.4%	127 60.5%	89 42.4%	79 37.6%	19 9.0%	21 10.0%	15 7.1%	0 0.0%
	相模原市南区	226 100.0%	67 29.6%	84 37.2%	196 86.7%	138 61.1%	94 41.6%	98 43.4%	13 5.8%	22 9.7%	13 5.8%	1 0.4%
	相模原市緑区	145 100.0%	38 26.2%	56 38.6%	114 78.6%	78 53.8%	50 34.5%	59 40.7%	9 6.2%	13 9.0%	13 9.0%	1 0.7%
	鎌倉市	151 100.0%	51 33.8%	54 35.8%	127 84.1%	96 63.6%	45 29.8%	71 47.0%	9 6.0%	22 14.6%	6 4.0%	1 0.7%
三浦地域	逗子市	51 100.0%	19 37.3%	22 43.1%	42 82.4%	31 60.8%	23 45.1%	20 39.2%	3 5.9%	8 15.7%	3 5.9%	1 2.0%
	葉山町	23 100.0%	8 34.8%	6 26.1%	17 73.9%	11 47.8%	8 34.8%	12 52.2%	0 0.0%	4 17.4%	3 13.0%	1 4.3%
	厚木市	175 100.0%	43 24.6%	82 46.9%	140 80.0%	93 53.1%	54 30.9%	64 36.6%	12 6.9%	22 12.6%	13 7.4%	1 0.6%
県央地域	大和市	182 100.0%	48 26.4%	56 30.8%	158 86.8%	103 56.6%	64 35.2%	89 48.9%	18 9.9%	15 8.2%	10 5.5%	1 0.5%
	海老名市	130 100.0%	51 39.2%	51 39.2%	114 87.7%	85 65.4%	57 43.8%	69 53.1%	10 7.7%	18 13.8%	7 5.4%	1 0.8%
	綾瀬市	70 100.0%	16 22.9%	30 42.9%	56 80.0%	42 60.0%	22 31.4%	28 40.0%	6 8.6%	10 14.3%	6 8.6%	2 2.9%
	愛川町	10 100.0%	0 0.0%	3 30.0%	9 90.0%	8 80.0%	6 60.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	平塚市	214 100.0%	68 31.8%	78 36.4%	188 87.9%	123 57.5%	89 41.6%	87 40.7%	7 3.3%	23 10.7%	13 6.1%	0 0.0%
湘南地域	藤沢市	335 100.0%	117 34.9%	130 38.8%	287 85.7%	208 62.1%	124 37.0%	151 45.1%	27 8.1%	50 14.9%	15 4.5%	1 0.3%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	55 29.9%	81 44.0%	156 84.8%	105 57.1%	68 37.0%	83 45.1%	8 4.3%	19 10.3%	9 4.9%	2 1.1%
	伊勢原市	82 100.0%	29 35.4%	29 35.4%	66 80.5%	45 54.9%	34 41.5%	38 46.3%	3 3.7%	10 12.2%	8 9.8%	0 0.0%
	寒川町	43 100.0%	13 30.2%	15 34.9%	38 88.4%	35 81.4%	20 46.5%	19 44.2%	1 2.3%	7 16.3%	2 4.7%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	10 38.5%	10 38.5%	25 96.2%	15 57.7%	9 34.6%	15 57.7%	1 3.8%	6 23.1%	1 3.8%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	8 36.4%	8 36.4%	19 86.4%	16 72.7%	11 50.0%	9 40.9%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%
	小田原市	9 100.0%	4 44.4%	5 55.6%	8 88.9%	5 55.6%	5 55.6%	7 77.8%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
箱根町	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	5 83.3%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	

図表122 上水道料金についての知識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、全体で最も割合が高い「上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること」は、ほとんどの居住市区町で8割を超えている。

② 経年比較



図表123 上水道料金についての知識【経年比較】

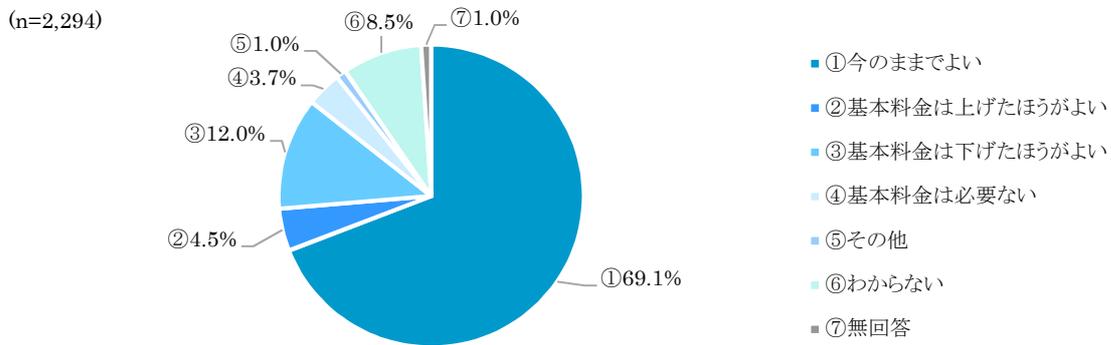
「水道事業は独立採算制で、主にお客さまからいただく水道料金の収入によって運営していること」の割合は、令和元年度から令和4年度で、3.3ポイント減少した。

(3) 基本料金についての意識

【問 17】 基本料金についてお聞きします。県営水道では、水道をお使いいただくための必要な費用をまかなうために、使用量に関係なく基本料金として2か月分で一律1,420円（税抜き）をお支払いいただいています。この基本料金についてどう思いますか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

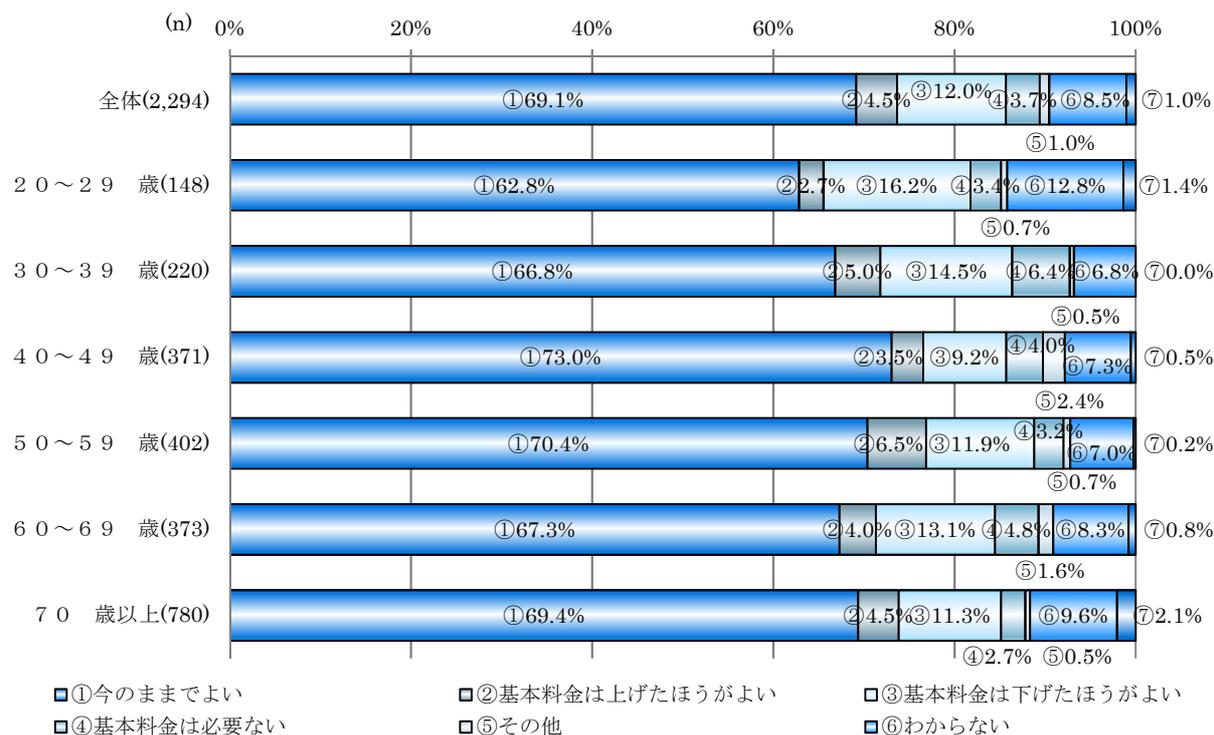
- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 今のままでよい | 2. 基本料金は上げたほうがよい |
| 3. 基本料金は下げたほうがよい | 4. 基本料金は必要ない |
| 5. その他 | 6. わからない |
| | 7. わからない |

① 単純集計・属性別集計



図表124 基本料金についての意識【単数回答】

「今のままでよい」が 69.1%と最も高い。「基本料金は上げたほうがよい」は 4.5%、「基本料金は下げたほうがよい」は 12.0%、「基本料金は必要ない」は 3.7%となった。



図表125 基本料金についての意識【年代別】

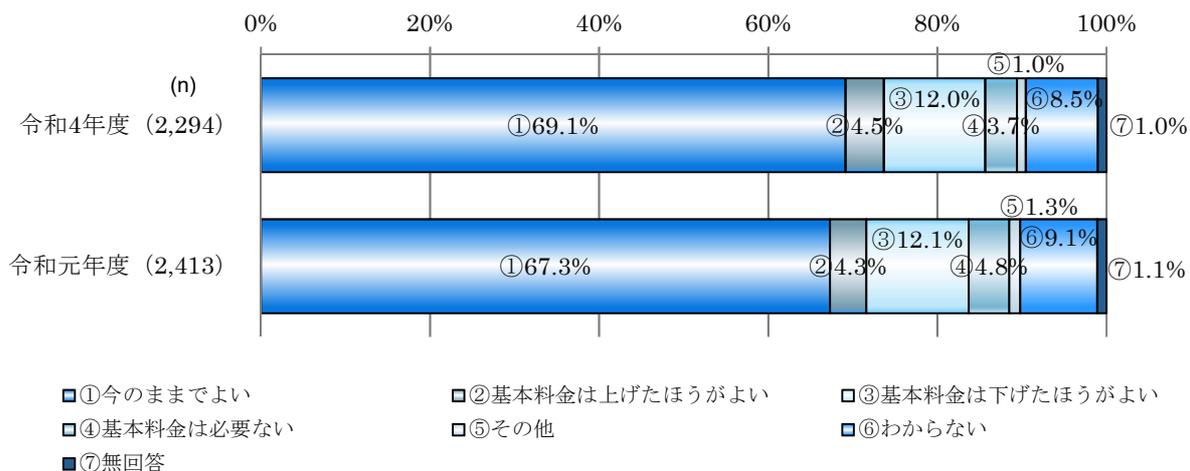
年代別にみると、「今のままでよい」は40代、50代で高い傾向がみられる。20代、30代では「基本料金は下げたほうがよい」の割合が他の年代よりも高い。

		全体	今のままで よい	基本料金 は上げた ほうがよい	基本料金 は下げた ほうがよい	基本料金 は必要な い	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	1586 69.1%	104 4.5%	275 12.0%	86 3.7%	24 1.0%	195 8.5%	24 1.0%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	139 66.2%	5 2.4%	26 12.4%	16 7.6%	2 1.0%	19 9.0%	3 1.4%
	相模原市南区	226 100.0%	151 66.8%	13 5.8%	24 10.6%	10 4.4%	3 1.3%	22 9.7%	3 1.3%
	相模原市緑区	145 100.0%	94 64.8%	5 3.4%	18 12.4%	4 2.8%	2 1.4%	17 11.7%	5 3.4%
三 浦 地 域	鎌倉市	151 100.0%	103 68.2%	14 9.3%	12 7.9%	9 6.0%	3 2.0%	10 6.6%	0 0.0%
	逗子市	51 100.0%	35 68.6%	3 5.9%	3 5.9%	0 0.0%	3 5.9%	6 11.8%	1 2.0%
	葉山町	23 100.0%	16 69.6%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%
県 央 地 域	厚木市	175 100.0%	120 68.6%	3 1.7%	30 17.1%	6 3.4%	1 0.6%	14 8.0%	1 0.6%
	大和市	182 100.0%	131 72.0%	13 7.1%	13 7.1%	2 1.1%	2 1.1%	19 10.4%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	92 70.8%	6 4.6%	19 14.6%	2 1.5%	1 0.8%	10 7.7%	0 0.0%
	綾瀬市	70 100.0%	45 64.3%	4 5.7%	10 14.3%	2 2.9%	0 0.0%	7 10.0%	2 2.9%
	愛川町	10 100.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
湘 南 地 域	平塚市	214 100.0%	151 70.6%	6 2.8%	25 11.7%	8 3.7%	2 0.9%	21 9.8%	1 0.5%
	藤沢市	335 100.0%	233 69.6%	17 5.1%	47 14.0%	15 4.5%	2 0.6%	16 4.8%	5 1.5%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	135 73.4%	7 3.8%	21 11.4%	6 3.3%	3 1.6%	12 6.5%	0 0.0%
	伊勢原市	82 100.0%	59 72.0%	2 2.4%	5 6.1%	5 6.1%	0 0.0%	11 13.4%	0 0.0%
	寒川町	43 100.0%	28 65.1%	4 9.3%	8 18.6%	1 2.3%	0 0.0%	2 4.7%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	20 76.9%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	16 72.7%	1 4.5%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
	箱根町	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%

図表126 基本料金についての意識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「今のままでよい」は茅ヶ崎市（73.4%）、大和市（72.0%）、伊勢原市（72.0%）などで高い。「基本料金は下げたほうがよい」は寒川町（18.6%）、厚木市（17.1%）、海老名市（14.6%）などで高い。

② 経年比較



図表127 基本料金についての意識【経年比較】

「今のままでよい」の割合は、令和元年度から令和4年度で、1.8ポイント増加した。

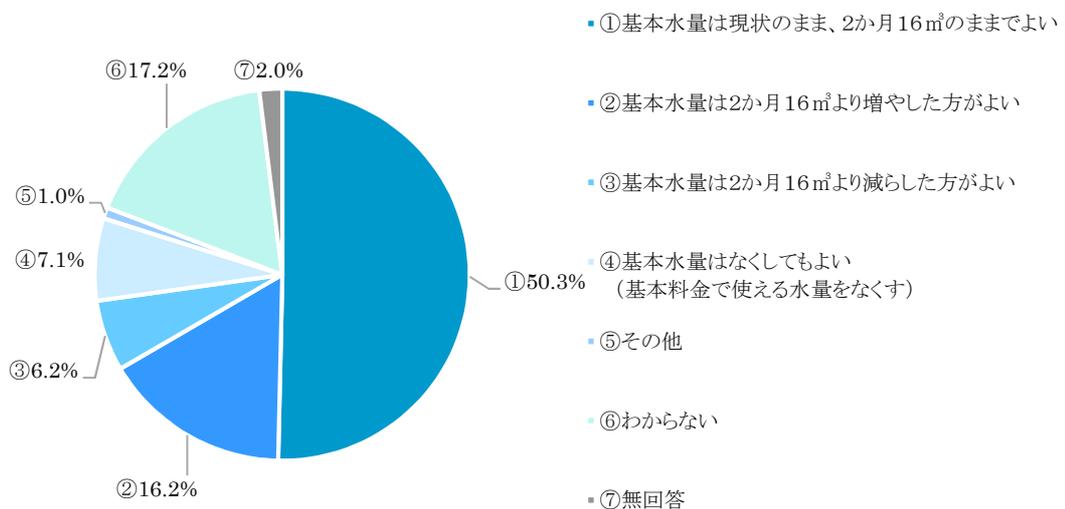
(4) 基本水量についての意識

【問 1 8】 基本水量についてお聞きします。県営水道では、水道使用量が2か月で 16 m³以下であれば、基本料金のみで負担で使用できます。この2か月 16 m³を基本水量と呼びます。基本水量についてどう思いますか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 基本水量は現状のまま、2か月 16 m³のままでよい
2. 基本水量は2か月 16 m³より増やした方がよい
3. 基本水量は2か月 16 m³より減らした方がよい
4. 基本水量はなくしてもよい（基本料金で使える水量をなくす）
5. その他
6. わからない

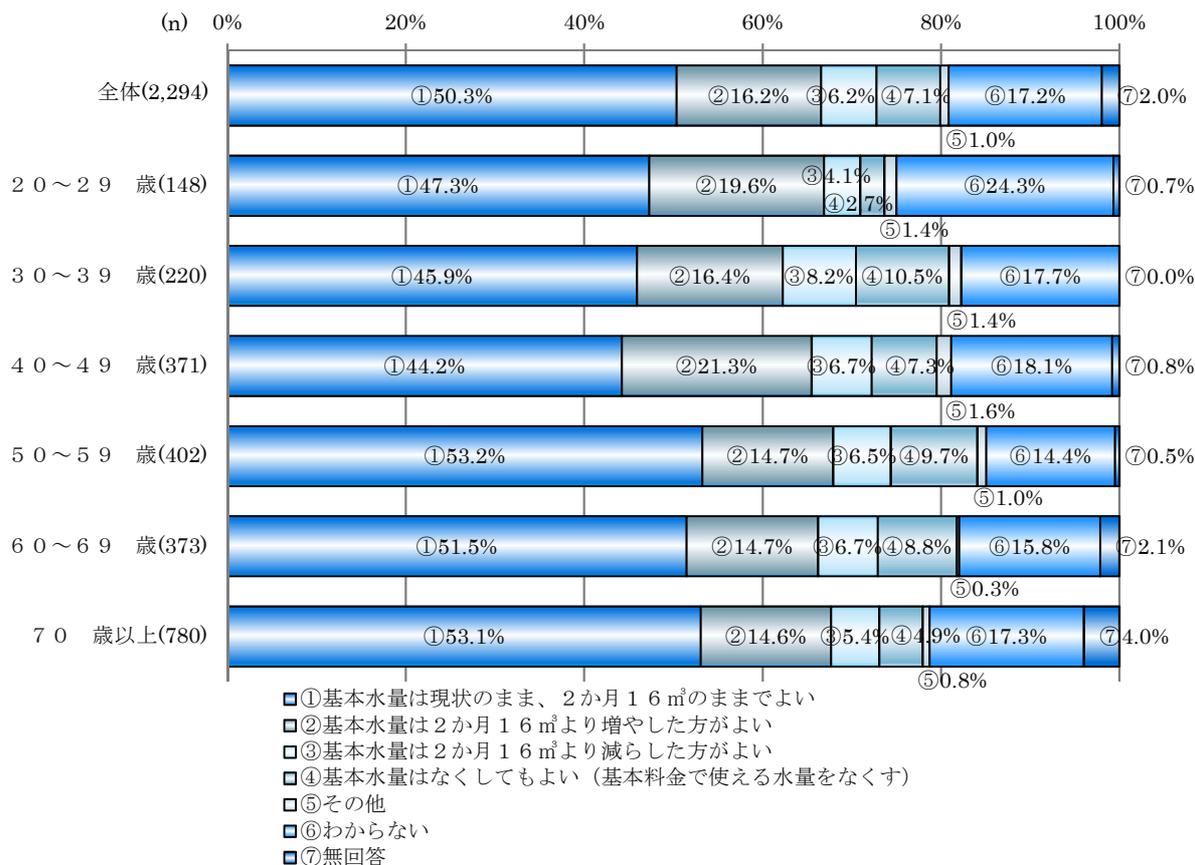
① 単純集計・属性別集計

(n=2,294)



図表128 基本水量についての意識【単数回答】

「基本水量は現状のまま、2か月 16 m³のままでよい」が 50.3%と最も高い。「基本水量は2か月 16 m³より増やした方がよい」は 16.2%、「基本水量は2か月 16 m³より減らした方がよい」は 6.2%、「基本水量はなくしてもよい（基本料金で使える水量をなくす）」は 7.1%となる。



図表129 基本水量についての意識【年代別】

年代別にみると、50代以上は「基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい」の割合が高い傾向となっている。

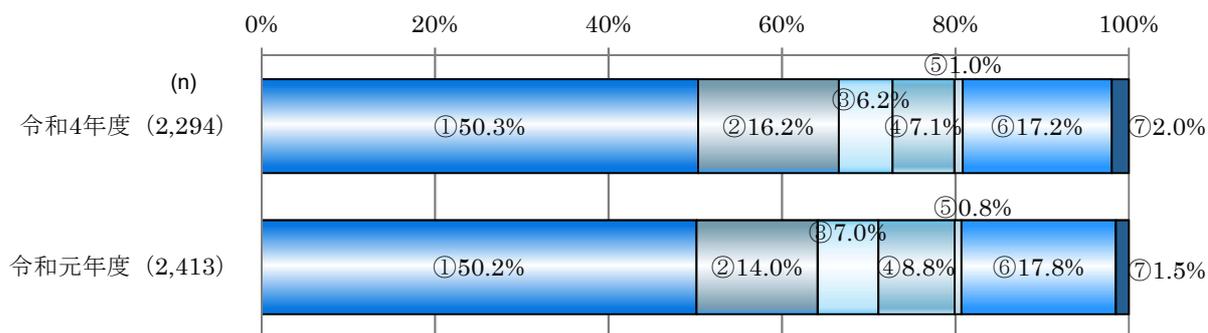
一方で、20代や40代では「基本水量は2か月16m³より増やした方がよい」という意見が他の年代よりも高い。

		全体	基本水量 は現状の まま、2か 月16m ³ の ままでよい	基本水量 は2か月1 6m ³ より増 やした方が よい	基本水量 は2か月1 6m ³ より減 らした方が よい	基本水量 はなくして もよい(基 本料金で 使える水量 をなくす)	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	1155 50.3%	372 16.2%	142 6.2%	164 7.1%	22 1.0%	394 17.2%	45 2.0%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	105 50.0%	40 19.0%	12 5.7%	18 8.6%	2 1.0%	31 14.8%	2 1.0%
	相模原市南区	226 100.0%	112 49.6%	36 15.9%	14 6.2%	12 5.3%	2 0.9%	46 20.4%	4 1.8%
	相模原市緑区	145 100.0%	66 45.5%	24 16.6%	11 7.6%	13 9.0%	2 1.4%	26 17.9%	3 2.1%
	鎌倉市	151 100.0%	76 50.3%	21 13.9%	11 7.3%	16 10.6%	3 2.0%	23 15.2%	1 0.7%
三 浦 地 域	逗子市	51 100.0%	28 54.9%	9 17.6%	2 3.9%	2 3.9%	2 3.9%	5 9.8%	3 5.9%
	葉山町	23 100.0%	14 60.9%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%
	厚木市	175 100.0%	86 49.1%	33 18.9%	10 5.7%	9 5.1%	0 0.0%	33 18.9%	4 2.3%
県 央 地 域	大和市	182 100.0%	94 51.6%	30 16.5%	11 6.0%	11 6.0%	1 0.5%	33 18.1%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	74 56.9%	16 12.3%	11 8.5%	7 5.4%	3 2.3%	17 13.1%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	31 44.3%	10 14.3%	5 7.1%	3 4.3%	0 0.0%	18 25.7%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
	平塚市	214 100.0%	105 49.1%	36 16.8%	6 2.8%	12 5.6%	3 1.4%	45 21.0%	7 3.3%
湘 南 地 域	藤沢市	335 100.0%	173 51.6%	50 14.9%	28 8.4%	28 8.4%	2 0.6%	44 13.1%	10 3.0%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	94 51.1%	28 15.2%	11 6.0%	15 8.2%	0 0.0%	34 18.5%	2 1.1%
	伊勢原市	82 100.0%	44 53.7%	13 15.9%	4 4.9%	4 4.9%	0 0.0%	15 18.3%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	18 41.9%	7 16.3%	2 4.7%	7 16.3%	0 0.0%	9 20.9%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	15 57.7%	4 15.4%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	5 19.2%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	10 45.5%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
	小田原市	9 100.0%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県 西 地 域	箱根町	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%

図表130 基本水量についての意識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「基本水量は現状のまま、2か月 16 m³のままでよい」は海老名市(56.9%)、逗子市(54.9%)、伊勢原市(53.7%)などで高い。

② 経年比較



- ①基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい
- ②基本水量は2か月16m³より増やした方がよい
- ③基本水量は2か月16m³より減らした方がよい
- ④基本水量はなくしてもよい (基本料金で使える水量をなくす)
- ⑤その他
- ⑥わからない
- ⑦無回答

図表131 基本水量についての意識【経年比較】

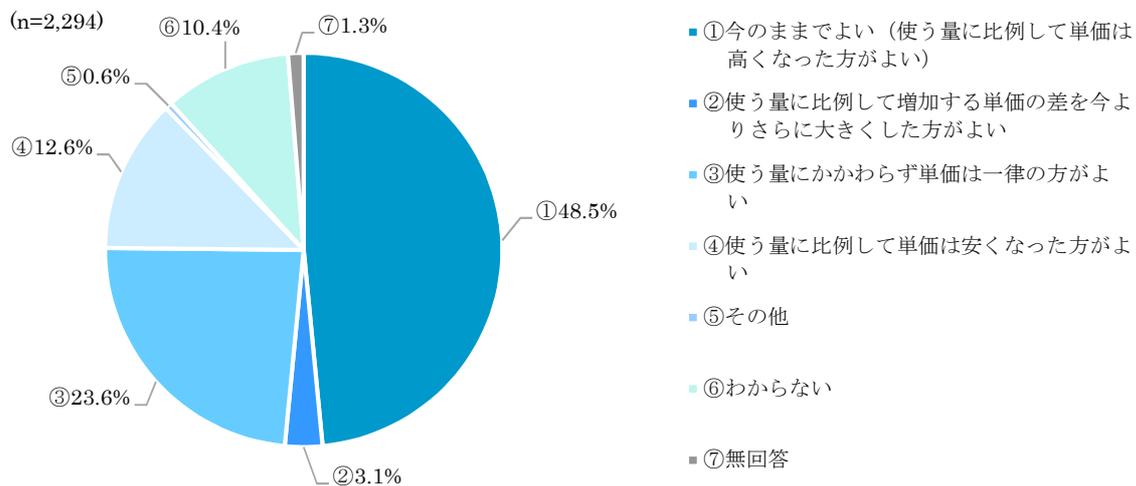
「基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい」の割合は、令和元年度から令和4年度で、あまり変化はみられなかった。

(5) 従量料金についての意識

【問 19】 従量料金についてお聞きします。基本水量の2か月 16 m³を超えると、1 m³ごとに料金（従量料金）が加算されます。また、使用する量が多くなるほど 1 m³あたりの単価が高くなります。この従量料金についてどう思いますか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

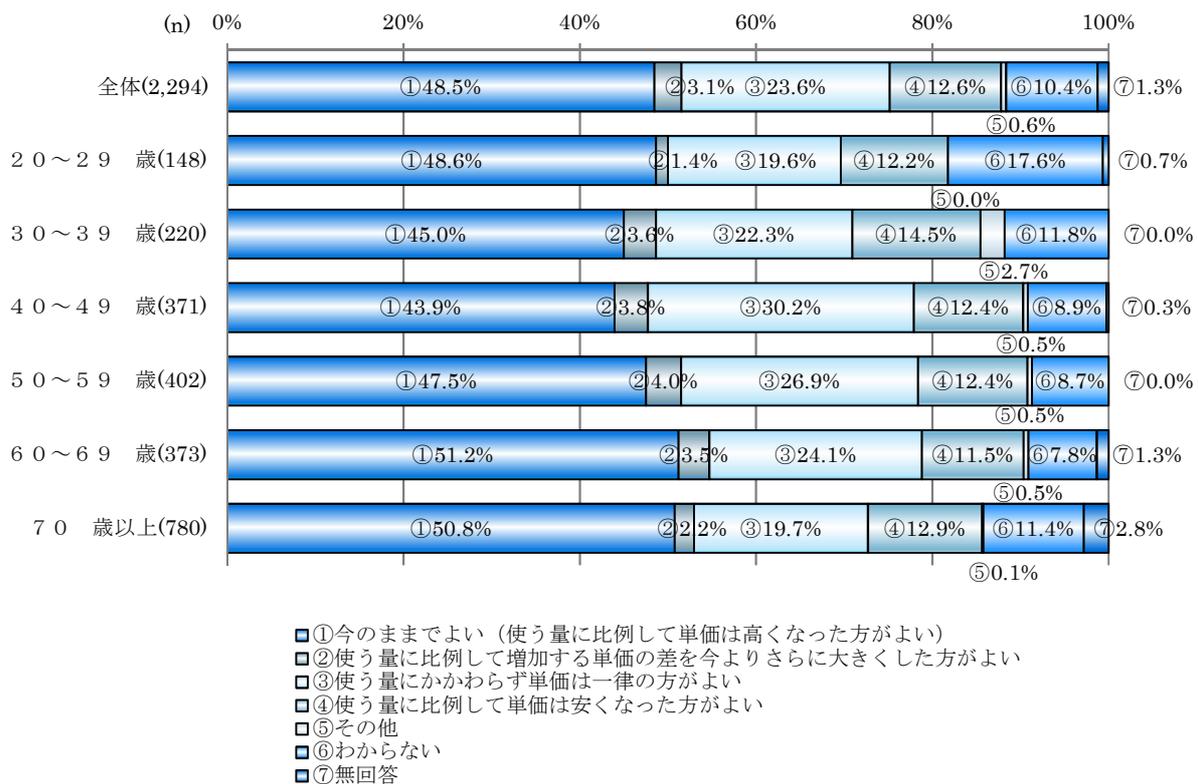
1. 今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）
2. 使う量に比例して増加する単価の差を今よりさらに大きくした方がよい
3. 使う量にかかわらず単価は一律の方がよい
4. 使う量に比例して単価は安くなった方がよい
5. その他
6. わからない

① 単純集計・属性別集計



図表132 従量料金についての意識【単数回答】

「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」が 48.5%と最も高い。次いで「使う量にかかわらず単価は一律の方がよい」が 23.6%、「使う量に比例して単価は安くなった方がよい」が 12.6%、「使う量に比例して増加する単価の差を今よりさらに大きくした方がよい」は 3.1%と続く。



図表133 従量料金についての意識【年代別】

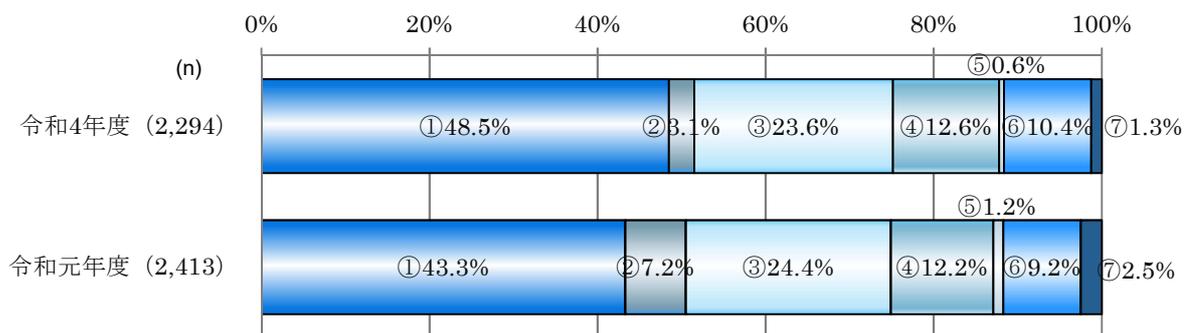
年代別にみると、40代では「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」が43.9%と低く、「使う量にかかわらず単価は一律の方がよい」が30.2%と高くなっている。また、60代以上では「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」が5割以上となっている。

		全体	今のままでよい(使う量に比例して単価は高くなった方がよい)	使う量に比例して増加する単価の差を今よりさらに大きくした方がよい	使う量にかかわらず単価は一律の方がよい	使う量に比例して単価は安くなった方がよい	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	1112 48.5%	70 3.1%	542 23.6%	290 12.6%	13 0.6%	238 10.4%	29 1.3%
相模原地域	相模原市中央区	210 100.0%	96 45.7%	5 2.4%	59 28.1%	27 12.9%	1 0.5%	20 9.5%	2 1.0%
	相模原市南区	226 100.0%	116 51.3%	4 1.8%	44 19.5%	28 12.4%	3 1.3%	30 13.3%	1 0.4%
	相模原市緑区	145 100.0%	56 38.6%	5 3.4%	33 22.8%	29 20.0%	1 0.7%	18 12.4%	3 2.1%
	鎌倉市	151 100.0%	73 48.3%	4 2.6%	35 23.2%	22 14.6%	2 1.3%	15 9.9%	0 0.0%
三浦横須賀地域	逗子市	51 100.0%	27 52.9%	3 5.9%	10 19.6%	4 7.8%	0 0.0%	4 7.8%	3 5.9%
	葉山町	23 100.0%	15 65.2%	0 0.0%	5 21.7%	1 4.3%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%
	厚木市	175 100.0%	84 48.0%	3 1.7%	33 18.9%	26 14.9%	0 0.0%	27 15.4%	2 1.1%
県央地域	大和市	182 100.0%	94 51.6%	7 3.8%	43 23.6%	17 9.3%	0 0.0%	19 10.4%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	60 46.2%	7 5.4%	31 23.8%	17 13.1%	3 2.3%	10 7.7%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	28 40.0%	2 2.9%	15 21.4%	13 18.6%	0 0.0%	9 12.9%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
	平塚市	214 100.0%	104 48.6%	6 2.8%	57 26.6%	22 10.3%	0 0.0%	21 9.8%	4 1.9%
湘南地域	藤沢市	335 100.0%	176 52.5%	11 3.3%	75 22.4%	45 13.4%	0 0.0%	23 6.9%	5 1.5%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	89 48.4%	8 4.3%	47 25.5%	21 11.4%	3 1.6%	15 8.2%	1 0.5%
	伊勢原市	82 100.0%	45 54.9%	1 1.2%	23 28.0%	2 2.4%	0 0.0%	11 13.4%	0 0.0%
	寒川町	43 100.0%	19 44.2%	3 7.0%	10 23.3%	6 14.0%	0 0.0%	4 9.3%	1 2.3%
	大磯町	26 100.0%	12 46.2%	0 0.0%	8 30.8%	2 7.7%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	11 50.0%	1 4.5%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
	小田原市	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
箱根町	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	
県西地域									

図表134 従量料金についての意識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」は伊勢原市（54.9%）、逗子市（52.9%）、藤沢市（52.5%）などで高い。

② 経年比較



- ①今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）
- ②使う量に比例して増加する単価の差を今よりさらに大きくした方がよい
- ③使う量にかかわらず単価は一律の方がよい
- ④使う量に比例して単価は安くなった方がよい
- ⑤その他
- ⑥わからない
- ⑦無回答

図表135 従量料金についての意識【経年比較】

「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」の割合は、令和元年度から令和4年度で、5.2ポイント増加した。

（※令和元年度と令和4年度では、選択肢の表現が異なります。）

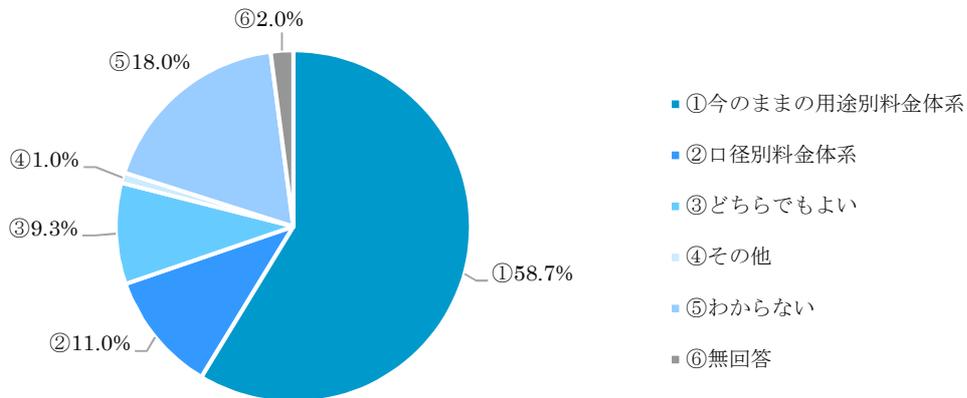
(6) 料金体系のあり方

【問20】 料金体系についてお聞きします。現在、神奈川県営水道事業審議会において、水の供給により受けるサービスの量と、そのサービス提供に見合う費用負担の観点から、料金体系のあり方を議論しています。料金体系について、どう考えますか。(1つだけ選び、○をつけてください。)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 今のままの用途別料金体系でよい | 2. 口径別料金体系の方がよい |
| 3. どちらでもよい | 4. その他 |
| 5. わからない | |

① 単純集計・属性別集計

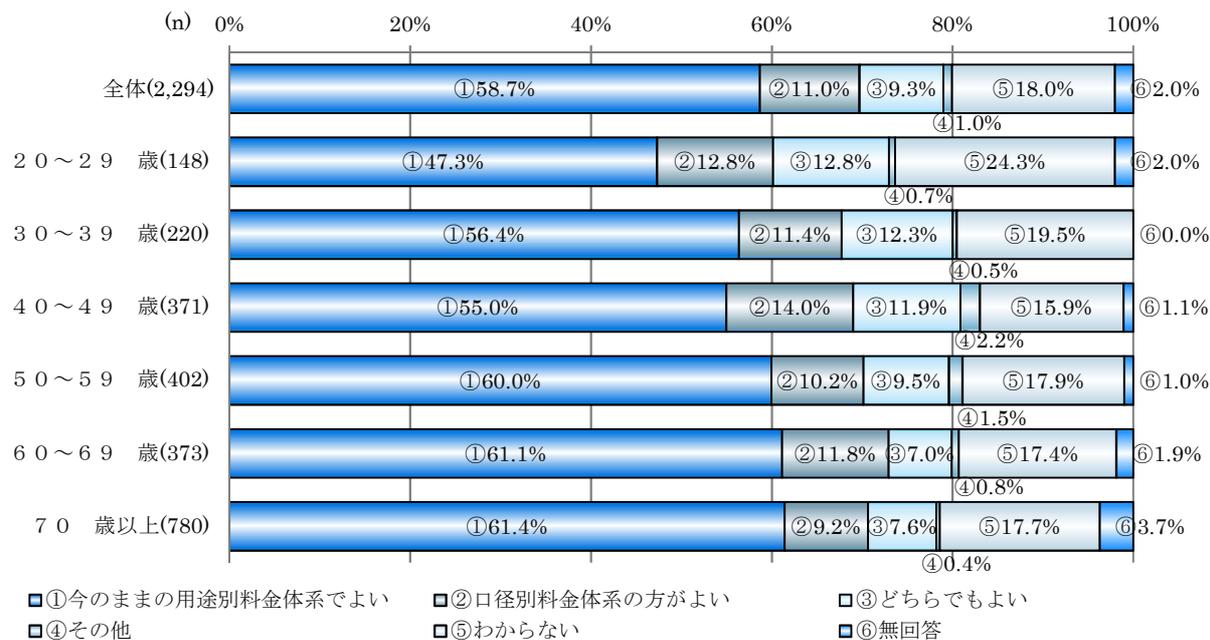
(n=2,294)



図表136 料金体系についての意識【単数回答】

「今のままの用途別料金体系でよい」が 58.7%と最も高い。次いで「口径別料金体系の方がよい」が 11.0%、「どちらでもよい」が 9.3%と続く。

第2章 6 県営水道の上水道料金について
 図表 137 料金体系についての意識【年代別】



図表137 料金体系についての意識【年代別】

年代別にみると、50代以上で「今のままの用途別料金体系でよい」が6割以上と高くなる傾向がみられる。

		全体	今のままの 用途別料 金体系でよ い	口径別料 金体系の 方がよい	どちらでも よい	その他	わからない	無回答
全体		2294 100.0%	1346 58.7%	253 11.0%	213 9.3%	22 1.0%	413 18.0%	47 2.0%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	119 56.7%	25 11.9%	16 7.6%	2 1.0%	45 21.4%	3 1.4%
	相模原市南区	226 100.0%	144 63.7%	20 8.8%	22 9.7%	1 0.4%	35 15.5%	4 1.8%
	相模原市緑区	145 100.0%	78 53.8%	13 9.0%	18 12.4%	2 1.4%	29 20.0%	5 3.4%
三浦 横須 賀地 域	鎌倉市	151 100.0%	93 61.6%	22 14.6%	10 6.6%	2 1.3%	22 14.6%	2 1.3%
	逗子市	51 100.0%	36 70.6%	2 3.9%	2 3.9%	2 3.9%	7 13.7%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	14 60.9%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	6 26.1%	1 4.3%
県央 地域	厚木市	175 100.0%	101 57.7%	18 10.3%	22 12.6%	0 0.0%	31 17.7%	3 1.7%
	大和市	182 100.0%	104 57.1%	20 11.0%	16 8.8%	1 0.5%	40 22.0%	1 0.5%
	海老名市	130 100.0%	71 54.6%	17 13.1%	14 10.8%	4 3.1%	21 16.2%	3 2.3%
	綾瀬市	70 100.0%	36 51.4%	5 7.1%	9 12.9%	1 1.4%	14 20.0%	5 7.1%
	愛川町	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%
湘南 地域	平塚市	214 100.0%	127 59.3%	19 8.9%	28 13.1%	0 0.0%	37 17.3%	3 1.4%
	藤沢市	335 100.0%	196 58.5%	48 14.3%	27 8.1%	4 1.2%	48 14.3%	12 3.6%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	108 58.7%	21 11.4%	18 9.8%	3 1.6%	32 17.4%	2 1.1%
	伊勢原市	82 100.0%	50 61.0%	8 9.8%	5 6.1%	0 0.0%	19 23.2%	0 0.0%
	寒川町	43 100.0%	27 62.8%	4 9.3%	1 2.3%	0 0.0%	11 25.6%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	15 57.7%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	7 26.9%	1 3.8%
	二宮町	22 100.0%	15 68.2%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%
県 西 地 域	小田原市	9 100.0%	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%

図表138 料金体系についての意識【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「今のままの用途別料金体系でよい」は逗子市（70.6%）、相模原市南区（63.7%）、寒川町（62.8%）などで高い。

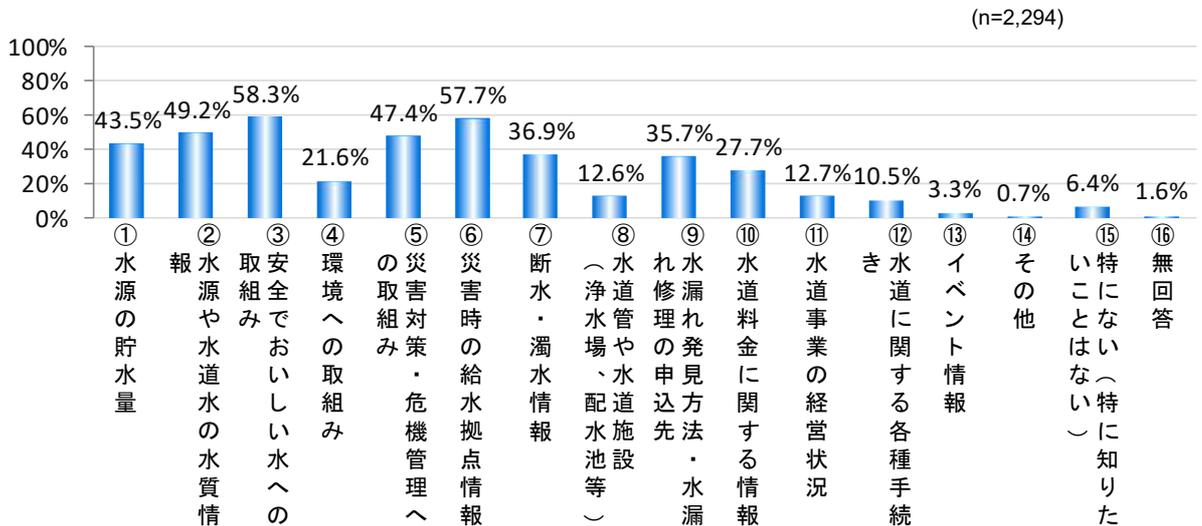
7 県営水道の広報活動等について

(1) 県営水道について知りたい情報

【問 2 1】 あなたが県営水道に関して知りたい情報は次のどれですか。（いくつでも選び、○をつけてください。）

1. 水源の貯水量
2. 水源や水道水の水質情報
3. 安全でおいしい水への取組み
4. 環境への取組み
5. 災害対策・危機管理への取組み
6. 災害時の給水拠点情報
7. 断水・濁水情報
8. 水道管や水道施設（浄水場、配水池等）
9. 水漏れ発見方法・水漏れ修理の申込先
10. 水道料金に関する情報
11. 水道事業の経営状況
12. 水道に関する各種手続き
13. イベント情報
14. その他
15. 特にない（特に知りたいことはない）

① 単純集計・属性別集計



図表139 県営水道について知りたい情報【複数回答】

「安全でおいしい水への取組み」が58.3%と最も高い。次いで「災害時の給水拠点情報」で57.7%、「水源や水道水の水質情報」で49.2%、「災害対策・危機管理への取組み」で47.4%、「水源の貯水量」で43.5%などと続く。水の安全性や、災害時の水の確保などの情報に関心が高い傾向がみられる。

第2章 7 県営水道の広報活動等について
 図表 140 県営水道について知りたい情報【年代別】

	全体	水源の貯水量	水源や水道水の水質情報	安全でおいしい水への取組み	環境への取組み	災害対策・危機管理への取組み	災害時の給水拠点情報	断水・濁水情報	水道管や水道施設(浄水場、配水池等)	水道管や水道施設(浄水場、配水池等)	水漏れ発見方法・水漏れ修理の申込先	水道料金に関する情報	水道事業の経営状況	水道に関する各種手続き	イベント情報	その他	特になし(特 に知りたいこ とはない)	無回答
全体	2294 100.0%	998 43.5%	1128 49.2%	1338 58.3%	495 21.6%	1087 47.4%	1324 57.7%	846 36.9%	289 12.6%	820 35.7%	636 27.7%	291 12.7%	242 10.5%	75 3.3%	16 0.7%	146 6.4%	37 1.6%	
20～29 歳	148 100.0%	44 29.7%	54 36.5%	78 52.7%	39 26.4%	61 41.2%	65 43.9%	52 35.1%	14 9.5%	38 25.7%	50 33.8%	16 10.8%	18 12.2%	3 2.0%	0 0.0%	25 16.9%	0 0.0%	
30～39 歳	220 100.0%	77 35.0%	89 40.5%	115 52.3%	46 20.9%	110 50.0%	125 56.8%	76 34.5%	31 14.1%	71 32.3%	65 29.5%	35 15.9%	24 10.9%	7 3.2%	2 0.9%	17 7.7%	0 0.0%	
40～49 歳	371 100.0%	164 44.2%	187 50.4%	193 52.0%	84 22.6%	193 52.0%	235 63.3%	166 44.7%	44 11.9%	150 40.4%	138 37.2%	48 12.9%	61 16.4%	19 5.1%	4 1.1%	21 5.7%	0 0.0%	
50～59 歳	402 100.0%	179 44.5%	225 56.0%	230 57.2%	86 21.4%	197 49.0%	246 61.2%	174 43.3%	45 11.2%	157 39.1%	120 29.9%	53 13.2%	53 13.2%	14 3.5%	3 0.7%	28 7.0%	1 0.2%	
60～69 歳	373 100.0%	172 46.1%	202 54.2%	220 59.0%	81 21.7%	198 53.1%	224 60.1%	136 36.5%	50 13.4%	122 32.7%	94 25.2%	41 11.0%	34 9.1%	12 3.2%	2 0.5%	22 5.9%	6 1.6%	
70 歳以上	780 100.0%	362 46.4%	371 47.6%	502 64.4%	159 20.4%	328 42.1%	429 55.0%	242 31.0%	105 13.5%	282 36.2%	169 21.7%	98 12.6%	52 6.7%	20 2.6%	5 0.6%	33 4.2%	30 3.8%	

図表140 県営水道について知りたい情報【年代別】

年代別にみると、年代が上がるにつれて「水源の貯水量」が高くなる傾向がみられる。「安全でおいしい水への取組み」はいずれの年代も5割以上であり、70歳以上で64.4%と最も高い。

第2章 7 県営水道の広報活動等について

図表 141 県営水道について知りたい情報【居住市区町別】

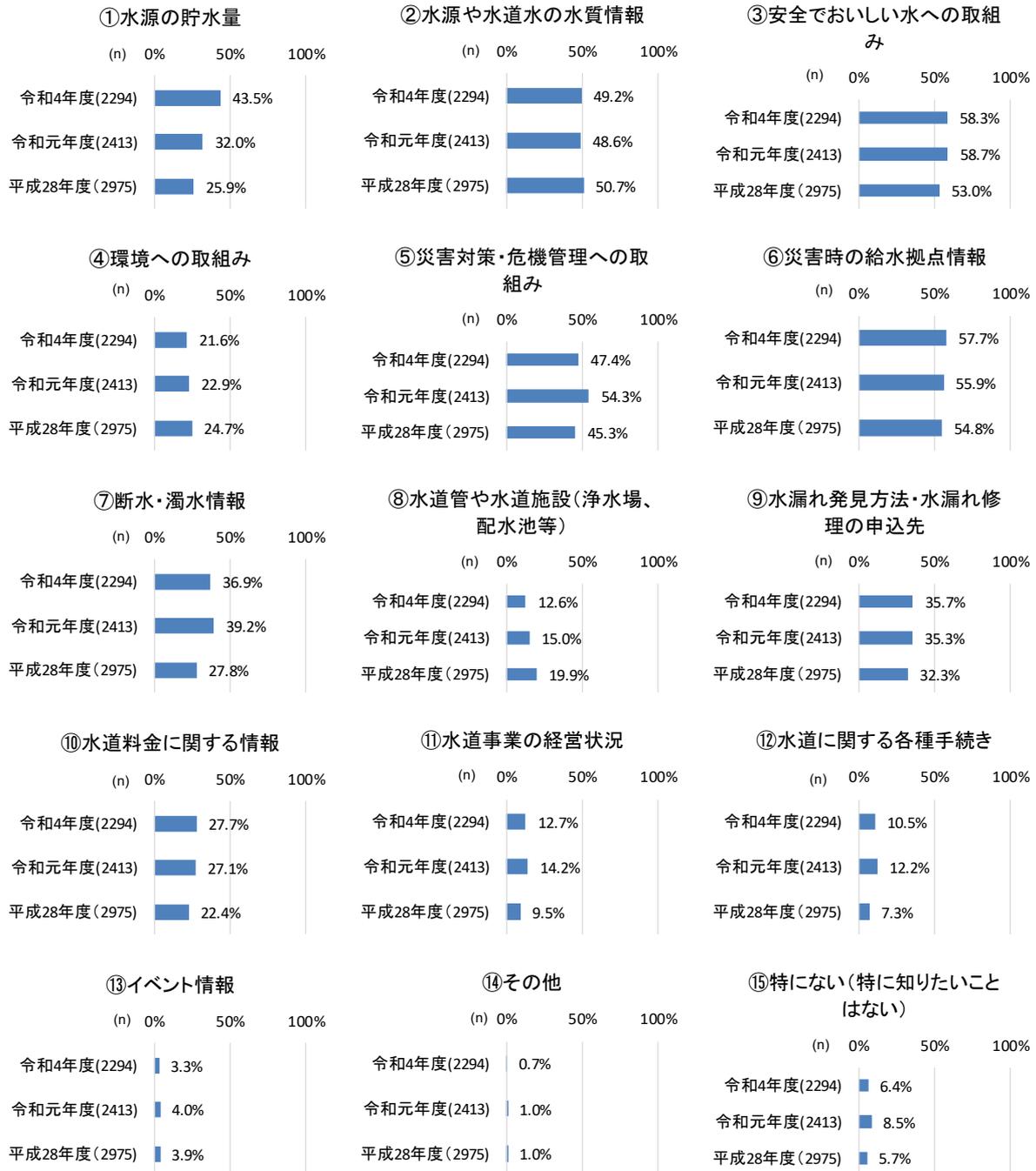
		全体	水源の貯水量	水源や水道水の水質情報	安全でおいしい水への取組み	環境への取組み	災害対策・危機管理への取組み	災害時の給水拠点情報	断水・濁水情報	水道管や水道施設(浄水場、配水池等)	水漏れ発見方法・水漏れ修理の申込先	水道料金に関する情報	水道事業の経営状況	水道に関する各種手続き	イベント情報	その他	特になに(特に知りたいことはない)	無回答
	全体	2294 100.0%	998 43.5%	1128 49.2%	1338 58.3%	495 21.6%	1087 47.4%	1324 57.7%	846 36.9%	289 12.6%	820 35.7%	636 27.7%	291 12.7%	242 10.5%	75 3.3%	16 0.7%	146 6.4%	37 1.6%
相模原地域	相模原市中央区	210 100.0%	89 42.4%	98 46.7%	118 56.2%	23.3%	49 45.2%	118 56.2%	77 36.7%	25 11.9%	76 36.2%	64 30.5%	28 13.3%	23 11.0%	9 4.3%	1 0.5%	16 7.6%	1 0.5%
	相模原市南区	226 100.0%	92 40.7%	88 38.9%	131 58.0%	20.4%	46 47.3%	132 58.4%	73 32.3%	20 8.8%	72 31.9%	43 19.0%	22 9.7%	25 11.1%	5 2.2%	1 0.4%	27 11.9%	2 0.9%
	相模原市緑区	145 100.0%	55 37.9%	59 40.7%	80 55.2%	19.3%	28 38.6%	56 49.7%	72 31.7%	46 31.7%	24 16.6%	40 27.6%	34 23.4%	18 12.4%	14 9.7%	4 2.8%	1 0.7%	16 11.0%
三浦地域	鎌倉市	151 100.0%	69 45.7%	81 53.6%	78 51.7%	19.2%	29 45.0%	68 62.9%	95 36.4%	20 13.2%	59 39.1%	33 21.9%	25 16.6%	17 11.3%	2 1.3%	1 0.7%	8 5.3%	4 2.8%
	逗子市	51 100.0%	21 41.2%	26 51.0%	31 60.8%	21.6%	11 35.3%	18 47.1%	24 45.1%	7 13.7%	15 29.4%	14 27.5%	7 13.7%	6 11.8%	0 0.0%	2 3.9%	3 5.9%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	9 39.1%	10 43.5%	15 65.2%	26.1%	6 34.8%	10 43.5%	11 47.8%	3 13.0%	7 30.4%	9 39.1%	2 8.7%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
県央地域	厚木市	175 100.0%	74 42.3%	85 48.6%	112 64.0%	19.4%	34 52.0%	91 56.6%	99 36.6%	17 9.7%	58 33.1%	46 26.3%	17 9.7%	13 7.4%	3 1.7%	0 0.0%	12 6.9%	4 2.3%
	大和市	182 100.0%	75 41.2%	89 48.9%	102 56.0%	15.9%	29 43.4%	79 52.2%	95 36.3%	20 11.0%	64 35.2%	49 26.9%	23 12.6%	14 7.7%	9 4.9%	1 0.5%	15 8.2%	2 1.1%
	海老名市	130 100.0%	54 41.5%	68 52.3%	76 58.5%	17.7%	23 47.7%	62 54.6%	71 39.2%	21 16.2%	45 34.6%	43 33.1%	12 9.2%	17 13.1%	5 3.8%	0 0.0%	2 1.5%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	29 41.4%	37 52.9%	42 60.0%	20.0%	14 44.3%	31 64.3%	45 34.3%	24 17.1%	12 35.7%	25 32.9%	9 12.9%	7 10.0%	4 5.7%	0 0.0%	4 5.7%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	2 20.0%	6 60.0%	7 70.0%	30.0%	3 40.0%	4 80.0%	8 40.0%	2 20.0%	3 30.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
湘南地域	平塚市	214 100.0%	78 36.4%	102 47.7%	129 60.3%	22.9%	49 50.0%	107 57.5%	123 32.7%	24 11.2%	80 37.4%	56 26.2%	26 12.1%	25 11.7%	6 2.8%	3 1.4%	16 7.5%	4 1.9%
	藤沢市	335 100.0%	157 46.9%	174 51.9%	188 56.1%	24.5%	82 48.1%	161 60.6%	203 38.2%	50 14.9%	133 39.7%	99 29.6%	45 13.4%	29 8.7%	16 4.8%	3 0.9%	15 4.5%	5 1.5%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	90 48.9%	102 55.4%	114 62.0%	24.5%	45 54.9%	101 60.9%	112 37.5%	16 8.7%	63 34.2%	61 33.2%	26 14.1%	22 12.0%	3 1.6%	2 1.1%	5 2.7%	4 2.2%
	伊勢原市	82 100.0%	50 61.0%	45 54.9%	51 62.2%	28.0%	23 52.4%	43 67.1%	55 46.3%	15 18.3%	34 41.5%	27 32.9%	16 19.5%	11 13.4%	3 3.7%	0 0.0%	2 2.4%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	21 48.8%	22 51.2%	26 60.5%	20.9%	9 60.5%	26 69.8%	30 44.2%	19 4.7%	15 34.9%	9 20.9%	3 7.0%	5 11.6%	1 2.3%	1 2.3%	3 7.0%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	14 53.8%	15 57.7%	17 65.4%	26.9%	7 46.2%	12 38.5%	10 42.3%	6 23.1%	12 46.2%	7 26.9%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	11 50.0%	12 54.5%	12 54.5%	18.2%	4 59.1%	13 59.1%	13 40.9%	9 13.6%	3 54.5%	12 54.5%	3 54.5%	4 13.6%	2 18.2%	0 9.1%	0 0.0%	1 4.5%
県西地域	小田原市	9 100.0%	5 55.6%	7 77.8%	5 55.6%	11.1%	1 33.3%	3 66.7%	6 44.4%	1 11.1%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	4 66.7%	50.0%	3 33.3%	2 50.0%	3 66.7%	4 16.7%	1 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表141 県営水道について知りたい情報【居住市区町別】

居住市区町別にみると、逗子市(60.8%)、厚木市(64.0%)、茅ヶ崎市(62.0%)、綾瀬市(60.0%)、伊勢原市(62.2%)などで「安全でおいしい水への取組み」が高くなっている。

図表 142 県営水道について知りたい情報【項目別経年比較】

② 経年比較



図表142 県営水道について知りたい情報【項目別経年比較】

「水源の貯水量」(平成28年度25.9%→令和元年度32.0%→令和4年度43.5%)や「災害時の給水拠点情報」(平成28年度54.8%→令和元年度55.9%→令和4年度57.7%)などの割合が増加傾向となった。

一方で、「水道管や水道施設(浄水場、配水池等)」などの割合が低下傾向(平成28年度19.9%→令和元年度15.0%→令和4年度12.6%)となった。

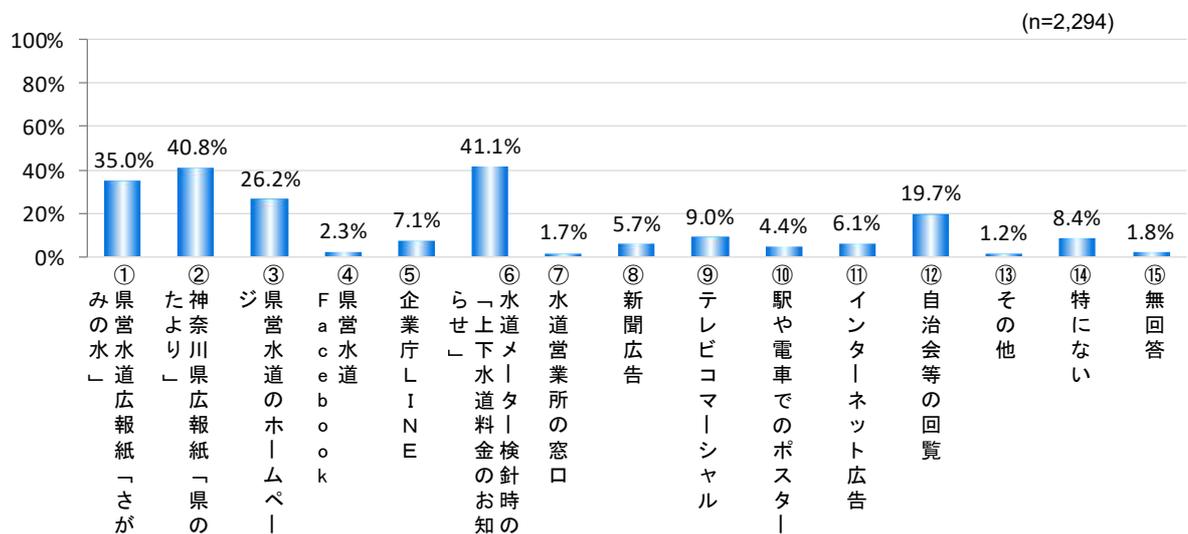
図表 143 県営水道に関する情報を知る手段【複数回答】

(2) 県営水道に関する情報を知る手段

【問 2 2】 あなたは県営水道に関する情報を何によって知りたいですか。(いくつでも選び、○をつけてください。)

1. 県営水道広報紙「さがみの水」
2. 神奈川県広報紙「県のたより」
3. 県営水道のホームページ
4. 県営水道 Facebook
5. 企業庁 LINE
6. 水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」
7. 水道営業所の窓口
8. 新聞広告
9. テレビコマーシャル
10. 駅や電車でのポスター
11. インターネット広告
12. 自治会等の回覧
13. その他
14. 特にない

① 単純集計・属性別集計



図表143 県営水道に関する情報を知る手段【複数回答】

「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」が 41.1%で最も高い。次いで「神奈川県広報紙「県のたより」で 40.8%、「県営水道広報紙「さがみの水」で 35.0%、「県営水道のホームページ」で 26.2%などと続く。

図表 144 県営水道に関する情報を知る手段【年代別】

	全体	県営水道 広報紙「さ がみの水」	神奈川 県広報紙「 県のたより」	県営水道の ホームページ	県営水道 Facebook	企業庁 LINE	水道メー ター検針時 の「上下 水道料金 のお知らせ」	水道営 業所の 窓口	新聞 広告	テレビ コマー シャル	駅や電 車での ポスター	イン ター ネット 広告	自治会 等の回 覧	その他	特にな い	無回答
全体	2294 100.0%	803 35.0%	936 40.8%	602 26.2%	53 2.3%	164 7.1%	943 41.1%	39 1.7%	130 5.7%	207 9.0%	102 4.4%	141 6.1%	452 19.7%	28 1.2%	193 8.4%	42 1.8%
20～29 歳	148 100.0%	19 12.8%	24 16.2%	31 20.9%	0 0.0%	18 12.2%	49 33.1%	3 2.0%	5 3.4%	22 14.9%	27 18.2%	23 15.5%	18 12.2%	1 0.7%	36 24.3%	1 0.7%
30～39 歳	220 100.0%	40 18.2%	46 20.9%	59 26.8%	6 2.7%	30 13.6%	86 39.1%	3 1.4%	7 3.2%	26 11.8%	14 6.4%	18 8.2%	31 14.1%	5 2.3%	31 14.1%	0 0.0%
40～49 歳	371 100.0%	78 21.0%	88 23.7%	146 39.4%	16 4.3%	46 12.4%	164 44.2%	4 1.1%	19 5.1%	48 12.9%	24 6.5%	49 13.2%	63 17.0%	3 0.8%	27 7.3%	1 0.3%
50～59 歳	402 100.0%	114 28.4%	153 38.1%	146 36.3%	14 3.5%	38 9.5%	184 45.8%	5 1.2%	10 2.5%	29 7.2%	18 4.5%	18 4.5%	60 14.9%	6 1.5%	39 9.7%	0 0.0%
60～69 歳	373 100.0%	140 37.5%	183 49.1%	114 30.6%	7 1.9%	17 4.6%	151 40.5%	8 2.1%	27 7.2%	27 7.2%	7 1.9%	23 6.2%	73 19.6%	4 1.1%	22 5.9%	6 1.6%
70 歳以上	780 100.0%	412 52.8%	442 56.7%	106 13.6%	10 1.3%	15 1.9%	309 39.6%	16 2.1%	62 7.9%	55 7.1%	12 1.5%	10 1.3%	207 26.5%	9 1.2%	38 4.9%	34 4.4%

図表144 県営水道に関する情報を知る手段【年代別】

年代別にみると、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」の割合は40代で44.2%、50代で45.8%と高い。また、「神奈川県広報紙「県のたより」は70歳以上で56.7%と最も高い。

第2章 7 県営水道の広報活動等について

図表 145 県営水道に関する情報を知る手段【居住市区町別】

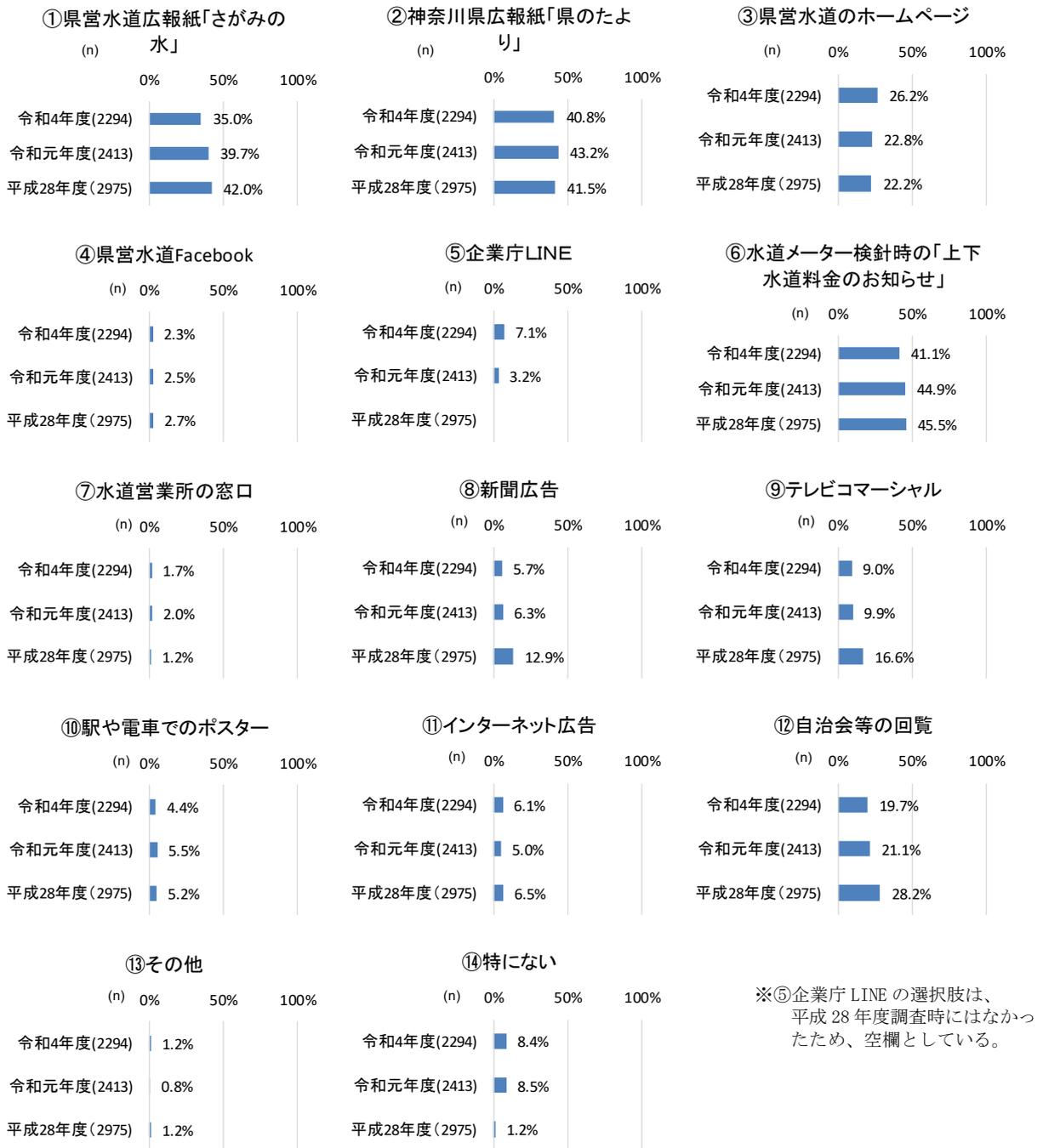
	全体	県営水道 広報紙「さ がみの水」	神奈川県 広報紙「県 のたより」	県営水道 のホームページ	県営水道 Facebook	企業庁 LINE	水道メー ター検針時の 「上下水道料 金のお知らせ」	水道営業 所の窓口	新聞広 告	テレビ コマー シャル	駅や電 車での ポスター	イン ター ネット 広告	自治会 等の回 覧	その他	特にな い	無回答	
全体	2294 100.0%	803 35.0%	936 40.8%	602 26.2%	53 2.3%	164 7.1%	943 41.1%	39 1.7%	130 5.7%	207 9.0%	102 4.4%	141 6.1%	452 19.7%	28 1.2%	193 8.4%	42 1.8%	
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	81 38.6%	71 33.8%	51 24.3%	7 3.3%	13 6.2%	82 39.0%	2 1.0%	11 5.2%	22 10.5%	12 5.7%	14 6.7%	38 18.1%	2 1.0%	24 11.4%	4 1.9%
	相模原市南区	226 100.0%	91 40.3%	84 37.2%	58 25.7%	4 1.8%	18 8.0%	89 39.4%	2 0.9%	8 3.5%	17 7.5%	7 3.1%	14 6.2%	39 17.3%	3 1.3%	29 12.8%	3 1.3%
	相模原市緑区	145 100.0%	57 39.3%	45 31.0%	39 26.9%	1 0.7%	7 4.8%	61 42.1%	2 1.4%	7 4.8%	10 6.9%	3 2.1%	10 6.9%	19 13.1%	2 1.4%	16 11.0%	3 2.1%
三浦 横須 賀地 域	鎌倉市	151 100.0%	49 32.5%	73 48.3%	38 25.2%	2 1.3%	11 7.3%	60 39.7%	3 2.0%	10 6.6%	12 7.9%	8 5.3%	8 5.3%	32 21.2%	4 2.6%	8 5.3%	2 1.3%
	逗子市	51 100.0%	19 37.3%	23 45.1%	11 21.6%	2 3.9%	3 5.9%	26 51.0%	2 3.9%	4 7.8%	6 11.8%	1 2.0%	2 3.9%	7 13.7%	0 0.0%	2 3.9%	2 3.9%
	葉山町	23 100.0%	11 47.8%	9 39.1%	6 26.1%	0 0.0%	1 4.3%	8 34.8%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	2 8.7%
県央 地域	厚木市	175 100.0%	53 30.3%	75 42.9%	52 29.7%	7 4.0%	7 4.0%	66 37.7%	3 1.7%	10 5.7%	18 10.3%	5 2.9%	13 7.4%	35 20.0%	1 0.6%	18 10.3%	5 2.9%
	大和市	182 100.0%	46 25.3%	69 37.9%	51 28.0%	3 1.6%	18 9.9%	88 48.4%	3 1.6%	9 4.9%	14 7.7%	10 5.5%	14 7.7%	37 20.3%	1 0.5%	15 8.2%	1 0.5%
	海老名市	130 100.0%	46 35.4%	57 43.8%	30 23.1%	5 3.8%	9 6.9%	55 42.3%	4 3.1%	3 2.3%	3 2.3%	3 2.3%	7 5.4%	29 22.3%	2 1.5%	5 3.8%	2 1.5%
	綾瀬市	70 100.0%	32 45.7%	28 40.0%	15 21.4%	0 0.0%	8 11.4%	28 40.0%	3 4.3%	4 5.7%	11 15.7%	5 7.1%	2 2.9%	14 20.0%	0 0.0%	3 4.3%	3 4.3%
	愛川町	10 100.0%	6 60.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
湘南 地域	平塚市	214 100.0%	65 30.4%	97 45.3%	56 26.2%	8 3.7%	13 6.1%	84 39.3%	5 2.3%	11 5.1%	21 9.8%	9 4.2%	13 6.1%	47 22.0%	3 1.4%	19 8.9%	4 1.9%
	藤沢市	335 100.0%	106 31.6%	132 39.4%	92 27.5%	7 2.1%	26 7.8%	145 43.3%	6 1.8%	23 6.9%	38 11.3%	25 7.5%	24 7.2%	56 16.7%	5 1.5%	31 9.3%	8 2.4%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	66 35.9%	78 42.4%	58 31.5%	5 2.7%	20 10.9%	71 38.6%	3 1.6%	12 6.5%	15 8.2%	6 3.3%	7 3.8%	41 22.3%	2 1.1%	9 4.9%	1 0.5%
	伊勢原市	82 100.0%	26 31.7%	29 35.4%	26 31.7%	1 1.2%	6 7.3%	32 39.0%	0 0.0%	4 4.9%	9 11.0%	3 3.7%	6 7.3%	27 32.9%	2 2.4%	5 6.1%	2 2.4%
	寒川町	43 100.0%	17 39.5%	21 48.8%	9 20.9%	1 2.3%	2 4.7%	19 44.2%	0 0.0%	5 11.6%	8 18.6%	0 0.0%	2 4.7%	11 25.6%	0 0.0%	5 11.6%	0 0.0%
	大磯町	26 100.0%	13 50.0%	17 65.4%	3 11.5%	0 0.0%	1 3.8%	11 42.3%	1 3.8%	2 7.7%	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	6 23.1%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%
	二宮町	22 100.0%	11 50.0%	13 59.1%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	10 45.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%
県西 地域	小田原市	9 100.0%	5 55.6%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	箱根町	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%

図表145 県営水道に関する情報を知る手段【居住市区町別】

居住市区町別にみると、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」」は逗子市(51.0%)、大和市(48.4%)、寒川町(44.2%)で高くなっている。「神奈川県広報紙「県のたより」」は寒川町(48.8%)、鎌倉市(48.3%)、平塚市(45.3%)で高い。

図表 146 県営水道に関する情報を知る手段【項目別経年比較】

② 経年比較



図表146 県営水道に関する情報を知る手段【項目別経年比較】

「県営水道広報紙「さがみの水」(平成28年度42.0%→令和元年度39.7%→令和4年度35.0%)や「自治会等の回覧」(平成28年度28.2%→令和元年度21.1%→令和4年度19.7%)などの紙媒体の割合はやや低下傾向となった。

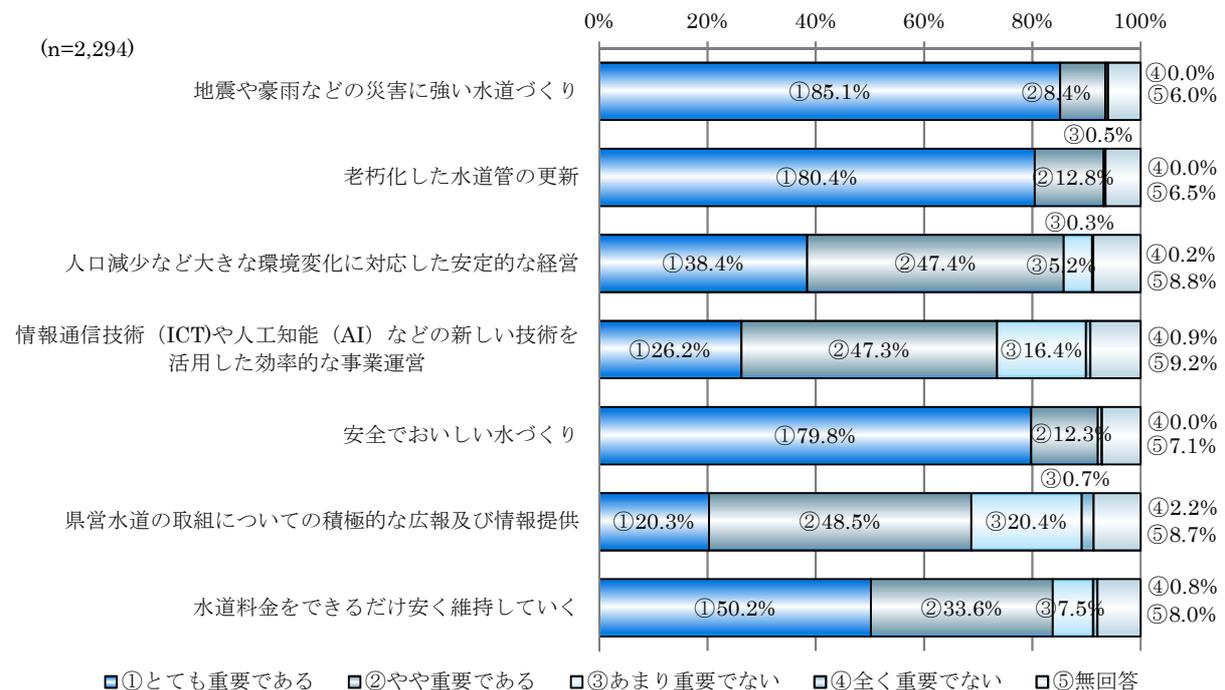
一方で、「県営水道のホームページ」(平成28年度22.2%→令和元年度22.8%→令和4年度26.2%)や「企業庁LINE」(令和元年度3.2%→令和4年度7.1%)などの電子媒体の割合は増加傾向となった。

(3) 県営水道の事業について

【問 2 3】 県営水道として行う事業等についてどう思いますか。(あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 地震や豪雨などの災害に強い水道づくり
2. 老朽化した水道管の更新
3. 人口減少など大きな環境変化に対応した安定的な経営
4. 情報通信技術 (ICT)や人工知能 (AI) などの新しい技術を活用した効率的な事業運営
5. 安全でおいしい水づくり
6. 県営水道の取組についての積極的な広報及び情報提供
7. 水道料金をできるだけ安く維持していく
 - ・とても重要である
 - ・やや重要である
 - ・あまり重要でない
 - ・全く重要でない

① 単純集計・属性別集計



図表147 県営水道の事業について【単数回答】

「とても重要である」が最も高いのは「地震や豪雨などの災害に強い水道づくり」で 85.1% である。次いで「老朽化した水道管の更新」で 80.4%、「安全でおいしい水づくり」で 79.8% と続く。

図表 148 全項目のまとめ(とても重要である+やや重要である計)【年代別】

	全体	地震や豪雨などの災害に強い水道づくり	老朽化した水道管の更新	人口減少など大きな環境変化に対応した安定的な経営	情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)などの新しい技術を活用した効率的な事業運営	安全でおいしい水づくり	県営水道の取組についての積極的な広報及び情報提供	水道料金をできるだけ安く維持していく
全体	2294 100.0%	2145 93.5%	2138 93.2%	1968 85.8%	1686 73.5%	2113 92.1%	1577 68.8%	1922 83.8%
20~29 歳	148 100.0%	144 97.3%	144 97.3%	135 91.2%	105 70.9%	144 97.3%	113 76.3%	131 88.5%
30~39 歳	220 100.0%	217 98.7%	217 98.7%	199 90.4%	169 76.8%	214 97.3%	139 63.2%	182 82.7%
40~49 歳	371 100.0%	365 98.4%	365 98.4%	343 92.5%	280 75.5%	355 95.7%	244 65.8%	317 85.4%
50~59 歳	402 100.0%	391 97.3%	388 96.5%	366 91.1%	317 78.9%	385 95.8%	271 67.4%	350 87.0%
60~69 歳	373 100.0%	351 94.1%	352 94.4%	322 86.4%	285 76.5%	345 92.5%	266 71.3%	325 87.2%
70 歳以上	780 100.0%	677 86.8%	672 86.1%	603 77.3%	530 68.0%	670 85.9%	544 69.7%	617 79.1%

図表148 全項目のまとめ(とても重要である+やや重要である計)【年代別】

年代別に全項目の重要度(とても重要である+やや重要である計)をみると、いずれの年代も「地震や豪雨などの災害に強い水道づくり」「老朽化した水道管の更新」「安全でおいしい水づくり」などの割合が高い傾向がみられる。

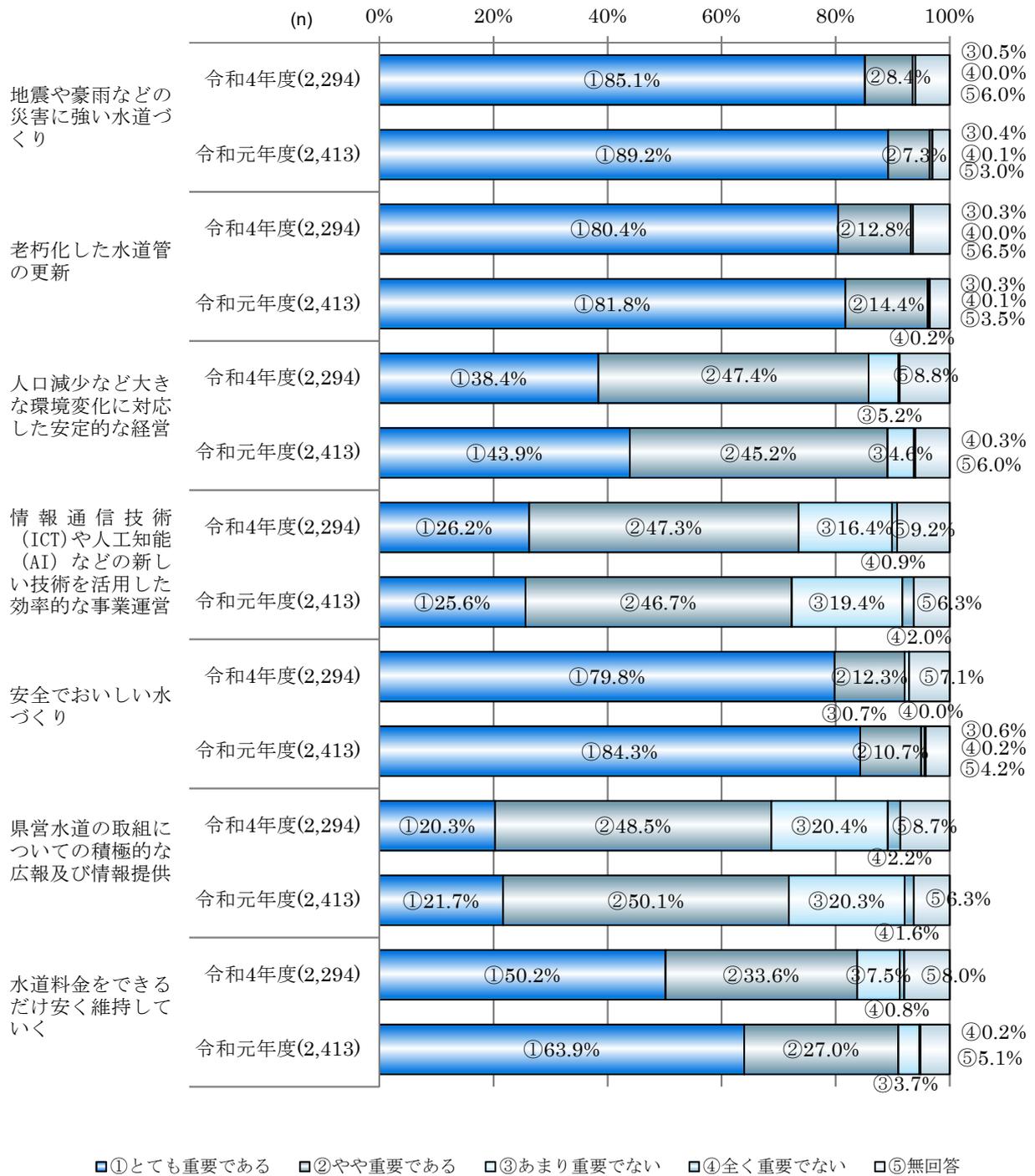
図表 149 全項目のまとめ(とても重要である+やや重要である計)【居住市区町別】

		全体	地震や豪雨などの災害に強い水道づくり	老朽化した水道管の更新	人口減少など大きな環境変化に対応した安定的な経営	情報通信技術(ICT)や人工知能(AI)などの新しい技術を活用した効率的な事業運営	安全でおいしい水づくり	県営水道の取組についての積極的な広報及び情報提供	水道料金をできるだけ安く維持していく
全体		2294 100.0%	2145 93.5%	2138 93.2%	1968 85.8%	1686 73.5%	2113 92.1%	1577 68.8%	1922 83.8%
相模 原地 域	相模原市中央区	210 100.0%	202 96.2%	199 94.8%	184 87.6%	159 75.7%	199 94.7%	151 71.9%	179 85.2%
	相模原市南区	226 100.0%	212 93.8%	209 92.4%	199 88.0%	163 72.1%	206 91.1%	145 64.2%	182 80.5%
	相模原市緑区	145 100.0%	127 87.6%	125 86.2%	117 80.7%	92 63.5%	130 89.7%	90 62.1%	107 73.8%
三浦 横須 賀地 域	鎌倉市	151 100.0%	147 97.3%	145 96.0%	134 88.7%	121 80.1%	141 93.3%	112 74.1%	130 86.1%
	逗子市	51 100.0%	45 88.2%	42 82.3%	39 76.5%	33 64.7%	44 86.3%	36 70.6%	38 74.5%
	葉山町	23 100.0%	19 82.6%	19 82.6%	16 69.6%	12 52.1%	20 86.9%	12 52.2%	16 69.5%
県央 地域	厚木市	175 100.0%	165 94.2%	164 93.7%	147 84.0%	129 73.7%	158 90.3%	119 68.0%	148 84.6%
	大和市	182 100.0%	173 95.1%	178 97.8%	160 87.9%	137 75.3%	171 93.9%	122 67.1%	160 88.0%
	海老名市	130 100.0%	120 92.3%	121 93.1%	112 86.1%	94 72.4%	120 92.3%	90 69.2%	108 83.1%
	綾瀬市	70 100.0%	64 91.5%	64 91.4%	58 82.9%	46 65.7%	62 88.5%	49 70.0%	58 82.9%
	愛川町	10 100.0%	9 90.0%	9 90.0%	9 90.0%	7 70.0%	9 90.0%	8 80.0%	8 80.0%
湘南 地域	平塚市	214 100.0%	196 91.6%	197 92.1%	180 84.1%	155 72.5%	199 92.9%	147 68.7%	184 86.0%
	藤沢市	335 100.0%	324 96.8%	323 96.4%	298 88.9%	256 76.4%	318 94.9%	238 71.0%	291 86.8%
	茅ヶ崎市	184 100.0%	169 91.8%	164 89.1%	153 83.2%	136 73.9%	161 87.5%	121 65.8%	146 79.4%
	伊勢原市	82 100.0%	76 92.7%	77 93.9%	71 86.6%	62 75.6%	76 92.6%	65 79.2%	72 87.8%
	寒川町	43 100.0%	41 95.4%	43 100.0%	37 86.0%	36 83.7%	42 97.7%	31 72.1%	41 95.3%
	大磯町	26 100.0%	22 84.6%	23 88.5%	21 80.8%	18 69.3%	22 84.6%	16 61.6%	20 76.9%
	二宮町	22 100.0%	22 100.0%	22 100.0%	21 95.4%	20 90.9%	22 100.0%	17 77.2%	21 95.5%
県西 地域	小田原市	9 100.0%	8 88.9%	9 100.0%	8 88.8%	7 77.8%	9 100.0%	6 66.7%	9 100.0%
	箱根町	6 100.0%	4 66.7%	5 83.3%	4 66.7%	3 50.0%	4 66.7%	2 33.3%	4 66.6%

図表149 全項目のまとめ(とても重要である+やや重要である計)【居住市区町別】

居住市区町別に全項目の重要度(とても重要である+やや重要である計)をみると、「地震や豪雨などの災害に強い水道づくり」では、相模原市中央区、鎌倉市、藤沢市などで9割以上と高い。

② 経年比較



図表150 県営水道の事業について【経年比較】

「地震や豪雨などの災害に強い水道づくり」は、「とても重要である」の割合が令和元年度から令和4年度で、4.1ポイント減少、「水道料金をできるだけ安く維持していく」は、13.7ポイント減少した。

一方、「情報通信技術 (ICT) や人工知能 (AI) などの新しい技術を活用した効率的な事業運営」は、0.6ポイント増加した。

8 自由意見

本調査では、神奈川県営水道事業について 626 件のご意見・ご要望が寄せられた。それらを以下の項目に分類し、代表的なものを抽出し掲載した。なお、1 人の回答者が複数の内容について記述している場合もあり、各件数を足し上げても総件数とは一致しない。

■最後に、神奈川県営水道事業についてのご意見をご自由にお書きください。

＜自由意見内訳表＞

安定供給	災害対策について	45
	老朽管対策について	37
	渇水対策について	3
	漏水対策について	9
	(小計)	94
水質・水源	安全安心な水への要望	174
	美味しい水への要望	68
	おいしい・おいしくなった・水質が良い	53
	水源等の環境保全について	10
	(小計)	305
経営	料金や支払方法について	53
	水道事業経営について	75
	(小計)	128
広報・広聴、職員対応	広報・広聴について	82
	(小計)	82
その他(感謝、励まし等を含む)	感謝、励まし等	114
	その他	120
	(小計)	234

安定供給 (94 件)

- ・災害への対策や危機管理情報は、もっとわかりやすく、見やすく、常に情報が入るように取り組みをお願いしたいと思います。これからも安全な水道運営をよろしくお願い致します。
- ・電気、水道、ガスは重要な社会インフラで、電気、ガスは多少融通し合うことが可能だが、水道は生命に影響する事業なので、中長期的な方針を策定し、災害強度を上げて計画的に進めてほしい。
- ・日々、安心、安全な水の供給、ありがとうございます。この調査に関わらせていただき水道事業経営、運営の現状を知ることができました。災害時、最も重要なライフラインである水を大切にしなければいけないという認識を新たにしました。
- ・近年の異常気象、自然災害を鑑みて、災害に強い水道事業であって欲しいと思います。

- ・R1.10の台風で初めて断水を経験し、水道が使えないことがこんなにも不便なのかと思いました。いつもありがとうございます。
- ・とてもおいしい水です。今後もこの品質を続けられれば大変うれしいです。水道の老朽化は困るので優先順位つけて着実に取り組めることを期待します。
- ・神奈川に住んで長いですが、多くの県で水不足等の情報を耳にしますが、神奈川では水不足や断水が無く、他県より水に関しては安心して暮らせる気がします。これからも、よろしく願います。ありがとうございます。
- ・災害対策と漏水対策を特に重視していただきたいです。
- ・今回のアンケートを通して料金体系がわかり、災害対策への取り組み等の情報を得る機会となりました、安全と安心のある上下水道インフラは、生活上での重要な基盤だと思いますので、必要などころにコストをかけ、無駄のない経営に取り組んでいただければと思います。いつも安心できる水を提供していただきありがとうございます。

水質・水源 (305件)

- ・水源の森林、ダム湖の管理、水質の状況を詳しく知りたいです。
- ・子供達に安全でおいしい水を飲ませたい。浄水器やペットボトルの水を買うより、水道水が安全でおいしい水であれば、水道料金が少し高くてもかまわないと思う。最近の水道水は塩素がきつく、おいしくなく、飲みたくないと思う。
- ・いつもおいしく安全な水を安定して供給していただきありがとうございます。子育て世代なので、水遊び目的や飲料目的等夏場は特に使用量が増えますが、いつ蛇口をひねっても綺麗な水が出てくることに感謝しております。小学生の頃、社会科見学で県営水道施設に伺った時のことを思い出しながら回答しました。災害時や老朽化への備えに向けた財源の確保は人口減少や業務用水の使用量減少により困難を極めることかと思いますが、とても重要な備えだと思いますので、ぜひ市民の理解促進に向けた分かりやすく明確な情報発信をしていただき財源確保に努めていただければと思います。暑い中、毎日お疲れ様です。
- ・直接飲むお水以外コーヒーのお湯もごはんを炊く水もあと、口に入れる水以外は全て水道水を使っています。おいしくて安全な水をこれからもよろしくお願いします。
- ・世界中で一番安心、安全で美味しい水は日本です。外国人が日本に来てのご意見です。この貴重な水資源を枯渇しないよう大切に扱い、次世代へと引き継ぐことが我々の使命です。職員の皆様、頑張ってください。
- ・安全で安心な水が供給されれば、ウォーターサーバーなど別途「水を買う」ことをしなくてよいし、実際我が家もそうしています。今後も安全でおいしいお水をお願いいたします。いつもありがとうございます。

経営 (128件)

- ・上下水道の使用量、料金、支払の履歴をネットで検索できるようにしてほしい。
- ・公共料金のうち、水道料金だけ2カ月に1度なのはなぜなのか。電気ガスのように1カ月ごとにしてほしい。料金支払いや使用量の確認も1カ月ごとの方が目安にするのに助かる。支払いの金額も厳しい

- ・安全で安心な水の提供を受けられている事が当たり前になっている事に感謝しています。料金は安い方というよりも。時代の変化に合わせた適正な金額であるのが一番良いと思います。
- ・他県での水道料金でかなり高い場所があると以前テレビで見たことがあります。様々な努力をされ、神奈川の水道の安定を図られていると感じました。今後の厳しい時代に突入することも理解しましたが、生活者にやさしい状態を作り出していただけることを願います。

広報・広聴、職員対応 (82 件)

- ・幅広い年齢層に水道事業についてより深い知識を学ぶためにも、イベント等を積極的に開催して子供たちにも知ってほしいなと思いました。
- ・寒川にある水道記念館に子供たちと何度も行き、お花見のついでに楽しく水を学びました。一番大事な水をもっと身近にと、今回ライン登録をさせていただきました。何かきっかけがないと動かない年になりました。きっかけをありがとうございました
- ・このアンケートを回答するにあたり、生活に深く関わる水道事業についての利用状況や各種事業、経営、運営等について少しだが知る良い機会となった。
- ・昔、水道水がどうできあがるか見学しました。大人になってもまた気軽に見学できるといいなと思いました。見学できますよという広告があれば皆もっと興味を示すかとも思いました。毎日使う水道なので、皆もっと興味があってもいいのではと思います。いつもありがとうございます。

その他 (感謝、励まし等) (234 件)

- ・いつも検針ありがとうございます。1件1件巡回するのは暑い日、寒い日大変だと思います。今後は自動的に使用状況がわかるようになっていくと便利でいいですね
- ・ライフラインを支えていただき感謝しております。人口減少は水道だけでなく様々なインフラへ多大な影響があると予測します。このような形で意識付け、気づきを与えていただけていることにも感謝しております。
- ・いつも手に入る水について、当たり前のようにしていましたが、このアンケートをかきながら、全く考えてなかったことに気づきました。ありがとうございます。
- ・神奈川県は先人の尊い先見の明により、水に恵まれた暮らしを得ました。先人の方々に深く感謝したいと思います。後世の人々も水に豊かな暮らしが出来るようにと願っております。

※各ご意見・ご要望の記述については、文意が損なわれないよう、ほぼ原文を掲載している。

第 3 章 設問間分析

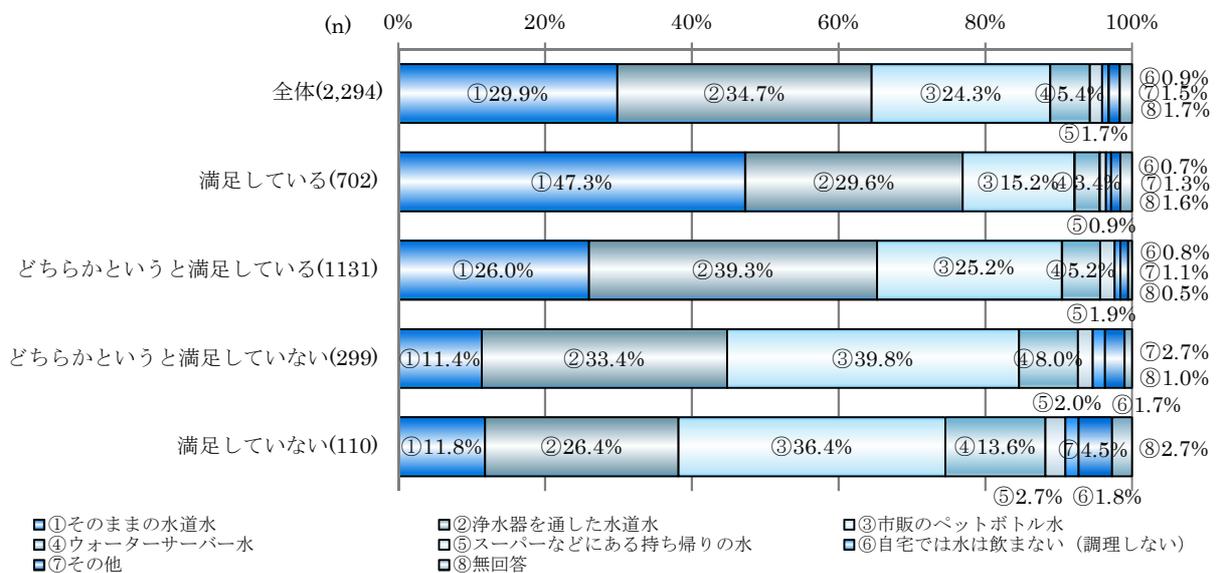
第3章 設問間分析

この章では、お客さま意識調査の回答結果について、更なる活用を図るため、相互に関連すると思われる2つの質問の回答を掛け合わせ、回答別の傾向の違いや関係性をみるなどの分析を行った。

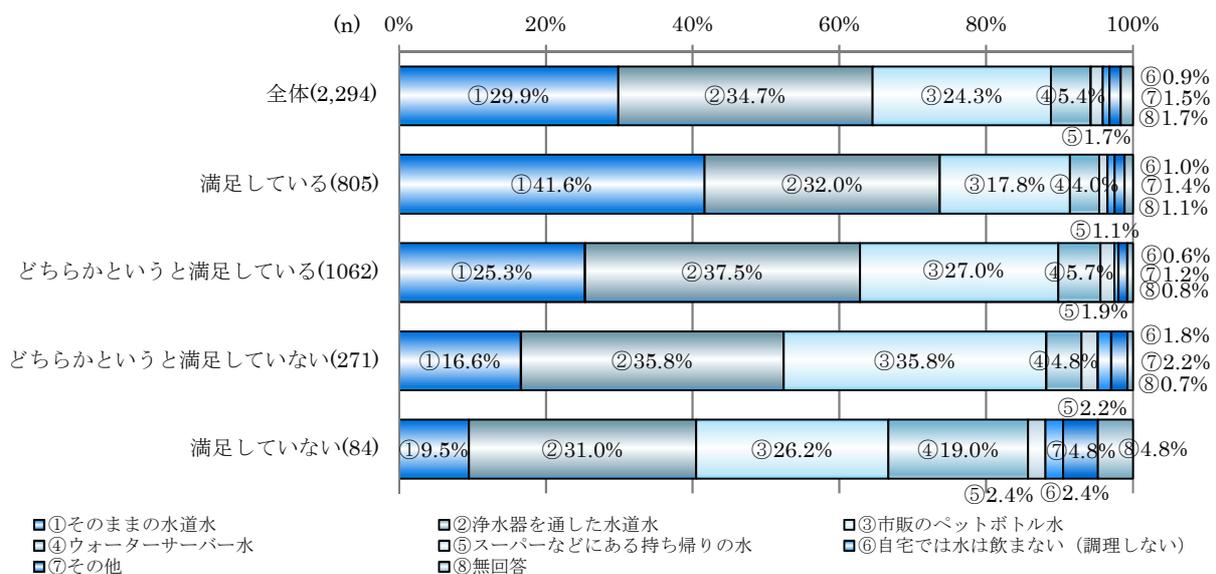
1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて

家庭で使用する水の種別ごとの満足度や水道料金に対する意識の差をみるため、クロス分析を行った。

(1) 水道水への満足度(問2)と家庭で使用する水の種別(問5)の関係

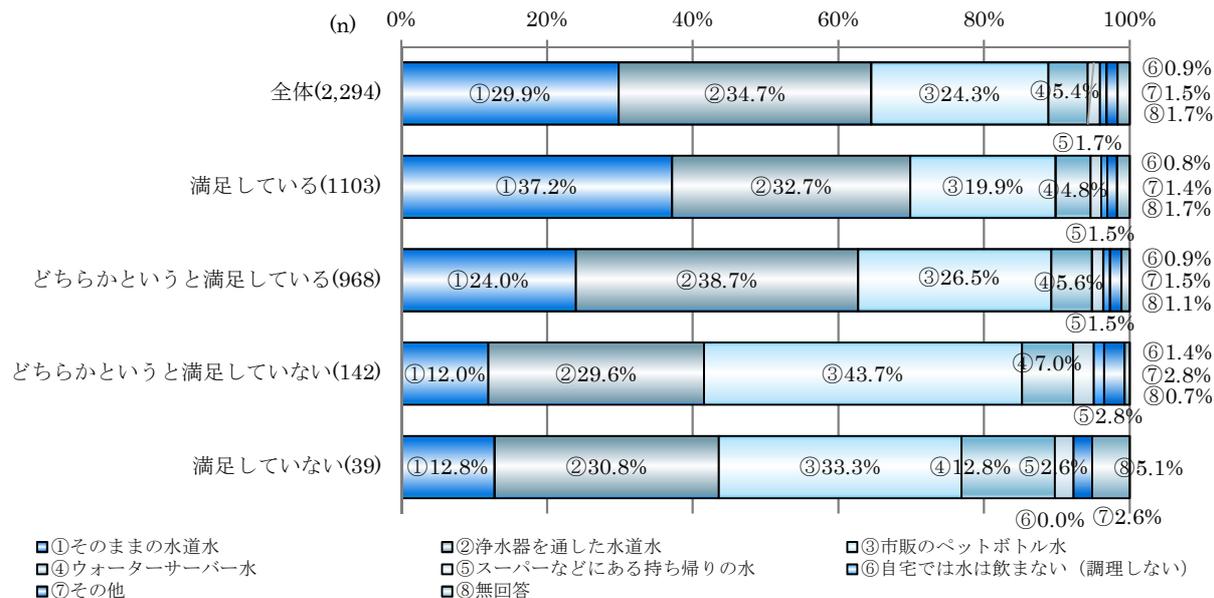


図表151 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×水をそのまま飲む場合【問5】



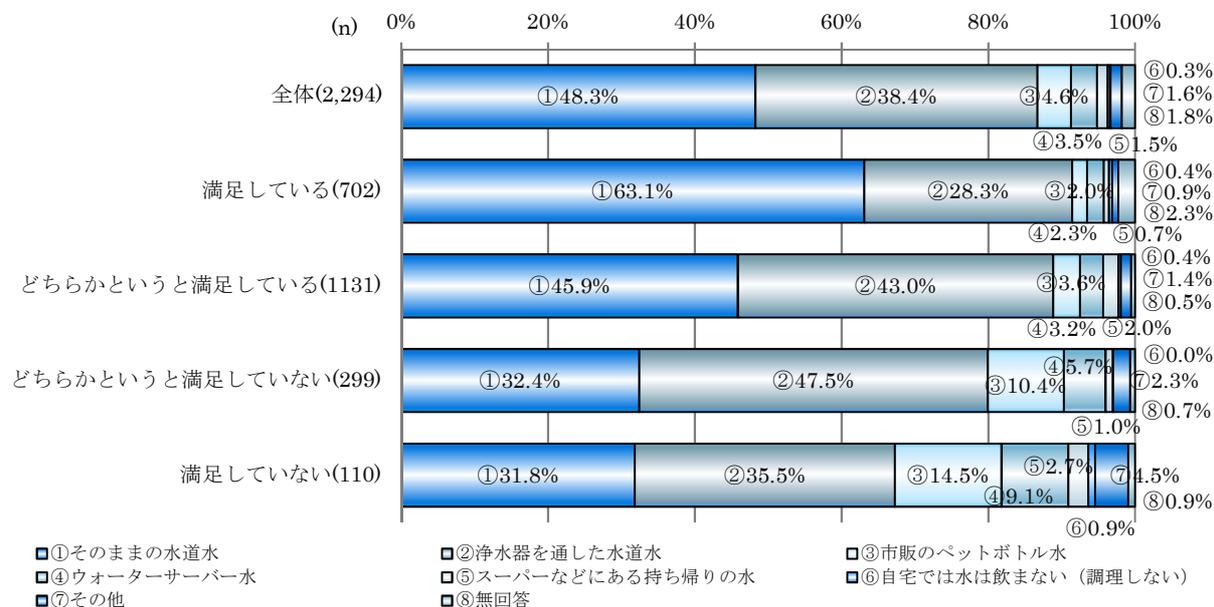
図表152 水道水への満足度(におい)【問2】×水をそのまま飲む場合【問5】

第3章 1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて
 図表 153 水道水への満足度(安全性)【問2】×水をそのまま飲む場合【問5】



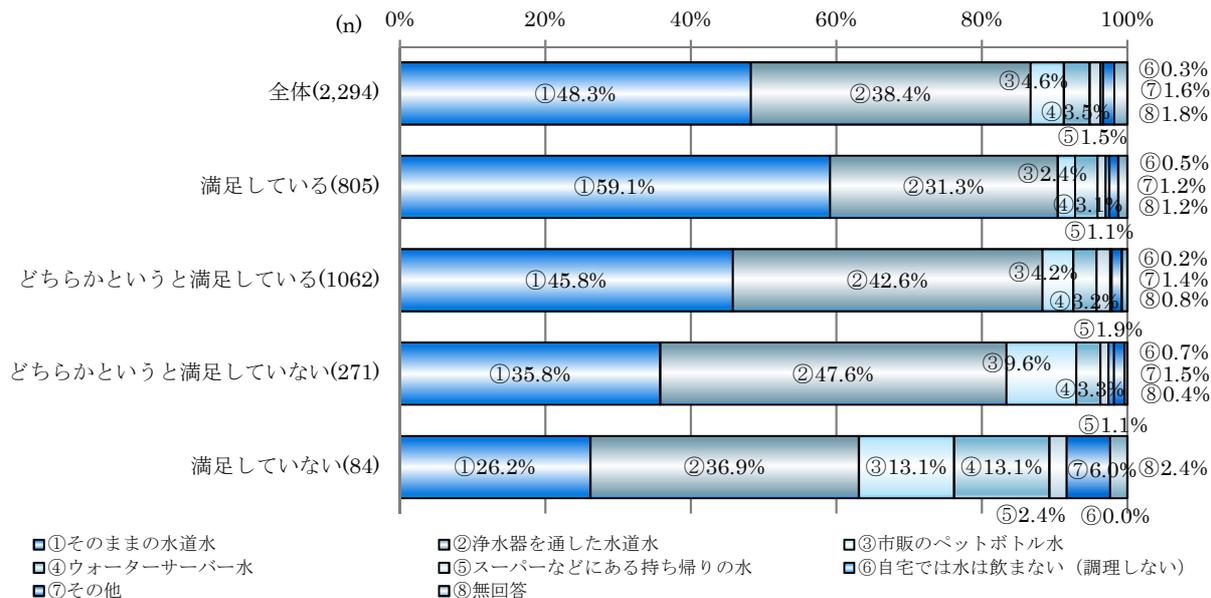
図表153 水道水への満足度(安全性)【問2】×水をそのまま飲む場合【問5】

水をそのまま飲む場合に使用している水の種類を水道水への満足度でみると、「おいしさ」「におい」「安全性」いずれも、満足しているほど、そのままの水道水の使用率が高い。

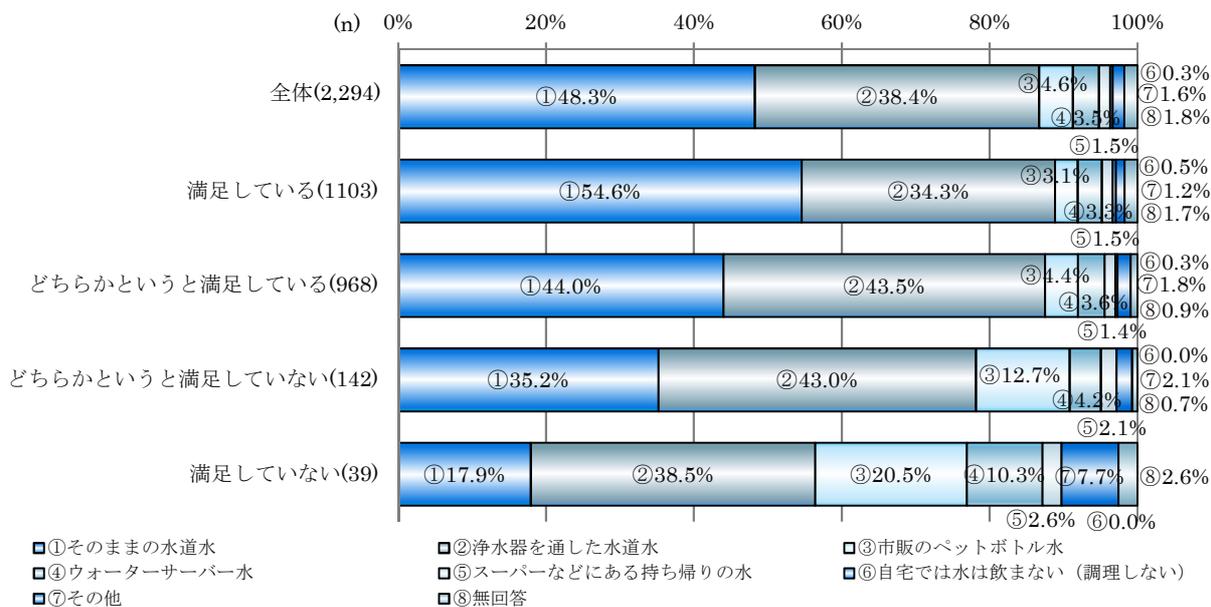


図表154 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×お茶・コーヒー等をいれる場合【問5】

第3章 1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて
 図表 155 水道水への満足度(におい)【問2】×お茶・コーヒー等をいれる場合【問5】



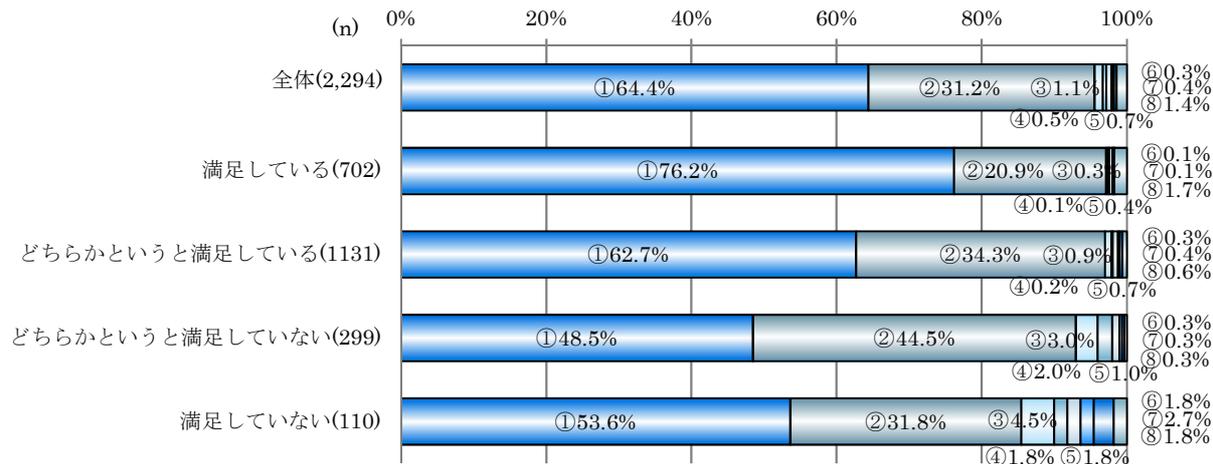
図表155 水道水への満足度(におい)【問2】×お茶・コーヒー等をいれる場合【問5】



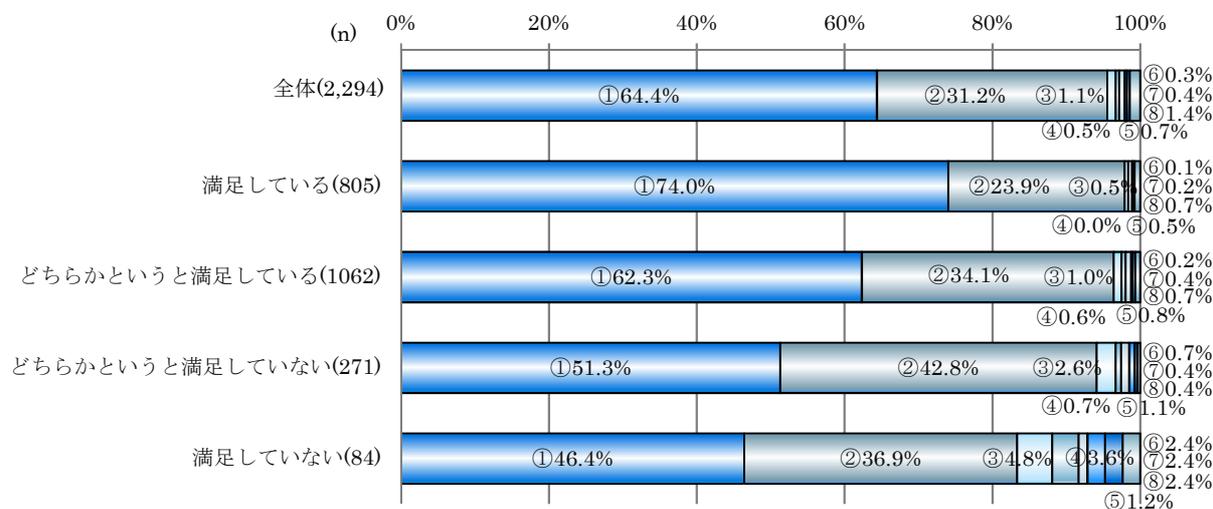
図表156 水道水への満足度(安全性)【問2】×お茶・コーヒー等をいれる場合【問5】

お茶・コーヒー等をいれる場合に使用している水の種別を水道水への満足度で見ると、「おいしさ」「におい」「安全性」のいずれも、満足しているほど、そのままの水道水の使用率が高い。

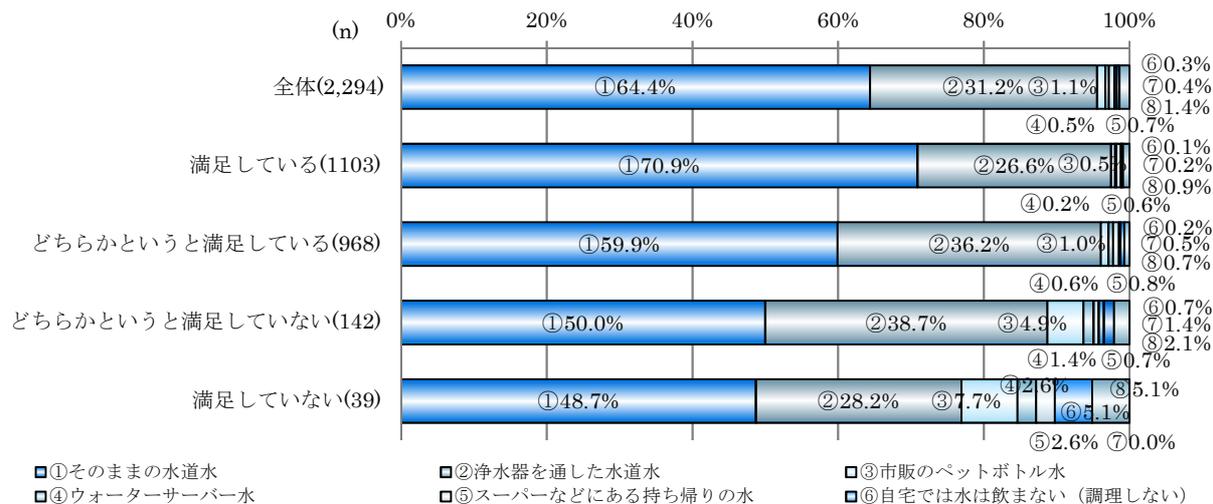
第3章 1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて
 図表 157 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×調理をする場合【問5】



図表157 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×調理をする場合【問5】



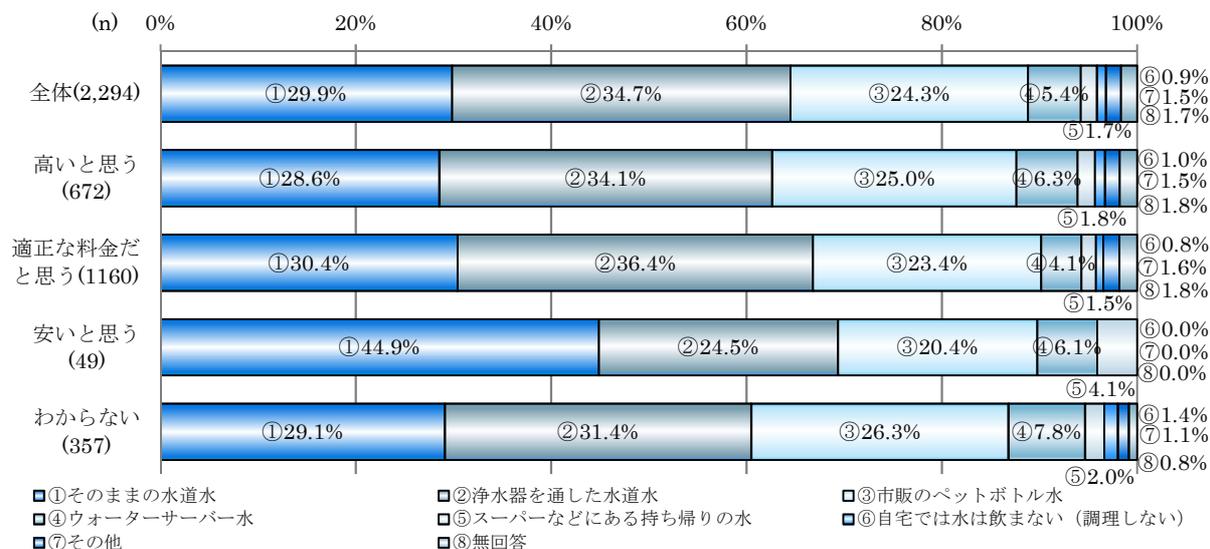
図表158 水道水への満足度(におい)【問2】×調理をする場合【問5】



図表159 水道水への満足度(安全性)【問2】×調理をする場合【問5】

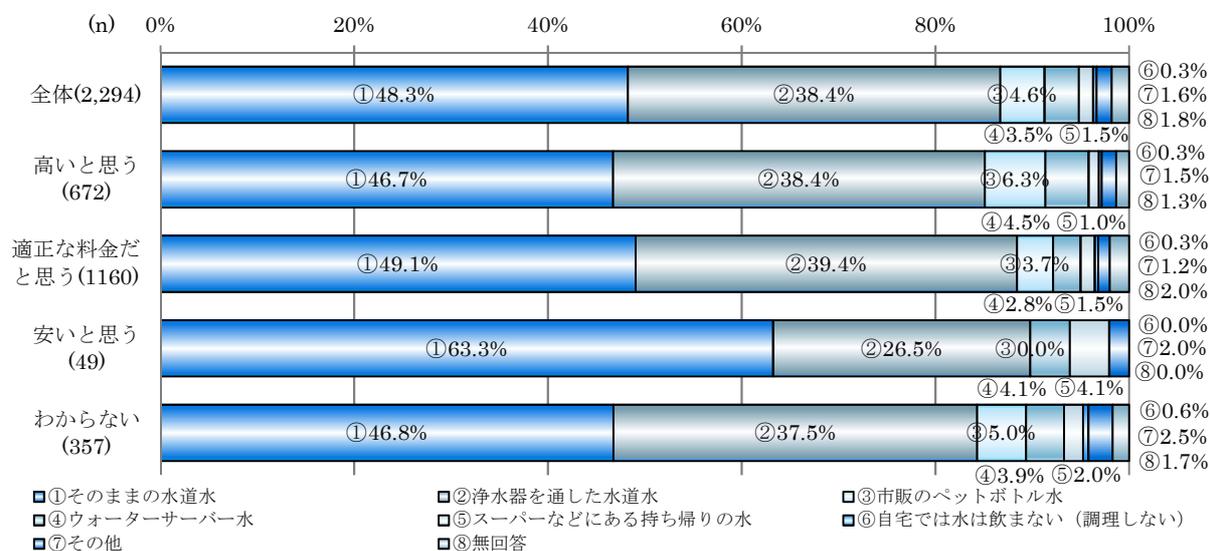
調理をする場合に使用している水の種別を水道水への満足度で見ると、「おいしさ」「におい」「安全性」のいずれも、満足しているほど、そのままの水道水の使用率が高い。

(2) 上水道料金について（問 15）と家庭で使用する水の種別（問 5）の関係



図表160 上水道料金について【問 15】×水をそのまま飲む場合【問 5】

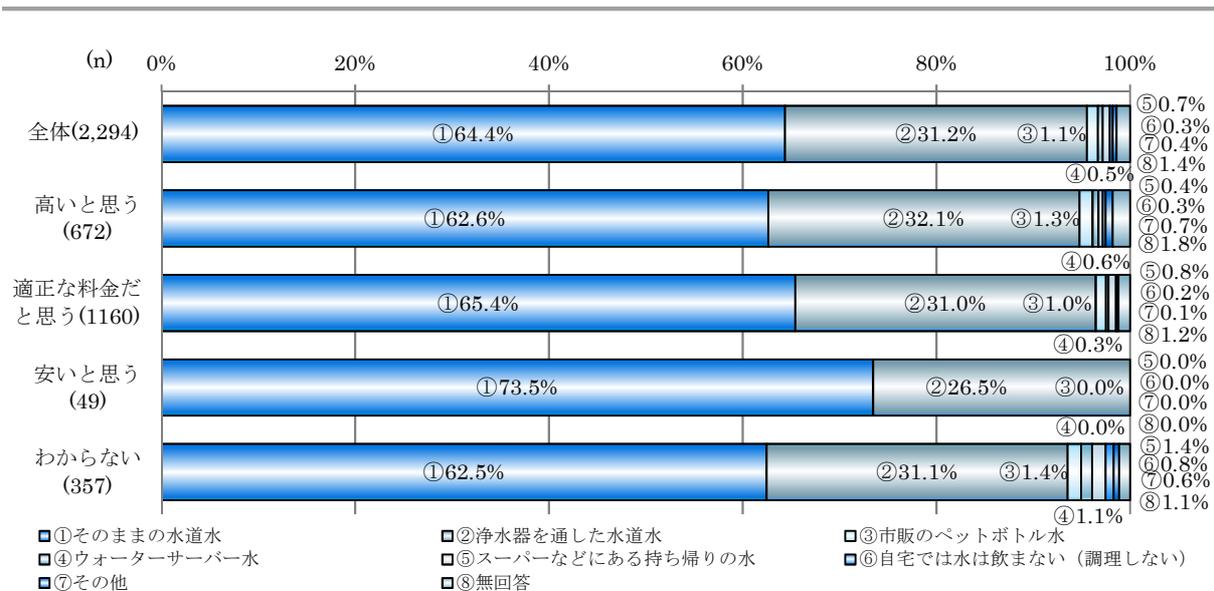
水をそのまま飲む場合に使用している水の種別を上水道料金への意識別にみると、上水道料金が安いと思っているほど、「そのままの水道水」(44.9%)の割合が高い。また、上水道料金が高いと思っているほど、「市販のペットボトル水」の割合が高い傾向がみられる。



図表161 上水道料金について【問 15】×お茶・コーヒー等をいれる場合【問 5】

お茶・コーヒー等をいれる場合に使用する水の種別を上水道料金への意識別にみると、上水道料金が安いと思っているほど、そのままの水道水の使用率が高い。

第3章 1 家庭で使用する水の種別ごとの満足度等の違いについて
 図表 162 上水道料金について【問 15】×調理をする場合【問5】



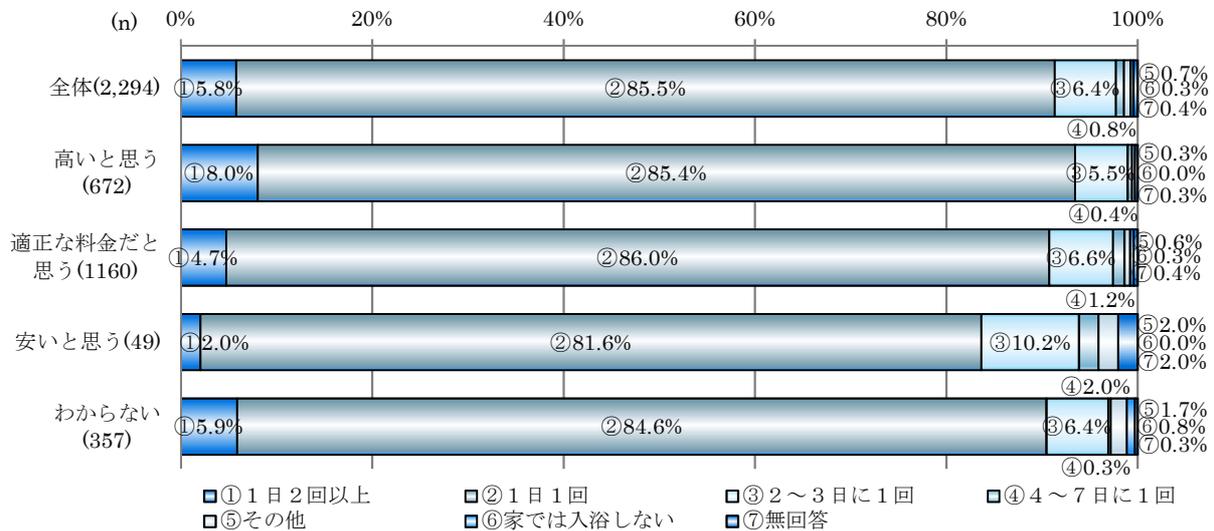
図表162 上水道料金について【問 15】×調理をする場合【問 5】

調理をする場合に使用する水の種別を上水道料金への意識別にみると、上水道料金が安いと思っているほど、そのままの水道水の使用率が高い。

2 水の使用実態ごとの上水道料金についての意識の差について

入浴や調理、洗濯など、水の使用実態ごとの、水道料金についての意識の差をみるため、クロス分析を行った。

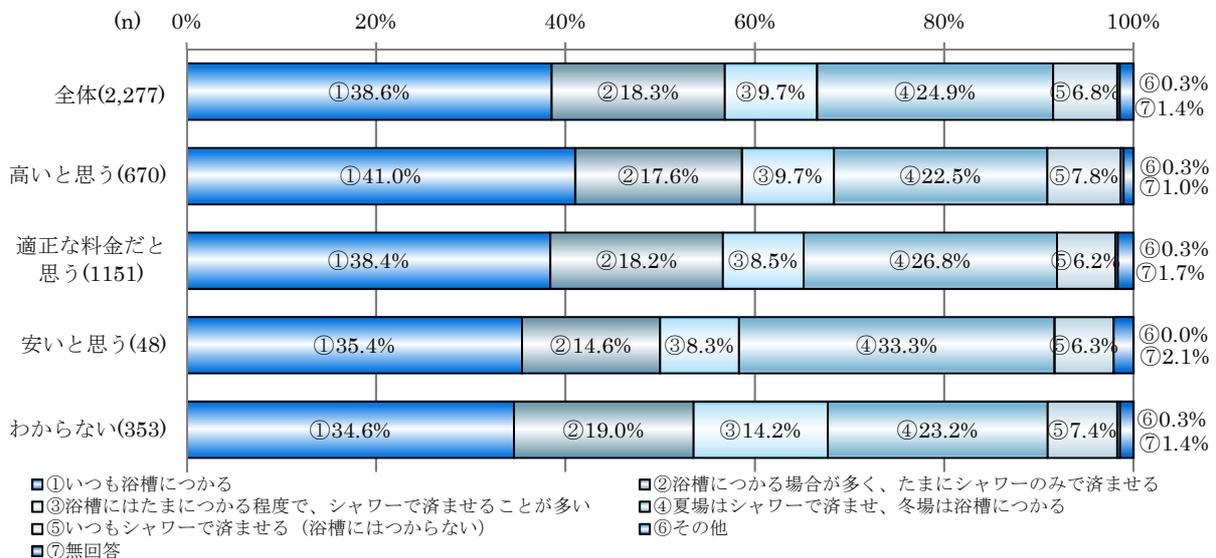
(1) 上水道料金について（問 15）と入浴の頻度（問 6）の関係



図表163 上水道料金について【問 15】×入浴頻度【問 6】

1日当たりの入浴頻度を上水道料金についての意識別にみると、「適正な料金だと思う」と回答した人の86.0%が「1日1回」と回答している。

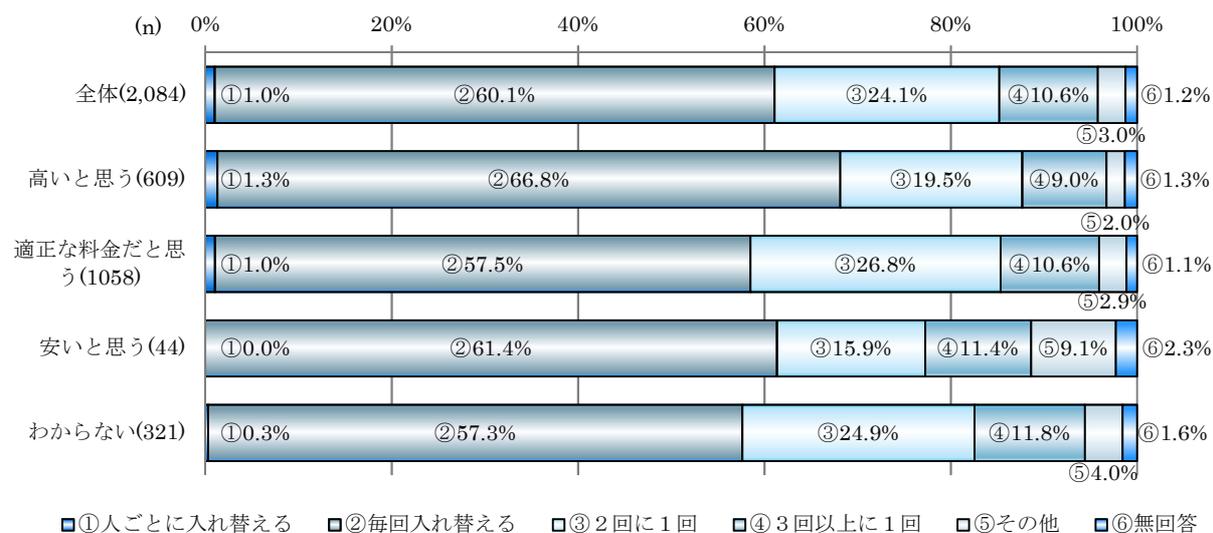
(2) 上水道料金（問 15）と入浴方法（問 6-1）の関係



図表164 上水道料金について【問 15】×入浴方法【問 6-1】

入浴方法を上水道料金についての意識別にみると、上水道料金が高いと思っている人ほど、「いつも浴槽につかる」割合が高い傾向がみられる。また、「安いと思う」と回答した人の33.3%は「夏場はシャワーで済ませ、冬場は浴槽につかる」と回答している。

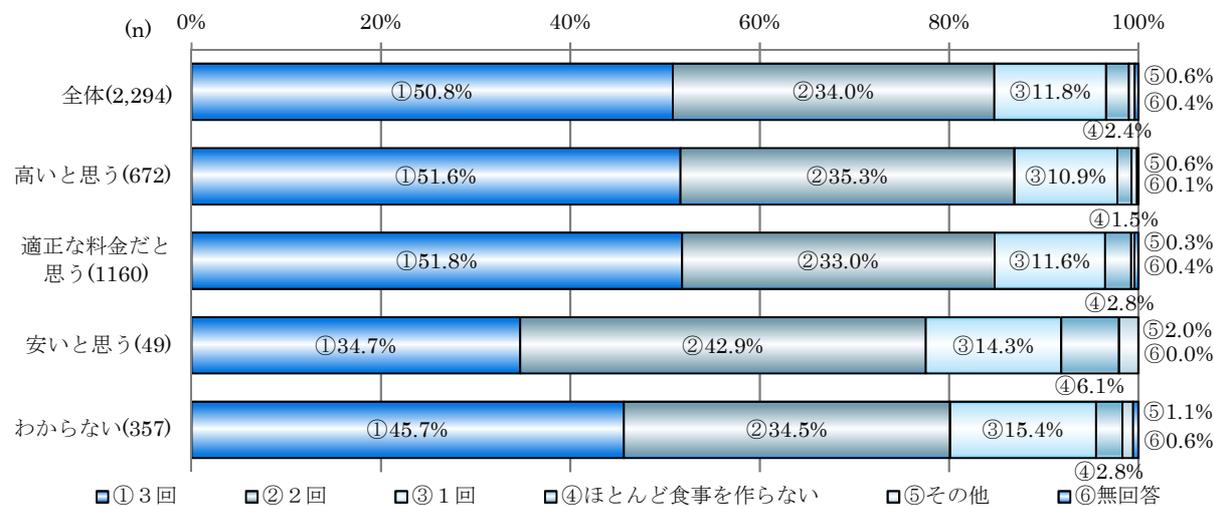
(3) 上水道料金について（問 15）と浴槽の湯を入れ替える頻度（問 6-2）の関係



図表165 上水道料金について【問 15】×浴槽の湯の入れ替え頻度【問 6-2】

浴槽の湯の入れ替え頻度を上水道料金についての意識別にみると、上水道料金が「高いと思う」と回答した人の 66.8%は「毎回入れ替える」が高い。

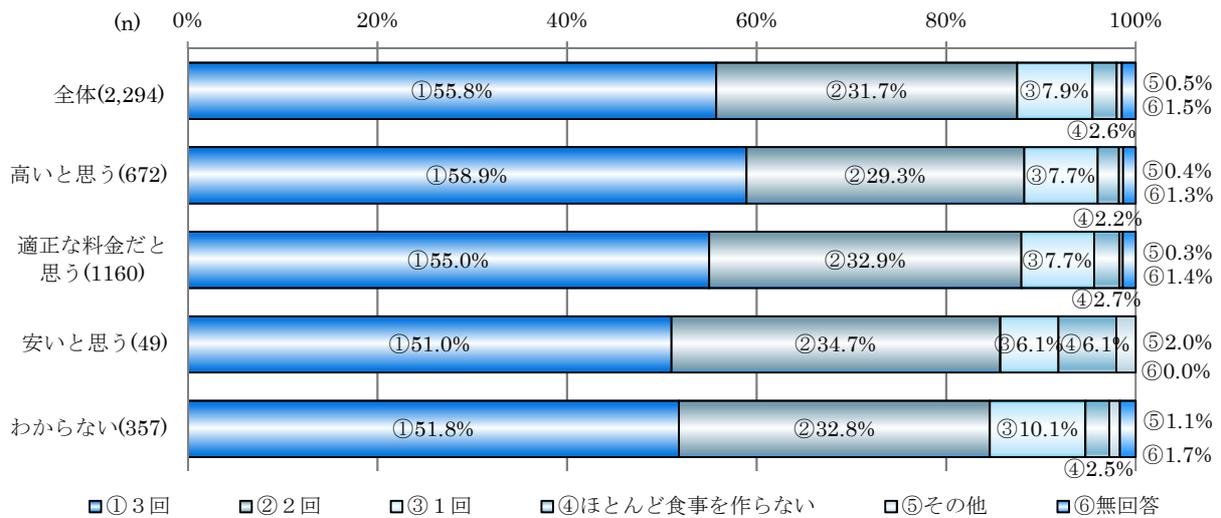
(4) 上水道料金について（問 15）と調理の頻度（平日）（問 7）の関係



図表166 上水道料金について【問 15】×調理頻度（平日）【問 7】

平日の調理頻度を上水道料金についての意識別にみると、上水道料金が安いと思っている層では、「2回」が 42.9%と高く、「3回」が 34.7%と低い。

(5) 上水道料金について(問 15)と調理の頻度(休日)(問 7)の関係

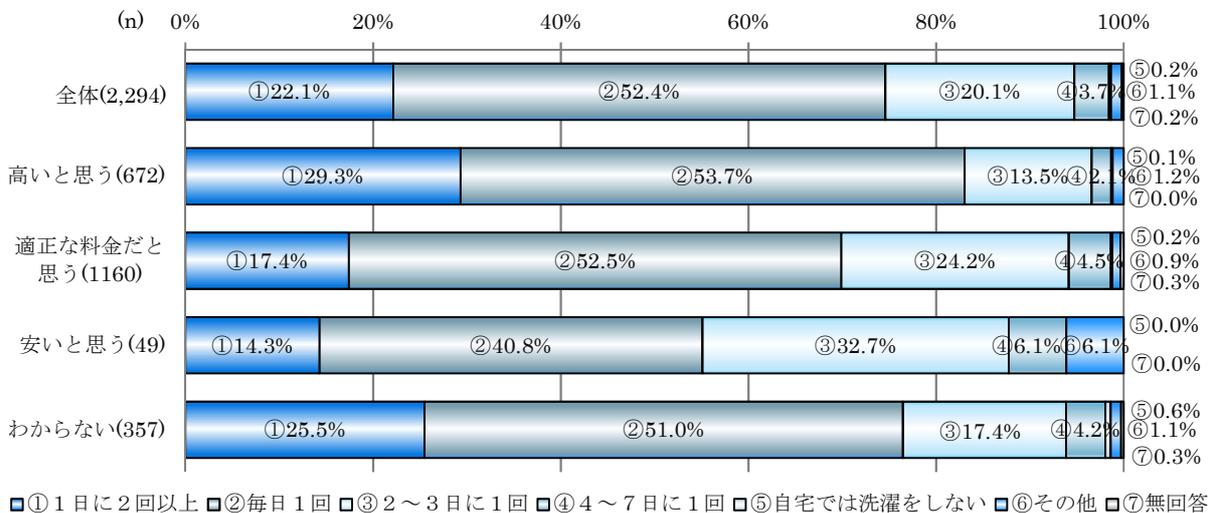


図表167 上水道料金について【問 15】×調理頻度(休日)【問 7】

休日の調理頻度を上水道料金についての意識別にみると、上水道料金が高いと思っている層では調理頻度が「3回」と回答した割合が58.9%と高い。

一方、上水道料金が安いと思っている層では「2回」と回答した割合が34.7%となる。

(6) 上水道料金について(問 15)と洗濯の頻度(問 8)の関係



図表168 上水道料金について【問 15】×洗濯頻度【問 8】

洗濯頻度を上水道料金についての意識別にみると、上水道料金が高いと思っている層では「1日に2回以上」が29.3%、「毎日1回」が53.7%と洗濯頻度の割合が高い。

一方、上水道料金が安いと思っている層では「2~3日に1回」が32.7%、「4~7日に1回」が6.1%と洗濯頻度の割合が低い。

3 使用水量ごとの節水行動の傾向について

水道水の使用量ごとの節水のための行動について、傾向をみるため、クロス分析を行った。

(1) 使用水量（問4）と節水のための行動（問9）の関係

	全体	こまめに蛇口の開閉をしている	風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている	雨水を庭への散水に使っている	その他	何もしていない	無回答
全体	2294 100.0%	1633 71.2%	678 29.6%	125 5.4%	75 3.3%	330 14.4%	10 0.4%
0㎡以上10㎡未満	22 100.0%	11 50.0%	8 36.4%	2 9.1%	0 0.0%	6 27.3%	0 0.0%
10㎡以上20㎡未満	128 100.0%	95 74.2%	38 29.7%	9 7.0%	7 5.5%	17 13.3%	0 0.0%
20㎡以上30㎡未満	256 100.0%	191 74.6%	90 35.2%	22 8.6%	9 3.5%	26 10.2%	0 0.0%
30㎡以上40㎡未満	332 100.0%	243 73.2%	112 33.7%	21 6.3%	12 3.6%	33 9.9%	2 0.6%
40㎡以上50㎡未満	298 100.0%	215 72.1%	95 31.9%	13 4.4%	10 3.4%	40 13.4%	1 0.3%
50㎡以上60㎡未満	173 100.0%	123 71.1%	47 27.2%	11 6.4%	4 2.3%	24 13.9%	1 0.6%
60㎡以上70㎡未満	116 100.0%	86 74.1%	40 34.5%	4 3.4%	3 2.6%	9 7.8%	0 0.0%
70㎡以上80㎡未満	71 100.0%	49 69.0%	18 25.4%	4 5.6%	2 2.8%	17 23.9%	0 0.0%
80㎡以上90㎡未満	39 100.0%	27 69.2%	19 48.7%	2 5.1%	2 5.1%	4 10.3%	0 0.0%
90㎡以上100㎡未満	10 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
100㎡以上	26 100.0%	18 69.2%	9 34.6%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	0 0.0%

図表169 使用水量【問4】×節水行動【問9】

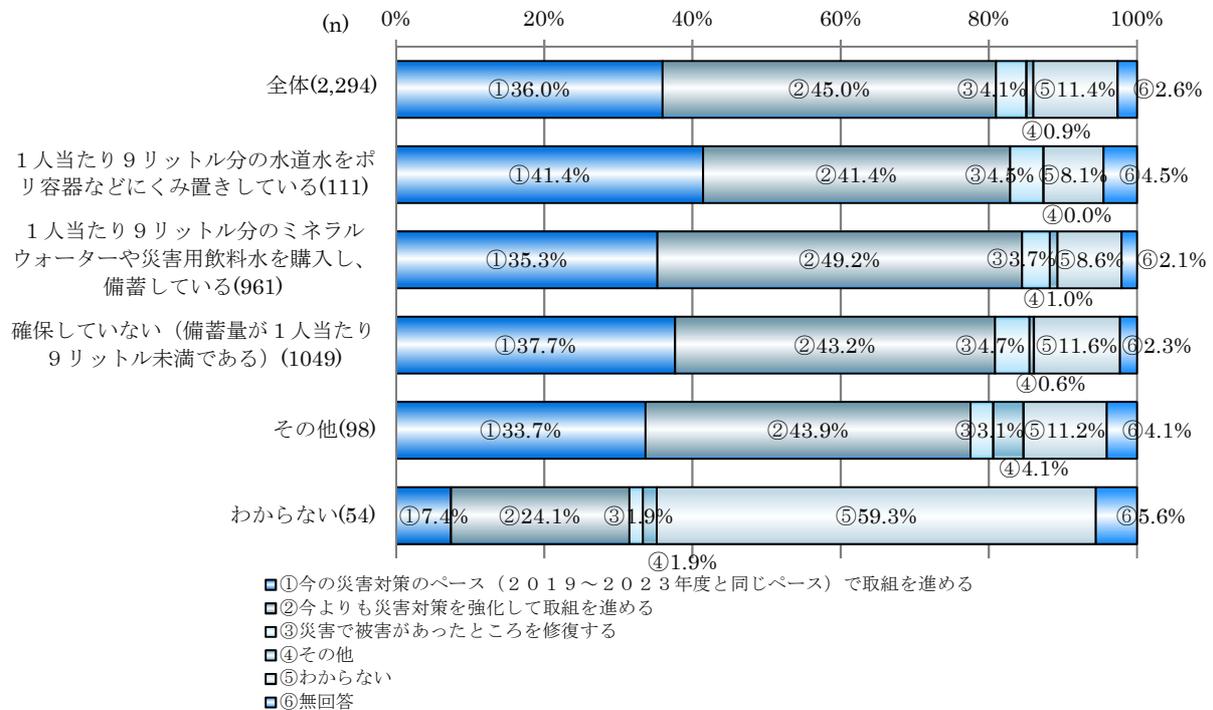
節水行動を使用水量別にみると、10㎡以上70㎡未満の範囲では、「こまめに蛇口の開閉をしている」割合が高い傾向がみられる。

図表 170 飲料水の備蓄【問 12】×災害対策の進め方についての意識【問 11】

4 水道施設の整備について

「問 11 災害対策の進め方について」や「問 14 今後の水道施設の更新及び維持管理について」などについて、影響を与えると考えられる質問とのクロス分析を行った。

(1) 災害に備えた飲料水の確保（問 12）と災害対策の進め方について（問 11）との関係

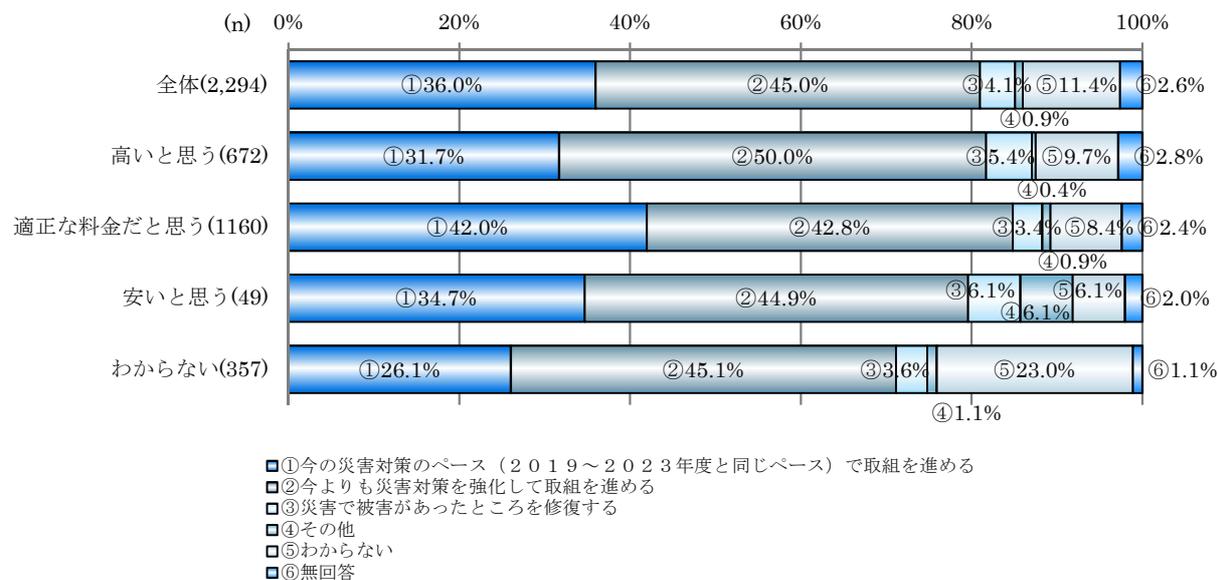


図表170 飲料水の備蓄【問 12】×災害対策の進め方についての意識【問 11】

災害対策の進め方についての意識を飲料水の備蓄状況別にみると、「1人当たり9リットル分のミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している」と回答した層は、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」が49.2%と高い。

図表 171 上水道料金について【問 15】×災害対策の進め方についての意識【問 11】

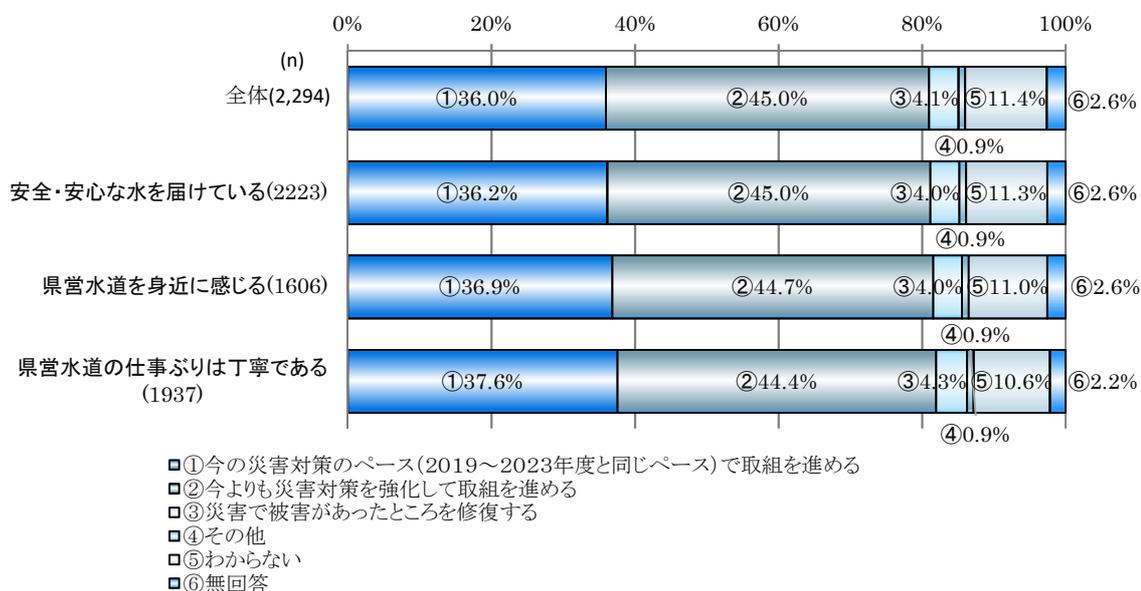
(2) 上水道料金について（問 15）と災害対策の進め方についての意識（問 11）の関係



図表171 上水道料金について【問 15】×災害対策の進め方についての意識【問 11】

災害対策の進め方についての意識を上水道料金への意識別にみると、水道料金が高いと思う層では「今よりも災害対策を強化して取組を進める」(50.0%)が高い。適正な料金だと思う層では「今の災害対策のペース(2019~2023年度と同じペース)で取組を進める」(42.0%)が高い。

(3) 県営水道についてのイメージ（問 1）と災害対策の進め方についての意識（問 11）の関係

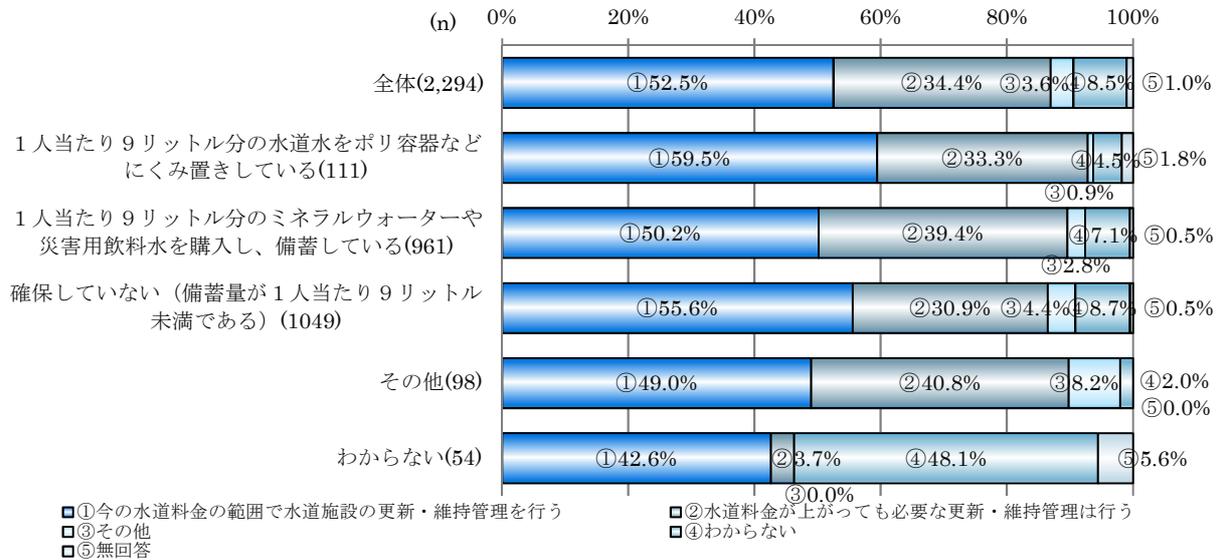


図表172 県営水道のイメージ【問 1】×災害対策の進め方についての意識【問 11】

災害対策の進め方についての意識を県営水道へのイメージ別にみると、「安全・安心な水を届けている」「県営水道を身近に感じる」「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」の肯定層（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」計）ごとの意識の差はみられない。

図表 173 飲料水の備蓄【問 12】×更新・維持管理についての意識【問 14】

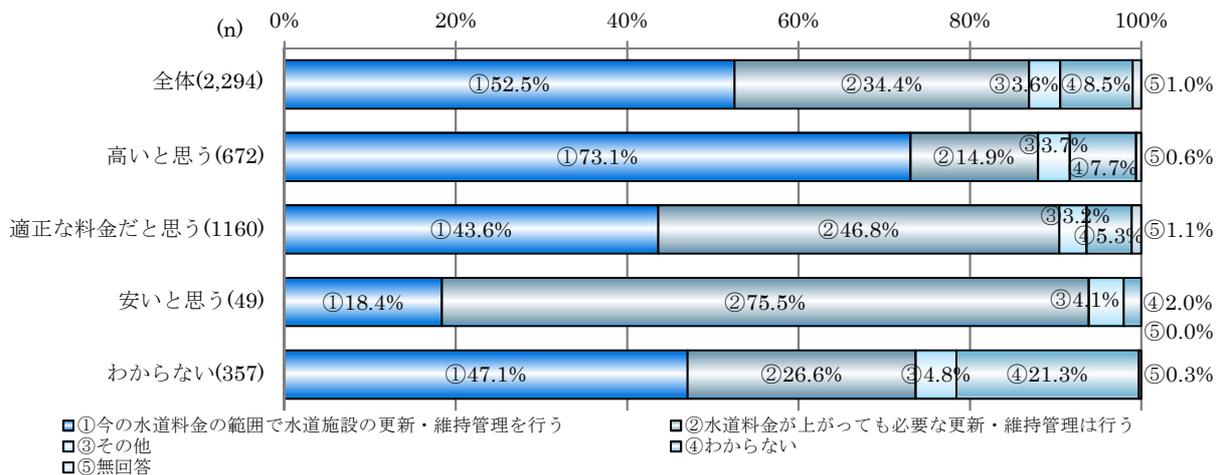
(4) 災害に備えた飲料水の確保（問 12）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問 14）の関係



図表173 飲料水の備蓄【問 12】×更新・維持管理についての意識【問 14】

更新・維持管理についての意識を飲料水の備蓄状況別にみると、「1人当たり9リットル分の水道水をポリ容器などにくみ置きしている」層では「今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う」(59.5%)が高い。

(5) 上水道料金について（問 15）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問 14）の関係

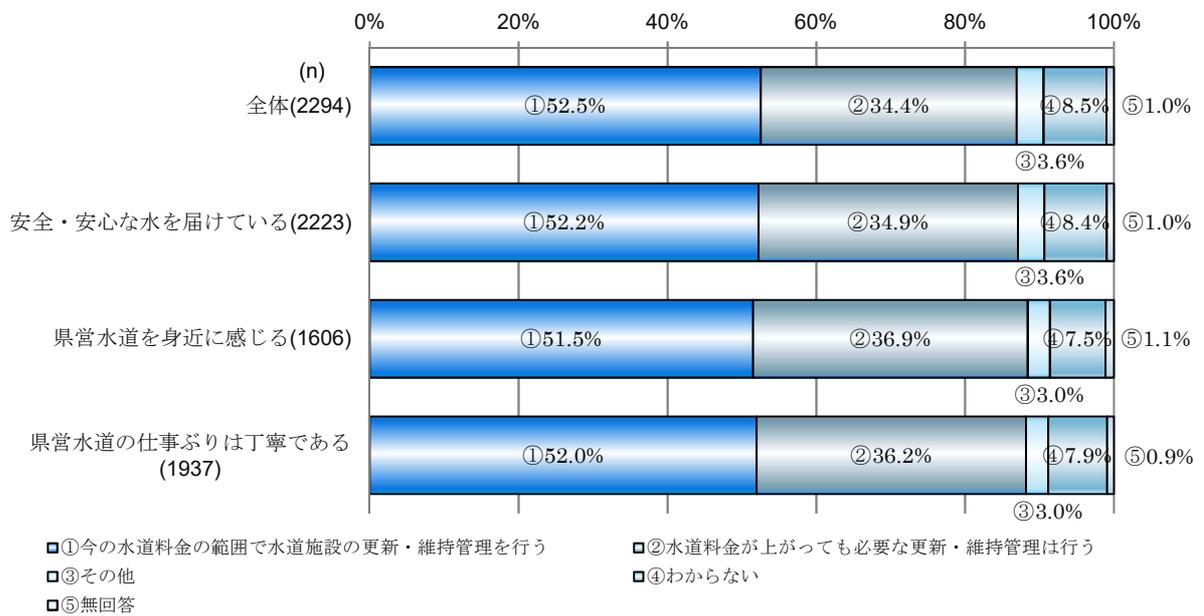


図表174 上水道料金について【問 15】×更新・維持管理についての意識【問 14】

更新・維持管理についての意識を上水道料金への意識別にみると、「高いと思う」層では「今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う」(73.1%)が最も高い。

一方、「適正な料金だと思う」「安いと思う」層では「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」(順に、46.8%、75.5%)が高い。

(6) 県営水道についてのイメージ（問1）と今後の水道施設の更新及び維持管理について（問14）の関係



図表175 県営水道のイメージ【問1】×更新・維持管理についての意識【問14】

更新・維持管理についての意識を県営水道のイメージ別にみると、「安全・安心な水を届けている」「県営水道を身近に感じる」「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」の肯定層（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」計）ごとの意識の差はあまりみられない。

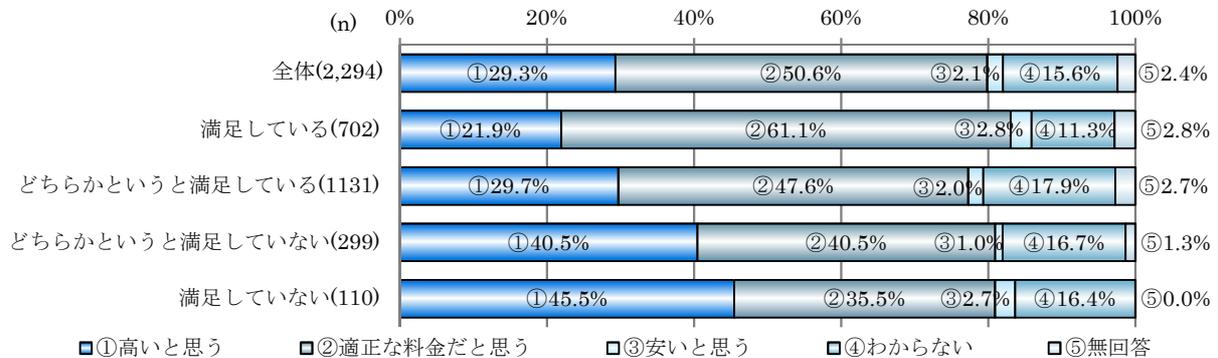
図表 176 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×上水道料金について【問 15】

5 上水道料金等について

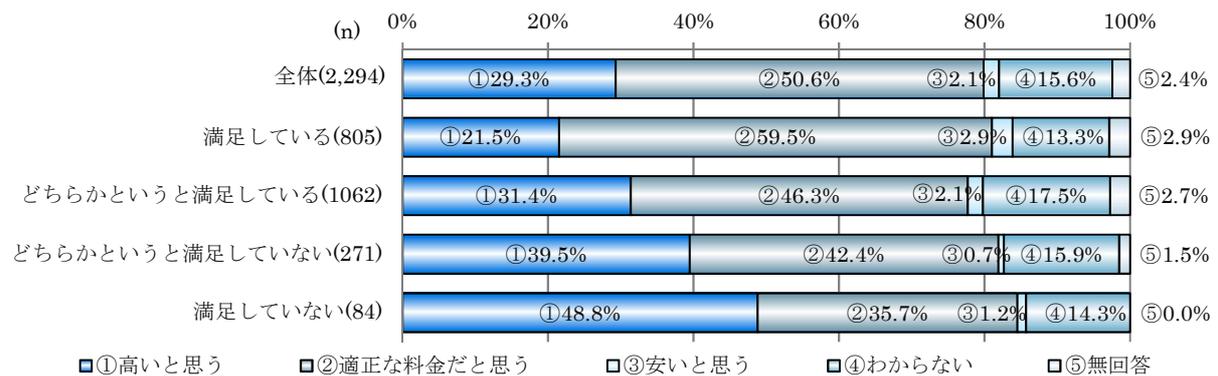
「問 15 上水道料金について」や「問 18 基本水量についての意識」など、料金に関する回答について、影響を与えると考えられる質問とのクロス分析を行った。

(1) 上水道料金について

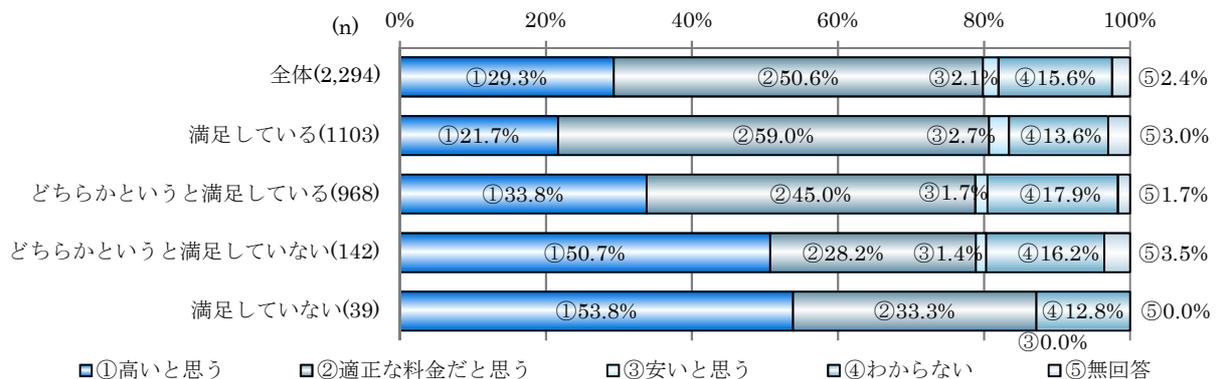
① 水道水への満足度 (問 2) と上水道料金について (問 15) の関係



図表176 水道水への満足度 (おいしさ) 【問 2】 ×上水道料金について 【問 15】



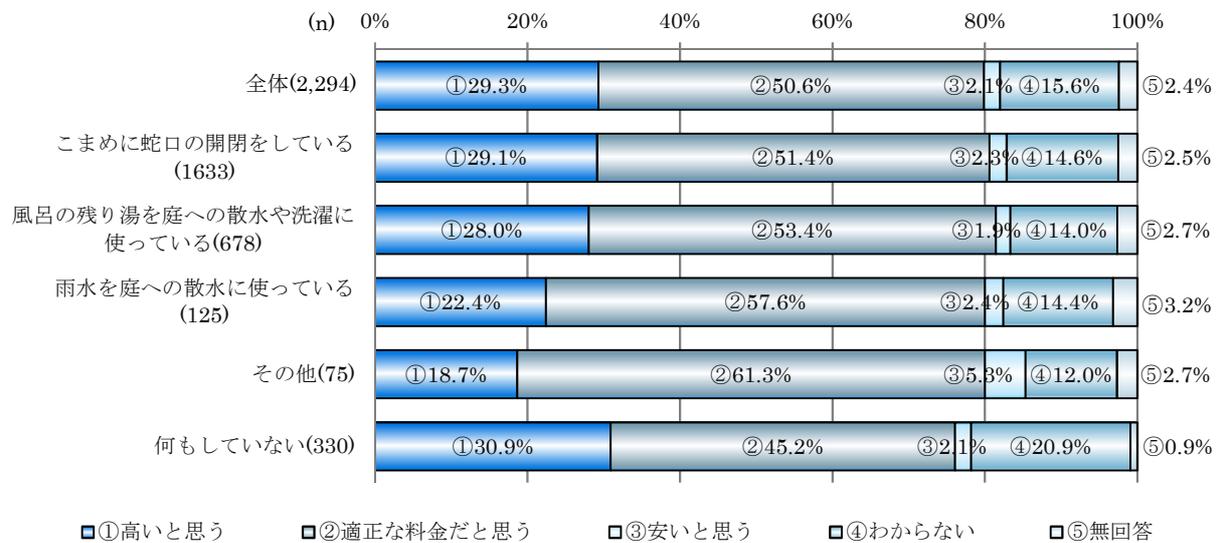
図表177 水道水への満足度 (におい) 【問 2】 ×上水道料金について 【問 15】



図表178 水道水への満足度 (安全性) 【問 2】 ×上水道料金について 【問 15】

上水道料金についての意識を水道水への満足度でみると、「おいしさ」「におい」「安全性」いずれも満足度が高くなるほど「適正な料金だと思う」が高くなり、「高いと思う」が低くなる傾向となる。

② 節水のための行動（問 9）と上水道料金について（問 15）の関係

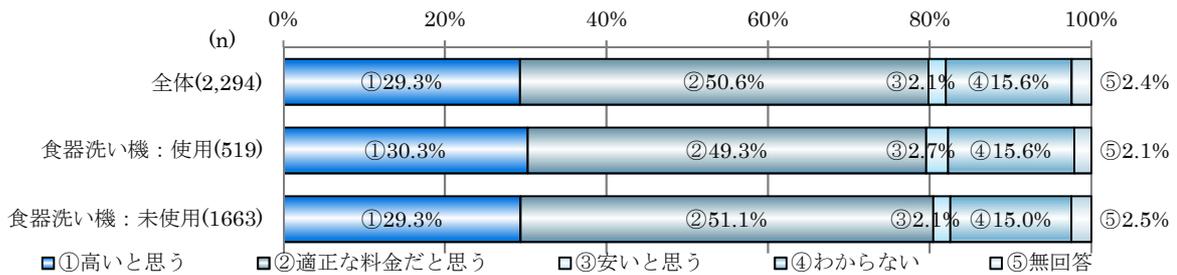


図表179 節水行動【問 9】×上水道料金について【問 15】

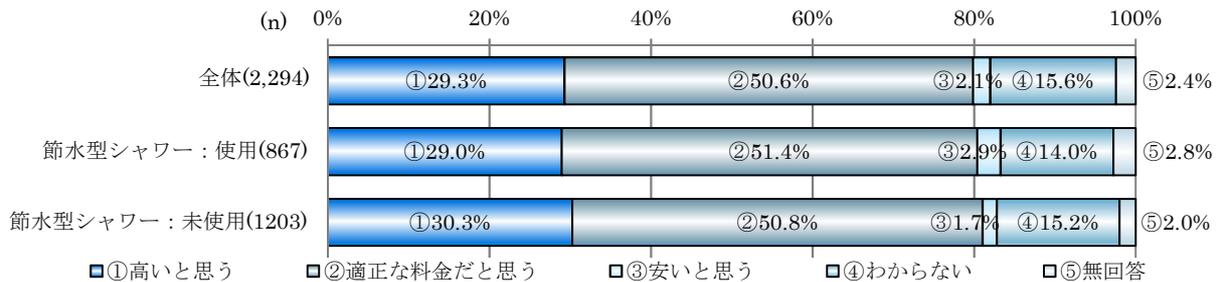
上水道料金についての意識を節水行動別にみると、「雨水を庭への散水に使っている」層では、「こまめに蛇口の開閉をしている」「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」などの層よりも「適正な料金だと思う」（57.6%）が高い。

図表 180 食器洗い機の使用状況【問 10】×上水道料金について【問 15】

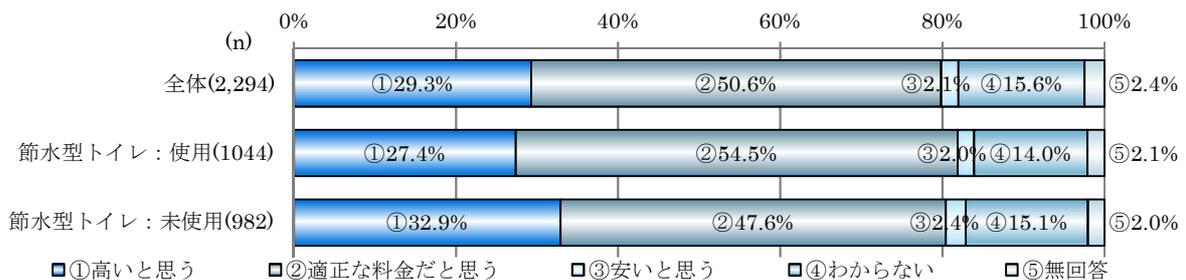
③ 節水型機器の使用状況（問 10）と上水道料金について（問 15）の関係



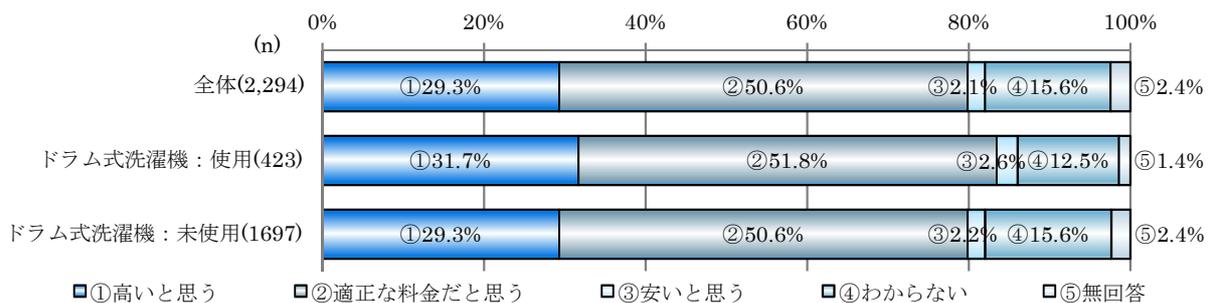
図表180 食器洗い機の使用状況【問 10】×上水道料金について【問 15】



図表181 節水型シャワーの使用状況【問 10】×上水道料金について【問 15】



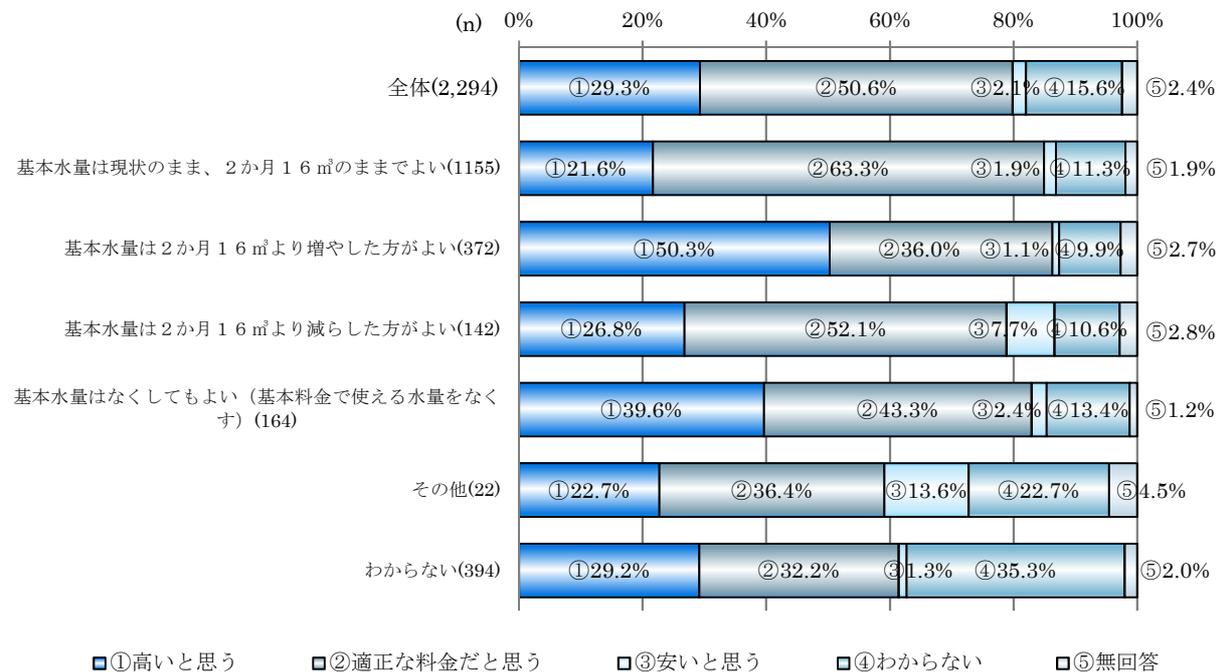
図表182 節水型トイレの使用状況【問 10】×上水道料金について【問 15】



図表183 ドラム式洗濯機の使用状況【問 10】×上水道料金について【問 15】

上水道料金についての意識を節水機器の使用状況別にみると、概ね「適正な料金だと思う」が5割を占め、上水道料金への意識には使用者、未使用者の間に大きな差はみられない。

④ 基本水量についての意識（問 18）と上水道料金について（問 15）の関係



図表184 基本水量についての意識【問 18】×上水道料金について【問 15】

上水道料金についての意識を基本水量への意識別にみると、「基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい」という層では「適正な料金だと思う」(63.3%)が高い。「基本水量は2か月16m³より増やした方がよい」、「基本水量はなくしてもよい(基本料金で使える水量をなくす)」という層では、「高いと思う」という意見が高い。

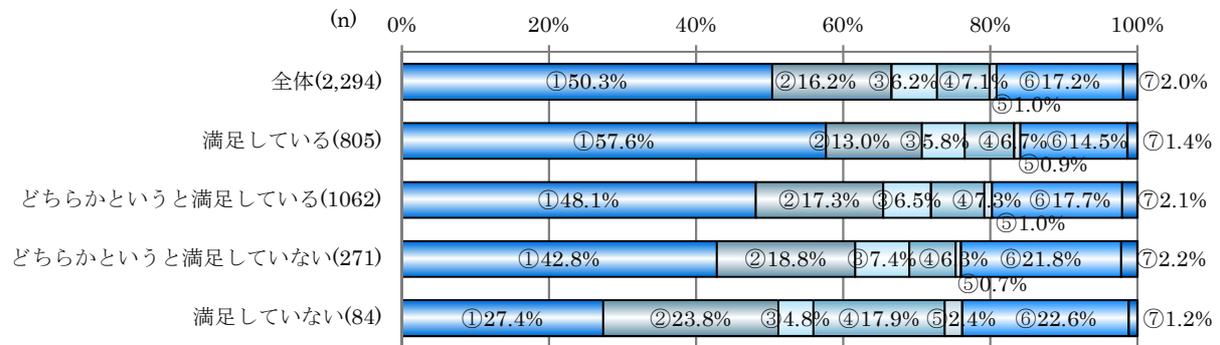
図表 185 水道水への満足度(おいしさ)【問2】×基本水量についての意識【問 18】

(2) 基本水量について

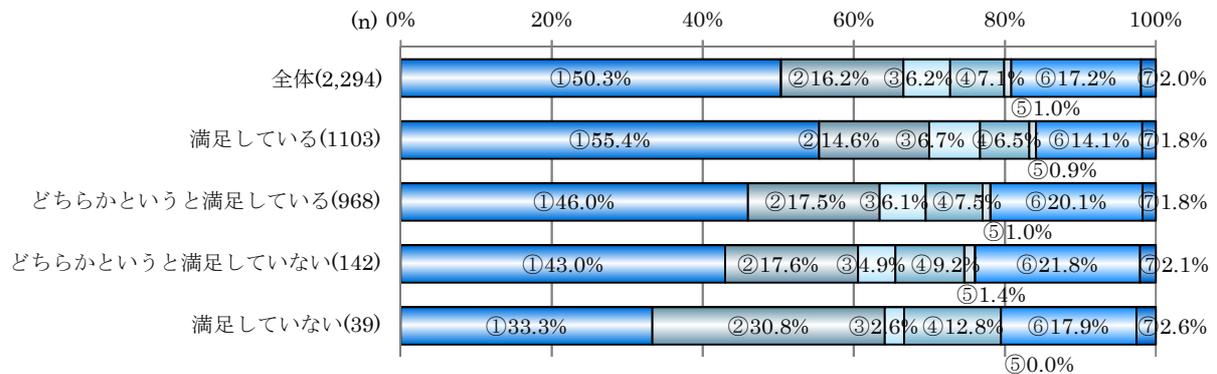
① 水道水への満足度 (問 2) と基本水量についての意識 (問 18) の関係



図表185 水道水への満足度 (おいしさ) 【問 2】 ×基本水量についての意識 【問 18】



図表186 水道水への満足度 (におい) 【問 2】 ×基本水量についての意識 【問 18】



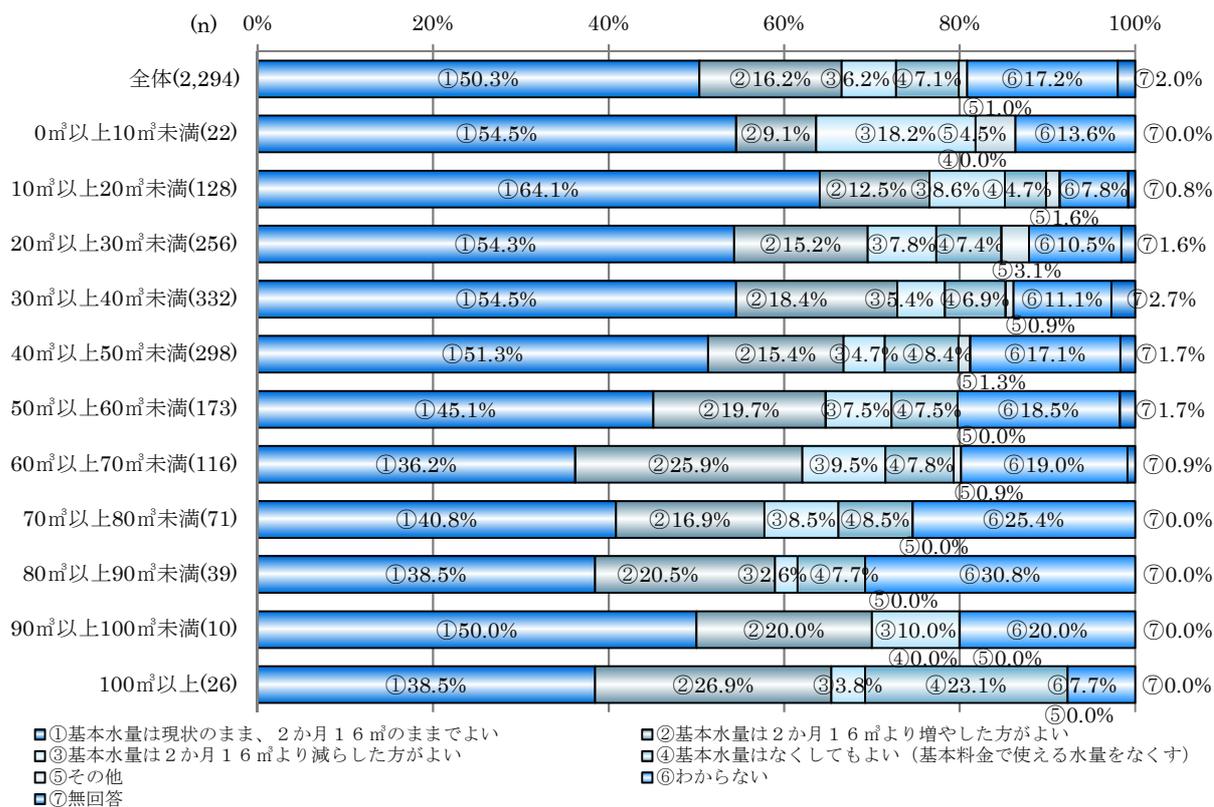
- ①基本水量は現状のまま、2か月16㎡のままでよい
- ②基本水量は2か月16㎡より増やした方がよい
- ③基本水量は2か月16㎡より減らした方がよい
- ④基本水量はなくてもよい(基本料金で使える水量をなくす)
- ⑤その他
- ⑥わからない
- ⑦無回答

図表187 水道水への満足度 (安全性) 【問 2】 ×基本水量についての意識 【問 18】

基本水量についての意識を水道水への満足度でみると、「おいしさ」「におい」「安全性」いずれも、満足度が高くなるほど「基本水量は現状のまま、2か月16㎡のままでよい」が高くなり、「基本水量は2か月16㎡より増やした方がよい」が低くなる傾向がみられる。

図表 188 使用水量【問4】×基本水量についての意識【問 18】

② 使用水量（問 4）と基本水量についての意識（問 18）の関係

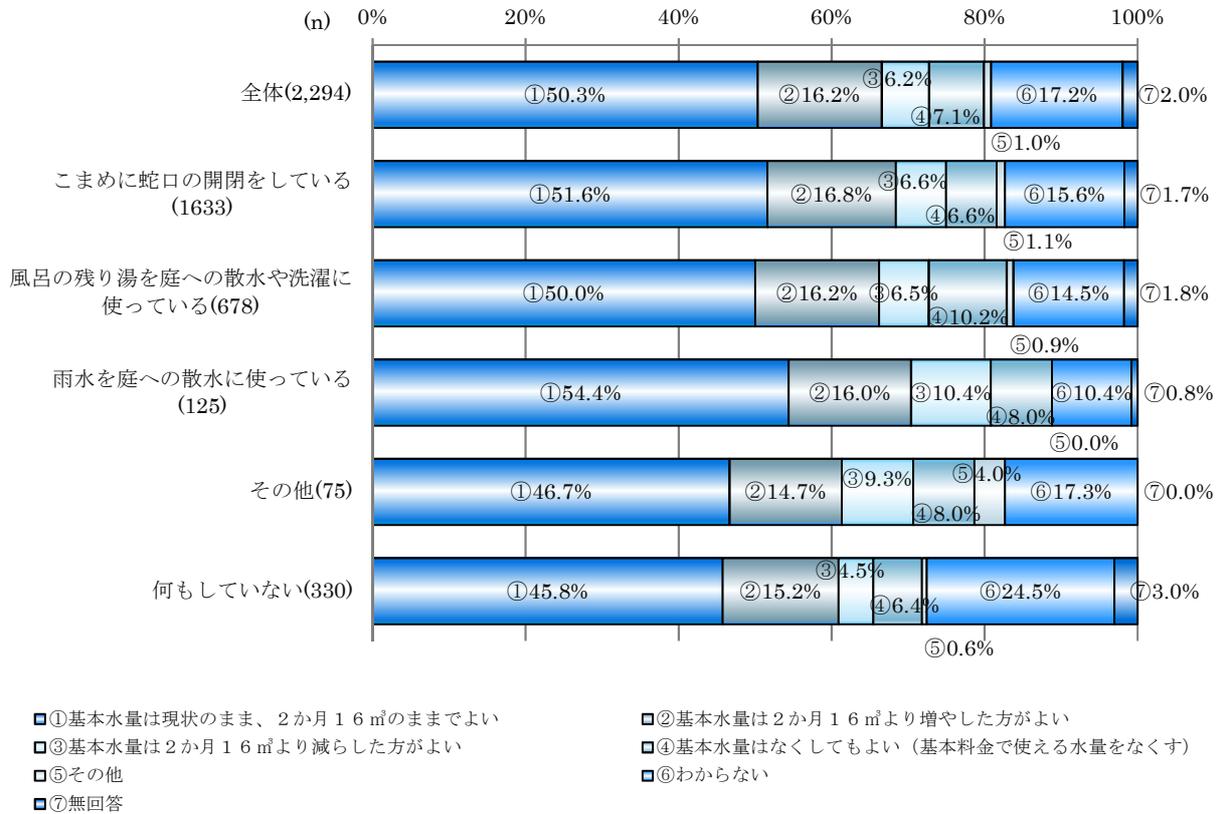


図表188 使用水量【問 4】×基本水量についての意識【問 18】

基本水量についての意識を使用水量別にみると、使用水量が少ない層ほど「基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい」が高くなる傾向がみられる。

図表 189 節水行動【問9】×基本水量についての意識【問18】

③ 節水のための行動（問9）と基本水量についての意識（問18）の関係



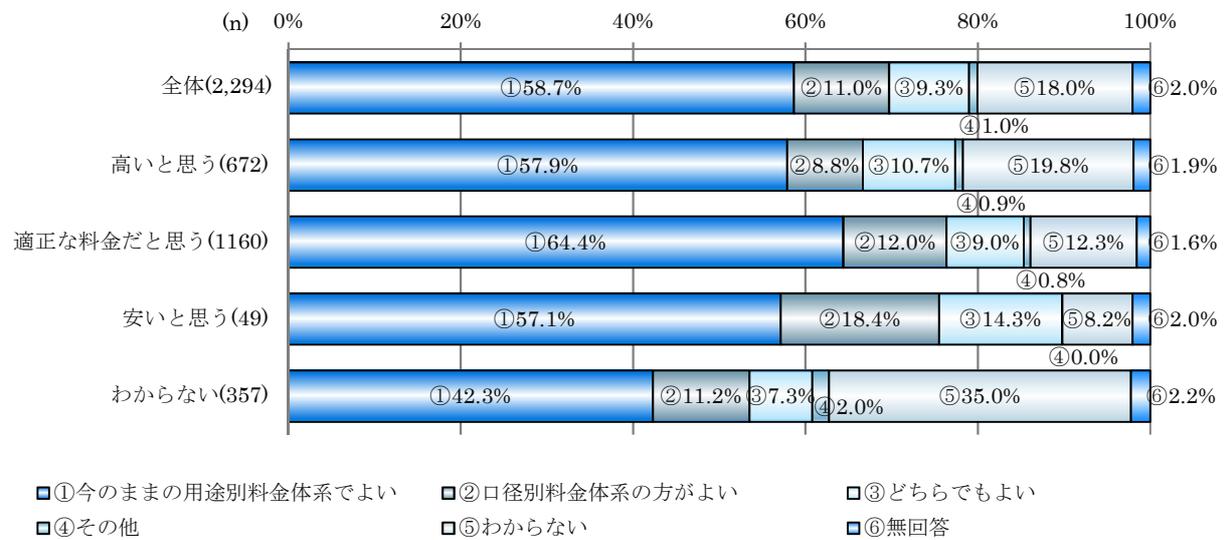
図表189 節水行動【問9】×基本水量についての意識【問18】

基本水量についての意識を節水行動別にみると、「雨水を庭への散水に使っている」層では、「こまめに蛇口の開閉をしている」「風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている」などの層よりも「基本水量は現状のまま、2か月16㎡のままが良い」がやや高い。

図表 190 上水道料金について【問 15】×料金体系についての意識【問 20】

(3) 料金体系のあり方について

① 上水道料金について（問 15）と料金体系のあり方（問 20）の関係



図表190 上水道料金について【問 15】×料金体系についての意識【問 20】

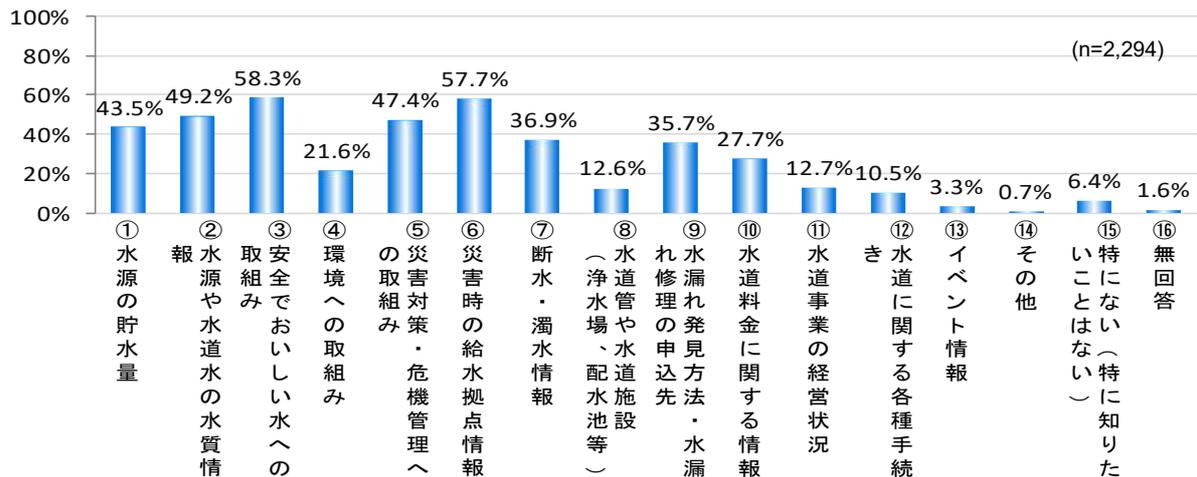
料金体系についての意識を水道料金への意識別にみると、「適正な料金だと思う」層では「今のままの用途別料金体系でよい」（64.4%）が高い。

6 県営水道に肯定的なイメージを持つ回答者の分析について

(1) 広報に関する質問の分析

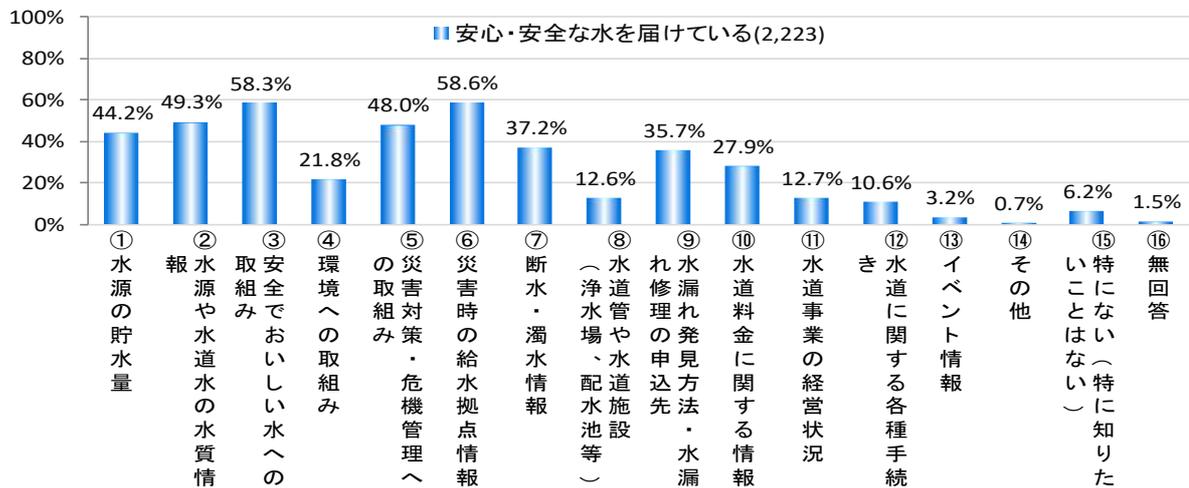
広報業務に活用するため、「問1 県営水道についてのイメージ」で肯定的なイメージ（「そう思う」＋「どちらかというと思う」）を持つ回答者が、広報に関する質問（問21、問22）についてどのように考えているかをみるため、クロス分析を行った。

① 県営水道についてのイメージ（問1）と県営水道について知りたい情報（問21）の関係



図表191 県営水道のイメージ（全体）【問1】×県営水道について知りたい情報【問21】

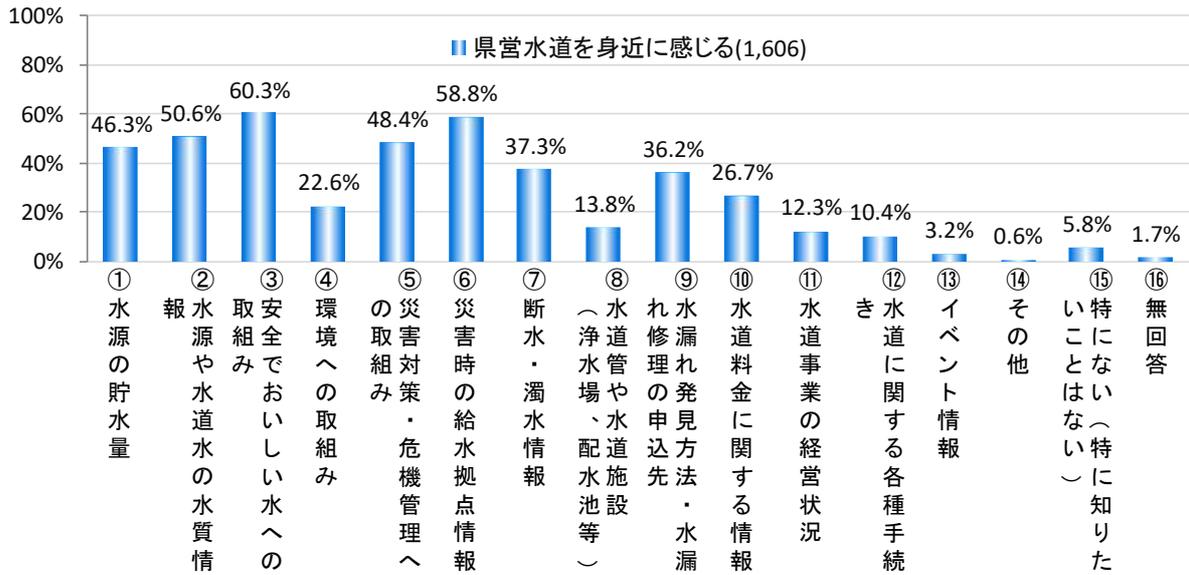
県営水道についてのイメージと県営水道について知りたい情報の関係をみると、「安全でおいしい水への取組み」が58.3%と最も高く、「災害時の給水拠点情報」が57.7%で拮抗している。



図表192 県営水道のイメージ（安全・安心な水を届けている）【問1】×県営水道について知りたい情報【問21】

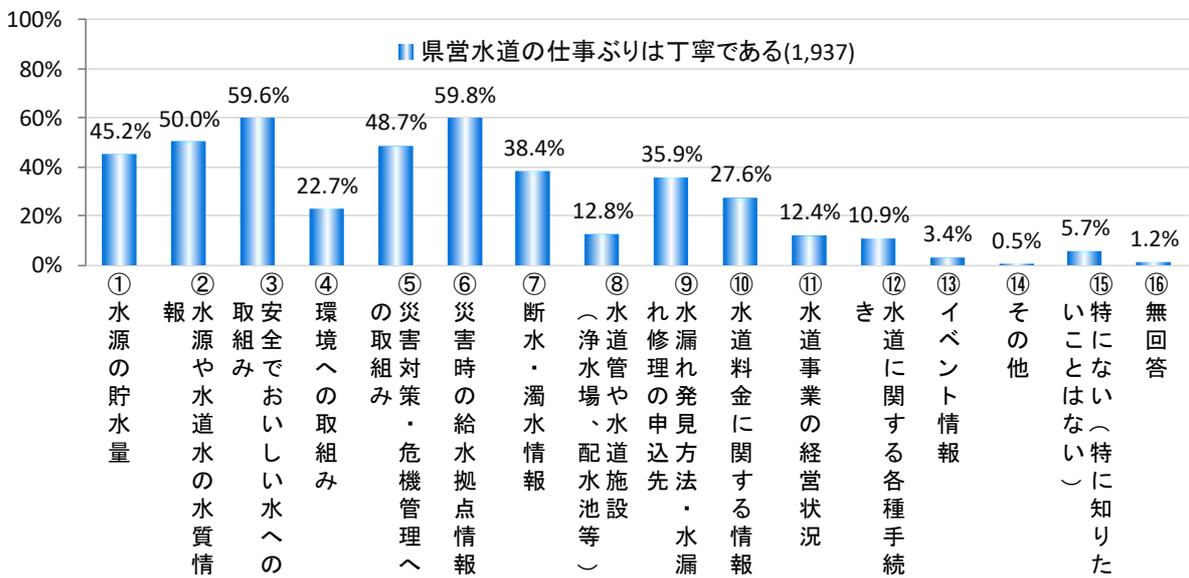
県営水道について知りたい情報について、「安全・安心な水を届けている」イメージの肯定層が求める情報は、「災害時の給水拠点情報」（58.6%）「安全でおいしい水への取組み」（58.3%）が高い。

図表 193 県営水道のイメージ(県営水道を身近に感じる)【問1】×県営水道について知りたい情報【問 21】



図表193 県営水道のイメージ(県営水道を身近に感じる)【問1】×県営水道について知りたい情報【問 21】

県営水道について知りたい情報について、「県営水道を身近に感じる」イメージの肯定層が求める情報は、「安全でおいしい水への取組み」が60.3%と高い。

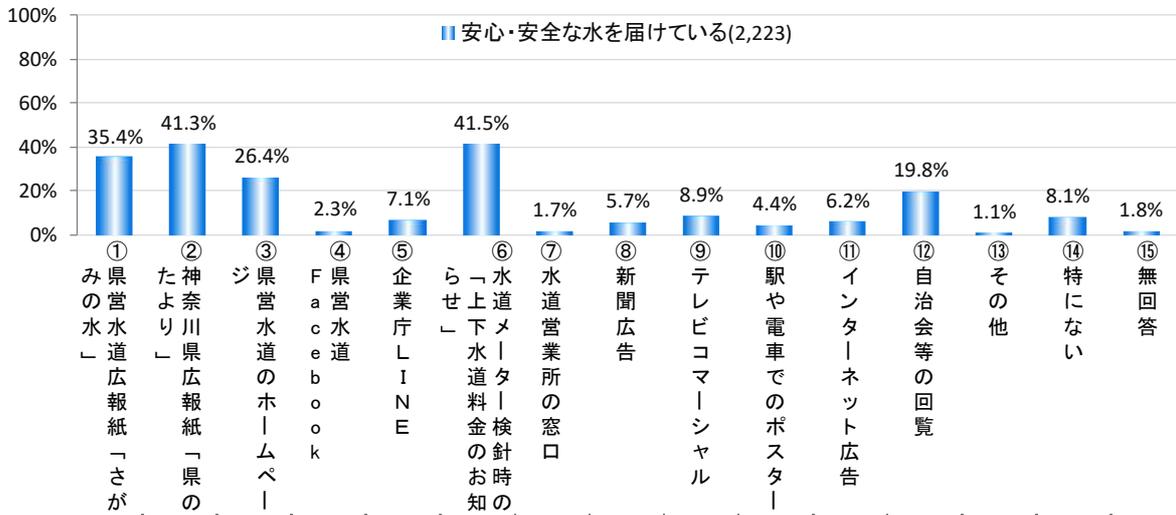


図表194 県営水道のイメージ(県営水道の仕事ぶりは丁寧である)【問1】×県営水道について知りたい情報【問 21】

県営水道について知りたい情報について、「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」イメージの肯定層が求める情報は、「災害時の給水拠点情報」(59.8%)「安全でおいしい水への取組み」(59.6%)が高い。

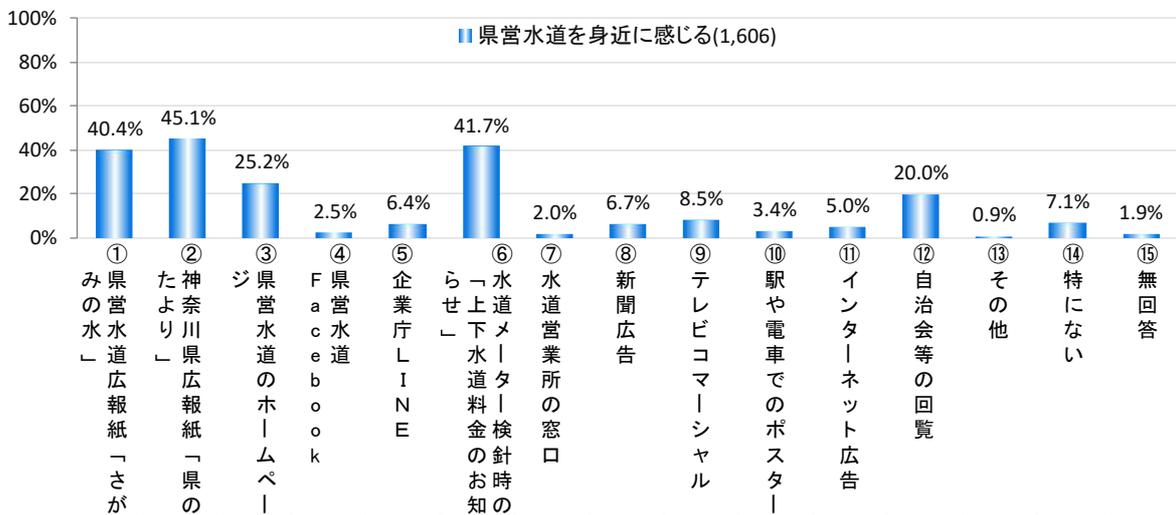
図表 195 県営水道のイメージ(安全・安心な水を届けている)【問1】×県営水道に関する情報を知る手段【問22】

② 県営水道についてのイメージ(問1)と県営水道に関する情報を知る手段(問22)の関係



図表195 県営水道のイメージ(安全・安心な水を届けている)【問1】×
県営水道に関する情報を知る手段【問22】

県営水道に関する情報を知る手段について「安全・安心な水を届けている」イメージの肯定層が求める入手先は、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」(41.5%)「神奈川県広報紙「県のたより」(41.3%)がほぼ同率である。

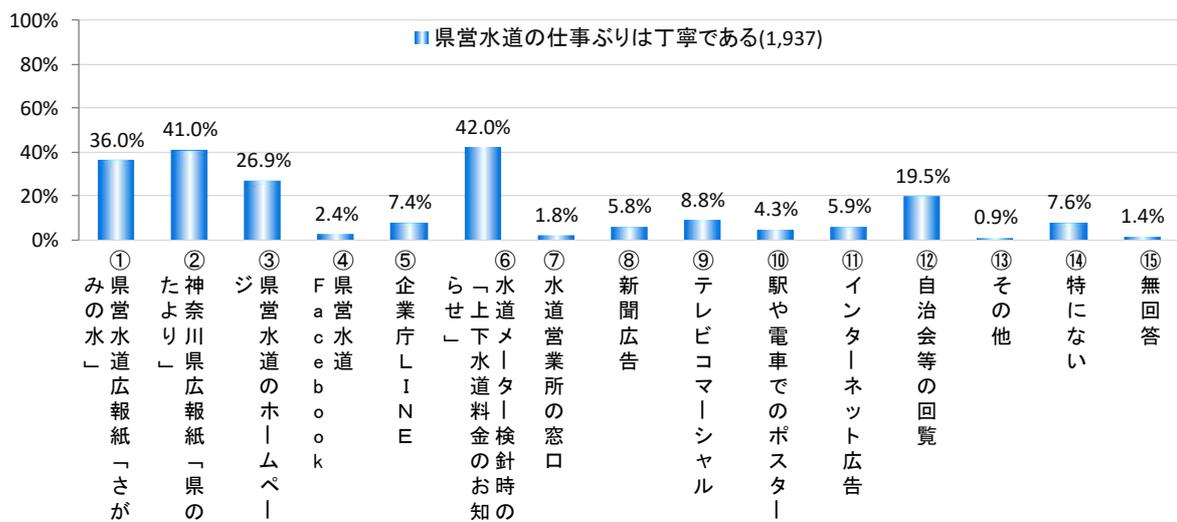


図表196 県営水道のイメージ(県営水道を身近に感じる)【問1】×
県営水道に関する情報を知る手段【問22】

県営水道に関する情報を知る手段について、「県営水道を身近に感じる」イメージの肯定層が求める入手先は、「神奈川県広報紙「県のたより」が45.1%で最も高く、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」(41.7%)を上回った。

第3章 6 県営水道に肯定的なイメージを持つ回答者の分析について

図表 197 県営水道のイメージ(県営水道の仕事ぶりは丁寧である)【問1】× 県営水道に関する情報を知る手段【問 22】



図表197 県営水道のイメージ(県営水道の仕事ぶりは丁寧である)【問1】× 県営水道に関する情報を知る手段【問 22】

県営水道に関する情報を知る手段について、「県営水道の仕事ぶりは丁寧である」イメージの肯定層が求める入手先は、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」(42.0%)「神奈川県広報紙「県のたより」(41.0%)」がほぼ同率となっている。

図表 198 県営水道について知りたい情報【問 21】×県営水道に関する情報を知る手段【問 22】

③ 県営水道について知りたい情報と情報を知る手段の関係

	全体	県営水道 広報紙「さ がみの水」	神奈川県 広報紙「県 のたより」	県営水道 のホーム ページ	県営水道 Face ebook	企業庁 LINE	水道メ ーター検 針時の 「上下 水道料 金のお 知らせ」	水道営 業所の 窓口	新聞広 告	テレビ コマー シャル	駅や電 車での ポスター	イン ター ネット 広告	自治会 等の回 覧	その他	特にな い	無回答
全体	2294 100.0%	803 35.0%	936 40.8%	602 26.2%	53 2.3%	164 7.1%	943 41.1%	39 1.7%	130 5.7%	207 9.0%	102 4.4%	141 6.1%	452 19.7%	28 1.2%	193 8.4%	42 1.8%
水源の貯水量	998 100.0%	450 45.1%	498 49.9%	324 32.5%	30 3.0%	90 9.0%	467 46.8%	23 2.3%	67 6.7%	93 9.3%	51 5.1%	65 6.5%	218 21.8%	13 1.3%	30 3.0%	7 0.7%
水源や水道水の 水質情報	1128 100.0%	474 42.0%	541 48.0%	364 32.3%	34 3.0%	105 9.3%	562 49.8%	26 2.3%	68 6.0%	101 9.0%	55 4.9%	85 7.5%	244 21.6%	14 1.2%	29 2.6%	7 0.6%
安全でおいしい水へ の取組み	1338 100.0%	553 41.3%	635 47.5%	407 30.4%	34 2.5%	99 7.4%	599 44.8%	32 2.4%	90 6.7%	139 10.4%	64 4.8%	95 7.1%	290 21.7%	14 1.0%	56 4.2%	8 0.6%
環境への取組み	495 100.0%	228 46.1%	266 53.7%	173 34.9%	19 3.8%	57 11.5%	235 47.5%	20 4.0%	37 7.5%	54 10.9%	32 6.5%	40 8.1%	121 24.4%	8 1.6%	19 3.8%	2 0.4%
災害対策・危機管 理への取組み	1087 100.0%	423 38.9%	516 47.5%	364 33.5%	31 2.9%	103 9.5%	529 48.7%	28 2.6%	61 5.6%	106 9.8%	65 6.0%	88 8.1%	261 24.0%	14 1.3%	32 2.9%	8 0.7%
災害時の給水拠点 情報	1324 100.0%	527 39.8%	620 46.8%	407 30.7%	36 2.7%	117 8.8%	654 49.4%	28 2.1%	89 6.7%	135 10.2%	69 5.2%	90 6.8%	311 23.5%	14 1.1%	33 2.5%	9 0.7%
断水・濁水情報	846 100.0%	313 37.0%	375 44.3%	295 34.9%	26 3.1%	84 9.9%	442 52.2%	21 2.5%	61 7.2%	94 11.1%	42 5.0%	70 8.3%	198 23.4%	11 1.3%	26 3.1%	4 0.5%
水道管や水道施設(浄 水場、配水池等)	289 100.0%	147 50.9%	158 54.7%	121 41.9%	12 4.2%	39 13.5%	156 54.0%	19 6.6%	27 9.3%	30 10.4%	23 8.0%	22 7.6%	80 27.7%	6 2.1%	8 2.8%	1 0.3%
水漏れ発見方法・ 水漏れ修理の申込	820 100.0%	323 39.4%	378 46.1%	246 30.0%	27 3.3%	76 9.3%	438 53.4%	24 2.9%	66 8.0%	93 11.3%	42 5.1%	61 7.4%	213 26.0%	15 1.8%	25 3.0%	5 0.6%
水道料金に関する 情報	636 100.0%	236 37.1%	302 47.5%	217 34.1%	20 3.1%	64 10.1%	348 54.7%	21 3.3%	52 8.2%	83 13.1%	43 6.8%	65 10.2%	148 23.3%	8 1.3%	22 3.5%	5 0.8%
水道事業の経営状 況	291 100.0%	123 42.3%	146 50.2%	115 39.5%	11 3.8%	38 13.1%	150 51.5%	15 5.2%	25 8.6%	34 11.7%	19 6.5%	33 11.3%	65 22.3%	9 3.1%	11 3.8%	0 0.0%
水道に関する各種 手続き	242 100.0%	108 44.6%	111 45.9%	106 43.8%	13 5.4%	36 14.9%	125 51.7%	14 5.8%	20 8.3%	25 10.3%	17 7.0%	25 10.3%	52 21.5%	5 2.1%	6 2.5%	0 0.0%
イベント情報	75 100.0%	43 57.3%	46 61.3%	24 32.0%	4 5.3%	9 12.0%	42 56.0%	6 8.0%	8 10.7%	12 16.0%	7 9.3%	9 12.0%	23 30.7%	5 6.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	16 100.0%	6 37.5%	8 50.0%	7 43.8%	2 12.5%	2 12.5%	10 62.5%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%

図表198 県営水道について知りたい情報【問 21】×県営水道に関する情報を知る手段【問 22】

県営水道について知りたい情報の入手先を情報別にみると、「安全でおいしい水への取組み」では、「神奈川県広報紙「県のたより」」が47.5%と最も高い。

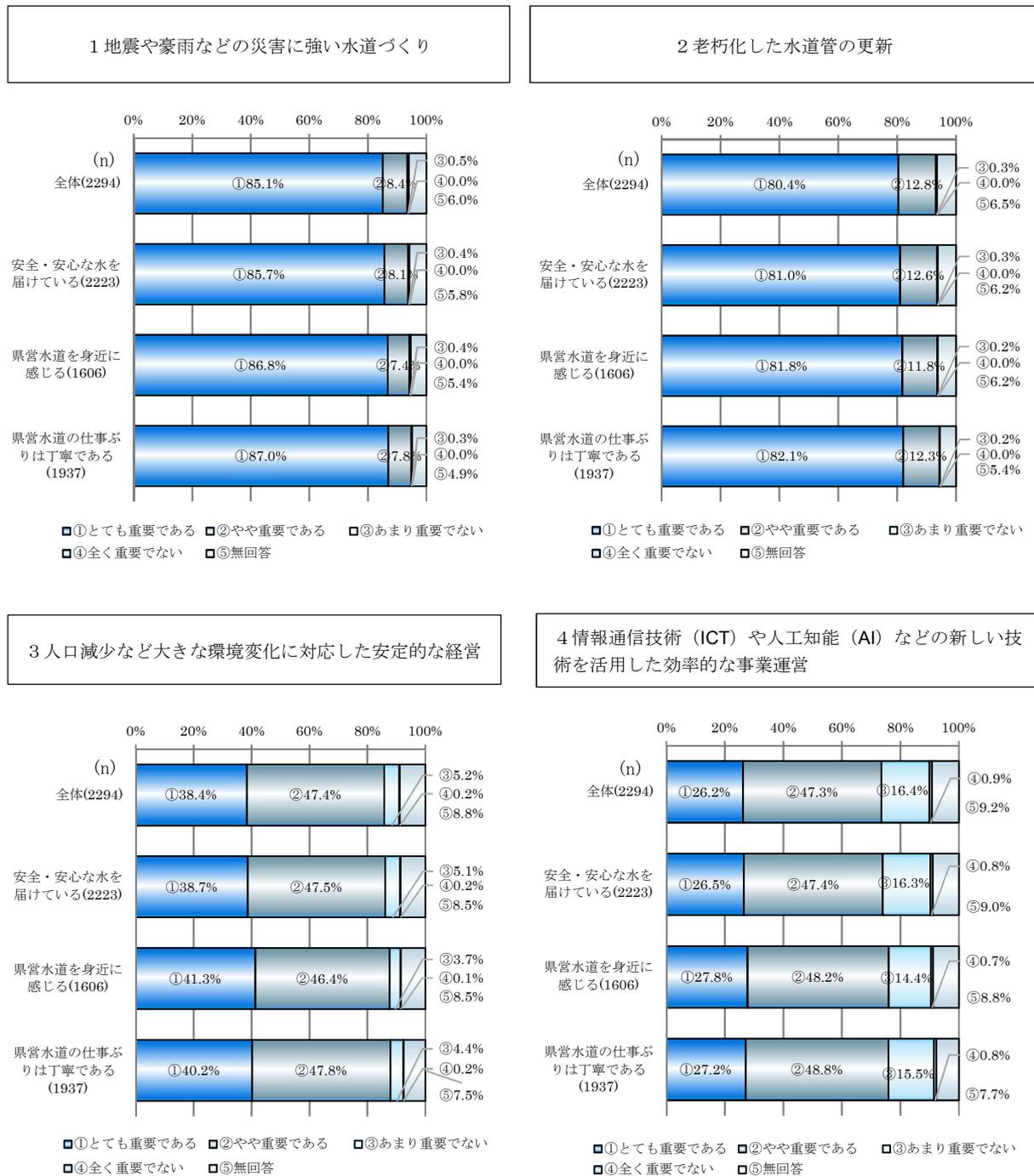
一方、「水源や水道水の水質情報」「災害時の給水拠点情報」では、「水道メーター検針時の「上下水道料金のお知らせ」(順に、49.8%、49.4%)」が高い。

図表 199 県営水道のイメージ【問1】×県営水道が行っている事業について【問23】(1)

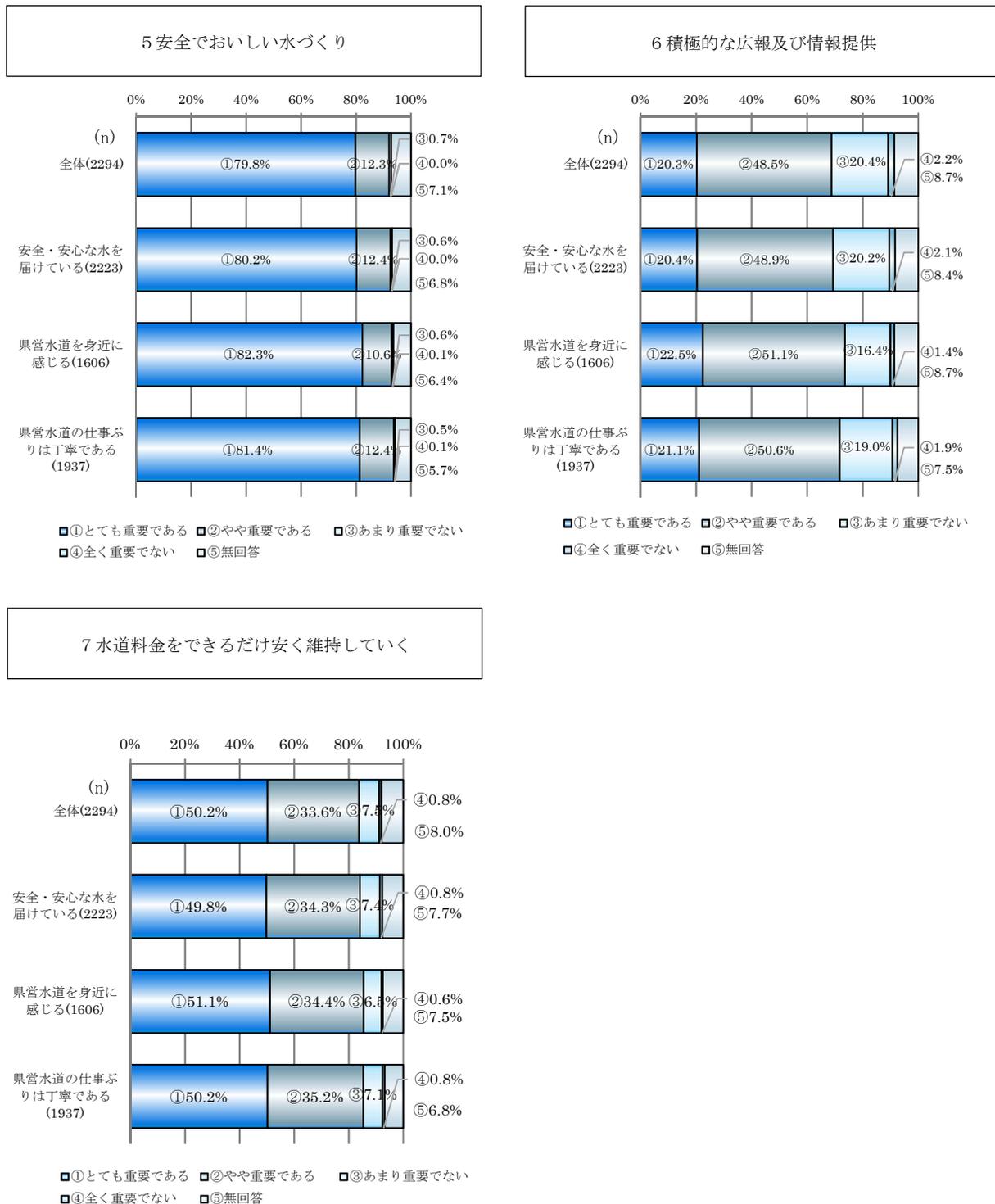
(2) 事業の重要度との関係

「問1 県営水道についてのイメージ」で肯定的なイメージを持つ回答者が、県営水道が行う事業の重要度をどのように考えているのかをみるため、クロス分析を行った。

④ 県営水道についてのイメージ（問1）と県営水道が行っている事業について（問23）の関係



図表199 県営水道のイメージ【問1】×県営水道が行っている事業について【問23】(1)



図表200 県営水道のイメージ【問1】×県営水道が行っている事業について【問23】(2)

県営水道が行っている事業の重要度を県営水道のイメージ別にみると、「県営水道を身近に感じる」について肯定的な層では、全ての事業で「とても重要である」と回答した割合が全体より高くなった。

第4章 調査票

神奈川県営水道についてのお客さま意識調査

<調査票>

令和4年7月

この調査の回答方法は「インターネットによる回答」または「調査票の記入による回答」のいずれかをお選びいただけます。

1. 「インターネットによる回答」の場合

回答方法の詳細は、別紙「インターネットによる回答方法」をご覧ください、**令和4年7月15日（金）**までにご回答ください。

インターネット回答する場合のあなたのログイン情報

ID ●●●●●●●●

パスワード ●●●●●●●●

2. 「調査票の記入による回答」の場合

調査票に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、**令和4年7月15日（金）**までにご投函ください。なお、この調査票によりご回答いただく場合は、以下の「ご記入にあたってのお願い」をお読みのうえ、ご記入ください。

<ご記入にあたってのお願い>

- この調査は封筒の**あて名のご本人**にお願いするものです。**ご本人**がご回答ください。
- 選択式の質問には、該当する項目の番号に○印をつけてください。
- 質問によって、○は（1つだけ）（いくつでも）と回答数を指定していますので、その範囲内でご回答ください。
- ご回答が「その他」に該当する場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 筆記用具の種類、色は問いません。
- ご不明な点などがございましたらお問い合わせください。

【お問い合わせ先・調査主体】

神奈川県企業庁企業局水道部経営課 経営企画グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 045-210-7219（平日 8:30～17:15）

URL <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/kensuiosirase/ishiki.html>

※この調査は、神奈川県企業庁が下に記載の機関に委託しています。

株式会社綜研情報工芸

〒105-0014 東京都港区芝二丁目3-3 JRE 芝二丁目大門ビル7階

■最初に、あなたとあなたのご家庭についてお伺いします。

該当する番号に○をつけてください。（令和4年7月1日現在でお答えください。）

【F1】 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

1. 20～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上

【F2】 あなたのお住まいはどちらですか。

1. 愛川町	2. 厚木市	3. 綾瀬市
4. 伊勢原市	5. 海老名市	6. 大磯町
7. 小田原市	8. 鎌倉市	9. 相模原市中央区
10. 相模原市南区	11. 相模原市緑区	12. 寒川町
13. 逗子市	14. 茅ヶ崎市	15. 二宮町
16. 箱根町	17. 葉山町	18. 平塚市
19. 藤沢市	20. 大和市	

【F3】 一緒に暮らしている方はいらっしゃいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

▶ F3で、「1. はい」を選択した方のみお答えください。

【F3-1】 あなたと一緒に暮らしている方は何人ですか。また、年齢は次のどれにあたりますか。

〈あなた以外の方の人数（あなたを含めない人数）〉

1. 9 歳以下 (人)	2. 10～19 歳 (人)	3. 20～29 歳 (人)
4. 30～39 歳 (人)	5. 40～49 歳 (人)	6. 50～59 歳 (人)
7. 60～69 歳 (人)	8. 70 歳以上 (人)	

【F4】 あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。

1. 一戸建て
2. 2階建てまでの集合住宅（団地、アパート、マンション等）
3. 3階建て以上の集合住宅（団地、アパート、マンション等）

I. 県営水道について

【問1】 あなたのご家庭に水道水をお届けしている県営水道についてどんなイメージをお持ちですか。

(あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

	そう思う	どちらかという と そう思う	どちらかという と そう思わない	そう思わない
1. 安全・安心な水を届けている	1	2	3	4
2. 県営水道を身近に感じる	1	2	3	4
3. 県営水道の仕事ぶりは丁寧である	1	2	3	4

II. 水道水の水質について

【問2】 あなたはご家庭の水道水について満足していますか。

(あなたのお考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。)

	満足している	どちらかという と 満足している	どちらかという と 満足していない	満足していない
1. おいしさ	1	2	3	4
2. におい	1	2	3	4
3. 安全性	1	2	3	4

【問3】 あなたは、水道水について何が一番大切だと考えますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 安全で安心な水道水
2. 安定して供給される水道水
3. 味がおいしい水道水
4. 塩素のにおいのない水道水
5. 値段が安い水道水
6. その他(具体的に： _____)

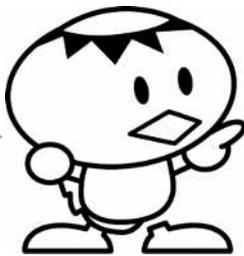
Ⅲ. 水道水の使用について

【問4】 あなたのご家庭の水道使用水量はどれくらいですか。（直近の水道メーター検針の際にお渡しした「上下水道使用量のお知らせ」に記載されている「使用水量」を記入してください。）

() m³

*ご不明の場合は「不明」と記入してください。

「使用水量」の数値を記入してください



上下水道使用量のお知らせ

神奈川 太郎 様
999 号室

お客様番号 232-012345-601
(使用者番号 23201 23456 01499)

令和元年度 使用年月分：元年 8月～元年 9月分

今回指針 326 m³ 令和元年 9月 3日点検
 前回指針 306 m³ 令和元年 7月 3日点検
 旧メータ使用量 0 m³
 使用水量 20 m³ 排水量 20 m³

上下水道料金 4,334 円

【上下水道料金内訳】

水道 2,86 円 (154 円)
 下水道 2,248 円 (166 円)

※欄外に相当する()内の額が含まれています。

【問5】 あなたはご家庭で、次のような場合、主にどのような水を使っていますか。
 (1. ～3. について主に使っている水をそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

	そのままの水道水	浄水器を通した水道水	市販のペットボトル水	ウォーターサーバー水	スーパーなどにある持ち帰りの水	自宅では水は飲まない(調理しない)	その他
1. 水をそのまま飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
2. お茶・コーヒーをいれる場合	1	2	3	4	5	6	7
3. 調理をする場合	1	2	3	4	5	6	7

【問6】 あなたは、1日あたり何回くらい自宅で入浴（シャワーのみを含む）しますか。（夏と冬で回数が異なる方は、年間の平均回数でお答えください。）

（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 1日2回以上	2. 1日1回	3. 2～3日に1回
4. 4～7日に1回	5. その他（具体的に：_____）	
6. 家では入浴しない		

→【問6】で、1.～5. を選択した方のみお答えください。



【問6-1】 あなたは、どのように入浴していますか。

（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. いつも浴槽につかる
2. 浴槽につかる場合が多く、たまにシャワーのみで済ませる
3. 浴槽にはたまにつかる程度で、シャワーで済ませることが多い
4. 夏場はシャワーで済ませ、冬場は浴槽につかる
5. いつもシャワーで済ませる（浴槽にはつかからない）
6. その他（具体的に：_____）

→【問6-1】で、1.～4. を選択した方のみお答えください。

【問6-2】 あなたのご家庭では、どれくらいの頻度で浴槽のお湯を入れ替えますか。

（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 人ごとに入れ替える	2. 毎回入れ替える
3. 2回に1回	4. 3回以上に1回
5. その他（具体的に：_____）	

【問7】 各家庭における1日の調理回数についてお伺いします。あなたのご家庭では、1日あたり何回食事を作りますか。（あなた以外の一緒に暮らしている方が作る場合も含む）

（A、Bについてそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。）

A：平日（月曜日～金曜日、又は仕事や学校のある日）

1. 3回	2. 2回	3. 1回
4. ほとんど食事を作らない	5. その他（具体的に：_____）	

B：休日（土曜日・日曜日・祝日、又は仕事や学校が休みの日）

1. 3回	2. 2回	3. 1回
4. ほとんど食事を作らない	5. その他（具体的に：_____）	

【問8】あなたのご家庭では、どれくらいの頻度で洗濯をしますか。(あなた以外の一緒に暮らしている方が洗濯をする場合も含む)

(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 1日に2回以上	2. 毎日1回	3. 2～3日に1回
4. 4～7日に1回	5. 自宅では洗濯をしない	
6. その他(具体的に：)

IV. 節水について

【問9】あなたが行っている節水のための行動とはどれですか。(節水型機器の使用以外の行動についてお答えください)

(いくつでも選び、○をつけてください。)

1. こまめに蛇口の開閉をしている
2. 風呂の残り湯を庭への散水や洗濯に使っている
3. 雨水を庭への散水に使っている
4. その他(具体的に：
5. 何もしていない

【問10】あなたのご家庭では、食器洗い機、節水型シャワー※1、節水型トイレ※2、ドラム式洗濯機などの節水型機器を使用していますか。

それぞれ1つだけ選び、○をつけてください。

1. ～4. 以外の節水型機器をご使用の場合は、5. その他欄にご記入ください。

	使用している	使用していない	わからない
1. 食器洗い機	1	2	3
2. 節水型シャワー(※1)	1	2	3
3. 節水型トイレ(※2)	1	2	3
4. ドラム式洗濯機	1	2	3
5. その他 ()	1		

※1 節水型シャワー：手元に止水スイッチがあったり、水が出る穴が小さくなっているものです。

※2 節水型トイレ：2007年度以降に発売された型式は概ね節水型です



縦型洗濯機



ドラム式洗濯機

V. 県営水道の事業について

【問11】 災害対策についてお聞きします。

【県営水道が進めている災害対策】

(参考：神奈川県営水道事業経営計画ホームページ



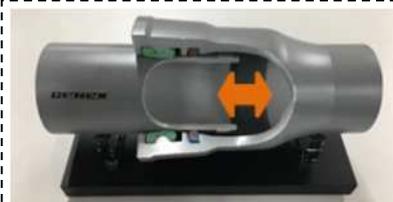
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/sui-keikaku.html>)

- ◆ 県営水道では、2019年度から5年間の「神奈川県水道事業経営計画」を定め、この計画に基づき災害対策の取組を進めています。

- ◆ 水道管路の更新にあたり、震度7の地震にも耐震性があるとされている「耐震継手管」への更新を進めており、地震に強い水道管の割合が向上するように取り組んでいます。

地震に強い水道管の割合の向上

- 2019年度当初(20%)
→ 2023年度目標(24%)



<耐震継手管>

水道管と水道管をつなぐ「継手」部分が鎖構造になっており管が伸び縮みしながら揺れを吸収するとともに、突部構造により水道管の抜け出しを防ぐことのできる離脱防止機能付きの水道管

- ◆ 災害用指定配水池等*の耐震化を進める
※大規模地震の際に飲料水を確保していくため、浄水場から最初に送水される配水池で、各地域に配水する拠点となる「一次配水池」や、災害時に水を確保する機能を備えている「災害用指定配水池」を優先して耐震化を進めています。

- 2019年度当初(14箇所)
→ 2023年度目標(26箇所)
⇒ 2023年度には給水区域内の各市町内にある1か所以上の災害用指定配水池が耐震化されることとなります。



<配水池耐震化工事>

配水池内の柱、壁、床をコンクリートで補強

- ◆ 安定給水の確保

浄水場と主要な配水池をつなぐ基幹管路や、災害協力病院等の災害時における重要な施設への供給管路を優先して更新・耐震化を行っています。

あなたは今後の災害対策の進め方についてどのように進めたらよいと思いますか。

(あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 今の災害対策のペース(2019~2023年度と同じペース)で取組を進める
2. 今よりも災害対策を強化して取組を進める
3. 災害で被害があったところを修復する
4. その他(具体的に： _____)
5. わからない

【問12】 災害に備えるには、1人あたり1日3リットル、3日分（3×3＝9リットル）以上の水の確保を推奨しています。あなたのご家庭では、日頃から地震災害等に備えて「飲料水」をどのような方法で確保していますか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 1人あたり9リットル分の水道水をポリ容器などにくみ置きしている
2. 1人あたり9リットル分のミネラルウォーターや災害用飲料水を購入し、備蓄している
3. 確保していない（備蓄量が1人あたり9リットル未満である）
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

→問12で、「3. 確保していない」を選択した方のみお答えください。

【問12-1】 「3. 確保していない」に○をつけた場合）その理由についてあてはまるものはどれですか。（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 水の備蓄が必要だという認識がなかったから
2. 確保する場所がないから
3. 面倒だから
4. 災害が起きてから購入したり、災害時に開設される給水拠点に取りに行けばいいから
5. その他（具体的に： _____）

【県営水道が行っている水道管の更新】

（参考：神奈川県営水道事業経営計画ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/sui-keikaku.html>）

◆水道管の現状

県営水道は、高度経済成長期の水需要の増大を受け、多くの水道管を急ピッチで整備しました。これらの水道管は順次更新時期を迎えますが、古くなった水道管は災害による破損や漏水などのリスクが高まります。

◆更新のペース

将来にわたり水道施設の機能を維持していくためには、水道管の更新ペースを上げていく必要があり、現在の水道管の耐久性を考慮しながら、更新ペースを段階的に引き上げる取組を進めています。

近年県営水道で発生した漏水事故



【問13】 水道管の更新についてお聞きします。管路更新の優先順位についてどう思いますか。（あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 災害協力病院等の災害時に重要な施設へ給水する水道管から優先して更新する
2. 漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する
3. 学校や警察・消防等の官公署など公共機関へ給水する水道管を優先して更新する
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

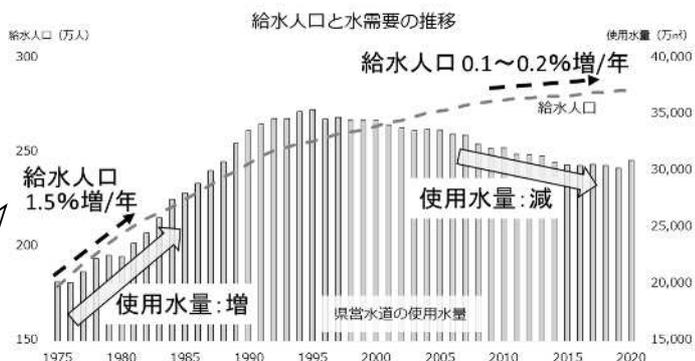
【問14】 これからの水道施設の更新及び維持管理に必要な水道料金についてお聞きます。

【県営水道における今後の使用水量と人口の予測】

(参考：神奈川県営水道事業経営計画ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r4a/sui-keikaku.html>)

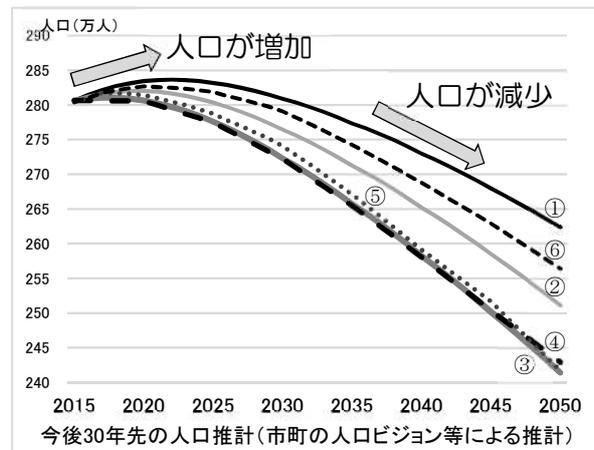
◆ 使用水量の減少

県営水道の使用水量は1995年度をピークに減少していて、2019年度はピーク時に比べて15%も減少しています。1970年代は給水人口が年1.5%増えていましたが、近年は0.1~0.2%の増にとどまっています。



◆ 人口減少社会の予測

国等の推計では、今後、県営水道の給水区域内の人口が減少していくことが見込まれ、その影響で水の使用量が減少し、水道料金収入も減少していくと予想されます。水道料金収入が減少を続けると、水道施設の適切な更新・維持管理を行うための財源確保が困難となり、安定給水に影響することが考えられます。



今後、数年のうちに給水人口は減少に転ずる

人口減少社会の中、水需要の減少傾向が強まるというかつてない厳しい時代に入

給水人口は、2020年頃をピークに減少に転じる。30年後には、現在から約30万人減少の見込

- ①、②、③ 県企業庁が給水区域内人口を高位①・中位②・低位③に分けて試算
- ④ 『日本の地域別将来推計人口(2018年推計)』をもとに県企業庁が給水区域内人口を試算
- ⑤ 地域人口ビジョン等で施策効果を反映する前の市町の推計人口をもとに県企業庁が給水区域内人口を試算
- ⑥ 地域人口ビジョン等で施策効果を反映した後の市町の推計人口をもとに県企業庁が給水区域内人口を試算

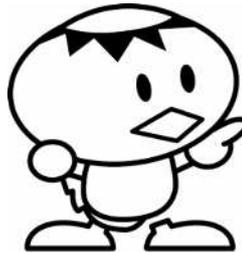
上記の状況が予測されていますが、今後の県営水道の水道施設の更新及び維持管理についてどう思いますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う
2. 水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う
3. その他(具体的に: _____)
4. わからない

VI. 県営水道の上水道料金について

上水道料金は、
2か月分の使用量について
市町が運営している下水道の
使用料を合わせて
お支払いいただいています。



上下水道使用量のお知らせ			
神奈川 太郎 様			
		999	号室
お客様番号	232-012345-601		
(使用者番号)	23201 23456 01499		
令和元年度 使用年月分：元年 8月～元年 9月分			
今回指針	326 m ³	令和元年 9月 3日点検	
前回指針	306 m ³	令和元年 7月 3日点検	
旧メータ使用量	0 m ³		
使用水量	20 m ³	排水量	20 m ³
上下水道料金		4,334 円	
【上下水道料金内訳】			
水道	2,086 円	(154 円)
下水道	2,248 円	(166 円)
<small>※欄外に相当する()内の額が含まれています。</small>			

【問15】 現在お支払いいただいている上水道料金について、どう思いますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 高いと思う
2. 適正な料金だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

【問16】 上水道料金について、あなたが知っていることはどれですか。

(いくつでも選び、○をつけてください。)

1. 水道事業は独立採算制で、主にお客さまからいただく水道料金の収入によって運営していること
2. たくさん水を使うと単価が高くなる料金体系であること
3. 上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること
4. 市町が運営している下水道の使用料を上水道料金と合わせてお支払いいただいていること
5. 基本料金と基本水量があること
6. 水道水の価格は、同じ量のペットボトル水に比べて安いこと
7. 上水道料金は全国平均より安いこと
8. 生活用水である「家事用」を安価とし、産業用の水である「業務用」に多くの負担を求めていること
9. どれも知らない

【県営水道の料金の仕組み】

基本料金とは：水を使う量に関係なく、定額でお支払いいただく料金で、2か月で1,420円（税抜き）です。

基本水量とは：2か月16m³ まではいくら使っても水道料金が変わらない制度です。

従量料金とは：水を使う量が2か月で16m³ を超えると、超えた水量に応じた料金をお支払いいただきます。これが従量料金です。

「家事用」料金・「業務用」料金の区分：料金は一般家庭の「家事用」料金と企業等の「業務用」料金に区別されており、「家事用」の従量料金は安くなっています。

ペットボトル1本分の水道水の金額は：県営水道の水道料金では500mlで約0.08円です。（県営水道の水道水100円分は、500mlのペットボトル約1,200本分になります。）

【問17】 基本料金についてお聞きします。

県営水道では、水道をお使いいただくための必要な費用をまかなうために、使用量に関係なく基本料金として2か月分一律1,420円（税抜き）をお支払いいただいています。この基本料金についてどう思いますか。

（1つだけ選び、○をつけてください。）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 今のままでよい | 2. 基本料金は上げたほうがよい |
| 3. 基本料金は下げたほうがよい | 4. 基本料金は必要ない |
| 5. その他（具体的に： | ○ |
| 6. わからない | |

【基本料金の考え方】

県営水道では、水道の使用の有無に関わらず負担いただく「基本料金」と、使用水量に応じて負担いただく「従量料金」とを組み合わせた二部料金制を、昭和8年の事業開始時から採用しています。

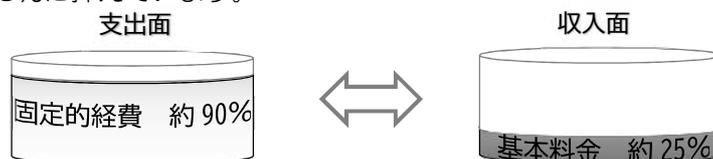
水道事業の経費は給水量の多い・少ないにかかわらず施設の維持管理や更新に係る経費（＝固定的経費）が大半を占めます。その全額を「基本料金」で回収できれば理想的ですが、その場合には「基本料金」が著しく高額となり、特に水道を生活用水として使用する家計への影響が大きくなってしまいます。

そのため、生活用水を安価に抑えられるよう、固定的経費を「基本料金」で回収する割合を低く設定しています。

固定的経費とは：水道使用量とは関係なく、施設を適切に維持していくために固定的に必要な費用で、施設維持管理費の大部分や、減価償却費、支払利息等が該当します。

変動的経費とは：水道使用量の増減に比例して必要となる費用で、動力費（浄水、送水、配水設備の運転に必要な電力料金）や、薬品費（浄水に必要な薬品の購入費）などが該当します。

水の供給に必要な経費のうち、水の使用にかかわらず施設の維持等に必要固定的経費は約90%を占めるのに対し、水道料金収入のうち、水道使用量にかかわらず負担いただく定額の基本料金は約25%に抑えています。



【問18】基本水量についてお聞きします。

県営水道では、水道使用量が2か月で16m³以下であれば、基本料金のみで使えます。

この2か月16m³を基本水量と呼びます。基本水量についてどう思いますか。

(1つだけ選び、○をつけてください。)

1. 基本水量は現状のまま、2か月16m³のままでよい (図1参照)
2. 基本水量は2か月16m³より増やした方がよい (図2参照)
3. 基本水量は2か月16m³より減らした方がよい (図3参照)
4. 基本水量はなくてもよい (基本料金で使える水量をなくす) (図4参照)
5. その他 (具体的に：)
6. わからない

基本水量の考え方…選択肢1. 2. 3. 4. について

図1

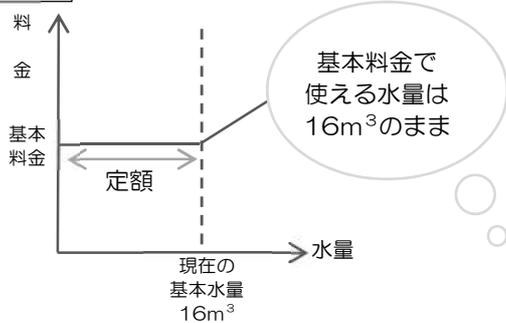


図2

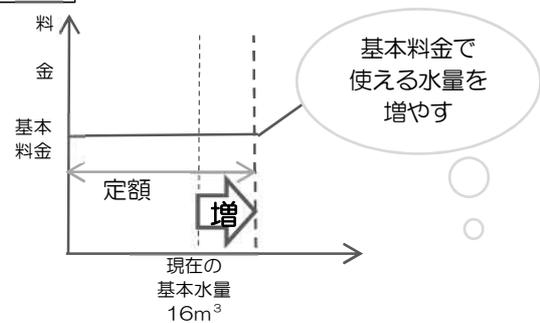


図3

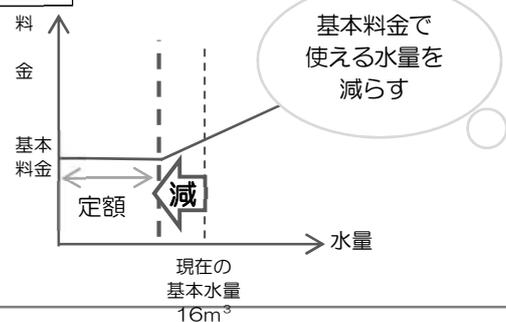
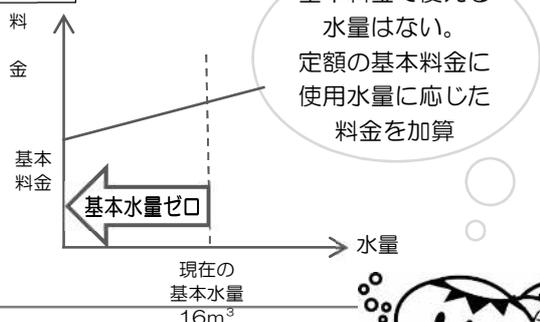
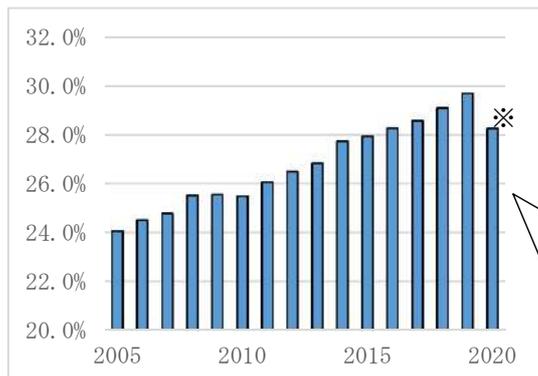


図4



<家事用の全体に占める基本水量のみの家庭の割合 (県営水道) >



基本水量は公衆衛生上の観点から設定したのですが、「家事用」では、2か月当たりの使用水量が基本水量(16m³)以内の家庭が年々増加し、約3割を占めるまでに増えています。そこで、実際の使用実態に見合った基本水量について検討する必要があると考えています。
※なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症による在宅時間が増加するなどの影響で、家庭の使用水量が増加したことに伴い、割合が低下しています。

【問19】 従量料金についてお聞きします。

下の表のとおり、基本水量の2か月16m³を超えると、1m³ごとに料金（従量料金）が加算されます。また、使用する量が多くなるほど1m³あたりの単価が高くなります。この従量料金についてどう思いますか。

（1つだけ選び、○をつけてください。）

1. 今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）
2. 使う量に比例して増加する単価の差を今よりさらに大きくした方がよい
3. 使う量にかかわらず単価は一律の方がよい
4. 使う量に比例して単価は安くなった方がよい
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

【従量料金の単価について】

＜県営水道の料金（2か月分・税抜額）＞

使用水量	基本料金	従量料金 単価（円/m ³ ）								
	0～16m ³	17～30m ³	31～40m ³	41～60m ³	61～100m ³	101～200m ³	201～600m ³	601～2,000m ³	2,001～20,000m ³	20,001m ³ 以上
家事用	1,420円	128円	135円	172円	237円	294円				
業務用		201円				221円	280円	337円	394円	436円

県営水道の従量料金は、使用する量が多くなるほど単価が高くなるよう設定されていて、こうした料金設定を逓増制と言います。これは、高度成長期に急増した水需要に水源開発が追い付かない時代に、水需要を抑制する目的で導入されました。

現在では既に十分に水源が確保されていますが、業務用と比べ小口利用が多い家事用の負担軽減に配慮して、逓増制を維持しています。

【問20】 料金体系についてお聞きします。現在、神奈川県営水道事業審議会において、水の供給により受けるサービスの量と、そのサービス提供に見合う費用負担の観点から、料金体系のあり方を議論しています。料金体系について、どう考えますか。

（1つだけ選び、○をつけてください。）（次ページコラムを参照し、ご回答ください。）

1. 今のままの用途別料金体系※₁でよい
2. 口径別料金体系※₂の方がよい
3. どちらでもよい
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

※1 用途別料金体系：一般家庭で使う「家事用」、会社や工場等で使う「業務用」など、水道を使用する用途により区分して料金単価を設定する体系

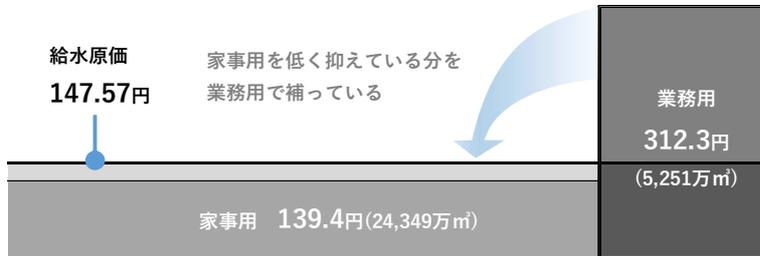
※2 口径別料金体系：水道の引き込み時に設置したメーターの口径の大きさにより区分して料金単価を設定する体系

【料金体系の検討について】

1. 今までの料金体系

問19の料金表にあるとおり、家事用の料金を安くする一方、会社や工場などの業務用の料金を高くする用途別の料金体系を採用しています。

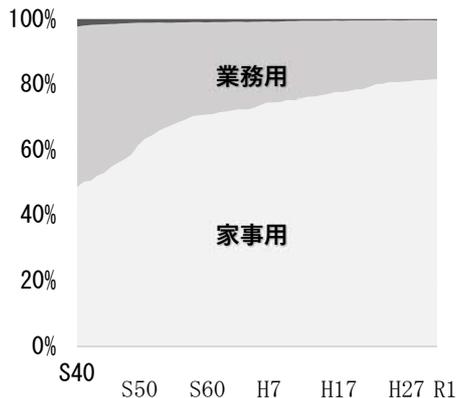
家事用及び業務用の単価と水道使用量（令和元年度）



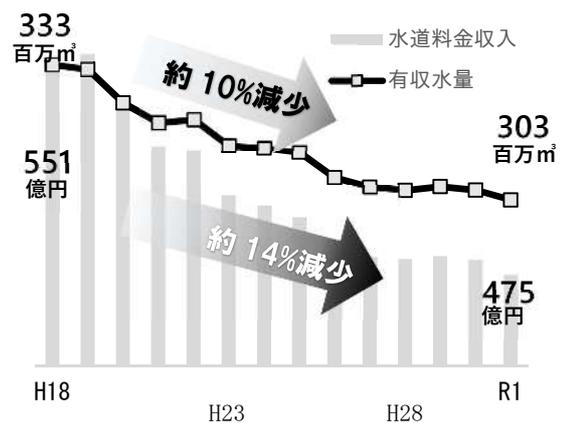
2. 時代の変化と現在の状況

水道使用量と水道料金収入が減少傾向で推移しています。特に業務用の水道使用量は昭和40年代には約半分を占めていましたが、現在では2割未満まで減少するなど、業務用が家事用を補う構造が崩れつつあります。このまま水道料金収入の減少が続くと、水の安定供給などに必要となる経費を十分に賄うことができず、水道事業の運営に支障をきたすことが懸念されます。

水道使用量の用途別内訳の推移



水道使用量と水道料金収入(税抜)の推移



3. これからの時代に相応しい料金体系

水道使用量全体が減少する中で、水需要の構造も変化しており、負担能力に着目して料金を設定する用途別料金体系を維持する合理性が薄れてきています。

そこで、これからの時代の水道料金について受益と負担の観点から考えると、水道使用者が受ける各々のサービスの量（受益）に着目して負担いただくことが適当と考えています。

水道メーターの口径の大きさにより送ることができる水の量が変わり、大きさに比例して維持管理のコストも大きくなることから、水道メーターの口径に応じた料金体系（＝口径別料金体系）とすれば、「水の供給により受けるサービスの量」に見合った料金設定が可能になるため、現在、料金体系の見直しに向けて検討を進めています。

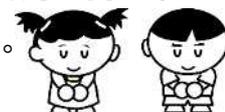
【問23】 県営水道として行う事業等についてどう思いますか。

(あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。)

	とても重要である	やや重要である	あまり重要ではない	全く重要ではない
1. 地震や豪雨などの災害に強い水道づくり	1	2	3	4
2. 老朽化した水道管の更新	1	2	3	4
3. 人口減少など大きな環境変化に対応した安定的な経営	1	2	3	4
4. 情報通信技術 (ICT) や人工知能 (AI) などの新しい技術を活用した効率的な事業運営	1	2	3	4
5. 安全でおいしい水づくり	1	2	3	4
6. 県営水道の取組についての積極的な広報及び情報提供	1	2	3	4
7. 水道料金をできるだけ安く維持していく	1	2	3	4

■最後に、神奈川県営水道事業についてのご意見を自由にお書きください。

以上で終了となります。ご協力ありがとうございました。同封の封筒に調査票を入れ、**令和4年7月15日(金)**までにご投函ください。



參考資料

参考資料 お客さま意識調査と事業所調査の比較

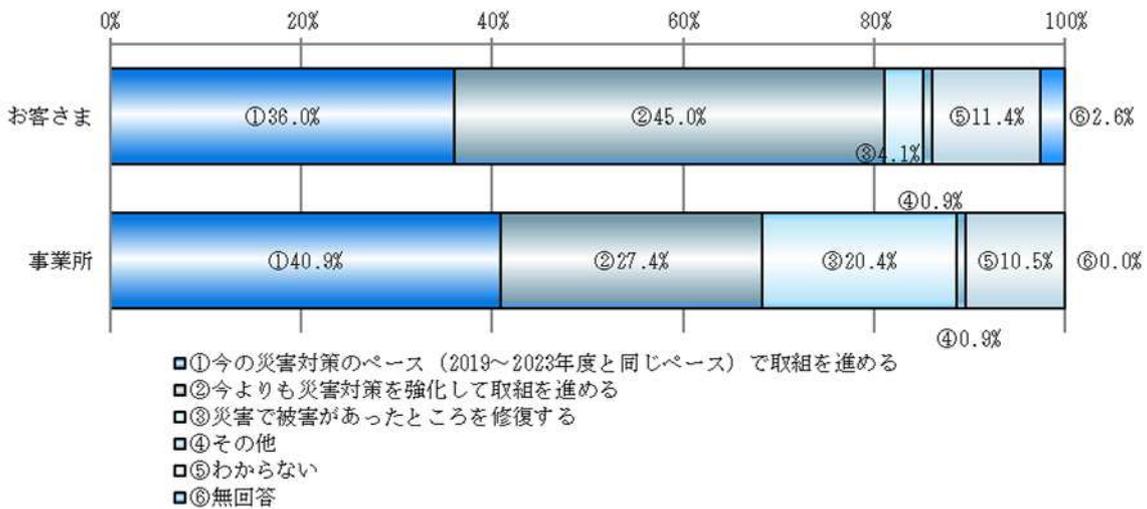
お客さま意識調査及び事業所調査に共通する事項として、「災害対策・施設整備に関する意識」、「料金についての意識」についての設問があるため、考え方の違いを比較した。

なお、調査対象が異なるため、比較結果については参考程度とする。

① 災害対策について

お客さまでは、「今よりも災害対策を強化して取組を進める」の割合が4割以上と最も高い。事業所では、「今の災害対策のペース（2019～2023年度と同じペース）で取組を進める」の割合が約4割で最も高く、次いで「今よりも災害対策を強化して進める」の割合が約3割となった。

設問 今後の災害対策の進め方についてどう思いますか。

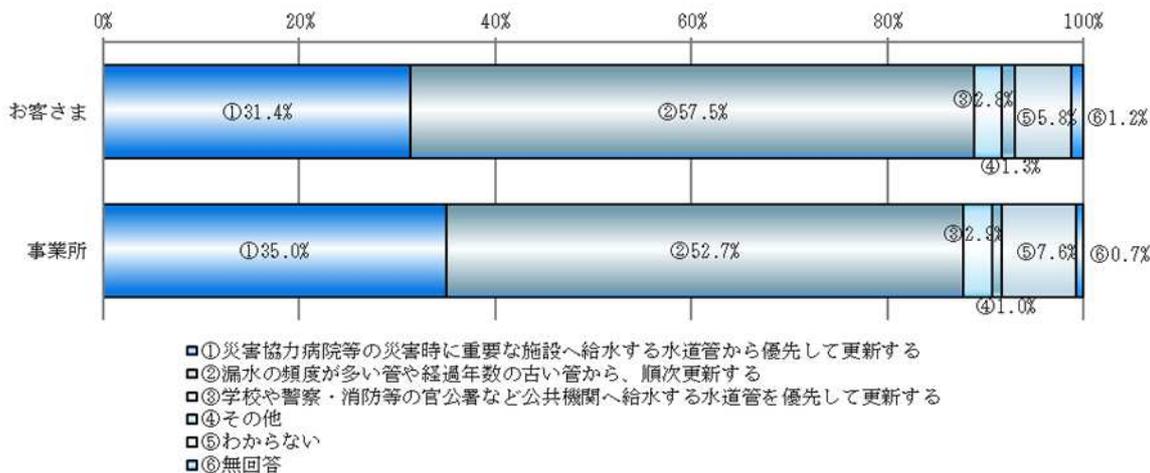


参考図表1 災害対策の進め方についての意識【お客さま（問11）×事業所（問4）】

② 水道管の更新の取組について

お客さま、事業所ともに、「漏水の頻度が多い管や経過年数の古い管から、順次更新する」との回答が5割以上と最も高く、次いで「重要施設への給水を優先して更新する」との回答が約3割と高い。

設問 管路更新の優先順位についてどう思いますか。

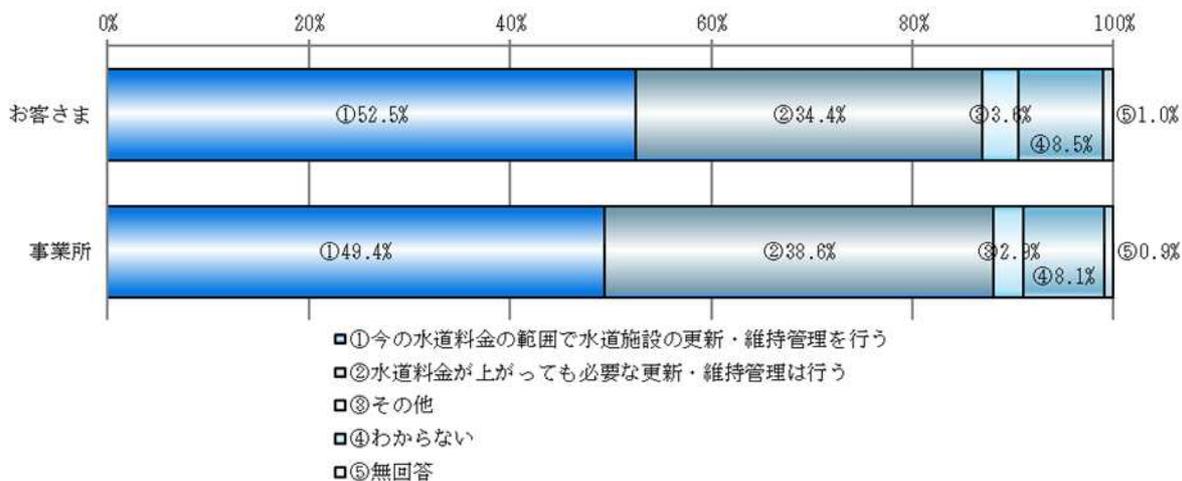


参考図表2 管路更新の優先順位【お客さま（問13）×事業所（問5）】

③水道施設の更新及び維持管理について

お客さま、事業所ともに、「今の水道料金の範囲での更新・維持管理を行う」との回答が約5割と最も高く、次いで「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う」が3割以上となった。

設問 今後の県営水道の施設の更新及び維持管理についてどう思いますか。

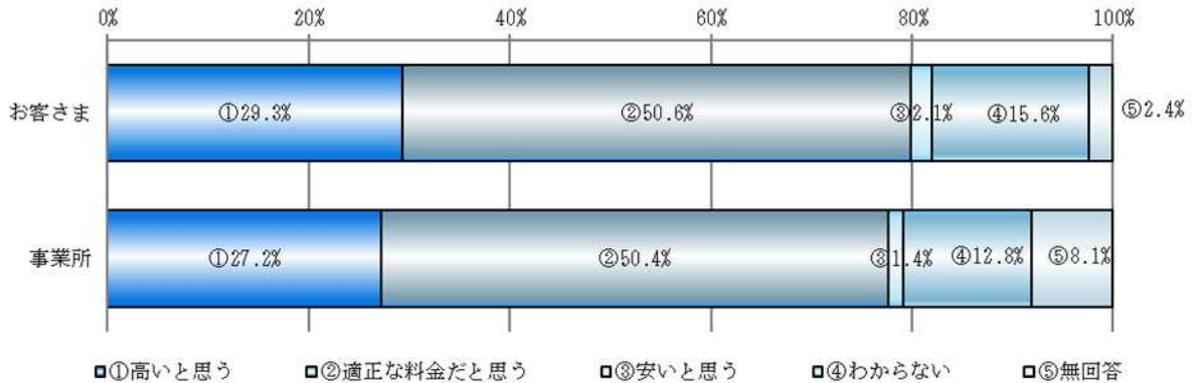


参考図表3 更新・維持管理についての意識【お客さま（問14）×事業所（問6）】

④上水道料金について

お客さま、事業所ともに、約5割が現在の料金について適正と回答した。

設問 現在お支払いいただいている上水道料金について、どう思いますか。

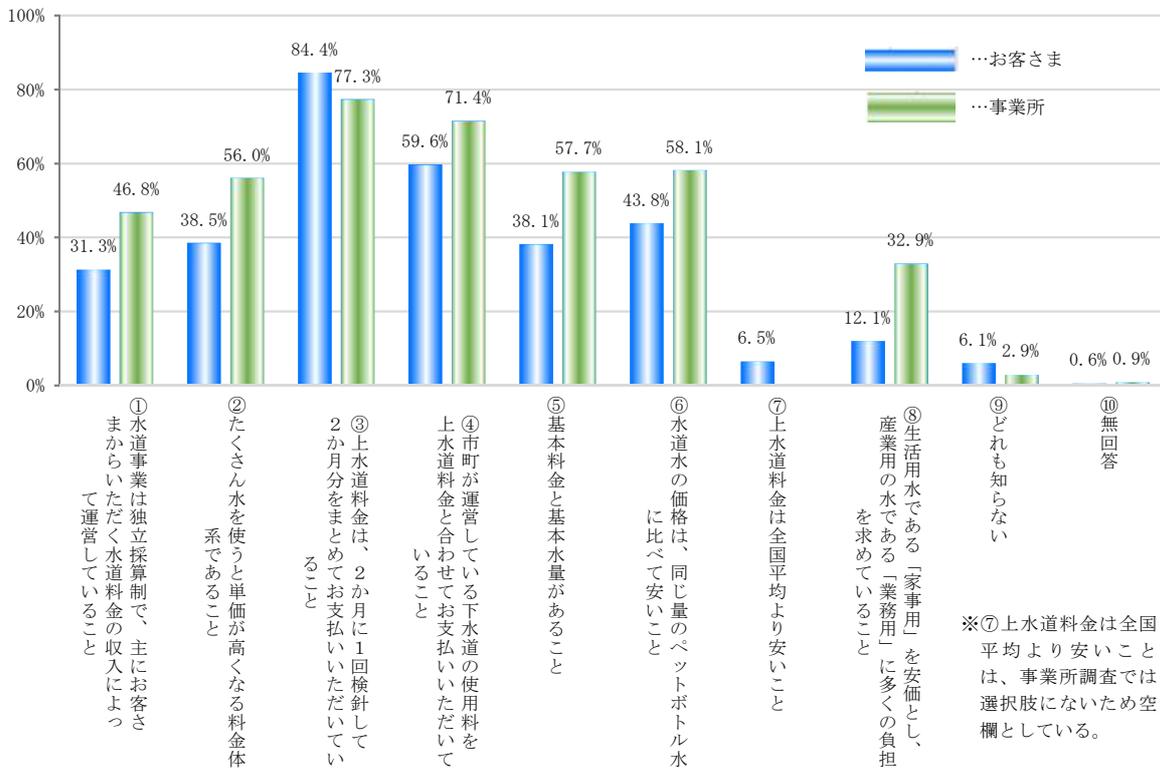


参考図表4 上水道料金について【お客さま（問15）×事業所（問7）】

⑤上水道料金についての知識

お客さま、事業所ともに、「上水道料金は、2か月に1回検針して2か月分をまとめてお支払いいただいていること」が7割以上と最も高い。

設問 上水道料金について、あなたが知っていることはどれですか。

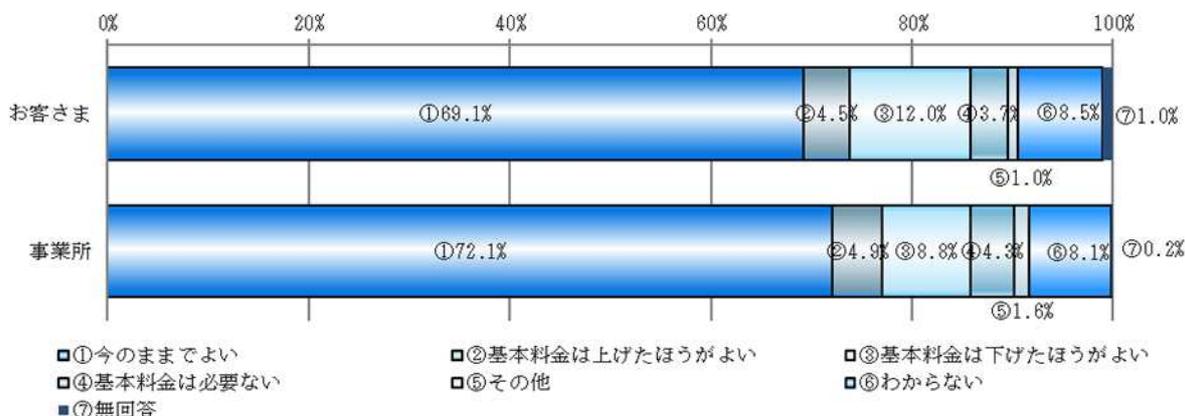


参考図表5 上水道料金についての知識【お客さま（問16）×事業所（問8）】

⑥基本料金についての意識

お客さま、事業所ともに、「今のままでよい」が約7割と最も高い。

設問 基本料金についてどう思いますか。

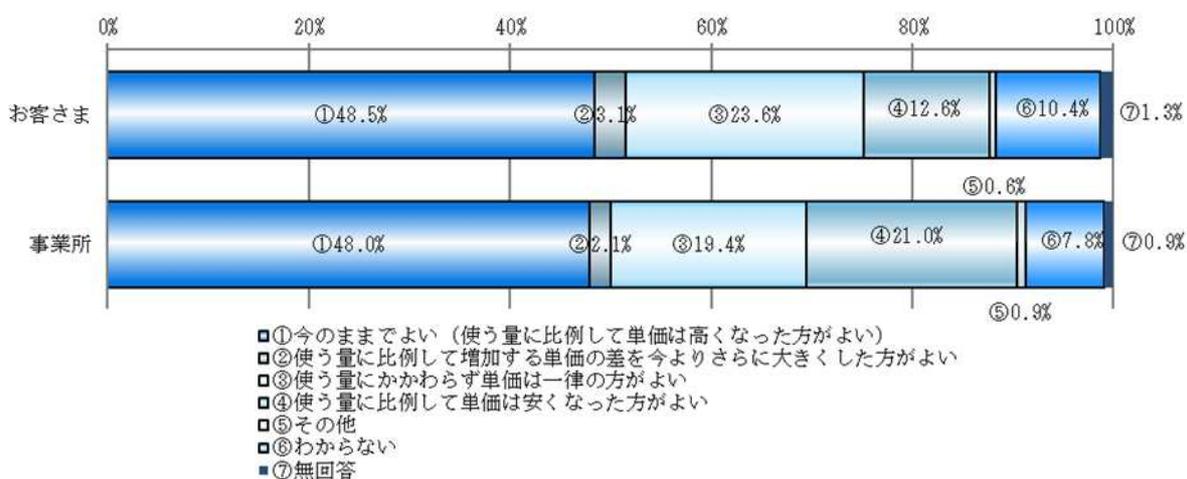


参考図表6 基本料金についての意識【お客さま（問17）×事業所（問9）】

⑦従量料金について

お客さま、事業所ともに、「今のままでよい（使う量に比例して単価は高くなった方がよい）」が約5割と最も高い。

設問 従量料金についてどう思いますか。

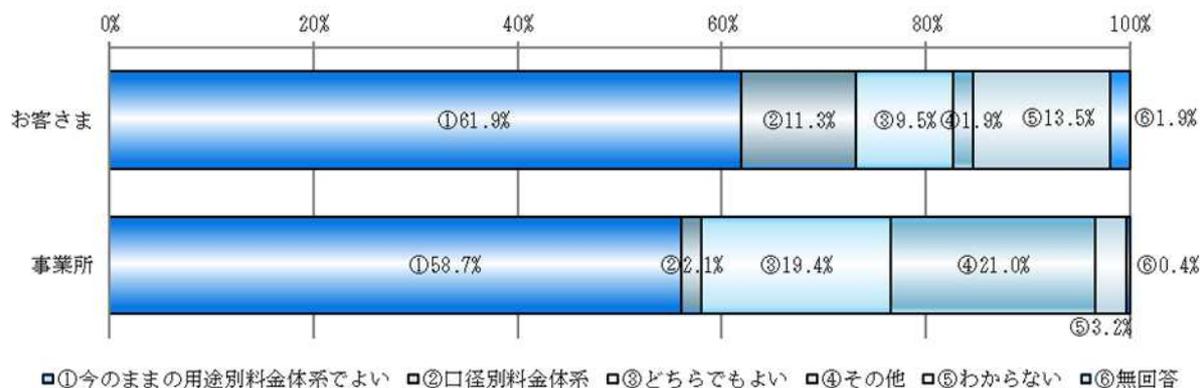


参考図表7 従量料金についての意識【お客さま（問19）×事業所（問11）】

⑧料金体系のあり方について

お客様、事業所ともに、「今のままの用途別料金体系でよい」が約6割と最も高い。次いで、お客様では、「口径別料金体系」が約1割、事業所では、「どちらでもよい」が約2割となった。

設問 料金体系について、どう考えますか。



参考図表8 料金体系についての意識【お客様（問20）×事業所（問12）】

令和4年度
神奈川県営水道についてのお客様意識調査報告書
令和5年2月 発行

神奈川県企業庁企業局水道部経営課

横浜市中区日本大通1 〒231-8588

電話 045-210-1111 (内線 7219~7220)

直通 045-210-7219

調査委託：株式会社綜研情報工芸